

家庭における青少年の
スマートフォン等の利用等に関する調査
報告書

令和8年2月

東京都 都民安全総合対策本部

総合推進部 都民安全課

目次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	3
2. 調査方法.....	3
3. 調査項目.....	3
4. 調査対象.....	3
5. 回答者属性.....	4
6. 調査結果の表示方法.....	4
第2章 調査結果	7
1. スマートフォン等の所有について.....	9
(1) 子供が所有している機器.....	9
第3章 調査結果	11
1. スマートフォン等の所有について.....	13
(1) 子供が所有している機器.....	13
(2) スマートフォンを所有させた時期.....	15
(3) キッズ携帯を所有させた時期.....	16
(4) スマートフォンを所有させた理由.....	17
(5) スマートフォンの購入場所.....	20
2. スマートフォン等の利用状況について.....	22
(1) 子供のスマートフォンの1日の使用時間.....	22
(2) 子供のスマートフォンの主な使用目的.....	24
(3) 子供が利用しているSNS.....	26
(4) SNS利用に関する年齢制限の認知.....	29
(5) SNS等を通じた知らない人とのやり取りの有無.....	30
(6) 知らない人とのやり取りの内容.....	31
(7) 知らない人とのやり取りのきっかけ.....	33
(8) SNS等でやり取りしている相手の把握状況.....	35
(9) 保護者が知っておいた方がよいと思うスマートフォン・SNS等の内容.....	36
(10) 保護者が子供のSNSの内容を把握すべき年代.....	38
3. 影響・トラブルについて.....	39
(1) スマートフォンを持たせたことによる行動や健康への影響の内容.....	39
(2) スマートフォン利用によるトラブルの有無.....	42
(3) スマートフォン利用によるトラブルの内容.....	44
(4) トラブルの発見のきっかけ.....	46
(5) トラブルの対処方法.....	48
(6) ゲームアイテムの購入、有料ガチャの購入の有無.....	50
(7) 課金したことをどのように知ったか.....	51
(8) ゲームアイテム、有料ガチャの使用額.....	52

(9) こたエールの認知度.....	53
(10) こたエールをどこで知ったか.....	54
4. 家庭におけるルール作りについて.....	56
(1) ペアレンタルコントロールについての認知、関心の有無.....	56
(2) ペアレンタルコントロールについて関心がある理由.....	58
(3) 何があればペアレンタルコントロールに関心を持つか.....	61
(4) 家庭内でのルールの有無.....	63
(5) 家庭内でのルールの内容.....	66
(6) 家庭内でのルール作りの時期と決め方.....	68
(7) ルールを守れなかった時のルールの有無.....	69
(8) ルールは守られているか.....	70
(9) ルールが守られていない理由.....	71
(10) ルールを作っていない理由.....	73
5. フィルタリングサービスについて.....	75
(1) フィルタリングサービスの利用状況.....	75
(2) 利用しているフィルタリングサービスの種類.....	78
(3) フィルタリング設定を行っていない理由.....	80
(4) 業者からのフィルタリングサービスの説明及び説明書の交付の受理.....	83
(5) フィルタリングサービス未加入の理由書の提出.....	85
(6) 向上して欲しいフィルタリングサービス機能.....	86
6. 幼児期におけるスマートフォン等の利用について.....	88
(1) 幼児期における保護者所有のスマートフォン等の利用の有無.....	88
(2) 幼児期のスマートフォン利用の用途.....	90
(3) 幼児期にスマートフォンを利用させていた理由.....	92
(4) 幼児期のスマートフォン利用による影響.....	94
(5) 保護者のスマートフォンを利用させ始めた時期.....	96
7. 保護者のスマートフォン等に関する意識について.....	98
(1) スマートフォンを所有させることへの不安の種類.....	98
(2) 「闇バイト」による求人の認知.....	100
(3) 「闇バイト」についての子供への注意喚起.....	102
(4) 偽・誤情報を子供に教えることは重要か.....	104
(5) 偽・誤情報対策にどのようなことをしているか.....	105
(6) 保護者は生成 AI を利用しているか.....	106
(7) 子供は生成 AI を利用しているか.....	109
(8) 子供にオンラインでの金銭のやり取りをどのように許可しているか.....	110
(9) スマートフォンの利用状況等を把握・管理ができていないか.....	111
(10) ネットの危険性についての講義・学習の受理経験の有無.....	113
(11) 保護者として必要なこと.....	115
(12) 東京都や学校で必要な対策.....	117
(13) 青少年の SNS 利用はどのようにしたらいいか.....	119
(14) どこで得た情報を参考にするか.....	124

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、東京都内の小中高生にスマートフォン等を持たせている保護者に対して、御家庭におけるスマートフォン等の利用における実態や意識を調査・把握し、今後の施策推進のための基礎資料とすることを目的に実施したものである

2. 調査方法

調査方法：インターネットパネルを利用したアンケート調査

※調査会社提携先の登録会員に対してWeb画面上のアンケートを実施

調査期間：令和8年1月22日から令和8年2月3日

3. 調査項目

調査①：スマートフォン等の所有状況調査

Q1 子供が所有している機器

調査②：フィルタリングサービス加入等実態調査

Q1～5：スマートフォン等の所有について

Q6～15：スマートフォン等の利用状況について

Q16～25：影響・トラブルについて

Q26～35：家庭におけるルール作りについて

Q36～41：フィルタリングサービスについて

Q42～46：幼児期におけるスマートフォン等の利用について

Q47～60：保護者のスマートフォン等に関する意識について

4. 調査対象

調査①：都内在住の小学生・中学生・高校生の保護者（都内在住2,000名）

調査②：都内在住の小学生・中学生・高校生にスマートフォン等を持たせている保護者（都内在住2,000名）

（条件：Q1でスマートフォン・スマートフォン以外の携帯電話・キッズ携帯のうち、いずれか1つ以上を選択）

調査①、調査②ともに、東京都区部と市町村部での人口比率をもとに以下の割付表を作成し、回答の回収を行った。

	東京都内 (区部)	東京都内 (市町村部)	合計
小学生（1～3年生）の保護者	350	150	500
小学生（4～6年生）の保護者	350	150	500
中学生の保護者	350	150	500
高校生の保護者	350	150	500
合計	1,400	600	2,000

5. 回答者属性

回答者の子供の学年分布は以下のとおり。

調査①

	小学生						中学生			高校生			合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
人数 (人)	201	126	173	144	165	191	130	178	192	128	155	217	2,000
割合 (%)	10.1	6.3	8.7	7.2	8.3	9.6	6.5	8.9	9.6	6.4	7.8	10.9	100.0

調査②

	小学生						中学生			高校生			合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
人数 (人)	157	134	209	146	159	195	141	188	171	132	174	194	2,000
割合 (%)	7.9	6.7	10.5	7.3	8.0	9.8	7.1	9.4	8.6	6.6	8.7	9.7	100.0

6. 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがある。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法である。

【設問内容一覧】

調査①：スマートフォン等の所有状況調査

SC/F： 保護者及び児童・生徒の属性	(1) 保護者の居住地 (2) 小学生から高校生までの子供の有無 (3) 子供の居住地 (4) 保護者の年齢（年代） (5) 一番上の子供の年齢（学年）
Q1： スマートフォン等の所有について	(1) 子供が所有している機器

調査②：フィルタリングサービス加入等実態調査

Q1～5： スマートフォン等の所有について	Q1 子供が所有している機器 Q2 スマートフォンを所有させた時期 Q3 キッズ携帯を所有させた時期 Q4 スマートフォンを所有させた理由 Q5 スマートフォンの購入場所
Q6～15： スマートフォン等の利用状況について	Q6 子供のスマートフォンの1日の使用時間 Q7 子供のスマートフォンの主な使用目的 Q8 子供が利用しているSNS Q9 SNS利用に関する年齢制限の認知 Q10 SNS等を通じた知らない人とのやり取りの有無 Q11 知らない人とのやり取りの内容 Q12 知らない人とのやり取りのきっかけ Q13 SNS等でやり取りしている相手の把握状況 Q14 保護者が知っておいた方がよいと思うスマートフォン・SNS等の内容 Q15 保護者が子供のSNSの内容を把握しておくべき年代
Q16～25： 影響・トラブルについて	Q16 スマートフォンを持たせたことによる行動や健康への影響の内容 Q17 スマートフォン利用によるトラブルの有無 Q18 スマートフォン利用によるトラブルの内容 Q19 トラブルの発見のきっかけ Q20 トラブルの対処方法 Q21 ゲームアイテムの購入、有料ガチャの購入の有無 Q22 課金したことをどのように知ったか Q23 ゲームアイテム、有料ガチャの使用額 Q24 こたエールの認知度 Q25 こたエールをどこで知ったか
Q26～35： 家庭におけるルール作りについて	Q26ペアレンタルコントロールについての認知、関心の有無 Q27 ペアレンタルコントロールについて関心がある理由 Q28 何があればペアレンタルコントロールに関心を持つか Q29 家庭内でのルールの有無 Q30 家庭内でのルールの内容 Q31 家庭内でのルールの作りの時期と決め方 Q32 ルールを守れなかった時のルールの有無 Q33 ルールは守られているか Q34 ルールが守られていない理由 Q35 ルールを作っていない理由
Q36～41： フィルタリングサービスについて	Q36 フィルタリングサービスの利用状況 Q37 利用しているフィルタリングサービスの種類 Q38 フィルタリング設定を行っていない理由 Q39 業者からのフィルタリングサービスの説明及び説明書の交付の受理 Q40 フィルタリングサービス未加入の理由書の提出 Q41 向上して欲しいフィルタリングサービス機能

<p>Q42～46： 幼児期におけるスマートフォン等の利用について</p>	<p>Q42 幼児期における保護者所有のスマートフォン等の利用の有無 Q43 幼児期のスマートフォン利用の用途 Q44 幼児期にスマートフォンを利用させていた理由 Q45 幼児期のスマートフォン利用による影響 Q46 保護者のスマートフォンを利用させ始めた時期</p>
<p>Q47～60： 保護者のスマートフォン等に関する意識について</p>	<p>Q47 スマートフォンを所有させることへの不安の種類 Q48 「闇バイト」による求人の認知 Q49 「闇バイト」についての子供への注意喚起 Q50 偽・誤情報を子供に教えることは重要か Q51 偽・誤情報対策にどのようなことをしているか Q52 保護者は生成 AI を利用しているか Q53 子供は生成 AI を利用しているか Q54 子供にオンラインでの金銭のやり取りをどのように許可しているか Q55 スマートフォンの利用状況等を把握・管理ができているか Q56 ネットの危険性についての講義・学習の受理経験の有無 Q57 保護者として必要なこと Q58 東京都や学校で必要な対策 Q59 青少年の SNS 利用はどのようにしたらいいか Q60 どこで得た情報を参考にするか</p>

第2章 調査結果

調査① スマートフォン等の所有状況調査

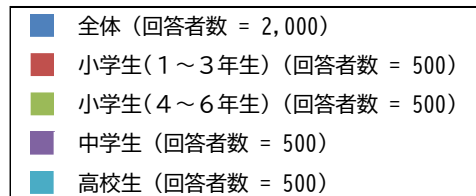
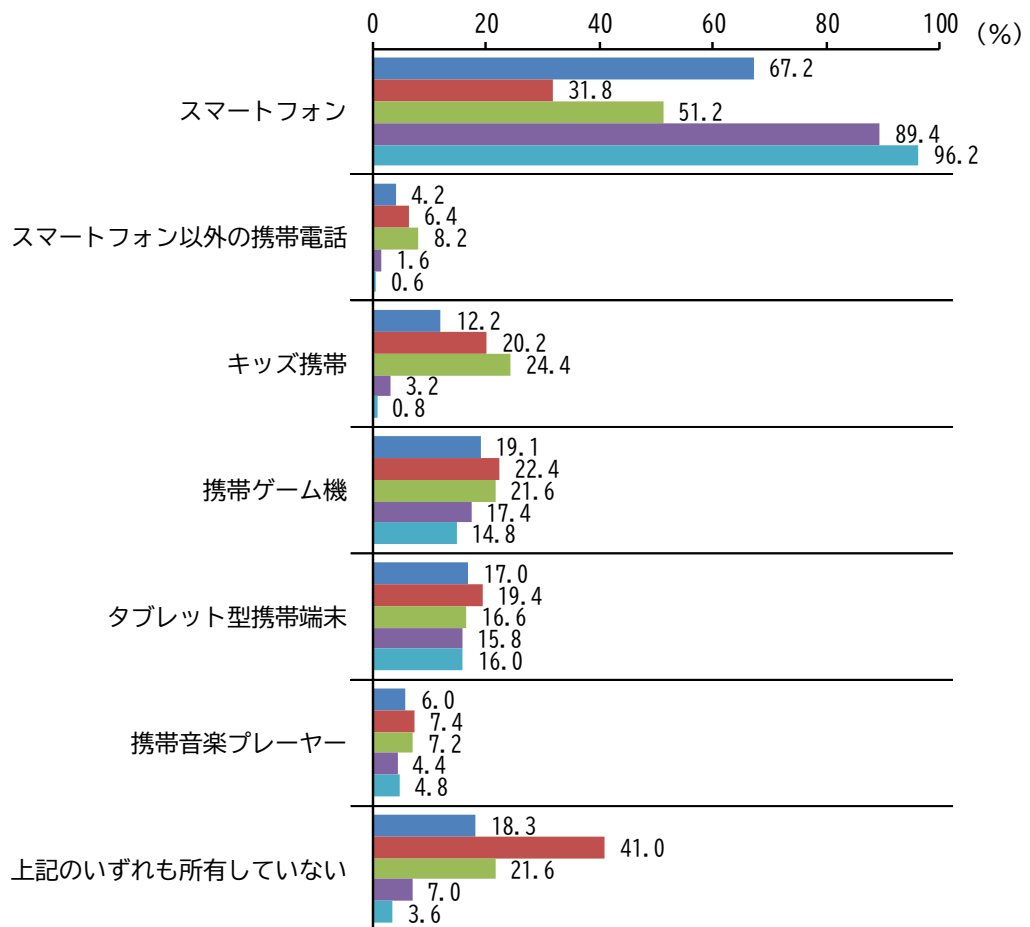
1. スマートフォン等の所有について

(1) 子供が所有している機器

Q1. あなたのお子さんに、現在所有（お子さん専用のもので購入・譲渡したもの）させている機器を選んでください。（いくつでも）

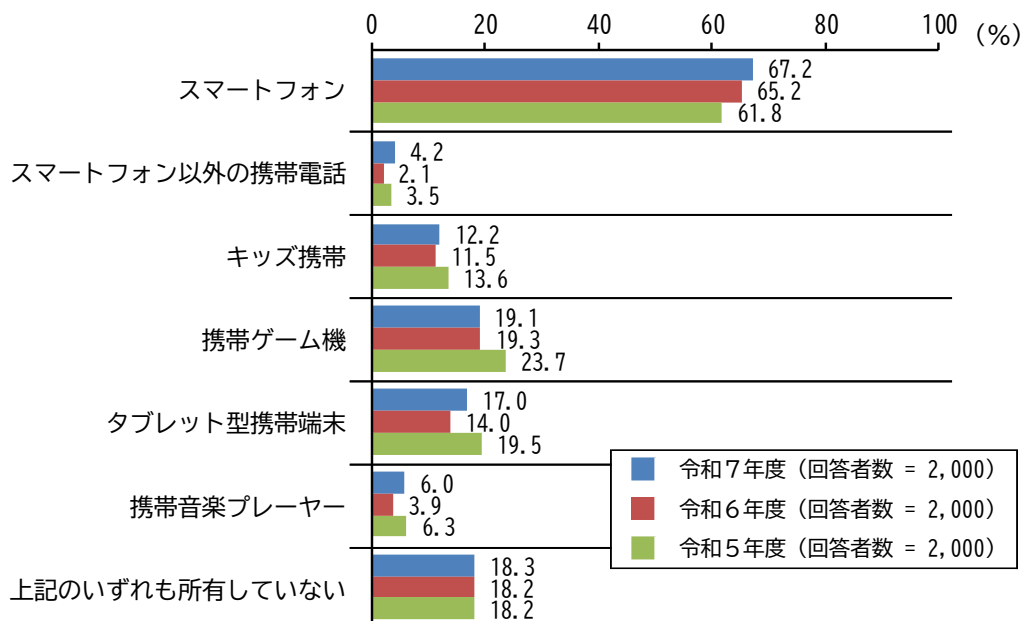
全体では、「スマートフォン」が67.2%と最も高く、次いで「携帯ゲーム機」の19.1%、「上記のいずれも所有していない」の18.3%となっている。

学年別にみると、「スマートフォン」の所有割合は学年が上がるにつれて高くなり、中学生は約90%、高校生では96.2%が所有している。また、小学生（1～3年生）でも「上記のいずれも所有していない」が41.0%に及び、約60%が何らかの機器を所有している。



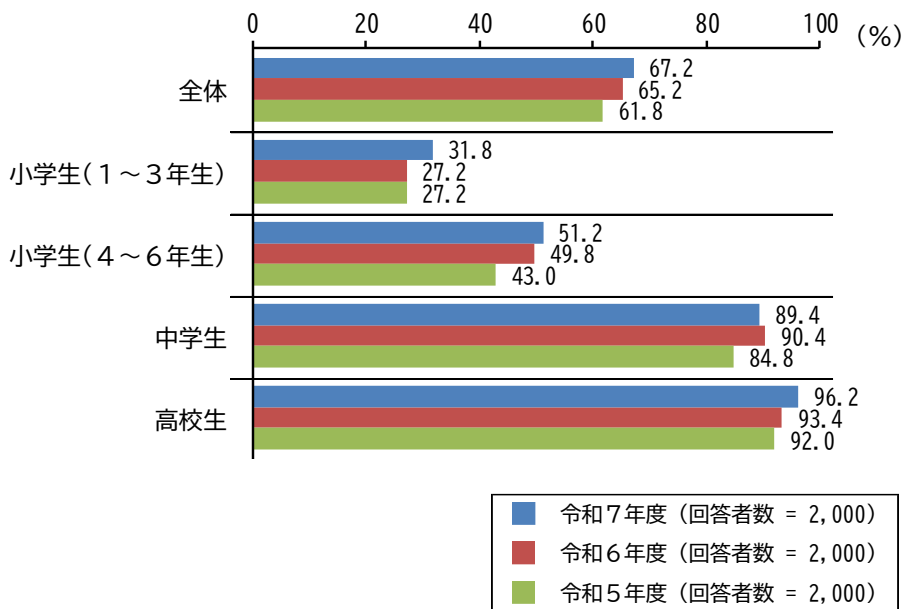
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「スマートフォン」の割合は増加傾向がみられ、令和7年度では約70%となっている。



【スマートフォンの所有率の年代別過年度調査との比較】

令和6年度のスマートフォンの所有率に比べて、小学生(1～3年生)では4.6ポイント増加している。



第3章 調査結果

調査② フィルタリングサービス加入等実態調査

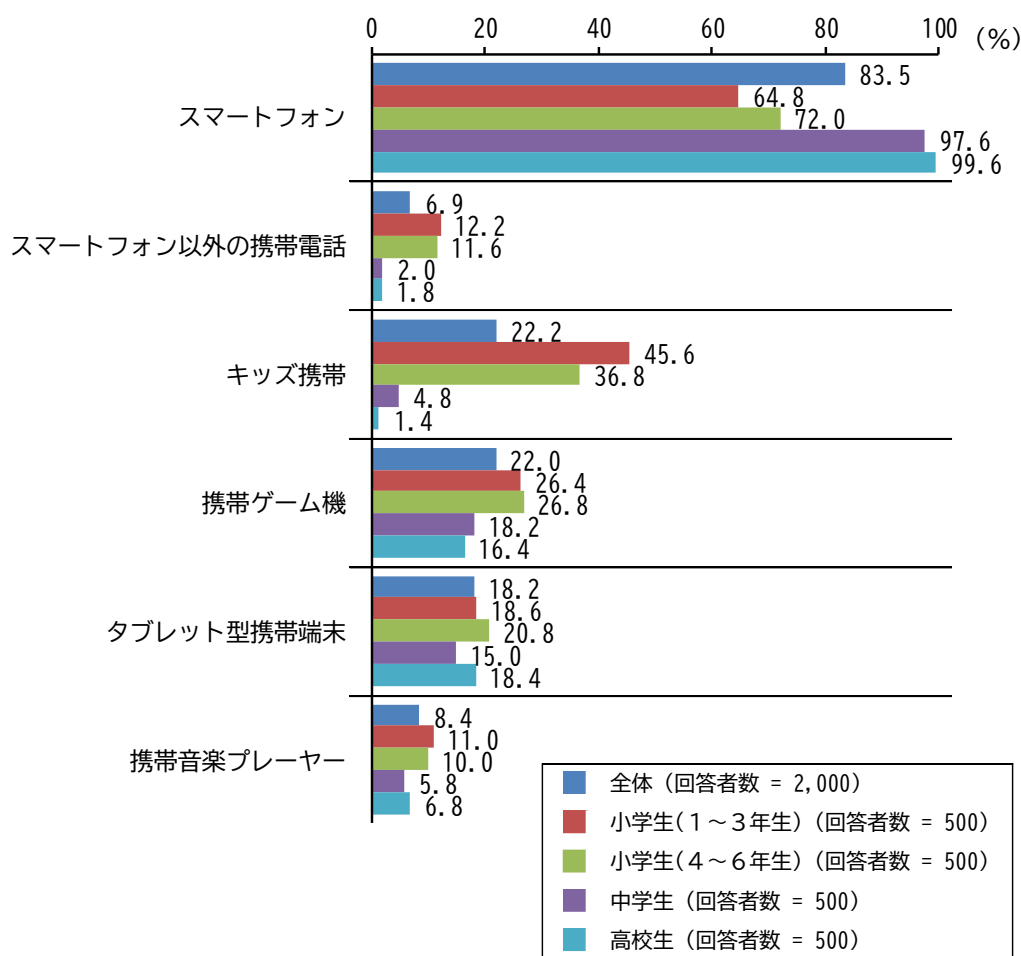
1. スマートフォン等の所有について

(1) 子供が所有している機器

Q1. あなたのお子さんに、現在所有（お子さん専用のもので購入・譲渡したもの）させている機器を選んでください。（いくつでも）

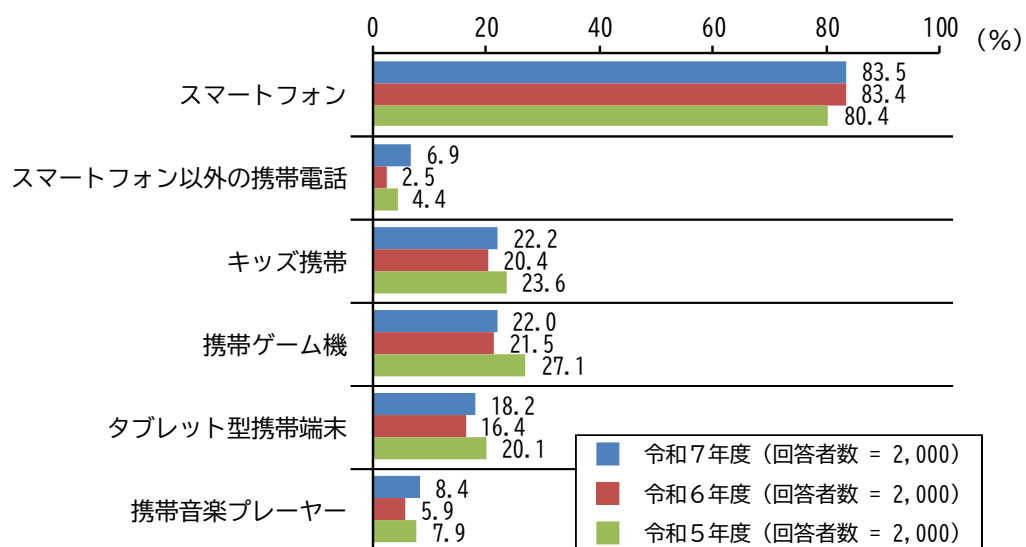
全体では、「スマートフォン」が83.5%と最も高く、次いで「キッズ携帯」の22.2%、「携帯ゲーム機」の22.0%となっている。

学年別にみると、「スマートフォン」の所有割合は中学生以上では95%を超えている。また、小学生（1～3年生）・小学生（4～6年生）においても「スマートフォン」の所有割合は60%を超え、「キッズ携帯」を上回っている。



【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「スマートフォン」の所有割合は同程度（令和7年度 83.5%／令和6年度 83.4%）となっている。

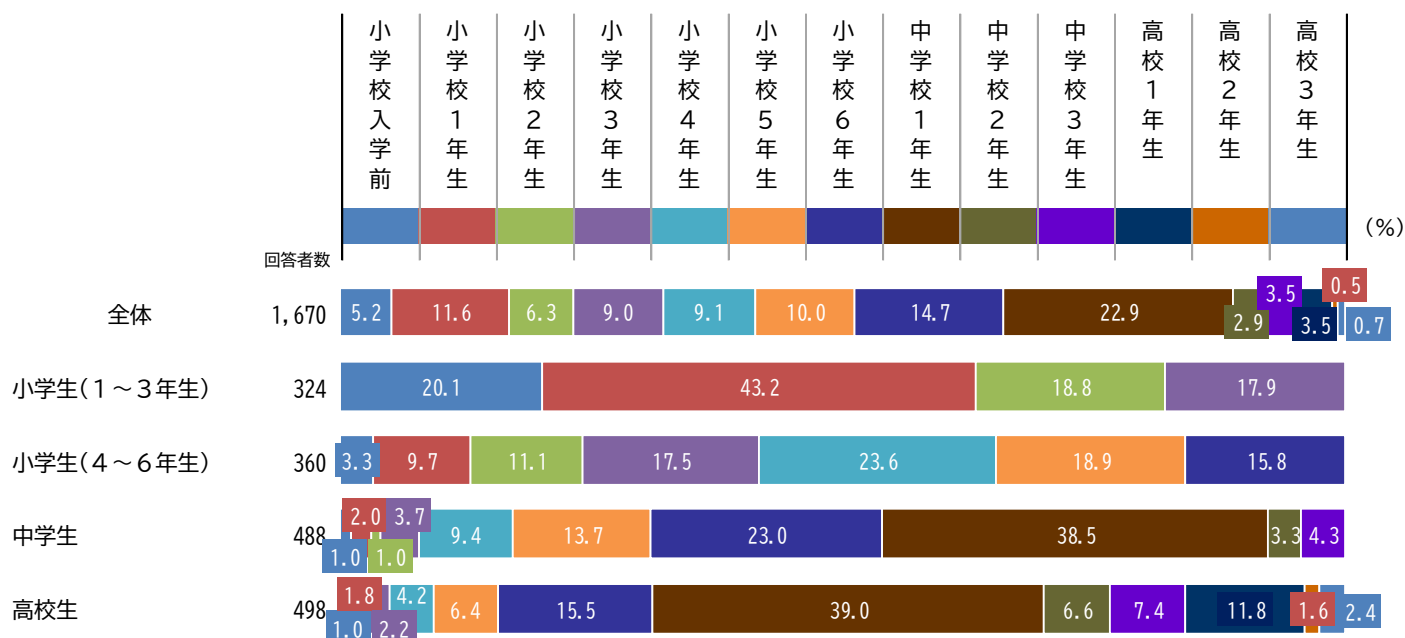


(2) スマートフォンを所有させた時期

※Q1で【スマートフォン】と回答した方に伺います。

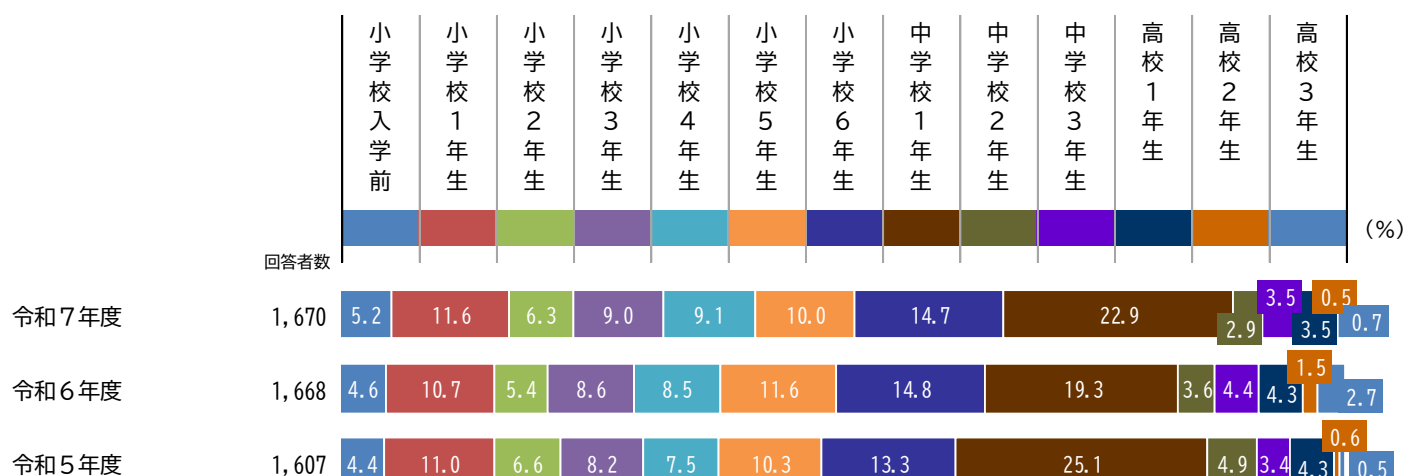
Q2. お子さんに、初めてスマートフォンを所有（お子さん専用のものとして）させた時期はいつですか。

全体では、「中学校1年生」が22.9%と最も高く、次いで「小学校6年生」の14.7%、「小学校1年生」の11.6%となっている。



【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、中学校入学前（小学校入学前～小学校6年生）に持たせ始めている割合は、令和7年度は65.9%、令和6年度は64.2%、令和5年度は61.3%となり、増加傾向がみられる。

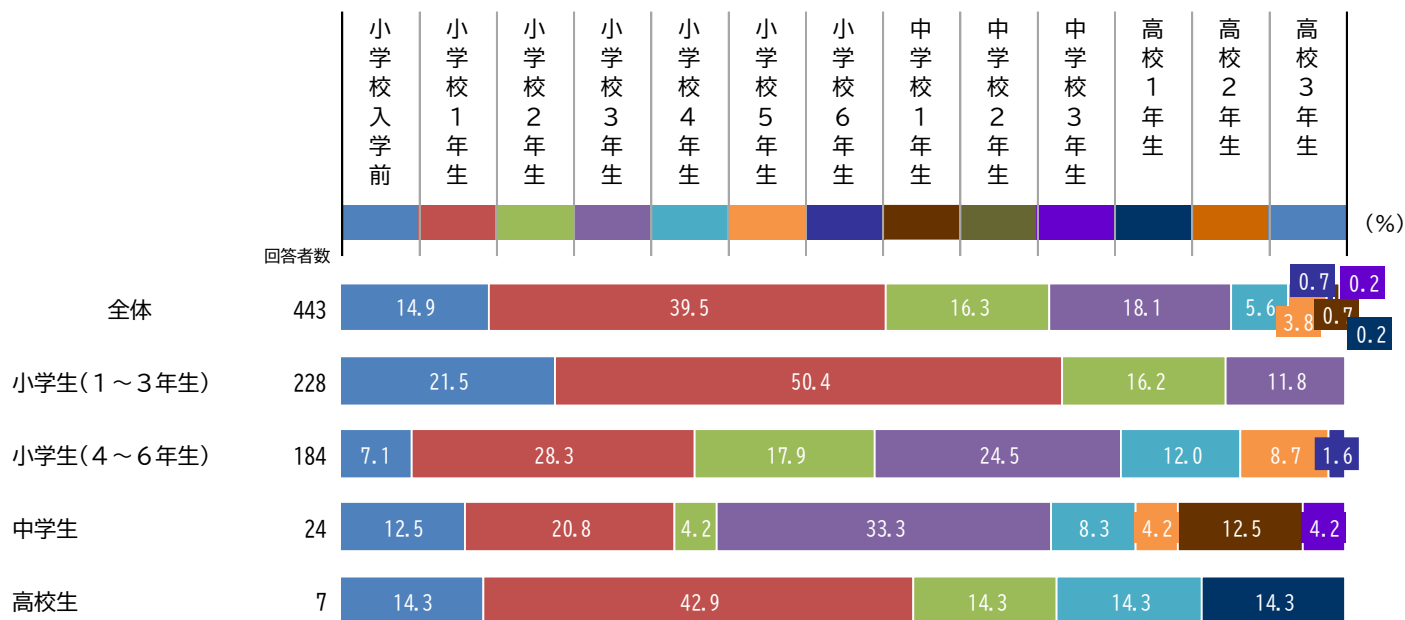


(3) キッズ携帯を所有させた時期

※Q1で【キッズ携帯】と回答した方に伺います。

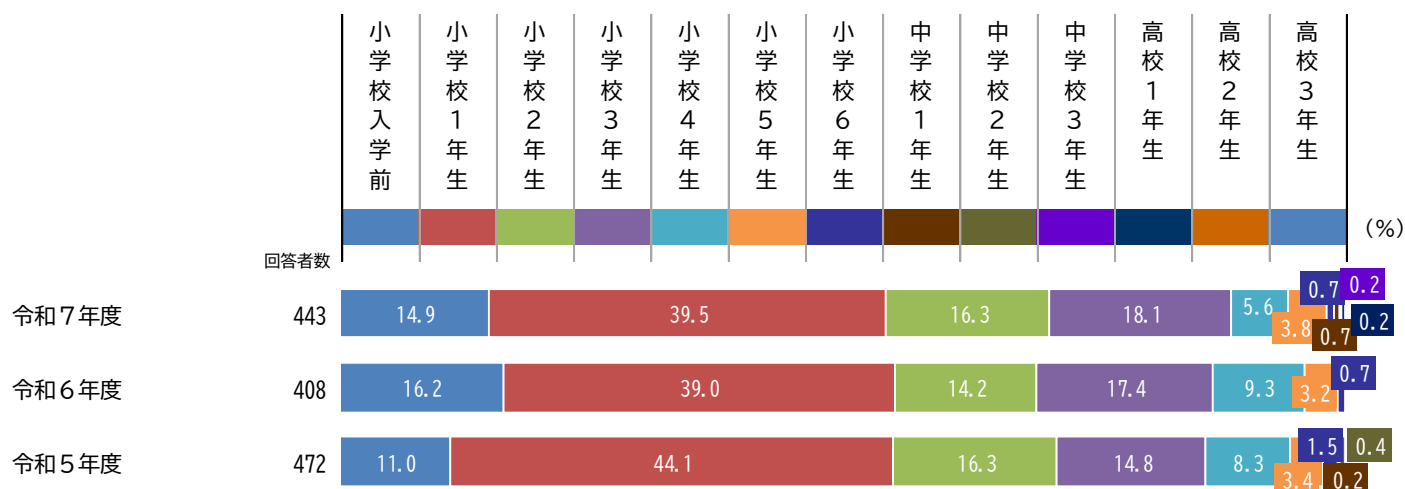
Q3. お子さんに、初めてキッズ携帯を所有（お子さん専用のものとして）させた時期はいつですか。

全体では、「小学校1年生」が39.5%と最も高く、次いで「小学校3年生」の18.1%、「小学校2年生」の16.3%となっている。54.4%は小学校1年生までに、94.4%は小学校4年生までに持たせ始めている。



【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、小学校1年生までに持たせ始めている割合（令和7年度 54.4%/令和6年度 55.2%/令和5年度 55.1%）に大きな変化はみられない。



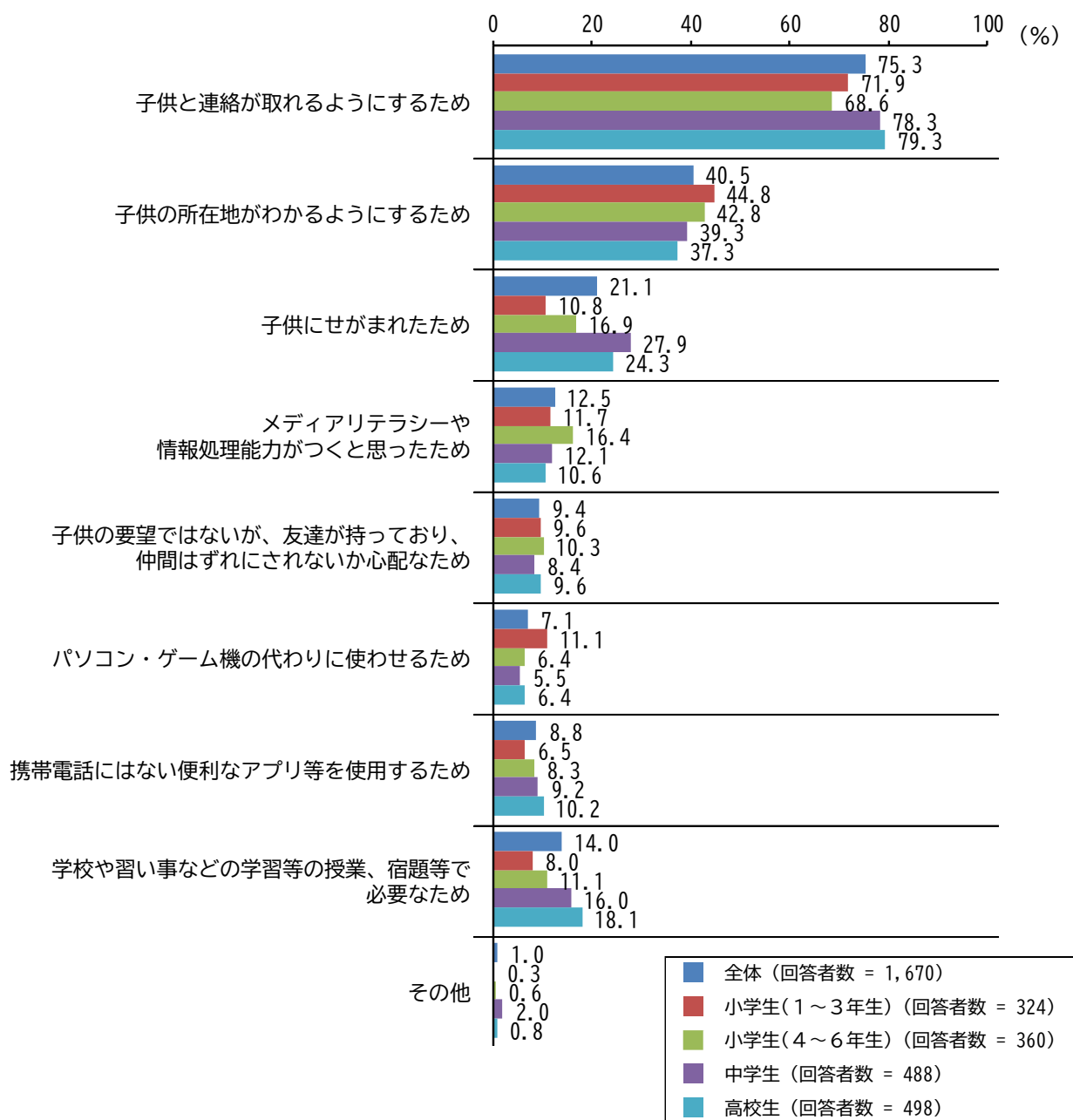
(4) スマートフォンを所有させた理由

※Q1で【スマートフォン】と回答した方に伺います。

Q4. お子さんにスマートフォンを所有させた理由（きっかけ）は何ですか。（いくつでも）

全体では、「子供と連絡が取れるようにするため」が75.3%と最も高く、次いで「子供の所在地がわかるようにするため」の40.5%、「子供にせがまれたため」の21.1%となっている。

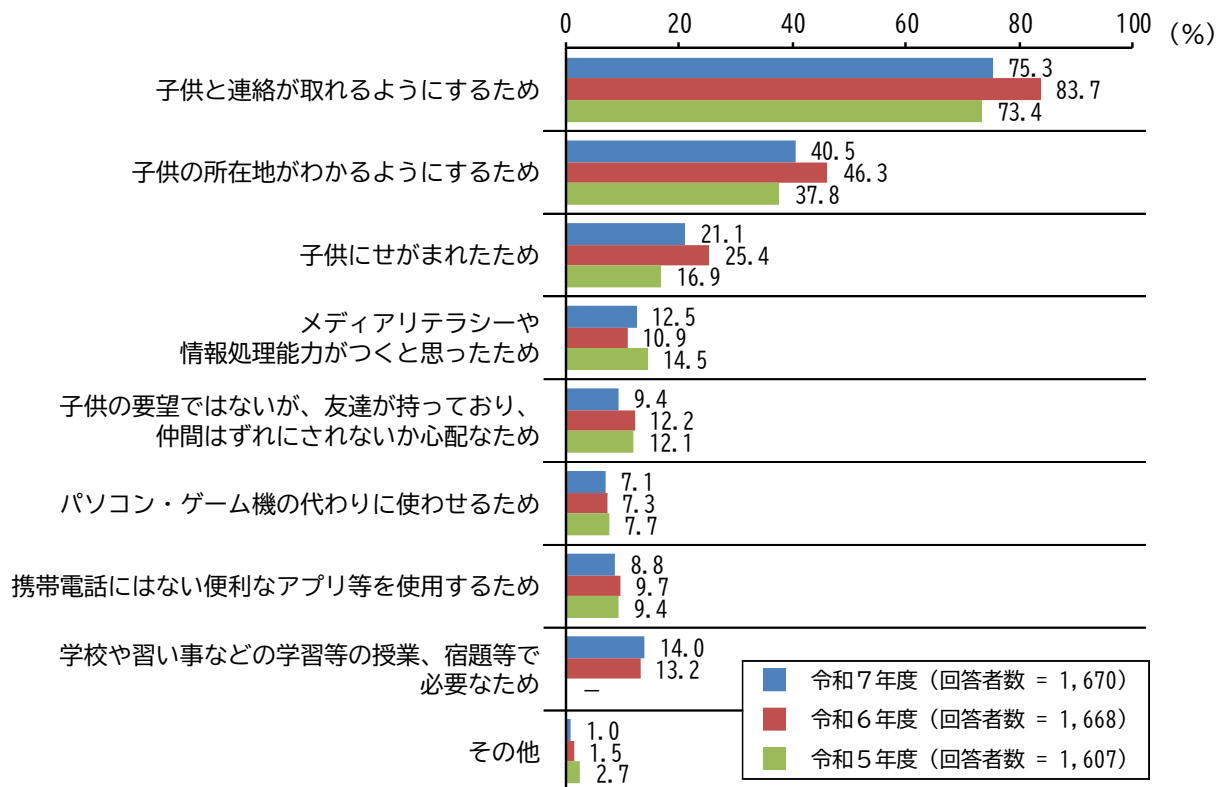
学年別にみると、「子供の所在地がわかるようにするため」では、小学生（1～3年生）・小学生（4～6年生）で相対的に高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・キッズ携帯が壊れたため	1件
・ジュニア携帯からの機種変	1件
・それしかなかった	1件
・なんとなく	1件
・もうすぐ中学生になるから	1件
・モバイル定期券	1件
・一つ余ったため	1件
・学割を適用させなかったため	1件
・固定電話が無い	1件
・私の iPhone を機種変しようとしたら子供の名前で新規契約したほうが安いとわかり、その流れで機種変前の iPhone を子供に渡すことになった	1件
・塾の目標達成ができたため	1件
・親子割	1件
・中学校の部活の連絡がラインのため	1件
・年齢	1件
・費用対効果を考慮した結果	1件
・部活の連絡を受けるため	1件
・友達と連絡を取るため	1件
計	17件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「子供と連絡が取れるようにするため」は8.4ポイント、「子供の所在地がわかるようにするため」は5.8ポイント減少している。



※前々回（令和5年度）の調査では、「学校や習い事などの学習等の授業、宿題等が必要なため」の選択肢は設定していないため、比較値はなし。

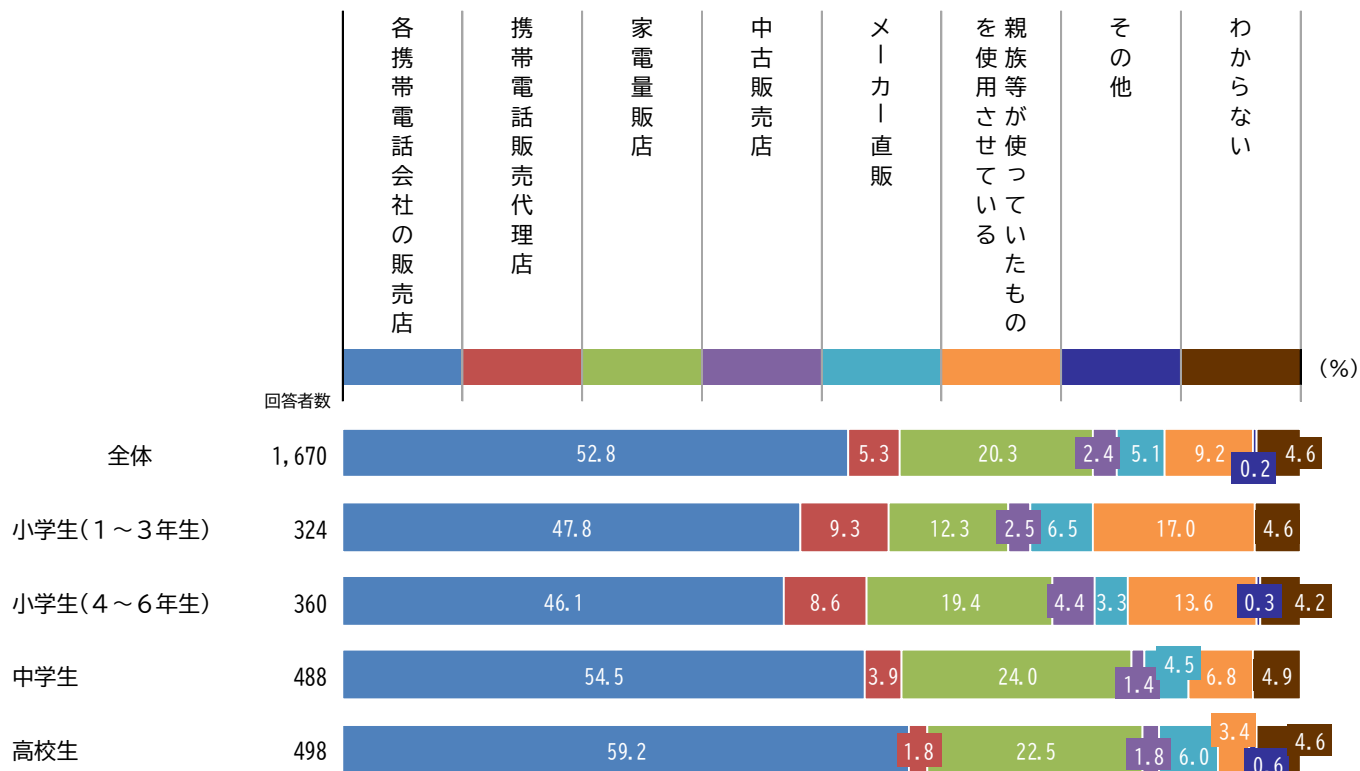
(5) スマートフォンの購入場所

※Q1で【スマートフォン】と回答した方に伺います。

Q5. お子さんが所有しているスマートフォンは、どこで購入等されましたか。
 ※インターネットで購入した方は、その店舗のカテゴリーで回答してください。

全体では、「各携帯電話会社の販売店」が52.8%と最も高く、次いで「家電量販店」の20.3%、「親族等が使っていたものを使用させている」の9.2%となっている。

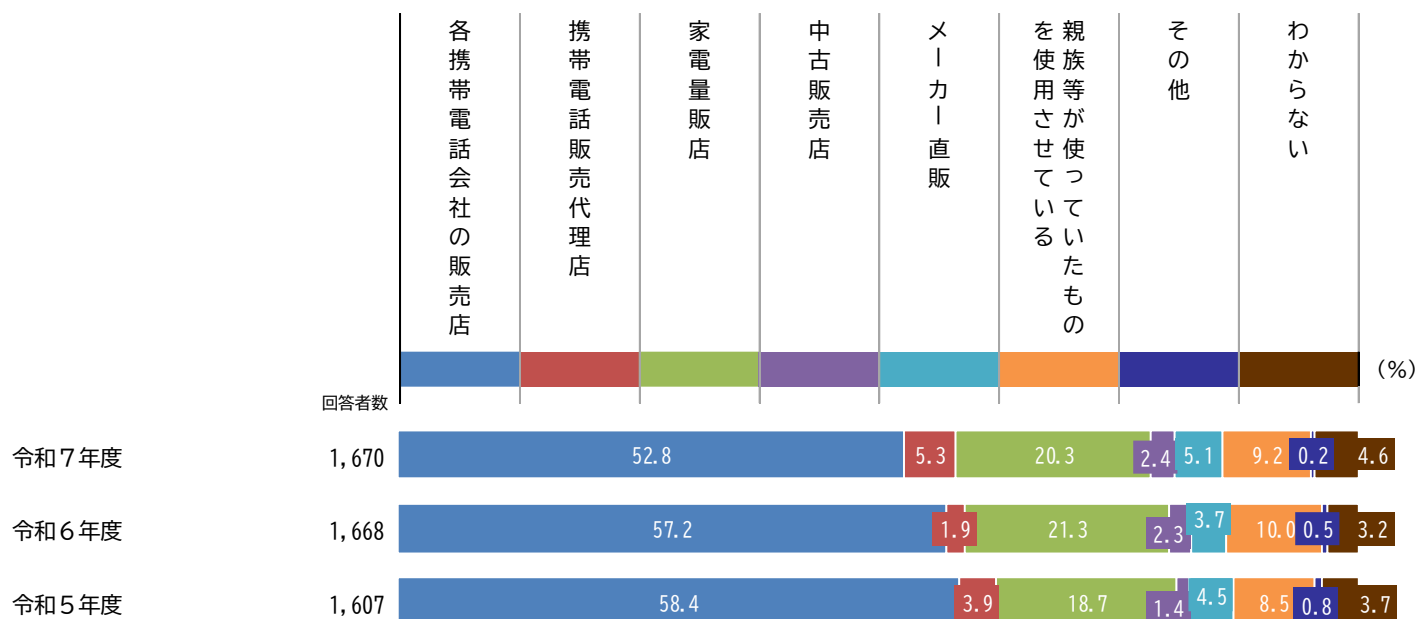
学年別にみると、小学生(1～3年生)・小学生(4～6年生)では「親族等が使っていたものを使用させている」が10%以上となり、中学生・高校生と比べて高い割合を示している。



その他 (具体的な内容)	件数
・EC サイト	1件
・フリマ	1件
・ホームセンター (シマホ)	1件
・メルカリ	1件
計	4件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「各携帯電話会社の販売店」は減少傾向みられる。一方で、「携帯電話販売代理店」は3.4ポイント増加している。



2. スマートフォン等の利用状況について

(1) 子供のスマートフォンの1日の使用時間

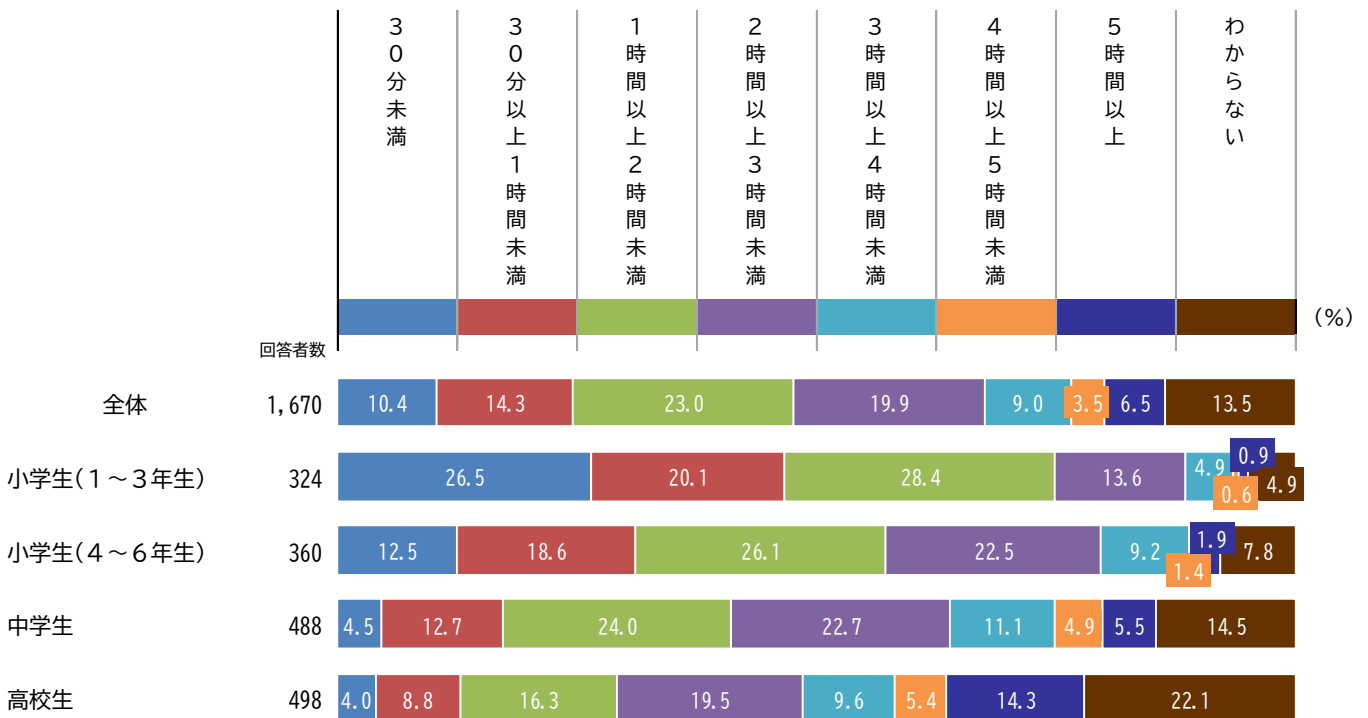
※Q1で【スマートフォン】と回答した方に伺います。

Q6. お子さんは、スマートフォンを1日にどれくらい使用していますか。

※ただし、オンライン学習に使用した時間は含まない。

全体では、「1時間以上2時間未満」が23.0%と最も高く、次いで「2時間以上3時間未満」の19.9%、「30分以上1時間未満」の14.3%となっている。

学年別にみると、小学生(1～3年生)では2時間未満が75.0%を占めるが、学年が上がるにつれて使用時間は長くなり、高校生では2時間未満が29.1%となっている。高校生では「わからない」が22.1%となり、他の学年と比べて高い割合を示している。



【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「2時間以上（2時間以上～5時間以上）使用する」は、令和7年度は38.9%（令和6年度は33.8%/令和5年度は36.8%）となり、約40%となっている。



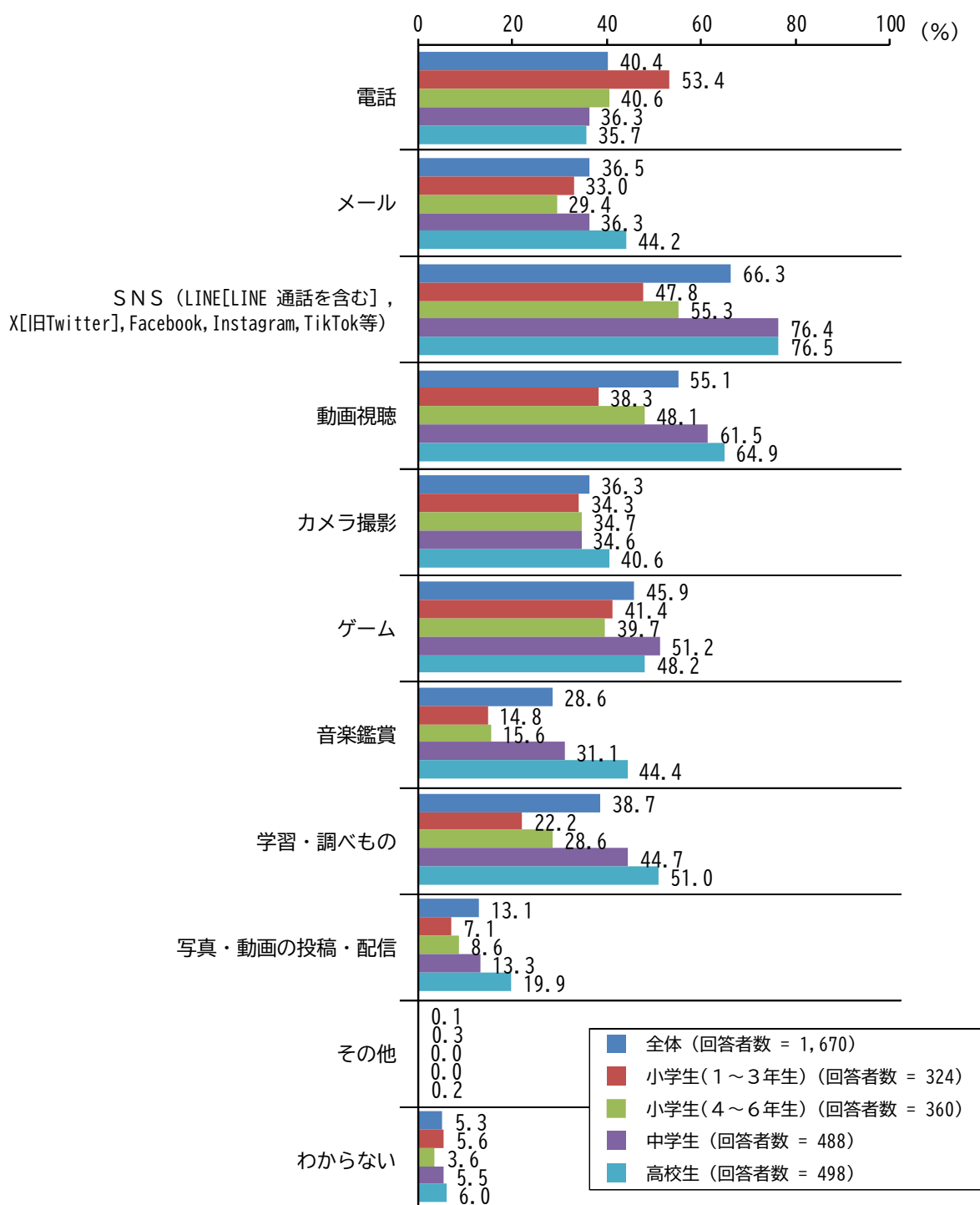
(2) 子供のスマートフォンの主な使用目的

※Q1で【スマートフォン】と回答した方に伺います。

Q7. お子さんは、スマートフォンで主に何をしていますか。(いくつでも)

全体では、「SNS (LINE[LINE 通話を含む], X[旧 Twitter], Facebook, Instagram, TikTok 等)」が66.3%と最も高く、次いで「動画視聴」の55.1%、「ゲーム」の45.9%となっている。

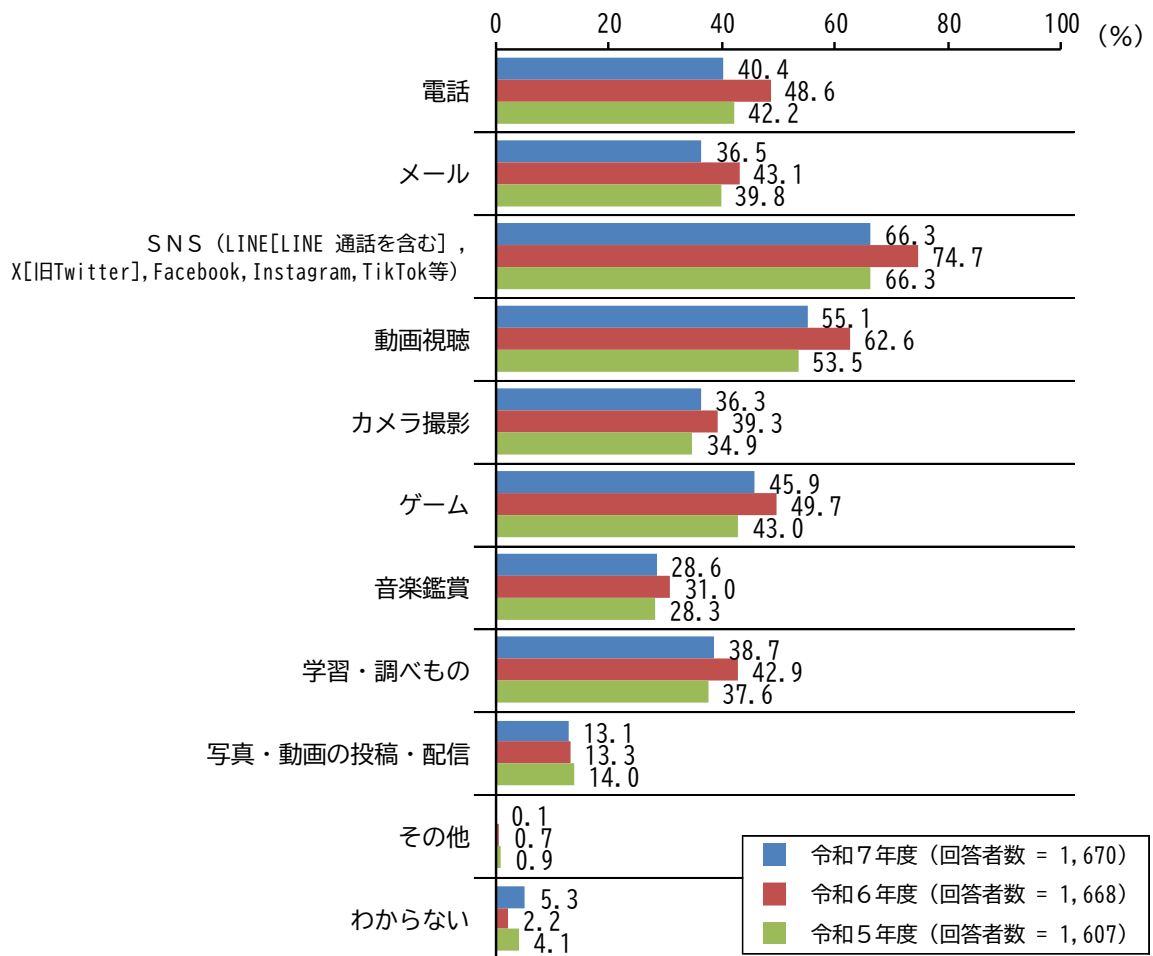
学年別にみると、中学生・高校生では「SNS (LINE[LINE 通話を含む], X[旧 Twitter], Facebook, Instagram, TikTok 等)」が75%を超え高い割合を示している。「動画視聴」「音楽鑑賞」「学習・調べもの」「写真・動画の投稿・配信」は学年が上がるにつれて、利用が増加している。小学生(1～3年生)では「電話」が53.4%と最も高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・ GPS	1 件
・ 絵を描く	1 件
計	2 件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「SNS（LINE[LINE 通話を含む], X[旧Twitter], Facebook, Instagram, TikTok等）」は8.4ポイント、「電話」は8.2ポイント、「動画視聴」は7.5ポイント、「メール」は6.6ポイント減少している。

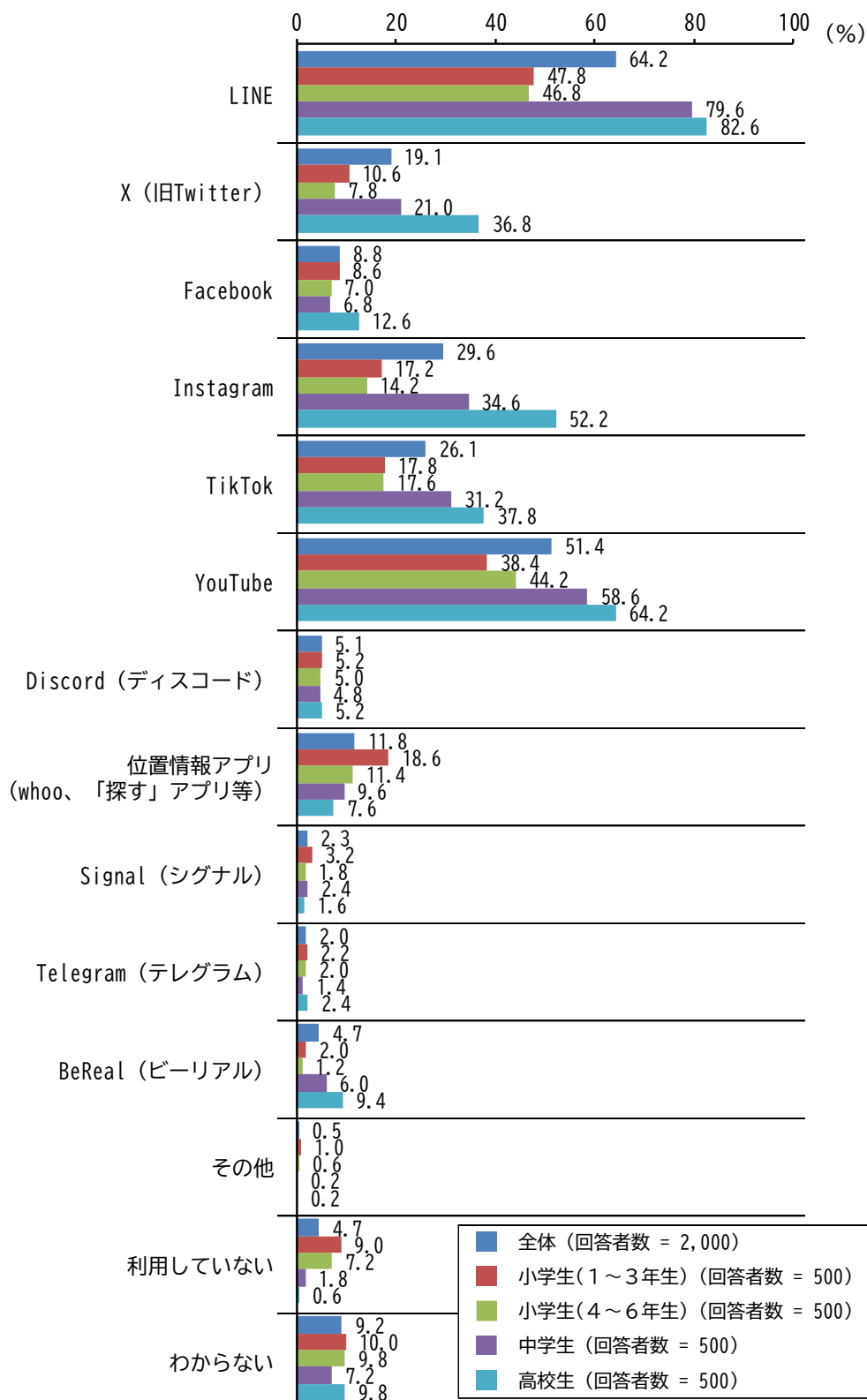


(3) 子供が利用しているSNS

Q8. お子さんが利用しているSNSは次のうちどれですか。(いくつでも)

全体では、「LINE」が64.2%と最も高く、次いで「YouTube」の51.4%、「Instagram」の29.6%となっている。

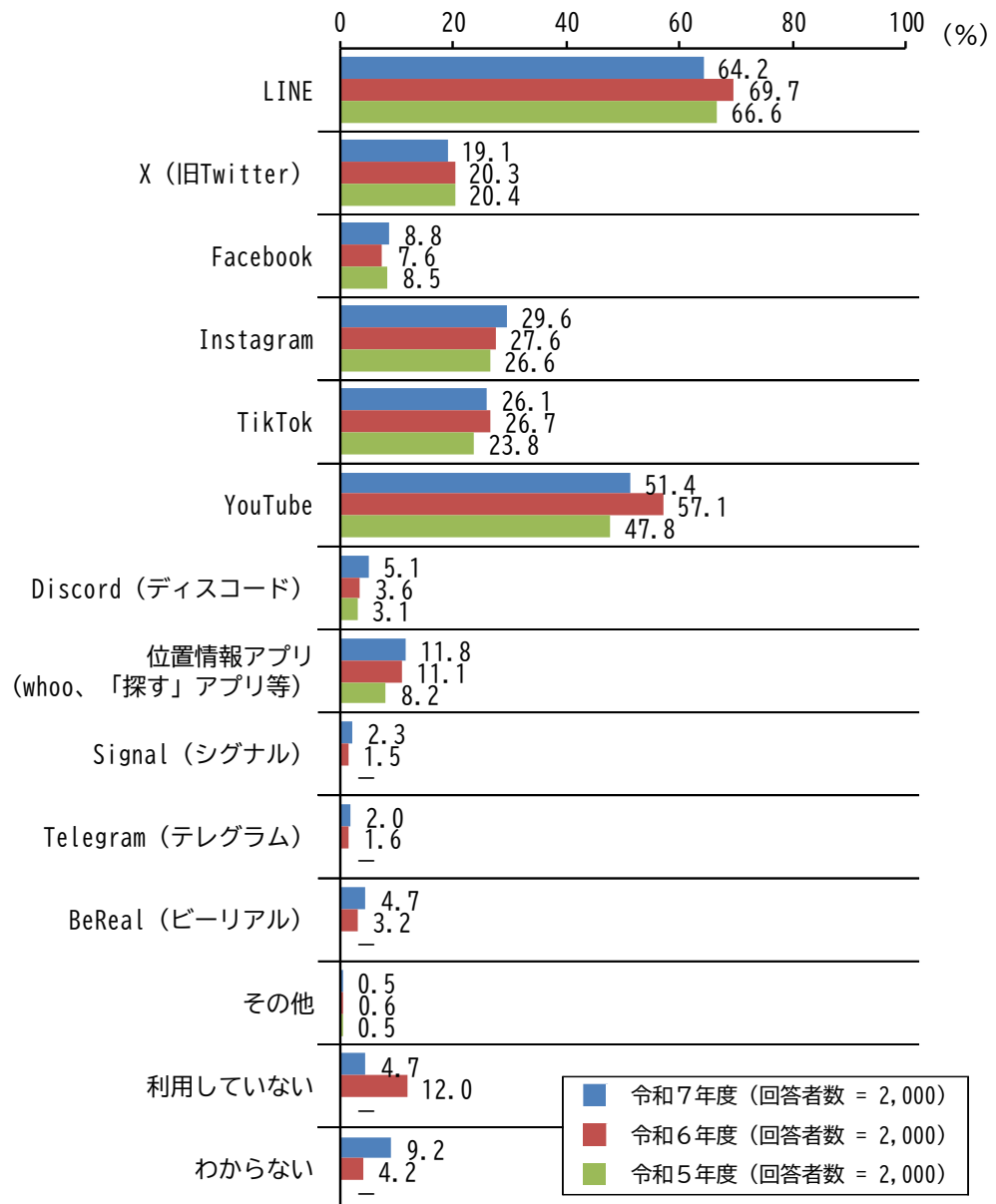
学年別にみると、中学生・高校生では「利用していない」「わからない」の合計は約10%となり、小学生（1～3年生）・小学生（4～6年生）と比べて低い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・+メッセージ	4件
・Pinterest	2件
・JusTalk	1件
・Roblox	1件
・SMS	1件
・Teams	1件
計	10件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「わからない」は5.0ポイント増加している。一方で、「利用していない」は7.3ポイント、「YouTube」は5.7ポイント、「LINE」は5.5ポイント減少している。



※前々回 (令和5年度) の調査では、「Signal (シグナル)」「Telegram (テレグラム)」「BeReal (ビーリアル)」の選択肢は設定していないため、比較値はなし。

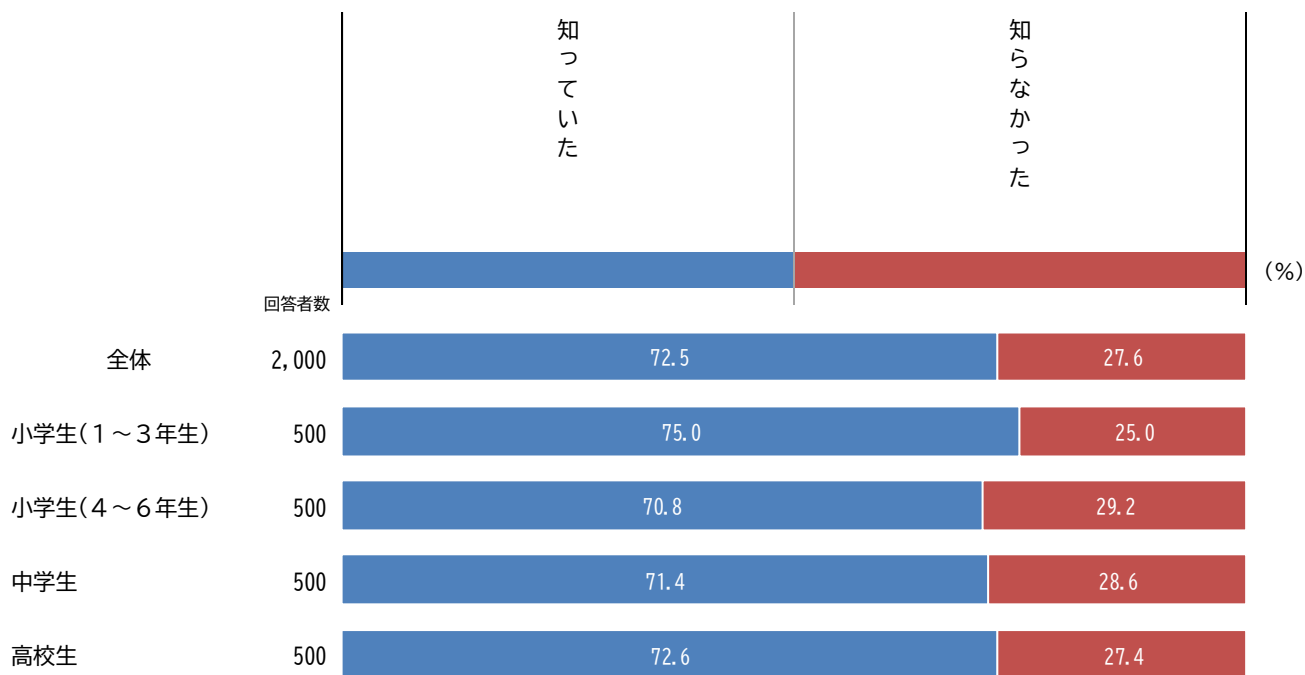
また、「利用していない」「わからない」の選択肢は、「利用していない・わからない」として1つの選択肢で聴取しているため、比較値はなし。

※前回 (令和6年度)、前々回 (令和5年度) の調査では、「位置情報アプリ (whoo、「探す」アプリ等)」の選択肢は、「位置情報アプリ (NauNau、whoo、「探す」アプリ等)」として聴取。

(4) SNS利用に関する年齢制限の認知

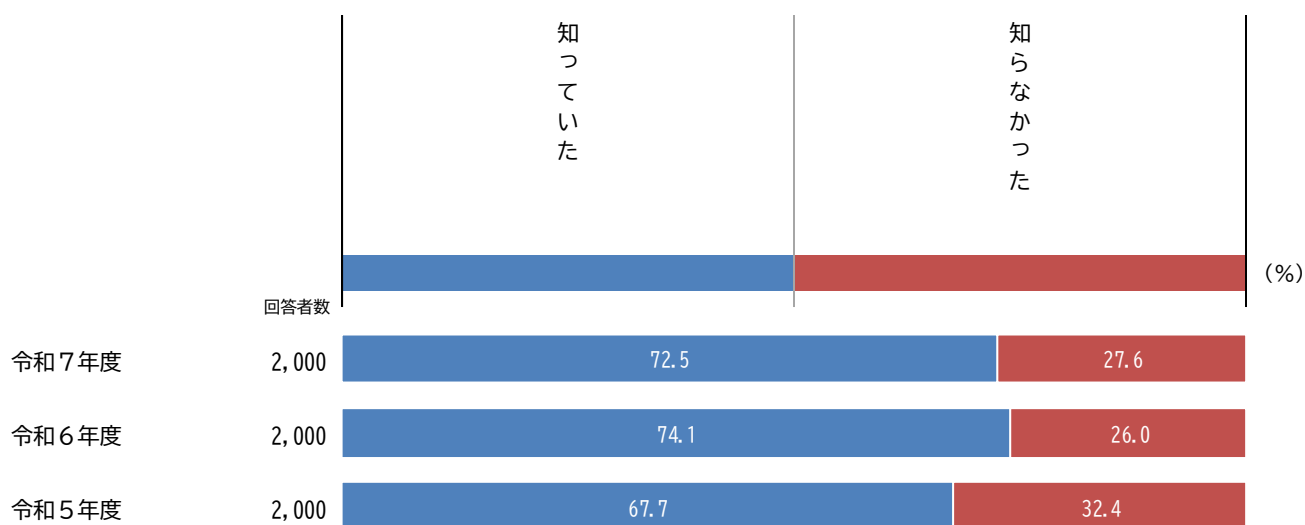
Q9.一部のSNSに、利用規約上、年齢制限等があることを知っていますか。
 ※X(旧Twitter), Facebook, Instagram, TikTok, YouTube, Discordは13歳以上
 ※LINEの利用推奨年齢は12歳以上

全体では、「知っていた」が72.5%、「知らなかった」が27.6%となっている。
 学年別でも、大きな差異はみられない。



【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「SNSの利用に関する年齢制限の認知」の割合に大きな変化はみられない。

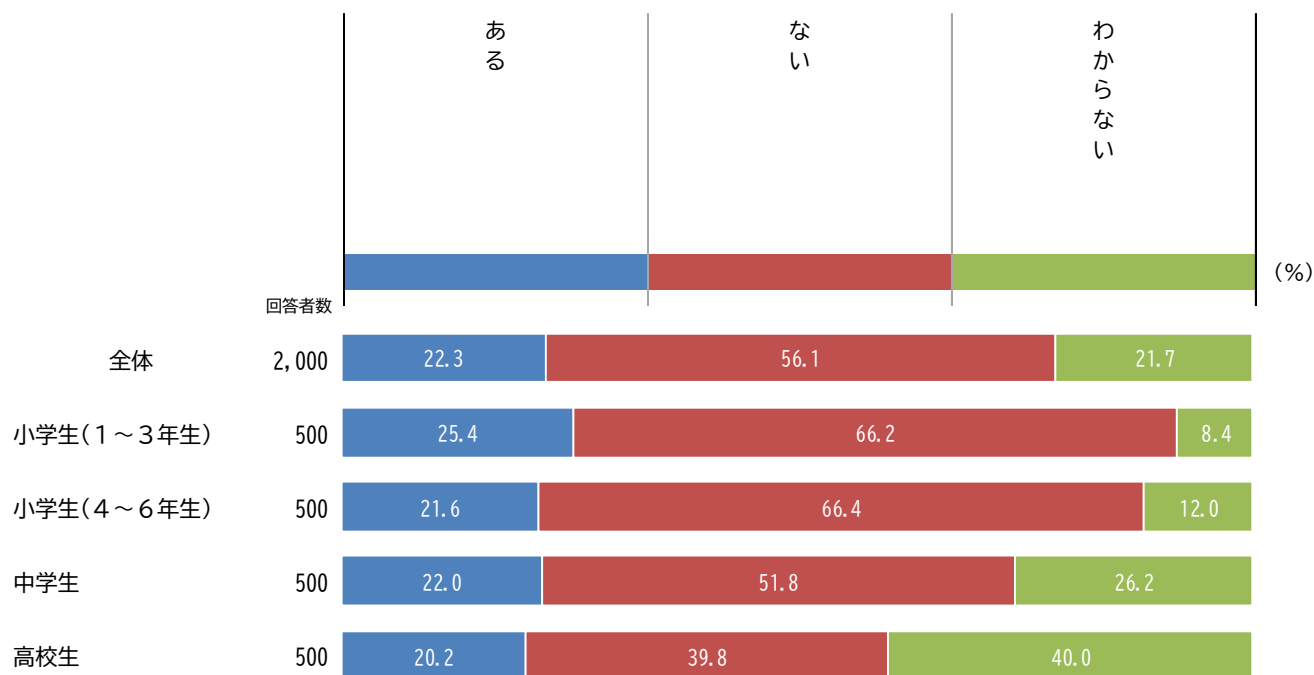


(5) SNS等を通じた知らない人とのやり取りの有無

Q10. お子さんが、SNSやインターネットを通じて知らない人とやり取りをしたことがありますか。※「いいね」等のボタンをクリックするだけのものは除きます。

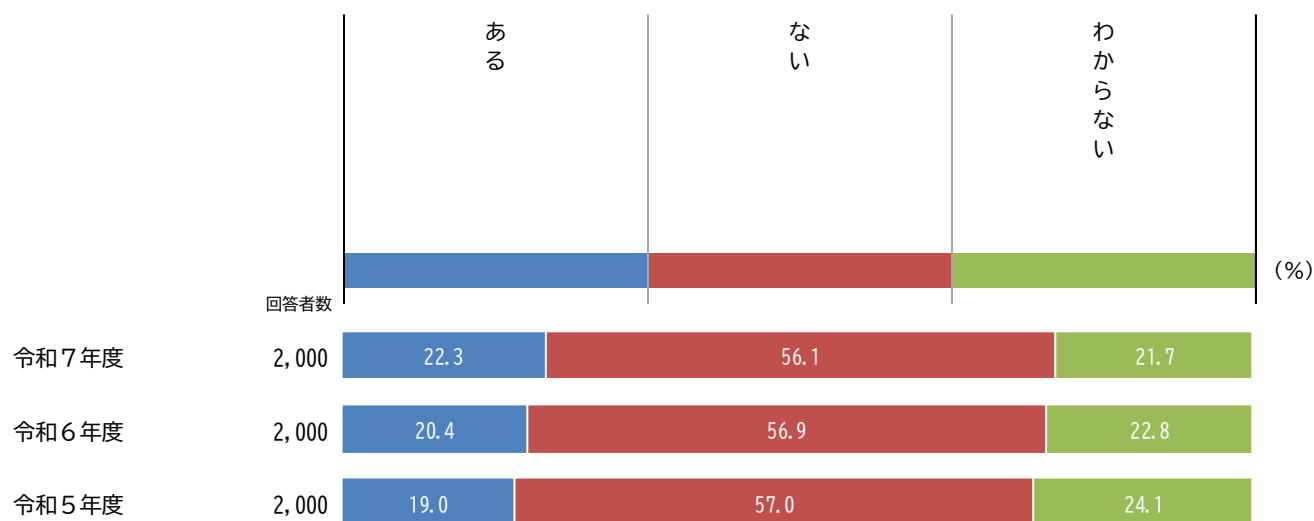
全体では、「ない」が56.1%と最も高く、次いで「ある」の22.3%、「わからない」の21.7%となっている。

学年別にみると、「ない」は、小学生(1～3年生)で66.2%、小学生(4～6年生)で66.4%と高い割合を示すが、学年が上がるにつれて減少し、「わからない」の割合が増加している。



【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「SNS等を通じた知らない人とのやり取りの有無」の割合に大きな変化はみられない。



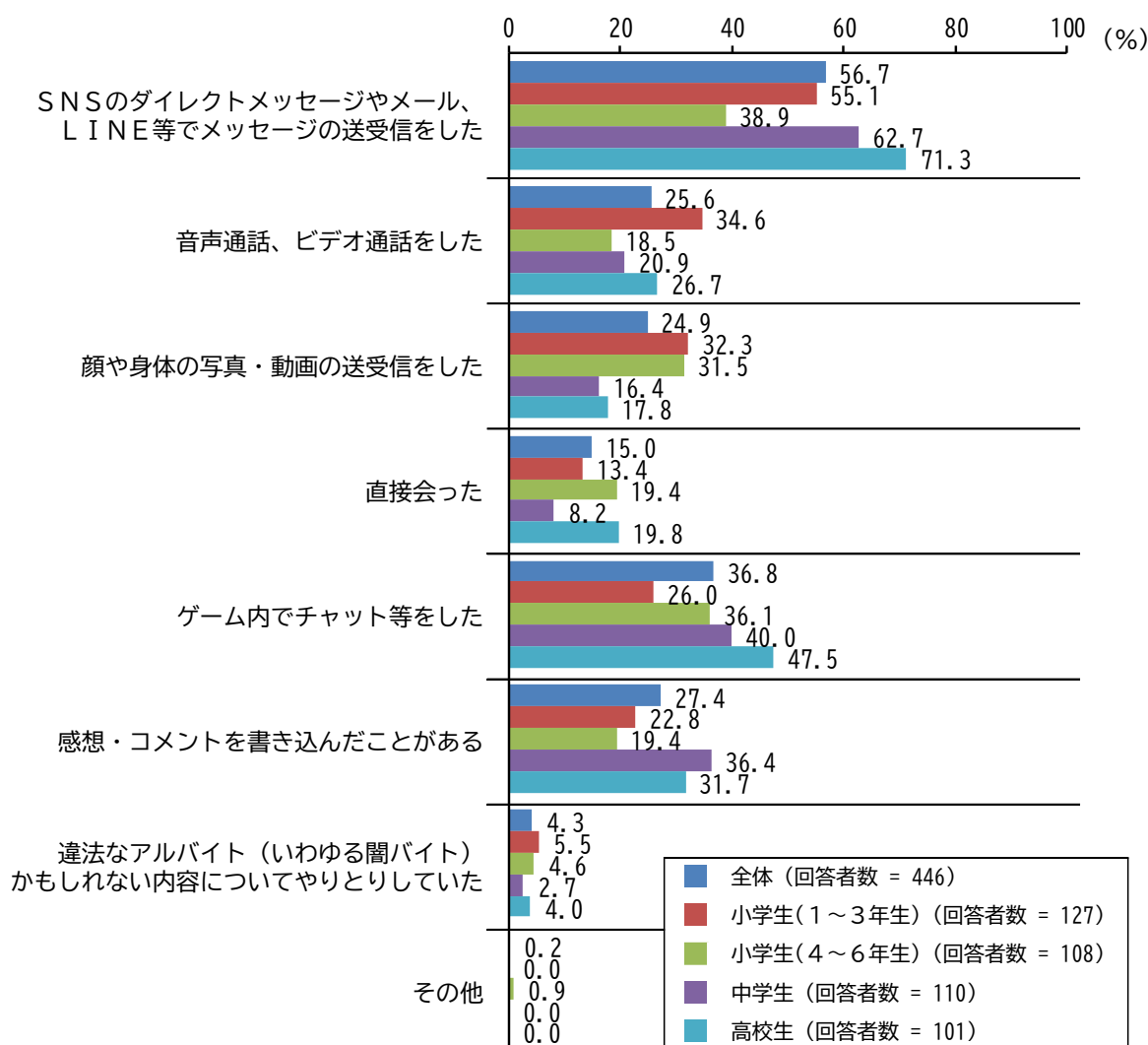
(6) 知らない人とのやり取りの内容

※Q10で【ある】と回答した方に伺います。

Q11. 知らない人とどのようなやり取りをしていましたか。(いくつでも)

全体では、「SNSのダイレクトメッセージやメール、LINE等でメッセージの送受信をした」が56.7%と最も高く、次いで「ゲーム内でチャット等をした」の36.8%、「感想・コメントを書き込んだことがある」の27.4%となっている。

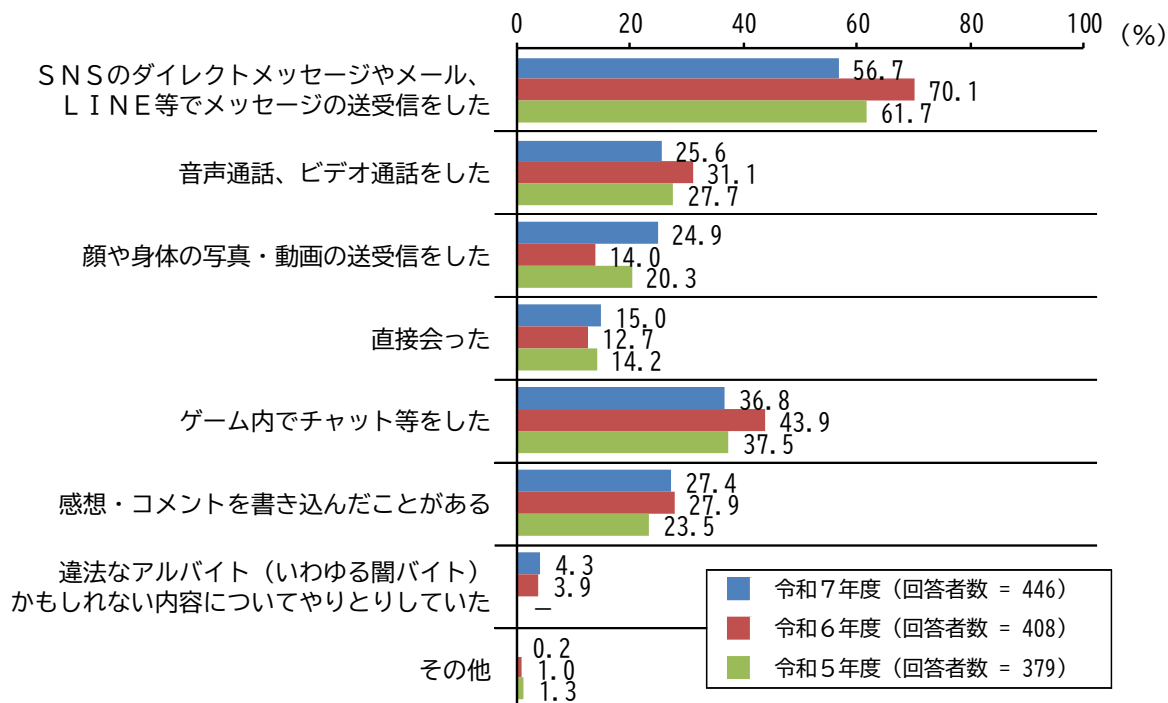
学年別にみると、小学生(1～3年生)・小学生(4～6年生)では「顔や身体の写真・動画の送受信をした」が30%以上と高い割合を示している。また、中学生・高校生では、「SNSのダイレクトメッセージやメール、LINE等でメッセージの送受信をした」が60%以上と高い割合を示している。



その他 (具体的な内容)	件数
・郵送でグッズ交換	1件
計	1件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「顔や身体の写真・動画の送受信をした」は10.9ポイント増加している。一方で、「SNSのダイレクトメッセージやメール、LINE等でメッセージの送受信をした」は13.4ポイント、「ゲーム内でチャット等をした」は7.1ポイント、「音声通話、ビデオ通話をした」は5.5ポイント減少している。



※前回 (令和6年度) の調査では、「違法なアルバイト (いわゆる闇バイト) かもしれない内容についてやりとりしていた」の選択肢は、「犯罪と関係しているかもしれないバイトや仕事のことについてやりとりしていた」として聴取。また、前々回 (令和5年度) の調査では、「犯罪と関係しているかもしれないバイトや仕事のことについてやりとりしていた」の選択肢は設定していないため、比較値はなし。

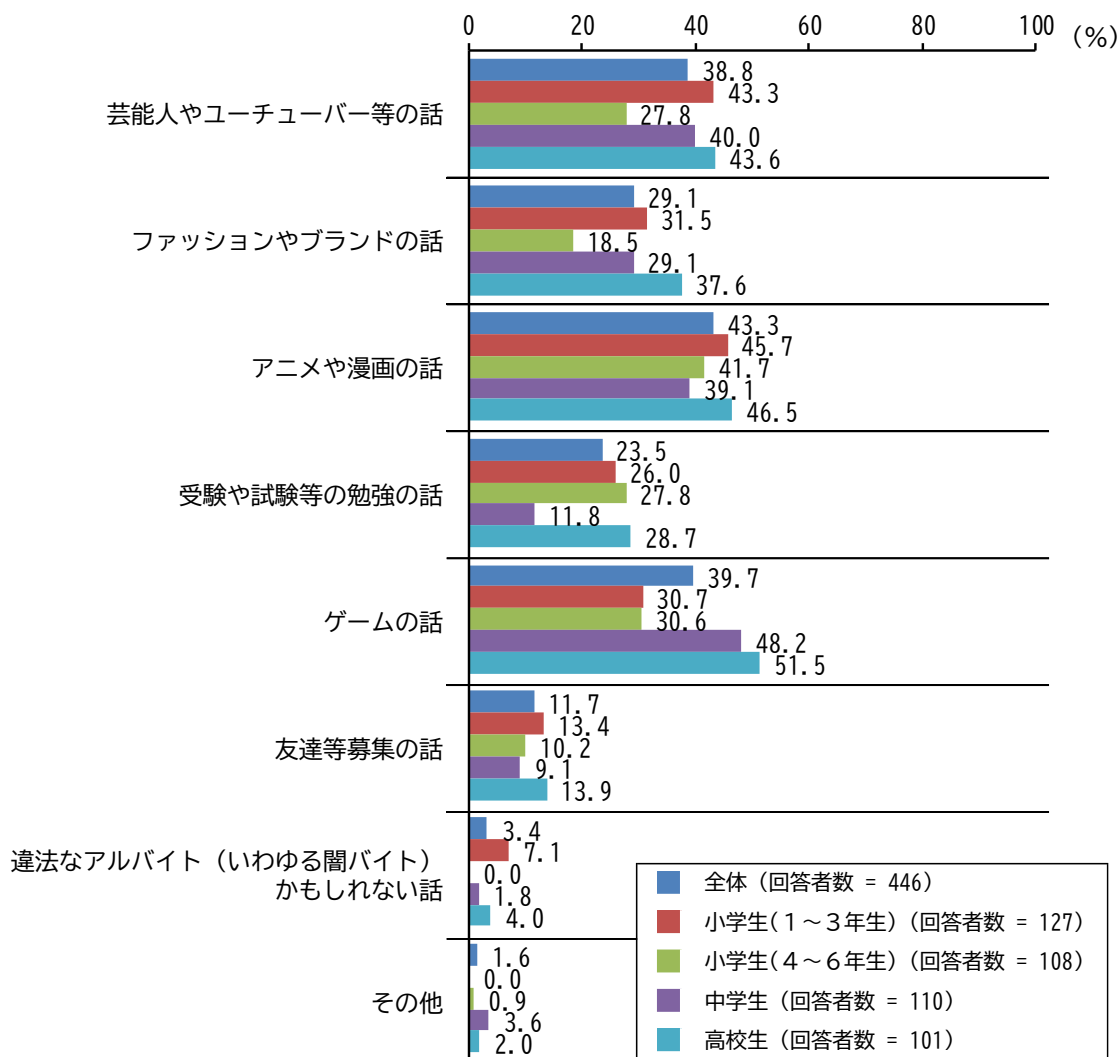
(7) 知らない人とのやり取りのきっかけ

※Q10で【ある】と回答した方に伺います。

Q12. やり取りのきっかけは、どのような話題でしたか。(いくつでも)

全体では、「アニメや漫画の話」が43.3%と最も高く、次いで「ゲームの話」の39.7%、「芸能人やユーチューバー等の話」の38.8%となっている。

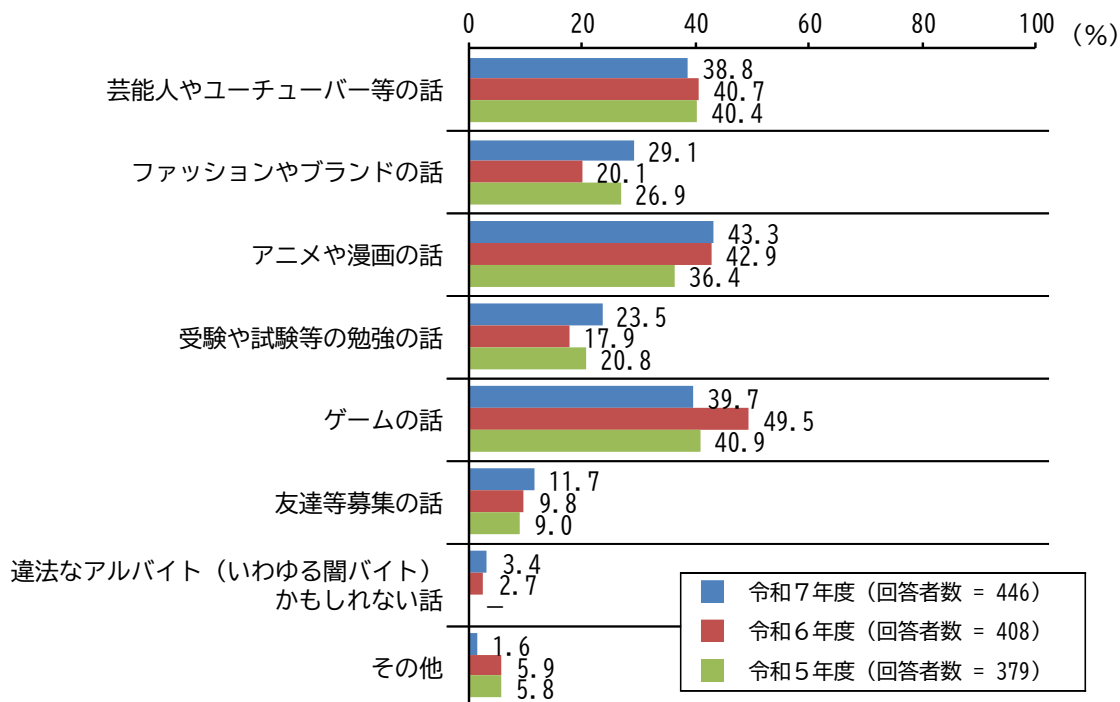
学年別にみると、小学生(1～3年生)・小学生(4～6年生)では「アニメや漫画の話」が最も高い割合を示している。また、中学生・高校生では「ゲームの話」が最も高い割合を示している。



その他 (具体的な内容)	件数
・ 趣味	1件
・ 電車の話	1件
・ 憧れの野球選手へのDM	1件
・ 配信サイト	1件
・ わからない	3件
計	7件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「ファッションやブランドの話」が9.0ポイント、「受験や試験等の勉強の話」が5.6ポイント増加している。一方で、「ゲームの話」は9.8ポイント減少している。



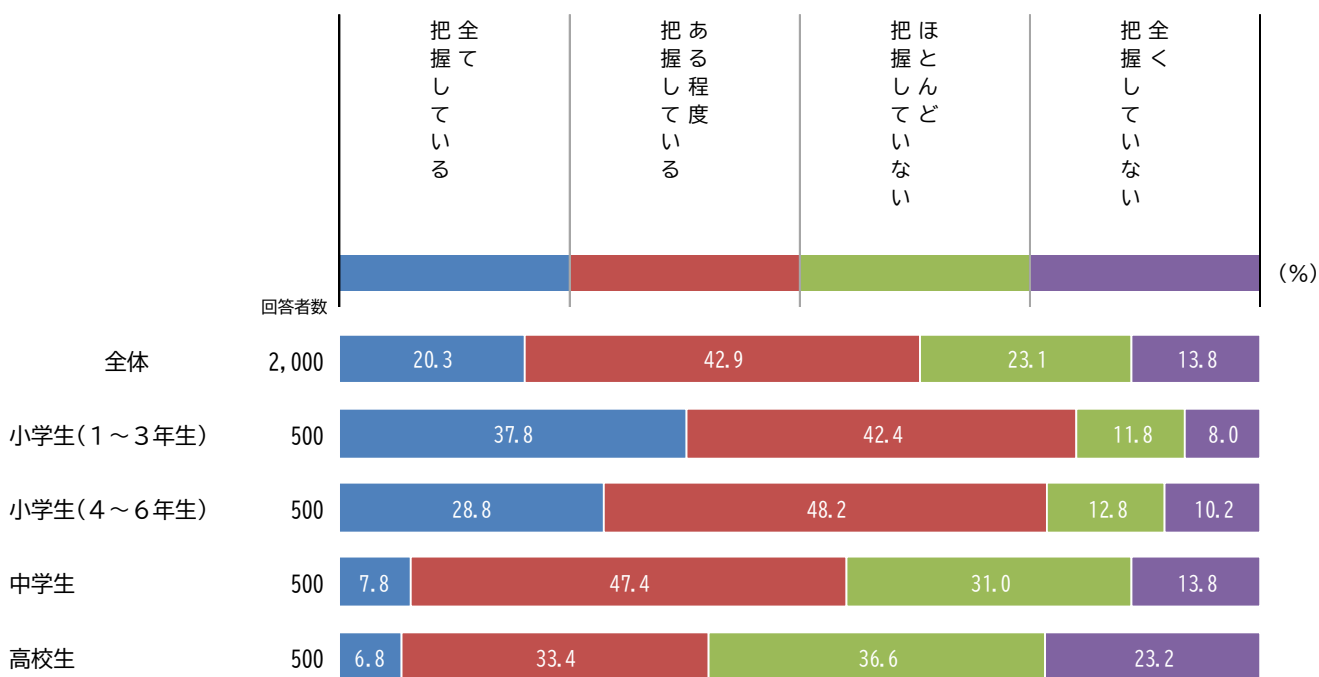
※前回 (令和6年度) の調査では、「違法なアルバイト (いわゆる闇バイト) かもしれない話」の選択肢は、「犯罪と関係しているかもしれないバイトの話」として聴取。
 また、前々回 (令和5年度) の調査では、「犯罪と関係しているかもしれないバイトの話」の選択肢は設定していないため、比較値はなし。

(8) SNS等でやり取りしている相手の把握状況

Q13. お子さんがSNSやインターネットを通じてやり取りしている相手について、どの程度把握していますか。

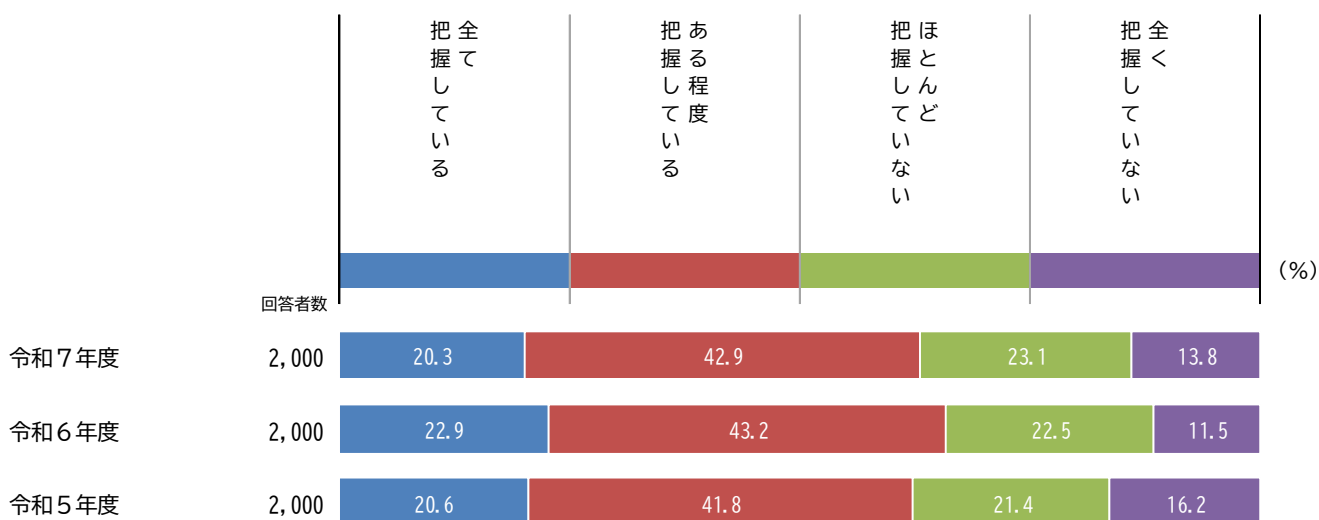
全体では、「ある程度把握している」が42.9%と最も高く、次いで「ほとんど把握していない」の23.1%、「全て把握している」の20.3%となっている。

学年別にみると、学年が上がるにつれて把握している割合は低くなっている。小学生(1～3年生)では「全て把握している」と「ある程度把握している」を合わせて80.2%が把握しているのに対し、高校生では40.2%に留まっている。



【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「SNS等でやり取りしている相手の把握状況」の割合に大きな変化はみられない。

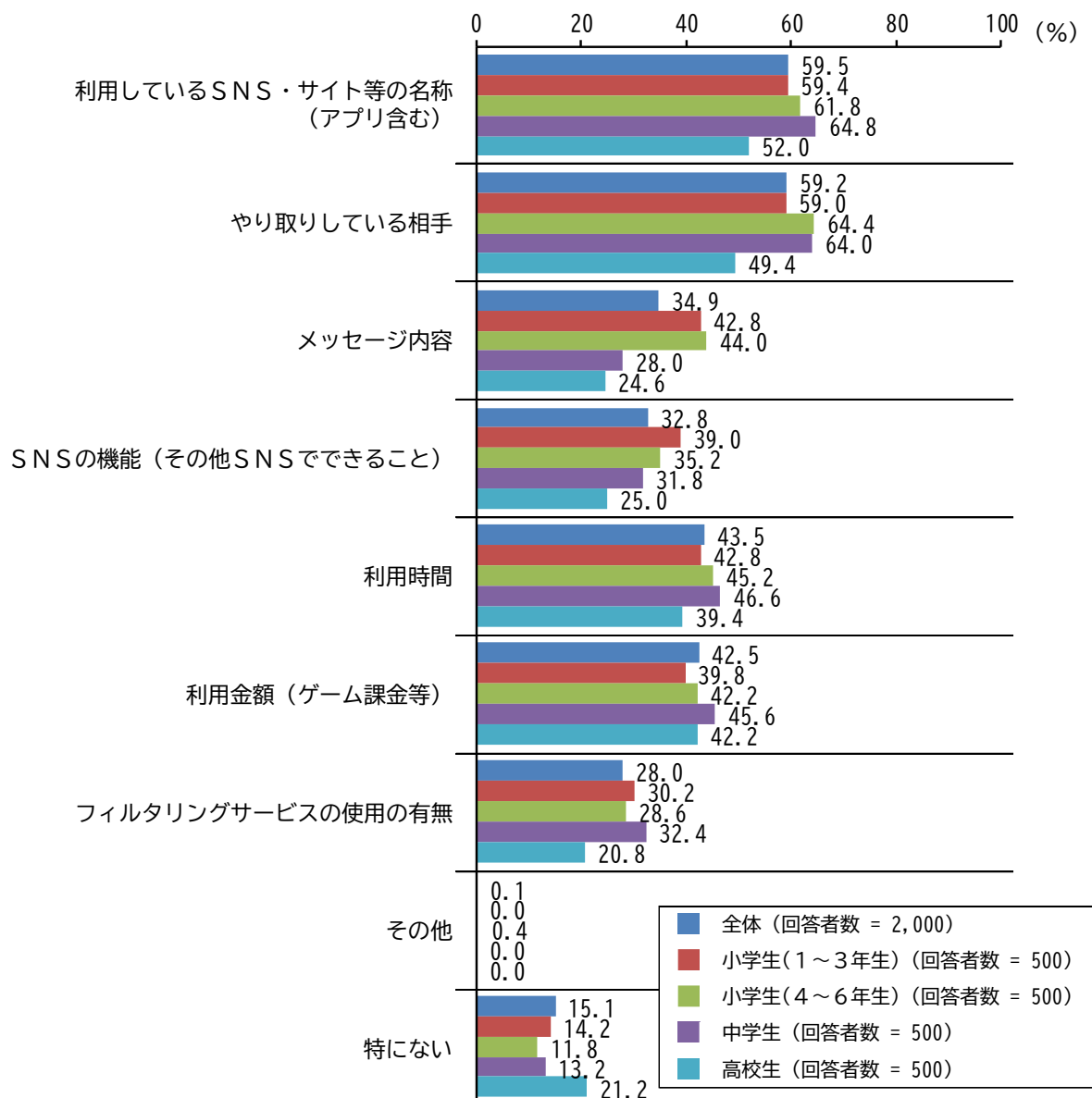


(9) 保護者が知っておいた方がよいと思うスマートフォン・SNS等の内容

Q14. お子さんが利用するスマートフォン・SNS等について、保護者が把握・管理すべきこと、知っておくべきことをすべてお選びください。(いくつでも)

全体では、「利用しているSNS・サイト等の名称（アプリを含む）」が59.5%と最も高く、次いで「やり取りしている相手」の59.2%、「利用時間」の43.5%となっている。

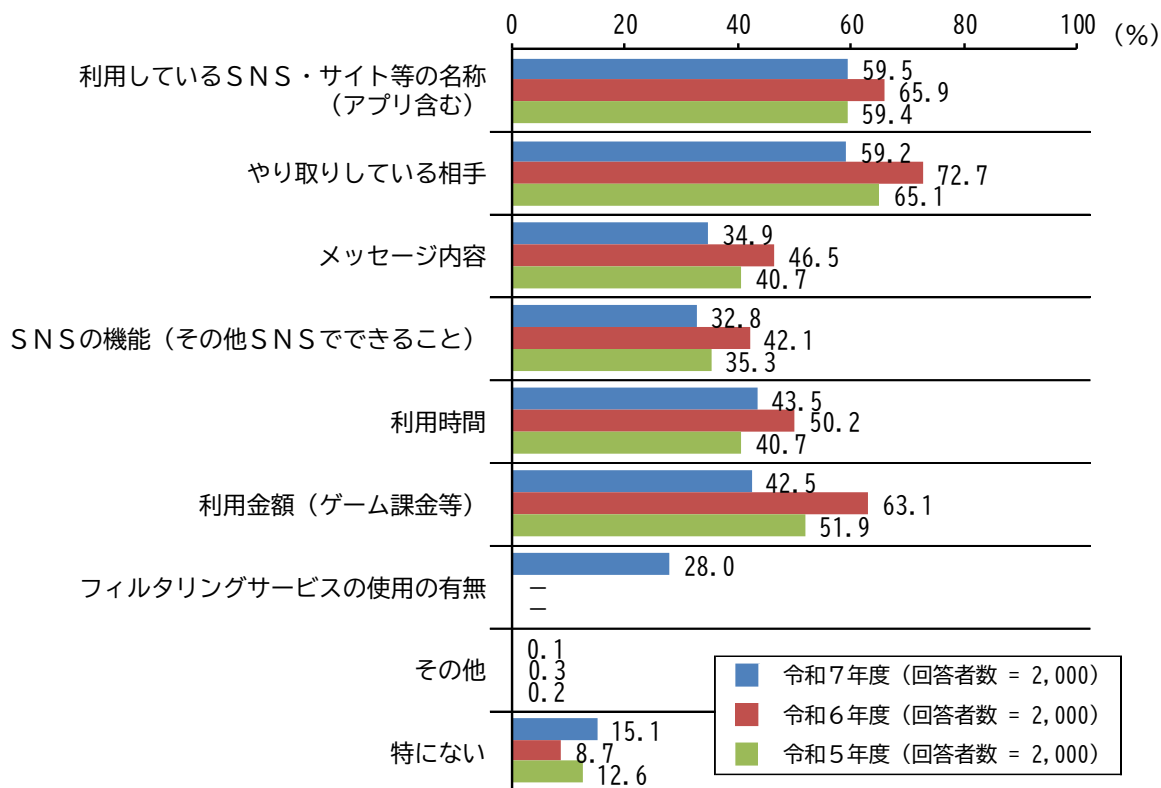
学年別にみると、小学校（1～3年生）・小学校（4～6年生）では「メッセージ内容」がそれぞれ40%を超え、中学生・高校生に比べて高い割合を示している。一方で、高校生では「特にない」が21.2%となり、他の学年と比べて高い割合を示している。



その他 (具体的な内容)	件数
・アクセスポイント	1件
・いろいろ問題があったので解約する予定	1件
計	2件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「特にない」が6.4ポイント増加している。一方で、他の項目ではいずれも5.0ポイント以上の減少がみられ、なかでも「利用金額（ゲーム課金等）」は20.6ポイント減少している。



※前回（令和6年度）、前々回（令和5年度）の調査では、「フィルタリングサービスの使用の有無」の選択肢は設定していないため、比較値はなし。

※前回（令和6年度）、前々回（令和5年度）の調査では、「利用しているSNS・サイト等の名称（アプリ含む）」の選択肢は「利用しているSNSの名称」として、「SNSの機能（その他SNSでできること）」の選択肢は「SNSの機能（そのSNSでできること）」として、「利用金額（ゲーム課金等）」の選択肢は「課金の有無」として、それぞれ回答を聴取。

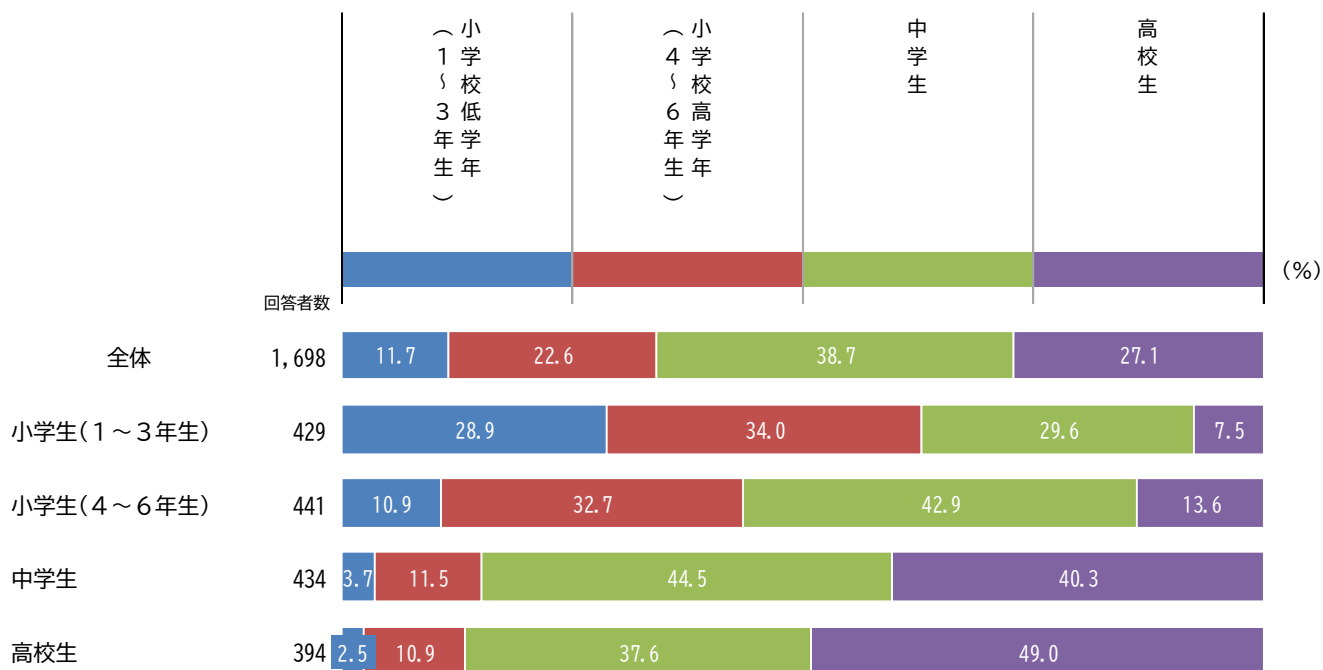
(10) 保護者が子供のSNSの内容を把握すべき年代

※Q14で【特にない】以外を回答した方に伺います。

Q15. 保護者の方がお子さんが利用するスマートフォン・SNS等の内容を把握しておくべき年代はいつまでだと思いますか。

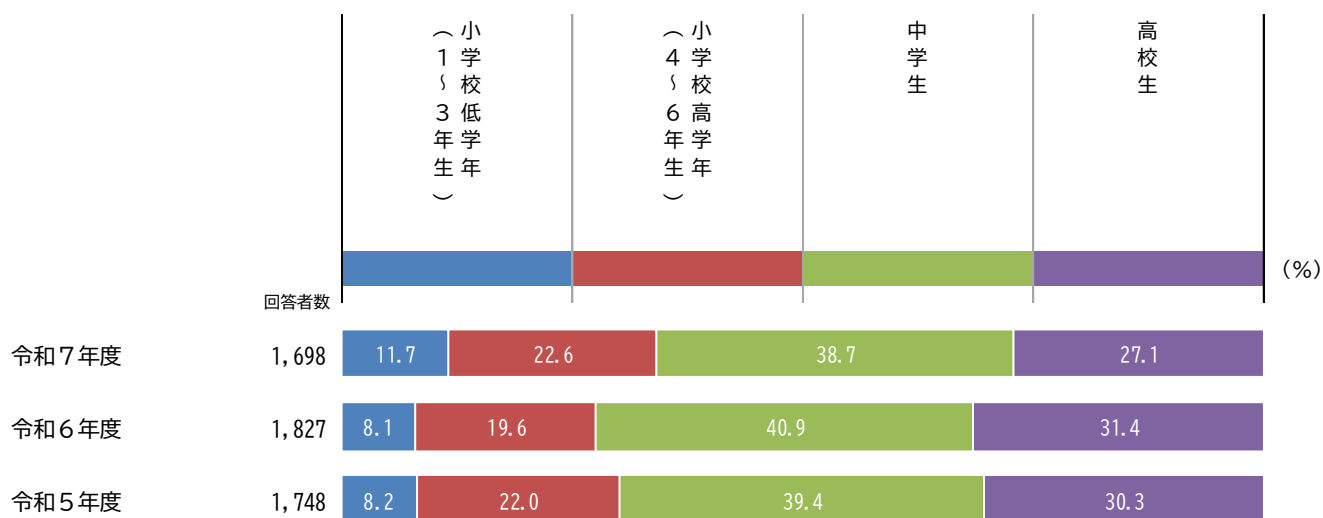
全体では、「中学生」が38.7%と最も高く、次いで「高校生」の27.1%、「小学校高学年（4～6年生）」の22.6%となっている。

学年別にみると、小学生（1～3年生）では「小学校高学年（4～6年生）」、小学生（4～6年生）・中学生では「中学生」、高校生では「高校生」が最も高い割合を示している。



【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「保護者が子供のSNSの内容を把握すべき年代」の割合に大きな変化はみられない。



※前回（令和6年度）、前々回（令和5年度）の調査では、設問文を「保護者の方がお子さんのSNSの内容を把握しておくべき年代はいつまでだと思いますか。」として聴取。

3. 影響・トラブルについて

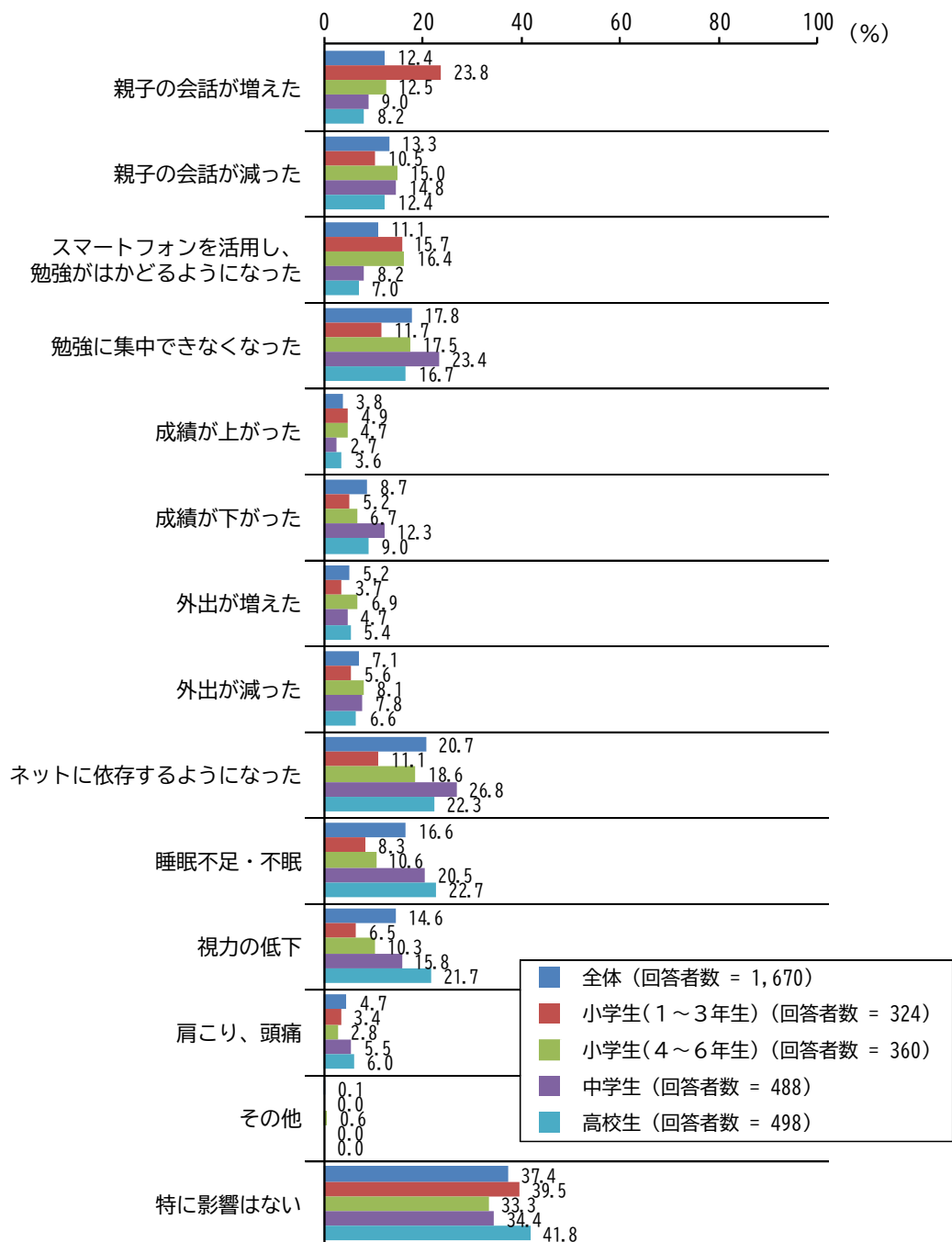
(1) スマートフォンを持たせたことによる行動や健康への影響の内容

※Q1で【スマートフォン】と回答した方に伺います。

Q16. お子さんにスマートフォンを持たせたことにより、行動や健康状態に影響がありましたか。
(いくつでも)

全体では、「特に影響はない」が37.4%と最も高く、次いで「ネットに依存するようになった」の20.7%、「勉強に集中できなくなった」の17.8%となっている。

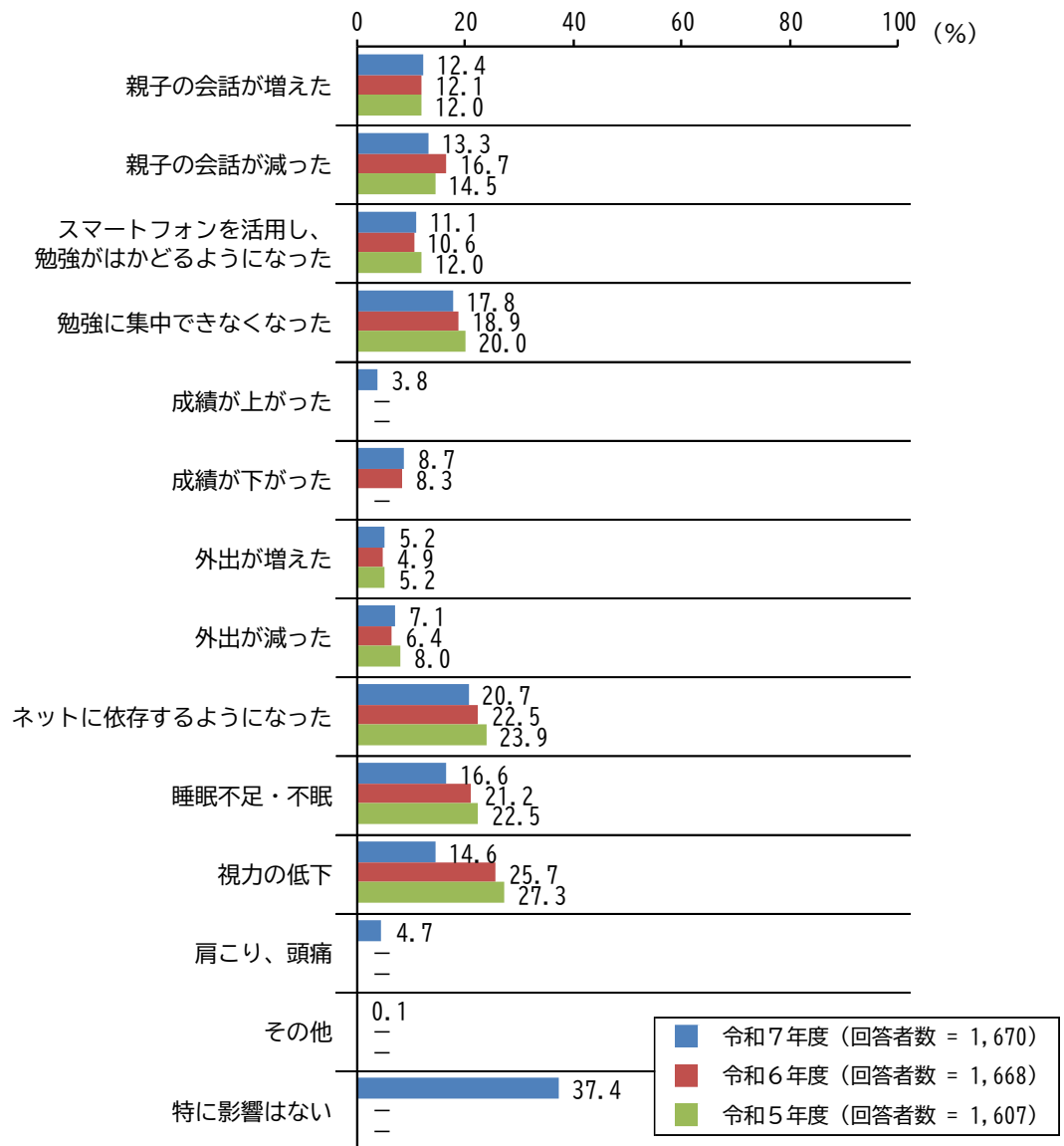
学年別にみると、小学生(1～3年生)では「親子間の会話が増えた」「スマートフォンを活用し、勉強がはかどるようになった」、小学生(4～6年生)では「スマートフォンを活用し、勉強がはかどるようになった」といったプラスの影響がみられる。一方で、中学生・高校生では、「ネットに依存するようになった」「睡眠不足・不眠」「視力の低下」といったマイナスの影響がみられる。



その他（具体的な内容）	件数
・ 食事中に携帯を見るため行儀が悪くなった	1 件
・ 祖母と直接連絡できるようになった	1 件
計	2 件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「視力の低下」は11.1ポイント減少している。



※前回（令和6年度）、前々回（令和5年度）の調査では、「親子の会話が増えた」「親子の会話が減った」の選択肢は、「親子間の会話が増えた」「親子間の会話が減った」として聴取。

※前回（令和6年度）、前々回（令和5年度）の調査では、「肩こり、頭痛」の選択肢は「肩こり」「頭痛」として独立の選択肢として設定しているため、比較値はなし。

※前回（令和6年度）、前々回（令和5年度）の調査では、「成績が上がった」の選択肢は設定していないため、比較値はなし。

※前回（令和6年度）の調査では、「行動」に関する選択肢と「健康状態」に関する選択肢については、それぞれ設問を設定して聴取しているため、「その他」「特に影響はない」の選択肢については、比較値はなし。

※前々回（令和5年度）の調査では、「成績が下がった」の選択肢は設定していないため、比較値はなし。

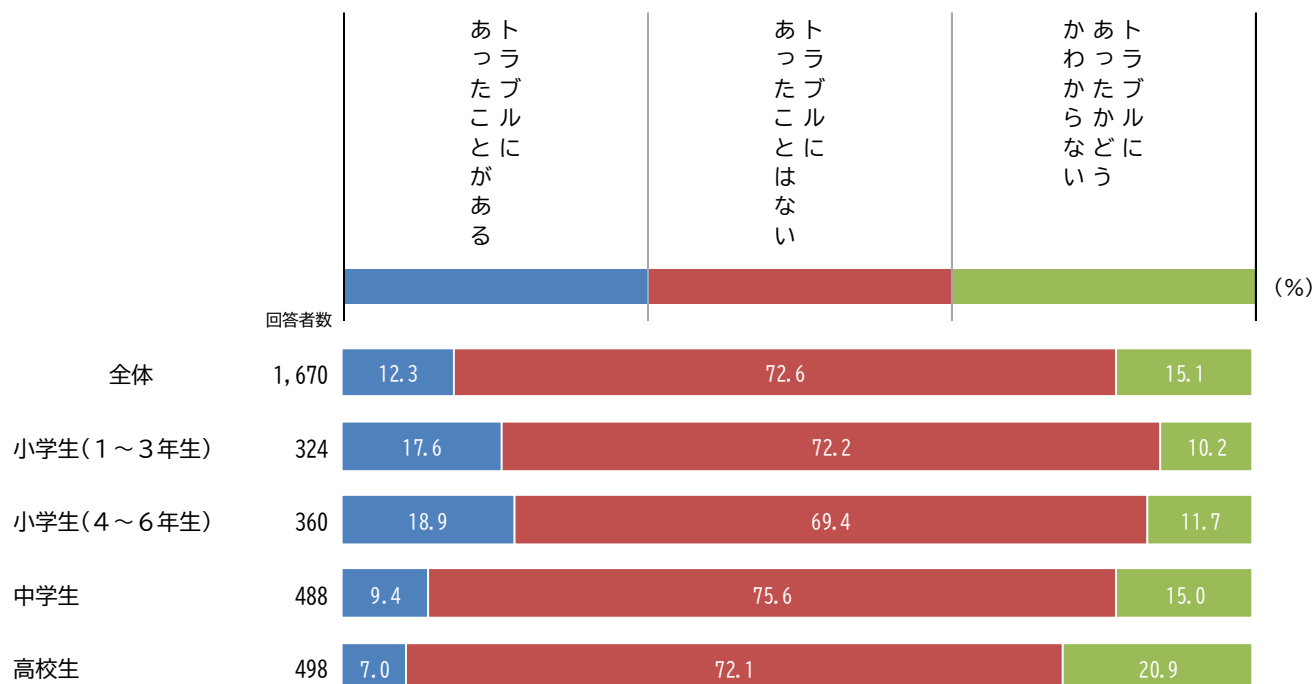
(2) スマートフォン利用によるトラブルの有無

※Q1で【スマートフォン】と回答した方に伺います。

Q17. お子さんがスマートフォンを利用する中で、トラブルにあったことがありますか。

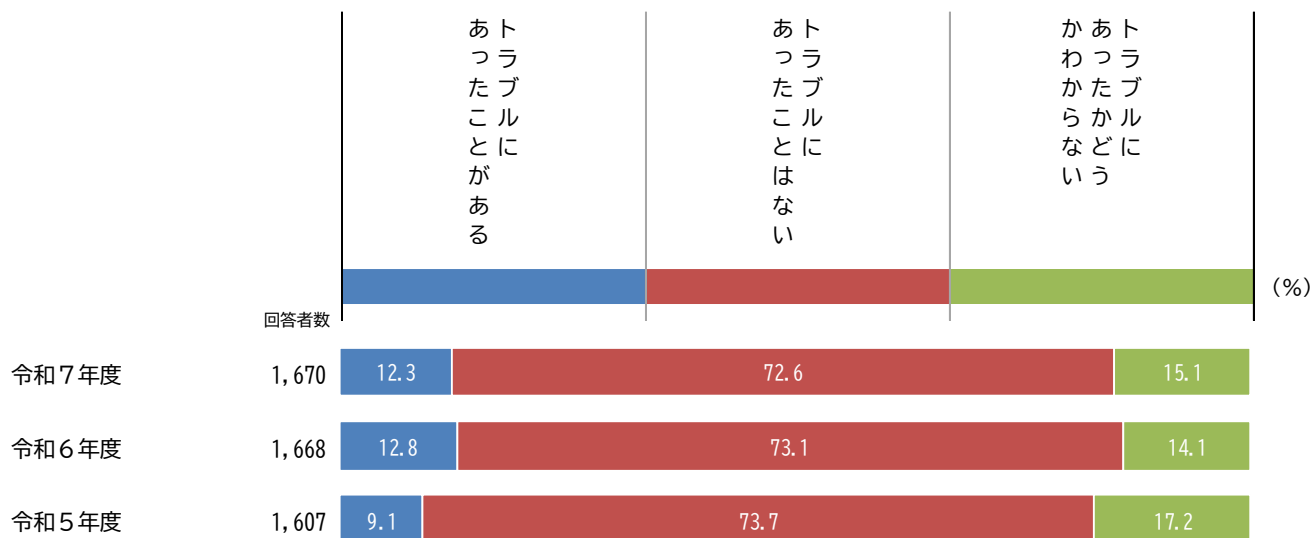
全体では、「トラブルにあったことはない」が72.6%と最も高く、次いで「トラブルにあったかどうか分からない」の15.1%、「トラブルにあったことがある」の12.3%となっている。

学年別にみると、小学生(1～3年生)・小学生(4～6年生)では、「トラブルにあったことがある」が約20%となっている。また、学年が上がるにつれて、「トラブルにあったかどうか分からない」の割合が増加している。



【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「スマートフォン利用によるトラブルの有無」の割合に大きな変化はみられない。



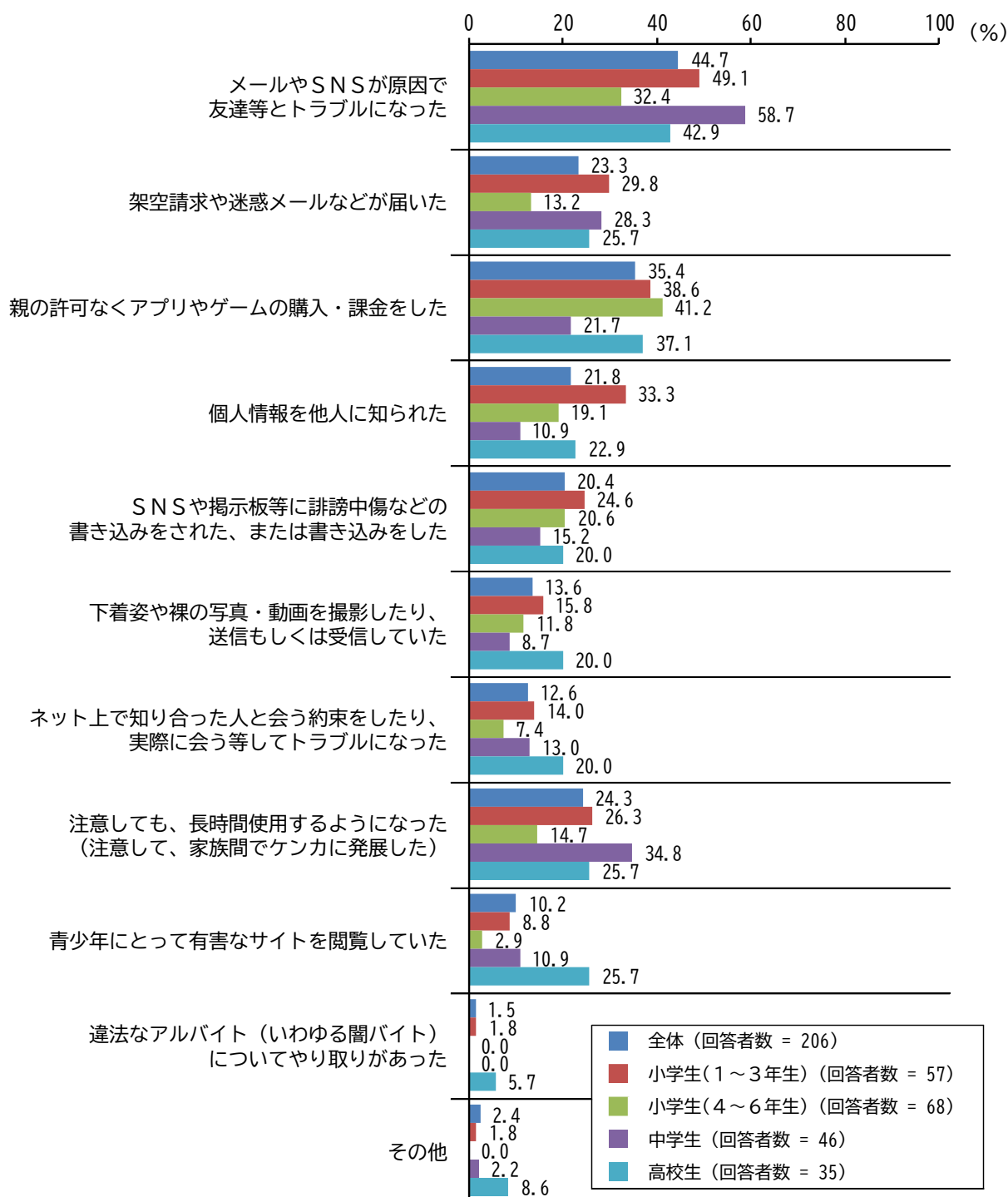
(3) スマートフォン利用によるトラブルの内容

※Q17で【トラブルにあったことがある】と回答した方に伺います。

Q18. お子さんがスマートフォンを利用する中で、どのようなトラブルにありましたか。
(いくつでも)

全体では、「メールやSNSが原因で友達等とトラブルになった」が44.7%と最も高く、次いで「親の許可なくアプリやゲームの購入・課金をした」の35.4%、「注意しても、長時間使用するようになった（注意して、家族間でケンカに発展した）」の24.3%となっている。

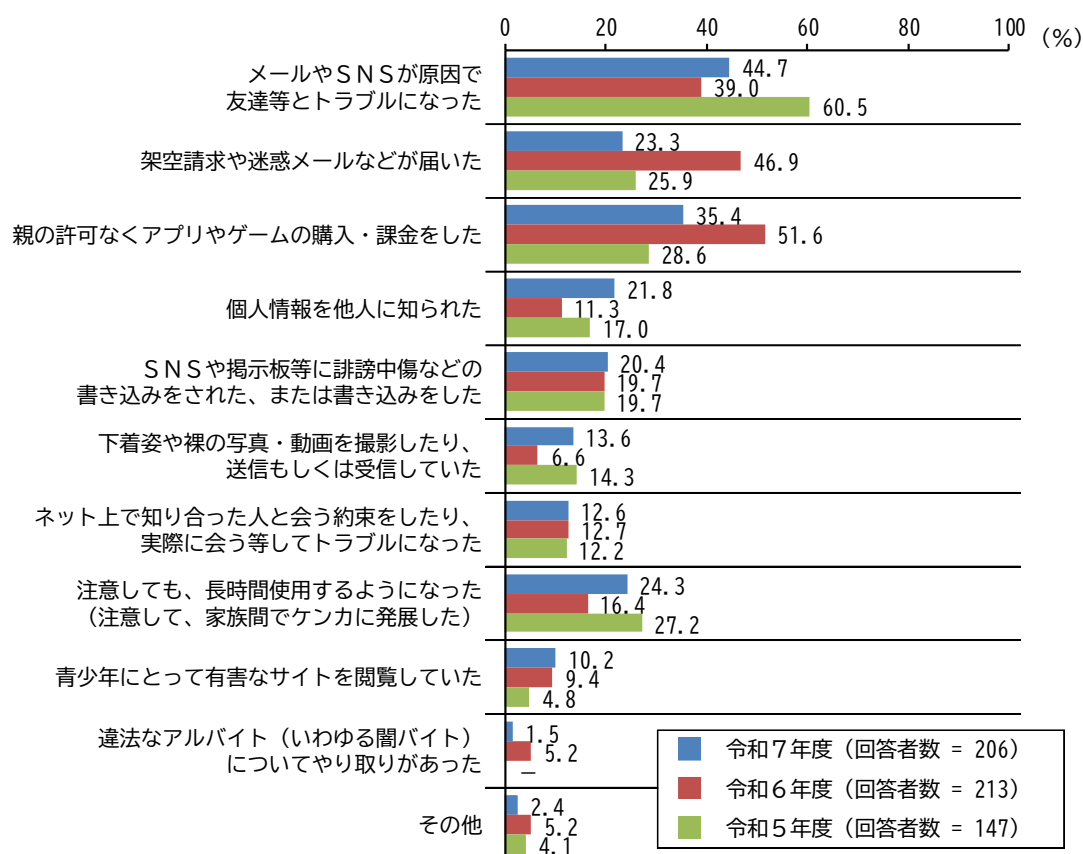
学年別にみると、高校生では、「下着姿や裸の写真・動画を撮影したり、送信もしくは受信していた」「ネット上で知り合った人と会う約束をしたり、実際に会う等してトラブルになった」「青少年にとって有害なサイトを閲覧していた」が他の学年と比べて高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・ゲームのアイテムを盗まれた	1件
・スマホを持っていることへの友達からの嫉妬	1件
・ロックが掛かった	1件
・個人間での品物のやり取りで、支払いしたのにも関わらず品物が届かなく、返金もされなかった。おそらく詐欺だった	1件
・親に許可無く通販で買い物をした	1件
計	5件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「個人情報を他人に知られた」が10.5ポイント、「注意しても、長時間使用するようになった（注意して、家族間でケンカに発展した）」が7.9ポイント、「下着姿や裸の写真・動画を撮影したり、送信もしくは受信していた」が7.0ポイント、「メールやSNSが原因で友達等とトラブルになった」が5.7ポイント増加している。一方で、「架空請求や迷惑メールなどが届いた」が23.6ポイント、「親の許可なくアプリやゲームの購入・課金をした」が16.2ポイント減少している。



※前回（令和6年度）、前々回（令和5年度）の調査では、「下着姿や裸の写真・動画を撮影したり、送信もしくは受信していた」の選択肢は「下着姿や裸の写真・動画を撮ったり送ったりしていた」として、「ネット上で知り合った人と会う約束をしたり、実際に会う等してトラブルになった」の選択肢は「ネット上で知り合った人と会う約束をしたり、実際に会う等していた」として、「違法なアルバイト（いわゆる闇バイト）についてやり取りがあった」の選択肢は「犯罪に関係しているかもしれないアルバイトについてやり取りがあった」として、それぞれ回答を聴取。

また、前々回（令和5年度）の調査では、「犯罪に関係しているかもしれないアルバイトについてやり取りがあった」の選択肢は設定していないため、「違法なアルバイト（いわゆる闇バイト）についてやり取りがあった」の選択肢については、比較値はなし。

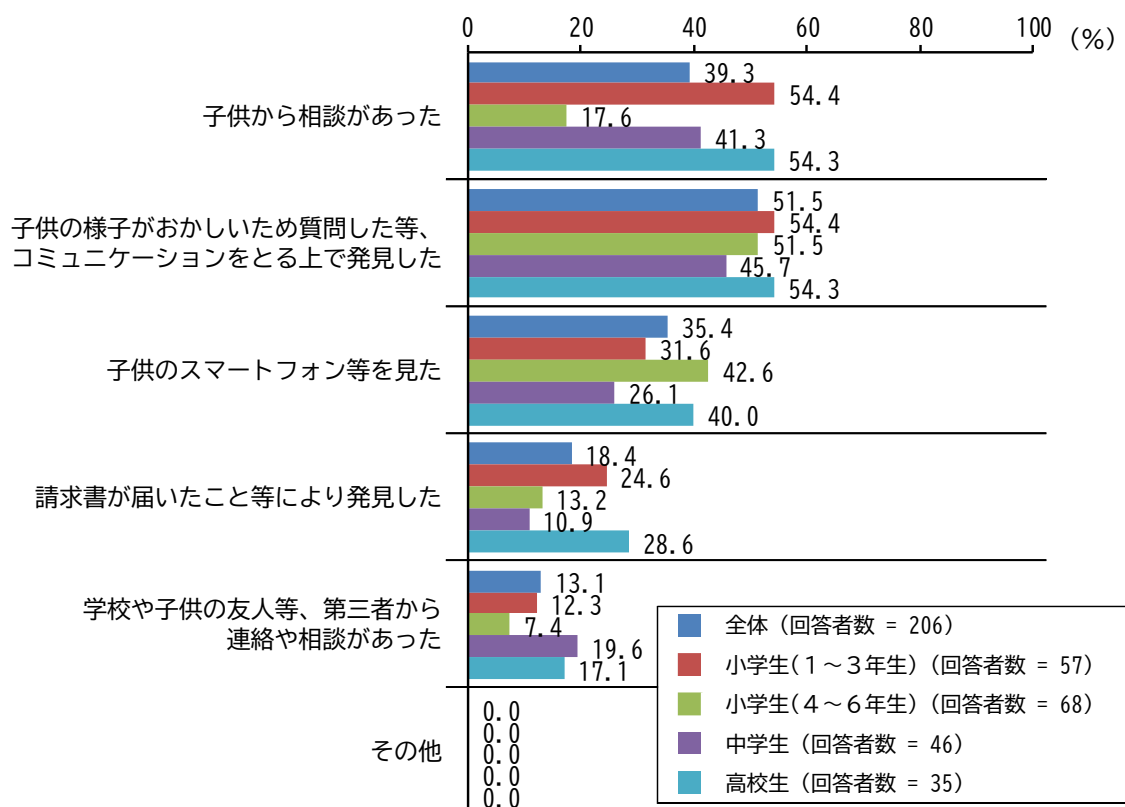
(4) トラブルの発見のきっかけ

※Q17で【トラブルにあったことがある】と回答した方に伺います。

Q19. トラブルをどのように発見しましたか。(いくつでも)

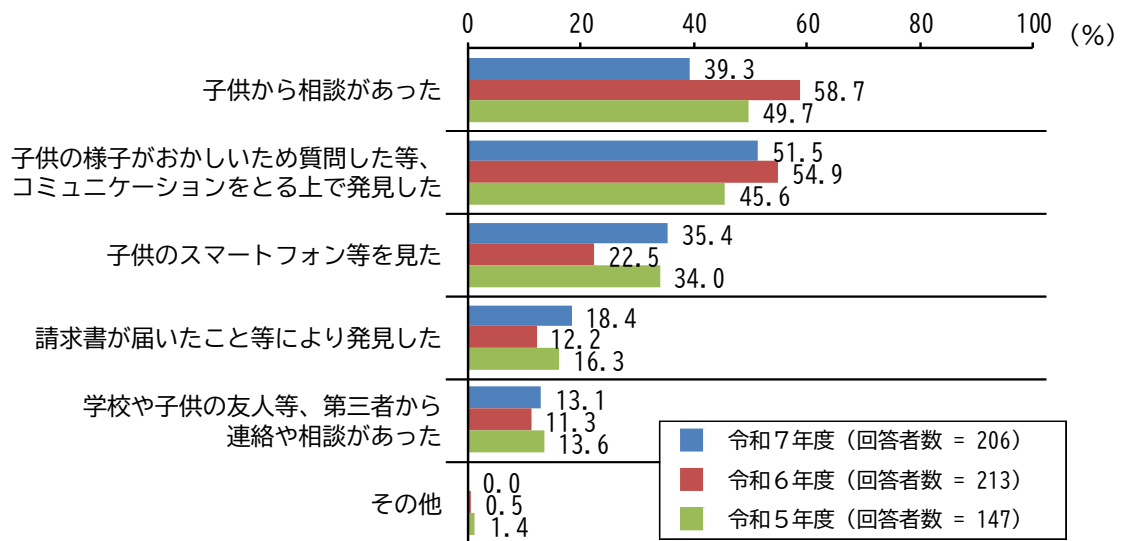
全体では、「子供の様子がおかしいため質問した等、コミュニケーションをとる上で発見した」が51.5%と最も高く、次いで「子供から相談があった」の39.3%、「子供のスマートフォン等を見た」の35.4%となっている。

学年別にみると、小学生(4～6年生)では、「子供から相談があった」が17.6%と、他の学年と比べて低い割合を示している。一方で、「子供のスマートフォン等を見た」は42.6%と高い割合を示している。



【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「子供のスマートフォン等を見た」が12.9ポイント増加している。一方で、「子供から相談があった」が19.4ポイント減少している。



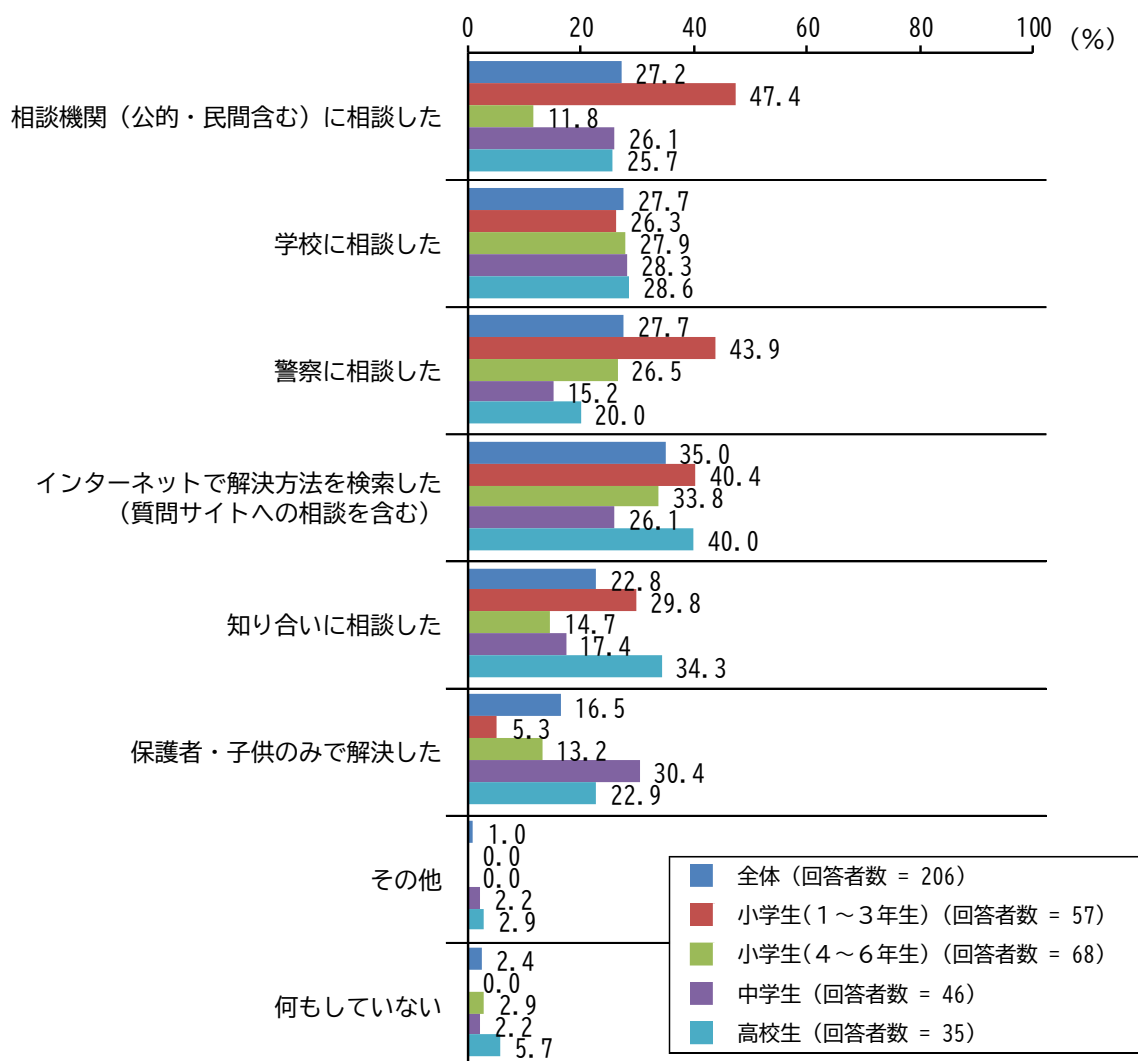
(5) トラブルの対処方法

※Q17で【トラブルにあったことがある】と回答した方に伺います。

Q20. トラブルに対してどのように対処しましたか。(いくつでも)

全体では、「インターネットで解決方法を検索した（質問サイトへの相談を含む）」が35.0%と最も高く、次いで「学校に相談した」「警察に相談した」の27.7%、「相談機関（公的・民間含む）に相談した」の27.2%となっている。

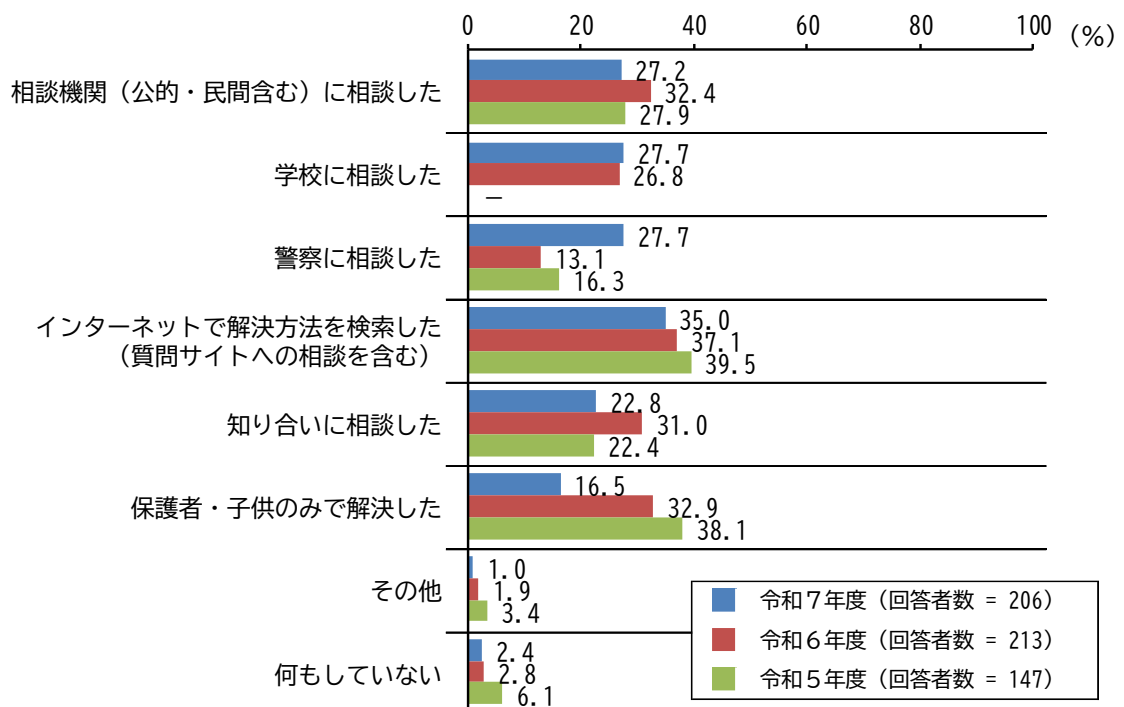
学年別にみると、小学生(1～3年生)では「相談機関（公的・民間含む）に相談した」が最も高い割合を示している。また、小学生(4～6年生)・高校生では「インターネットで解決方法を検索した（質問サイトへの相談を含む）」、中学生では「保護者・子供のみで解決した」がそれぞれ最も高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・ショップへ持ち込み	1件
・没収	1件
計	2件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「警察に相談した」が14.6ポイント増加している。一方で、「保護者・子供のみで解決した」が16.4ポイント、「知り合いに相談した」が8.2ポイント、「相談機関（公的・民間含む）に相談した」が5.2ポイント減少している。



※前回（令和6年度）、前々回（令和5年度）の調査では、「インターネットで解決方法を検索した（質問サイトへの相談を含む）」の選択肢は、「インターネットで解決方法を検索した（質問サイトに相談した）」として聴取。

※前々回（令和5年度）の調査では、「学校に相談した」の選択肢は設定していないため、比較値はなし。

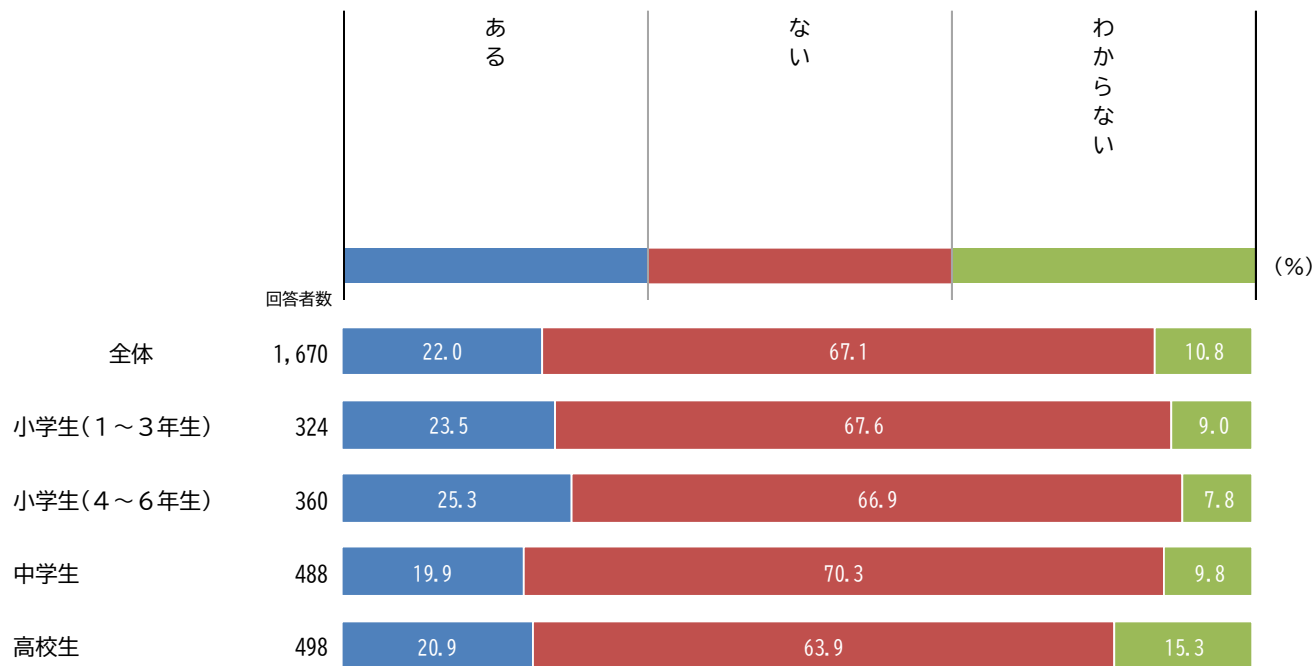
(6) ゲームアイテムの購入、有料ガチャの購入の有無

※Q1で【スマートフォン】と回答した方に伺います。

Q21. お子さんが、これまで、スマートフォンのゲームを利用する中で、お金を払ってゲーム内のアイテムや、有料のガチャを購入したこと（その他のゲームの課金等も含む）がありますか。

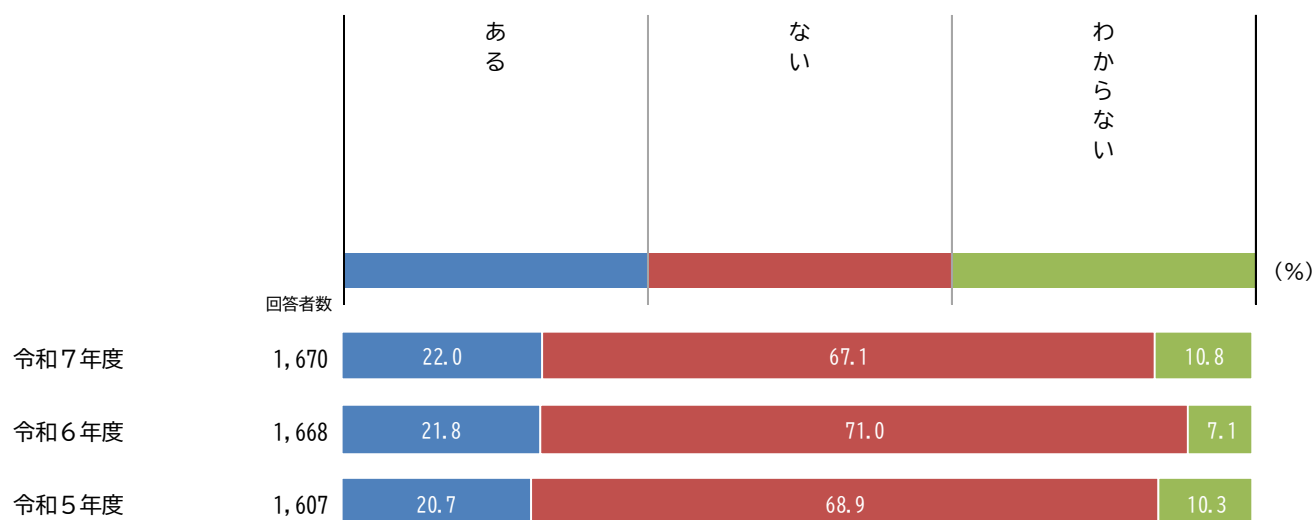
全体では、「ない」が67.1%と最も高く、次いで「ある」の22.0%、「わからない」の10.8%となっている。

学年別にみると、「ある」の割合が最も高いのは小学生(4～6年生)で25.3%となっている。また、高校生では、「わからない」が15.3%と、他の学年と比べて高い割合を示している。



【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「ゲームアイテムの購入、有料ガチャの購入の有無」の割合に大きな変化はみられない。



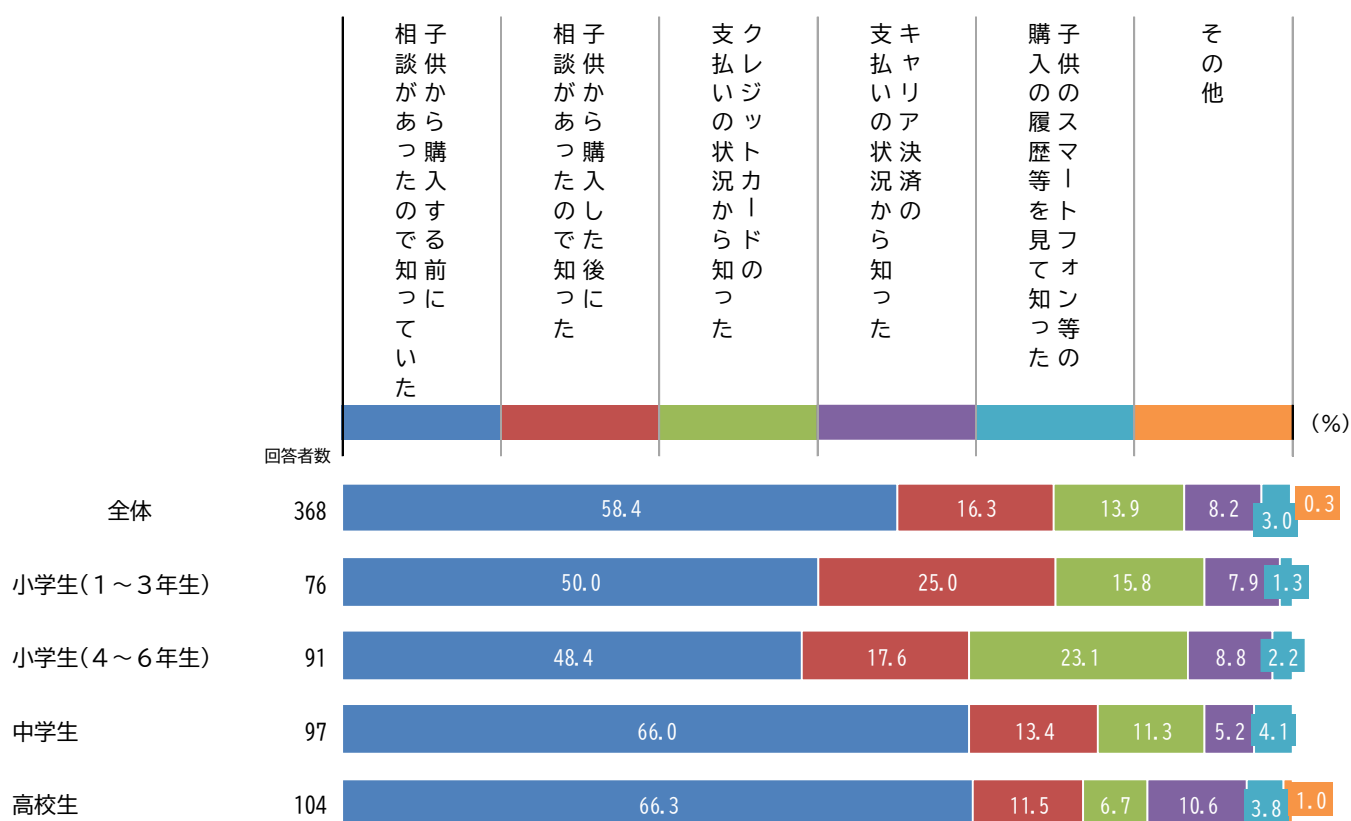
(7) 課金したことをどのように知ったか

※Q21で【ある】と回答した方に伺います。

Q22. ゲーム内の有料アイテムや、有料ガチャの購入（その他のゲームの課金等も含む）についてどのように知りましたか。

「子どもから購入する前に相談があったので知っていた」が 58.4%と最も高く、次いで「子どもから購入した後に相談があったので知った」の 16.3%、「クレジットカードの支払いの状況（クレジットカード会社から連絡が来た場合を含む）から知った」の 13.9%となっている。

学年別にみると、「子どもから購入する前に相談があったので知っていた」は、いずれの学年でも最も高い割合を示している。特に中学生・高校生では約 66%と高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・パスワード管理など制限している	1件
計	1件

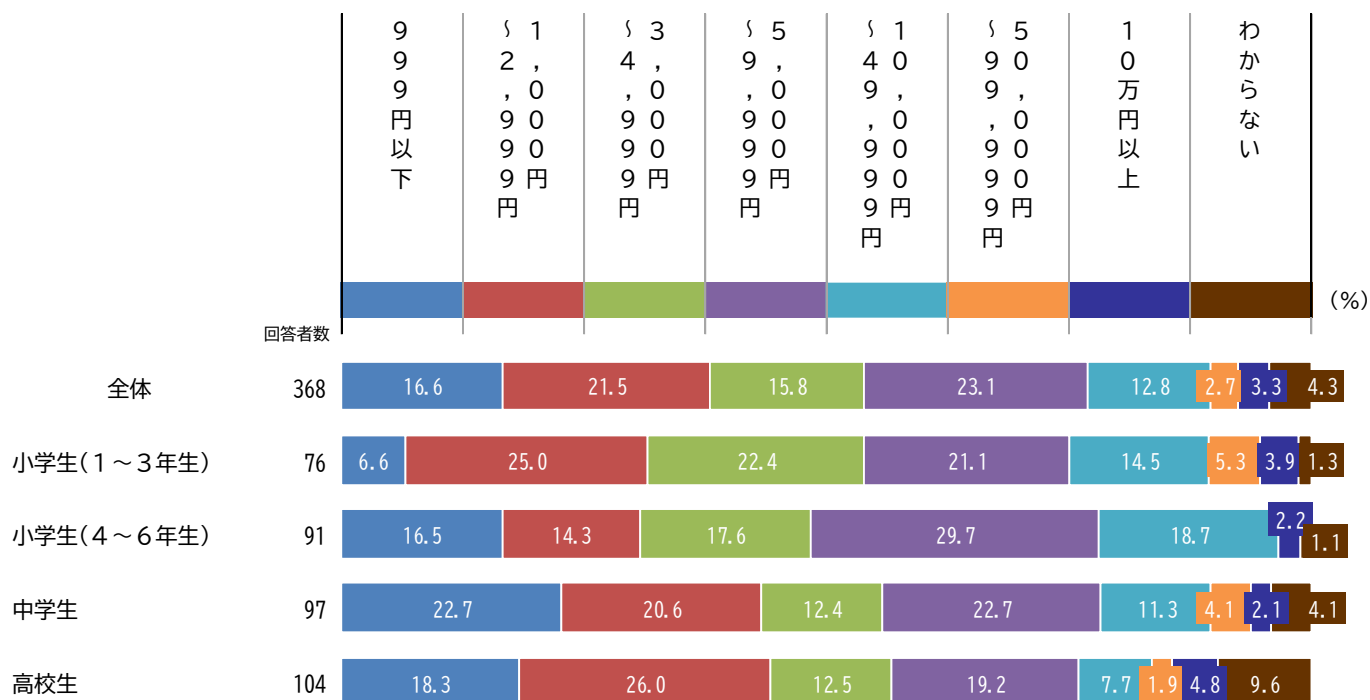
(8) ゲームアイテム、有料ガチャの使用額

※Q21で【ある】と回答した方に伺います。

Q23. お子さんは、令和7年4月くらいから今までの間で、スマートフォンのゲームで、ゲーム内のアイテムや、有料のガチャ（その他のゲームの課金等も含む）にいくら払っていますか。

全体では、「5,000円～9,999円」が23.1%と最も高く、次いで「1,000円～2,999円」の21.5%、「999円以下」の16.6%となっている。

学年別にみると、高校生では「わからない」が9.6%となっており、他の学年と比べて高い割合を示している。



【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「5,000円～9,999円」は8.0ポイント、「1,000円～2,999円」は5.8ポイント増加となっている。一方で、「10,000円～49,999円」は13.0ポイント減少となっている。



※本設問は前回（令和6年度）調査から設定。

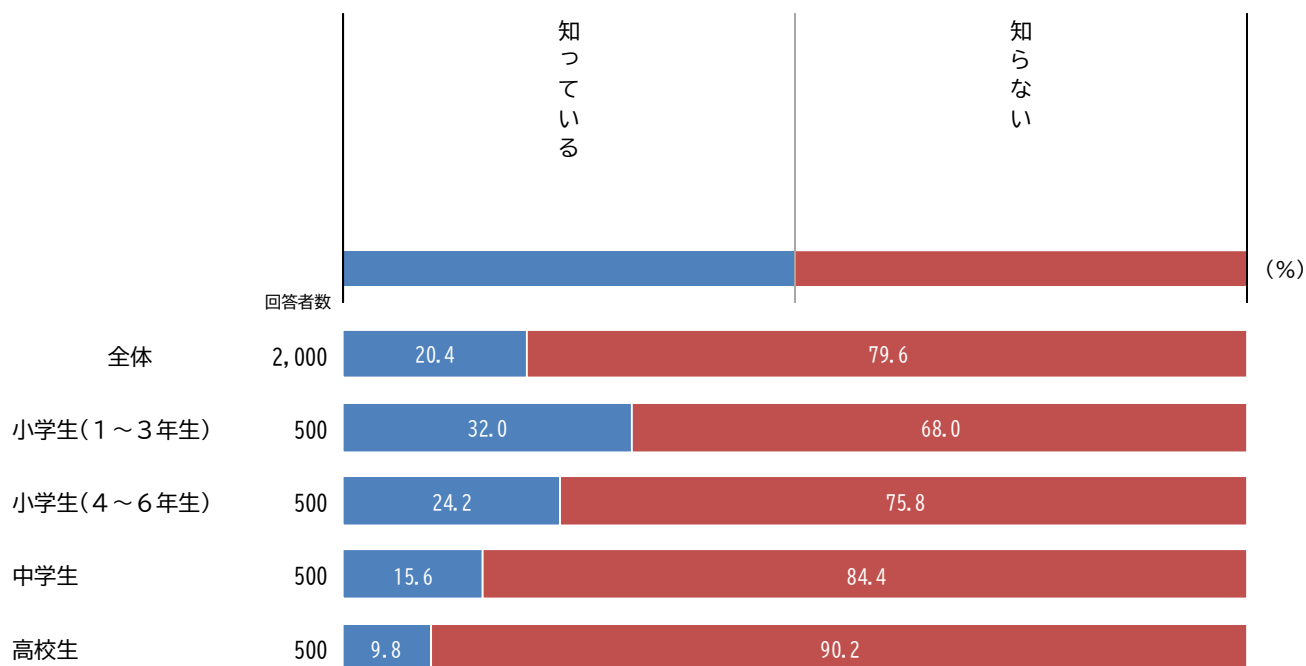
※前回（令和6年度）の調査では、「課金していない」の選択肢が設定されていたが、今回の調査では設定していない。

(9) こたエールの認知度

Q24. 東京都が運営する、インターネットやスマートフォンに係わるトラブルの相談窓口である「ネット・スマホのなやみを解決『こたエール』を知っていますか。

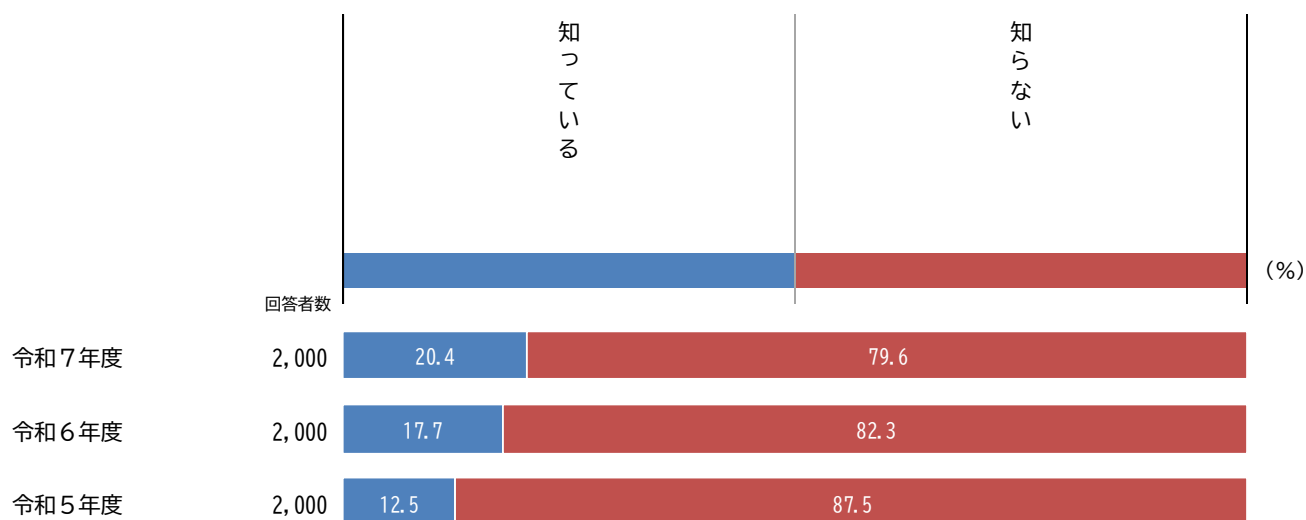
全体では、「知っている」が20.4%、「知らない」が79.6%となっている。

学年別にみると、「知っている」は小学生(1～3年生)が32.0%で最も高い割合を示している。一方で、学年が上がるにつれて「知らない」の割合が高くなっている。



【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「知っている」は令和7年度は20.4%、令和6年度は17.7%、令和5年度は12.5%となり、増加傾向がみられる。



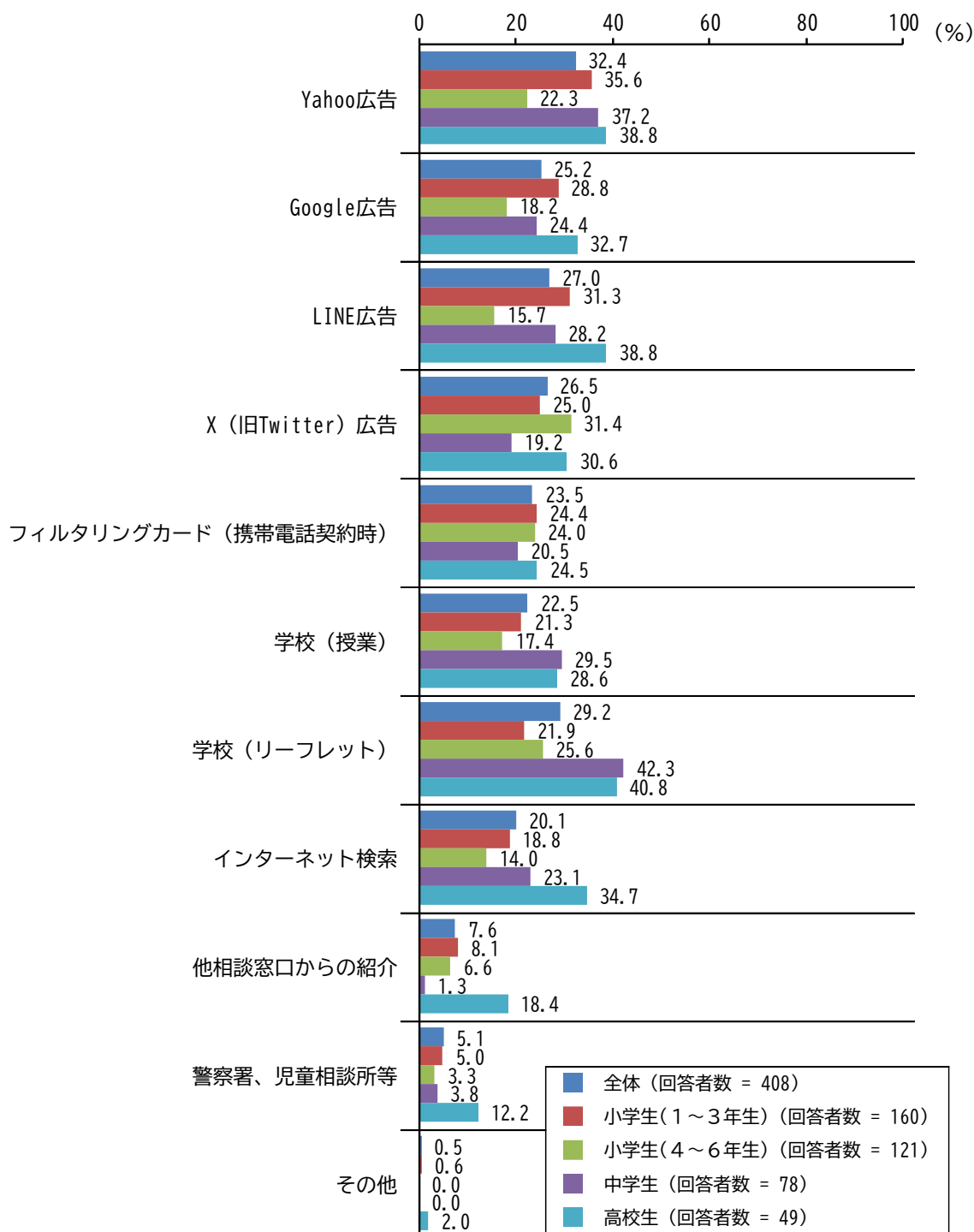
(10) こたエールをどこで知ったか

※Q24で【知っている】と回答した方に伺います。

Q25. 「こたエール」をどこで知りましたか。(いくつでも)

全体では、「Yahoo 広告」が32.4%と最も高く、次いで「学校（リーフレット）」の29.2%、「LINE 広告」の27.0%となっている。

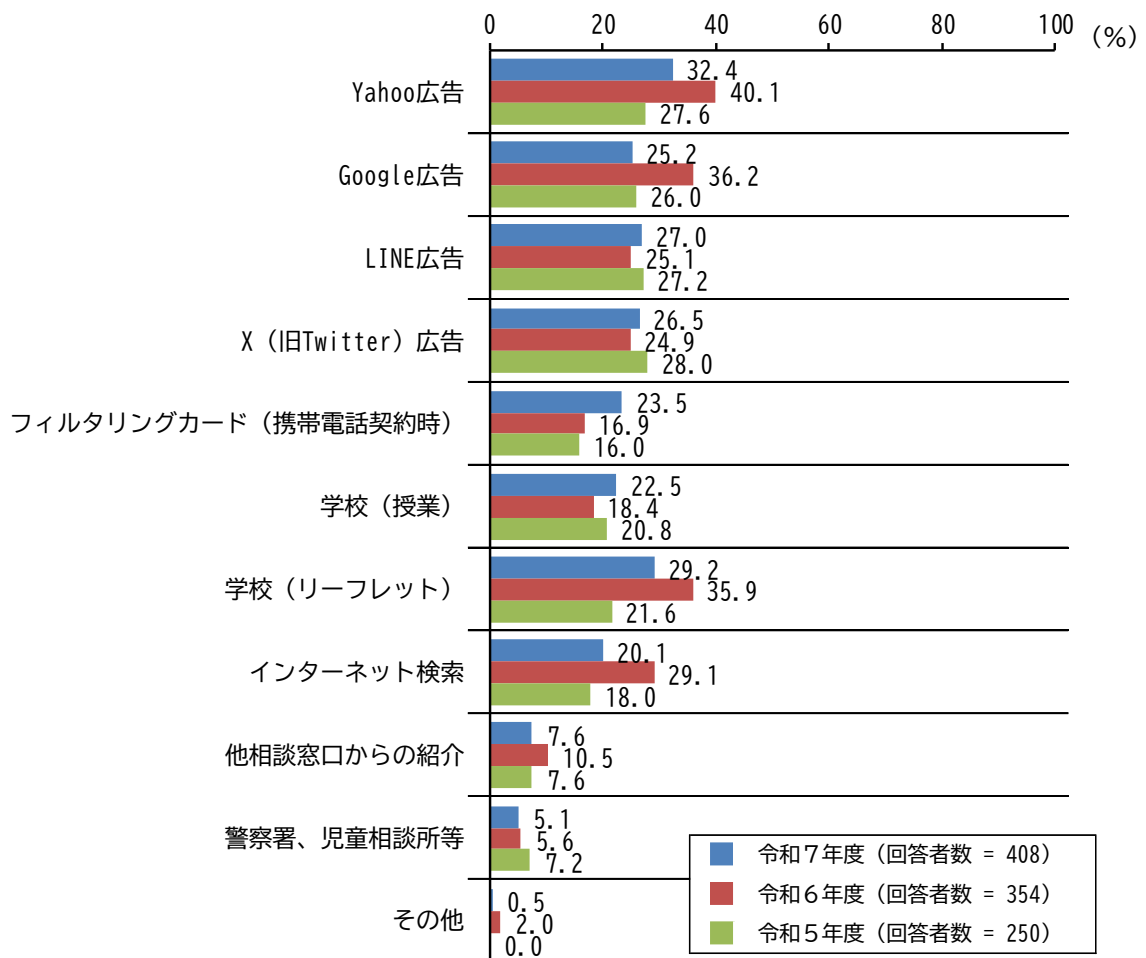
学年別にみると、中学生・高校生では「学校（リーフレット）」が約40%となっており、小学生（1～3年生）・小学生（4～6年生）と比べて高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・ 忘れた	1件
・ 友人から聞いた	1件
計	2件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「フィルタリングカード（携帯電話契約時）」が6.6ポイント増加している。一方で、「Google 広告」は11.0ポイント、「インターネット検索」は9.0ポイント、「Yahoo 広告」は7.7ポイント、「学校（リーフレット）」は6.7ポイント減少している。



4. 家庭におけるルール作りについて

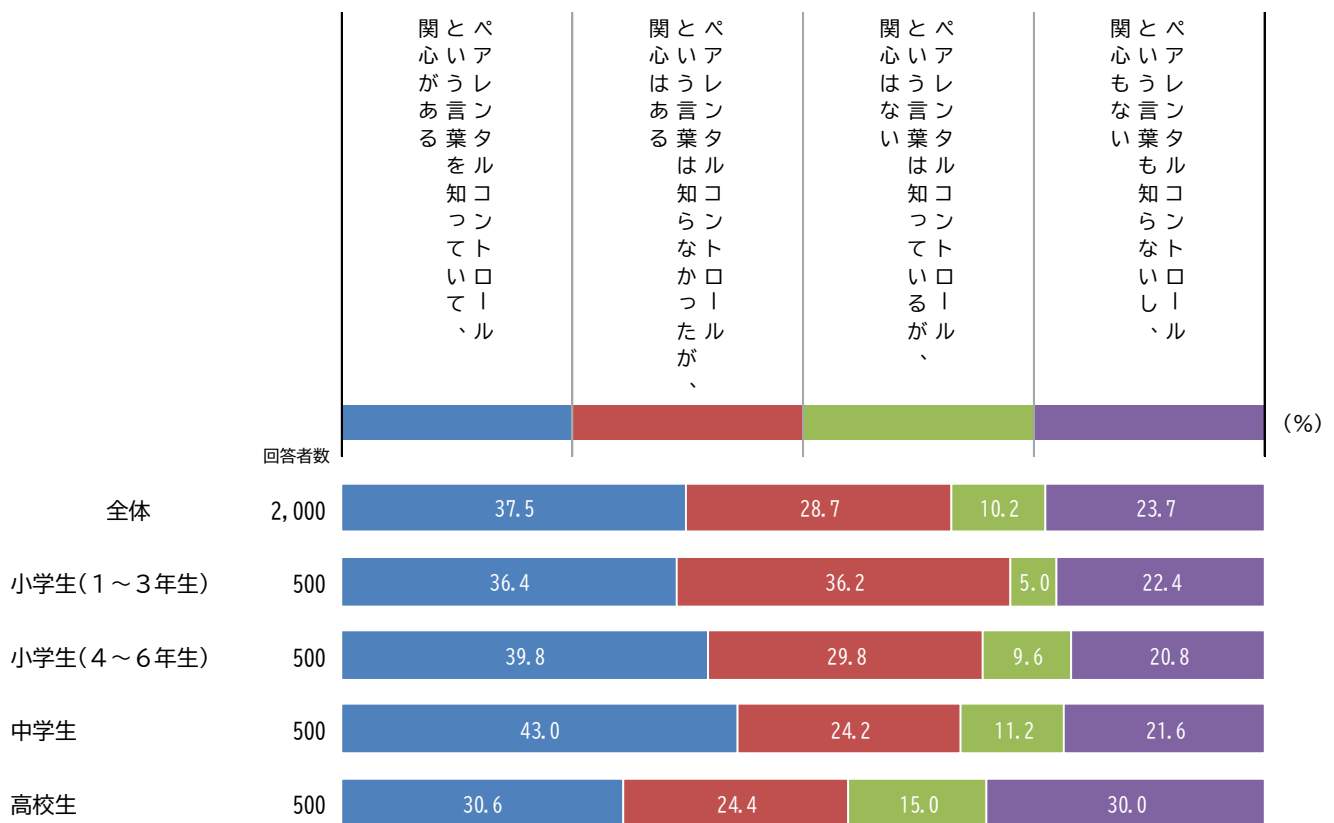
(1) パレンタルコントロールについての認知、関心の有無

Q26. 「パレンタルコントロール※」についてお伺いします。

※保護者が子供のライフサイクルを考慮して、その発達段階に応じてインターネット利用を適切に管理すること。フィルタリングサービス等によって有害情報サイトの閲覧を防止したり、アプリの利用時間を設定することや、家庭内で利用方法についてルールを設けたりすることを意味する。

全体では、「パレンタルコントロールという言葉を知っていて、関心がある」が37.5%と最も高く、次いで「パレンタルコントロールという言葉は知らなかったが、関心はある」の28.7%、「パレンタルコントロールという言葉も知らないし、関心もない」の23.7%となっている。

学年別にみると、高校生では「パレンタルコントロールという言葉を知っていて、関心がある」が30.6%と、他の学年と比べて低い割合を示している。一方で、「パレンタルコントロールという言葉も知らないし、関心もない」は30.0%となっており、他の学年と比べて高い割合を示している。



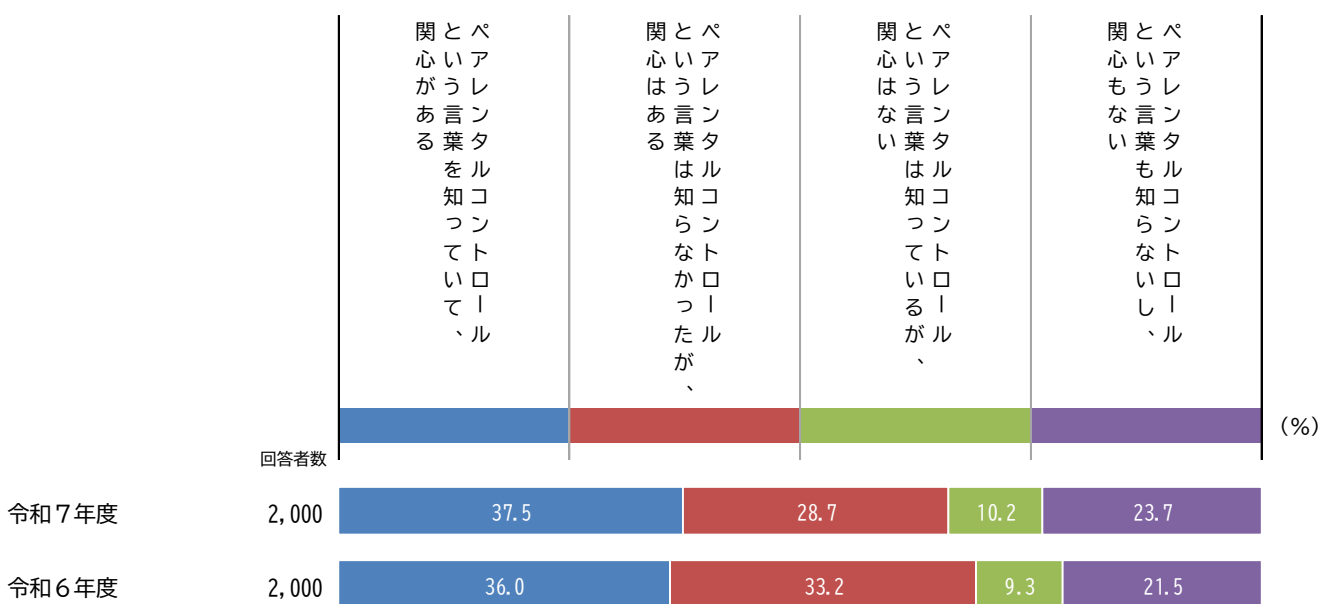
【Q17 スマートフォン利用によるトラブルの有無とのクロス集計】

スマートフォン利用によるトラブルの有無でみると、〈トラブルにあったことがある〉〈トラブルにあったことはない〉では「ペアレンタルコントロールという言葉を知っていて、関心がある」が最も高い割合を示している。一方で、〈トラブルにあったかどうかわからない〉では、「ペアレンタルコントロールという言葉も知らないし、関心もない」が最も高い割合を示している。

	回答者数	関とペア 心いう があレ 言ン 葉タ をル 知コ っ つ てト いロ てー 、ル	関とペア 心いう はあレ 言ン 葉タ はル 知コ ら ん な ト か っ た ル が、	関とペア 心いう はあレ 言ン 葉タ はル 知コ っ つ てト いロ る ー が、	関とペア 心いう もあレ 言ン 葉タ もル 知コ ら ん な ト い し 、ル
全体	2000	37.5	28.7	10.2	23.7
Q17	トラブルにあったことがある	62.6	25.7	4.9	6.8
	トラブルにあったことはない	36.3	27.5	11.6	24.6
	トラブルにあったかどうかわからない	23.0	20.2	11.5	45.2

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「ペアコントロールについての認知、関心の有無」の割合に大きな変化はみられない。



※本設問は前回（令和6年度）調査から設定。

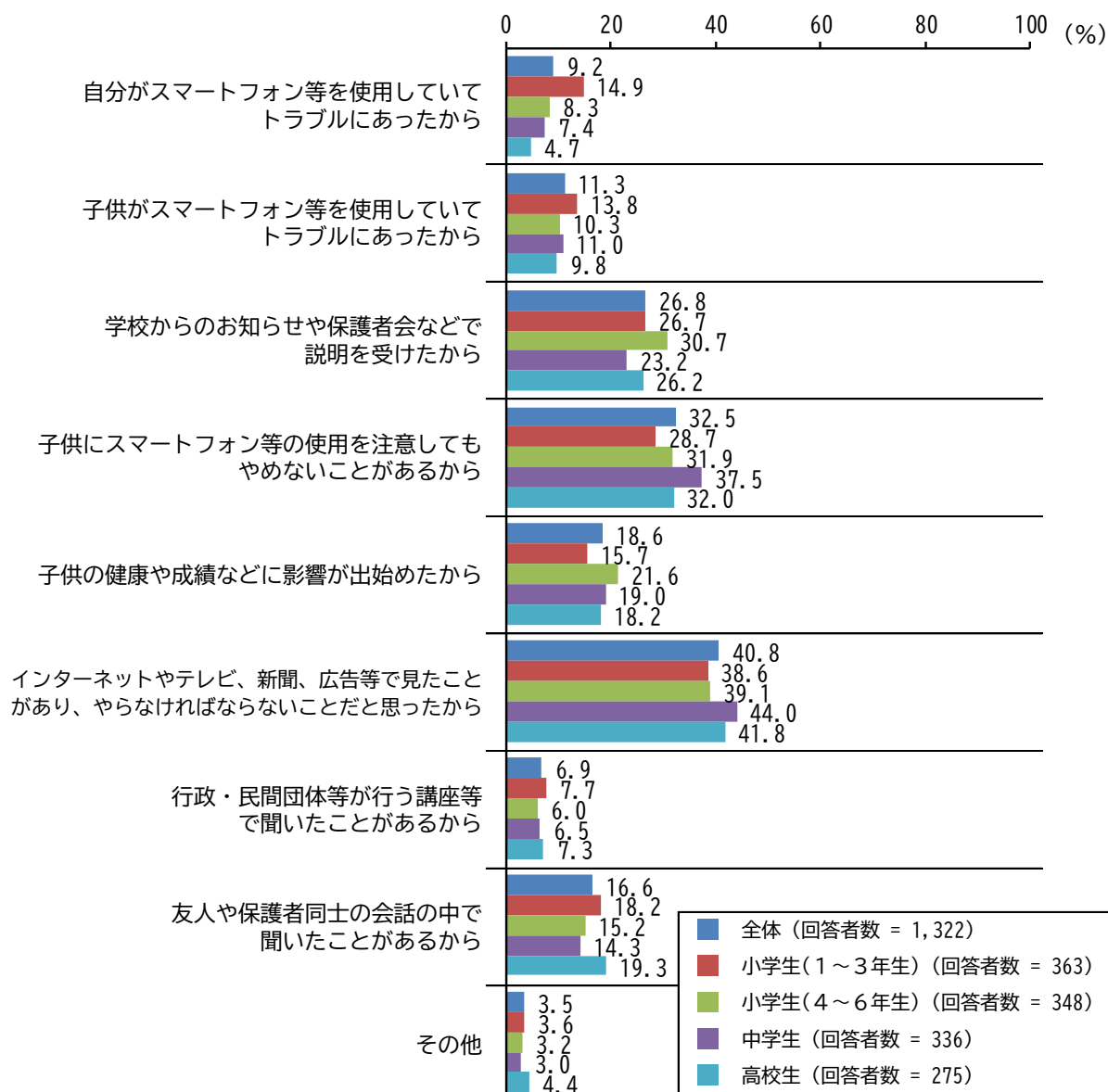
(2) パレンタルコントロールについて関心がある理由

※Q26で【パレンタルコントロールという言葉を知っていて、関心がある】又は、【パレンタルコントロールという言葉は知らなかったが、関心はある】と回答した方にお伺いします。

Q27. 関心がある理由は何ですか。(いくつでも)

全体では、「インターネットやテレビ、新聞、広告等で見たことがあり、やらなければならないことだと思ったから」が40.8%と最も高く、次いで「子供にスマートフォン等の使用を注意してもやめないことがあるから」の32.5%、「学校からのお知らせや保護者会などで説明を受けたから」の26.8%となっている。

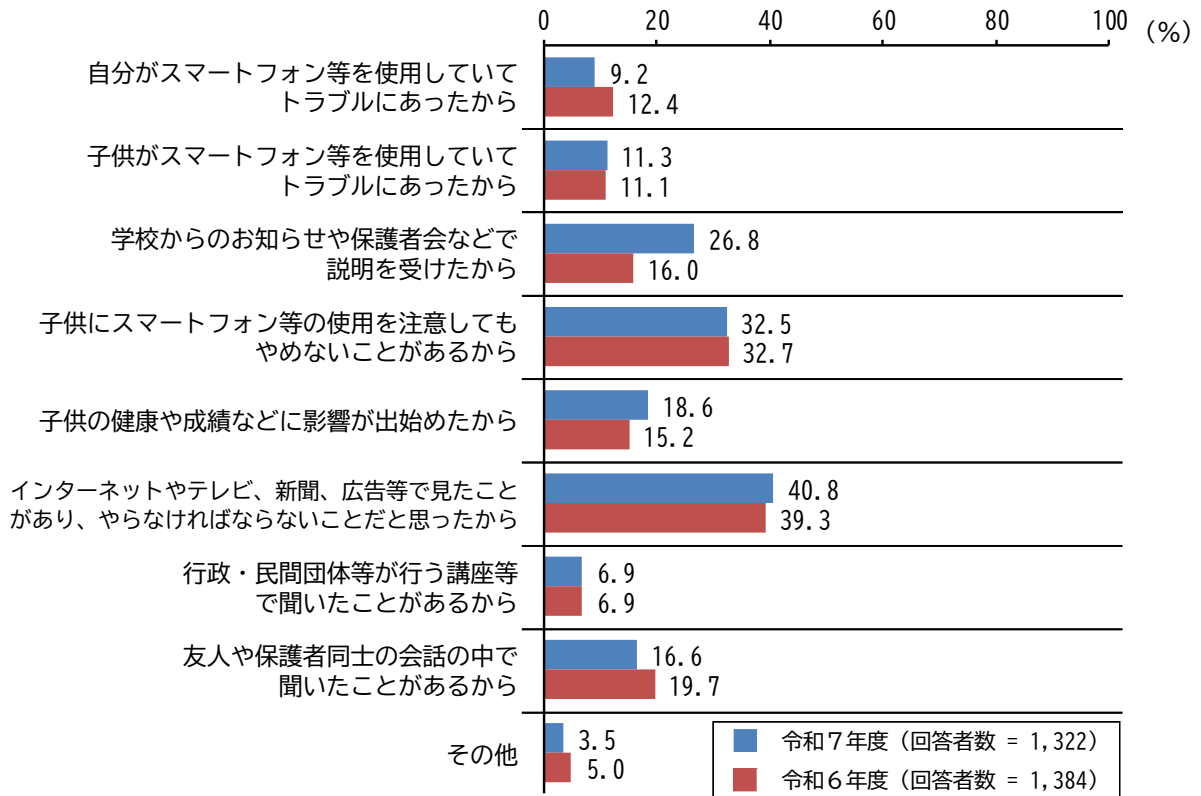
学年別にみると、中学生では、「子供にスマートフォン等の使用を注意してもやめないことがあるから」が37.5%と、他の学年と比べて高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・今知ったから	2件
・心配だから	2件
・必要だと思うから	2件
・システムとして知っておきたい	1件
・すでに利用している	1件
・スマホによりインターネットが生活の中心になりそうだから	1件
・そもそも大人ですら依存するから	1件
・できることが広がる反面、悪影響も考えられるので	1件
・トラブルに巻き込まれないための予防	1件
・トラブルを予防したい	1件
・トラブル防止になるから	1件
・ペアレンタルコントロールを使用していたから	1件
・まだトラブルなどはないが、注意して見守りたいと思っているから	1件
・まっとうな倫理観を身に付けてほしいから	1件
・厳しい国があるから	1件
・現在ペアレンタルコントロールだから	1件
・広告など規制が緩いから	1件
・今後影響が出る可能性がある	1件
・今後心配しないため	1件
・使用していた	1件
・使用しているから	1件
・子どもを愛しているから	1件
・子どもを守るため	1件
・子供がスマートフォン等を使用していて、今後トラブルになる可能性があるため	1件
・子供が被害に合わない為に	1件
・自分で判断できないから	1件
・前に使っていた	1件
・当たり前	1件
・必要だから	1件
・必要になるときがあるだろうと思ったから	1件
・保護者としてペアレンタルコントロールを使うのは必然なので	1件
・本人がトラブルや詐欺サイトへ誘導されないように	1件
・利用しているから	1件
・理由はない	1件
・今知ったから	9件
計	46件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「学校からののお知らせや保護者会などで説明を受けたから」が10.8ポイント増加している。



※前回（令和6年度）の調査では、「学校からののお知らせや保護者会などで説明を受けたから」の選択肢は、「幼稚園・保育園・学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで説明を受けたから」として聴取。
 ※本設問は前回（令和6年度）調査から設定。

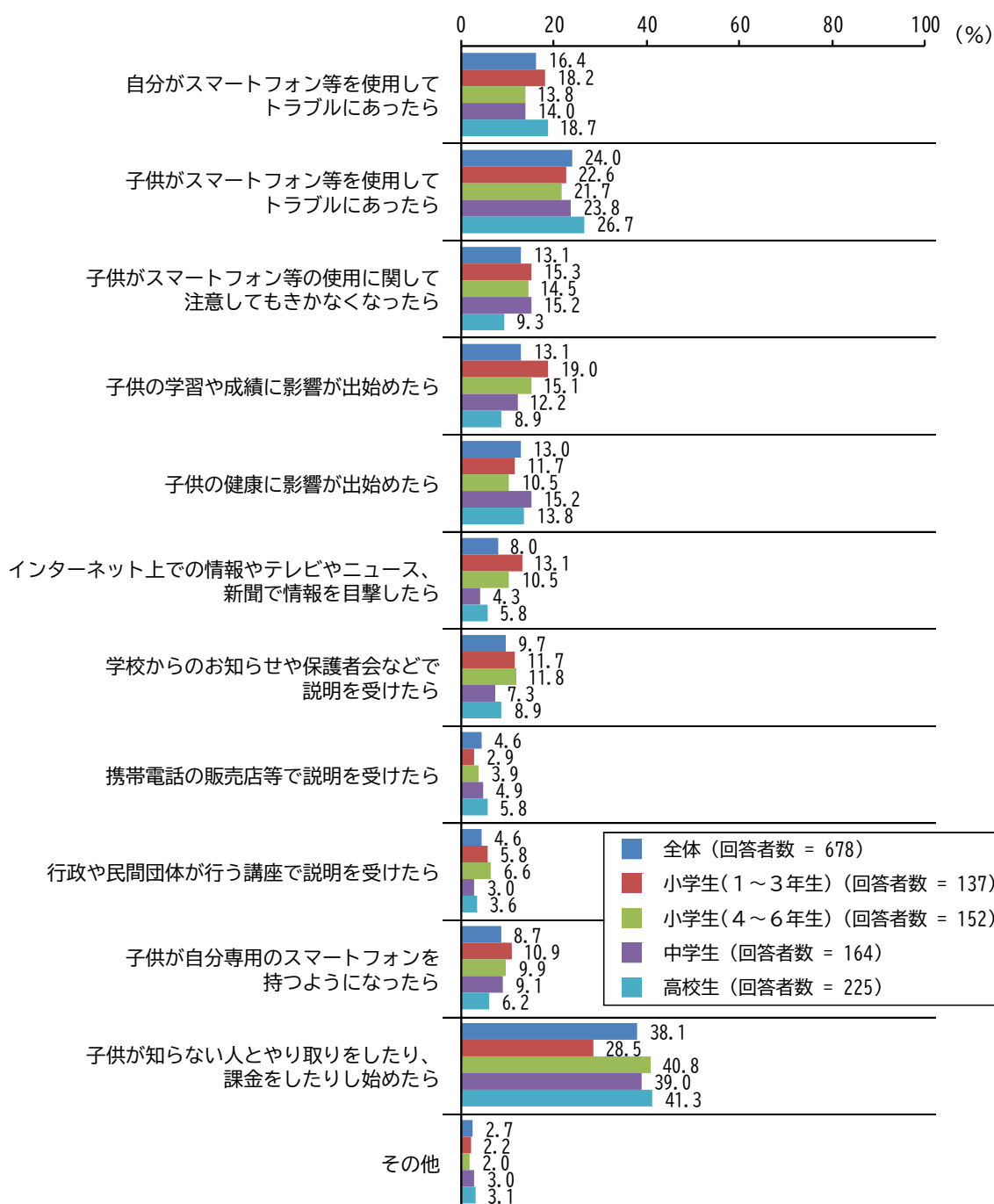
(3) 何があればペアレンタルコントロールに関心を持つか

Q26で【ペアレンタルコントロールという言葉は知っているが、関心はない】又は、【ペアレンタルコントロールという言葉も知らないし、関心もない】と回答した方にお伺いします。

Q28. 何があればペアレンタルコントロールに関心を持ちますか。(いくつでも)

全体では、「子供が知らない人とやり取りをしたり、課金をしたりし始めたら」が38.1%と最も高く、次いで「子供がスマートフォン等を使用してトラブルにあったら」の24.0%、「自分がスマートフォン等を使用してトラブルにあったら」の16.4%となっている。

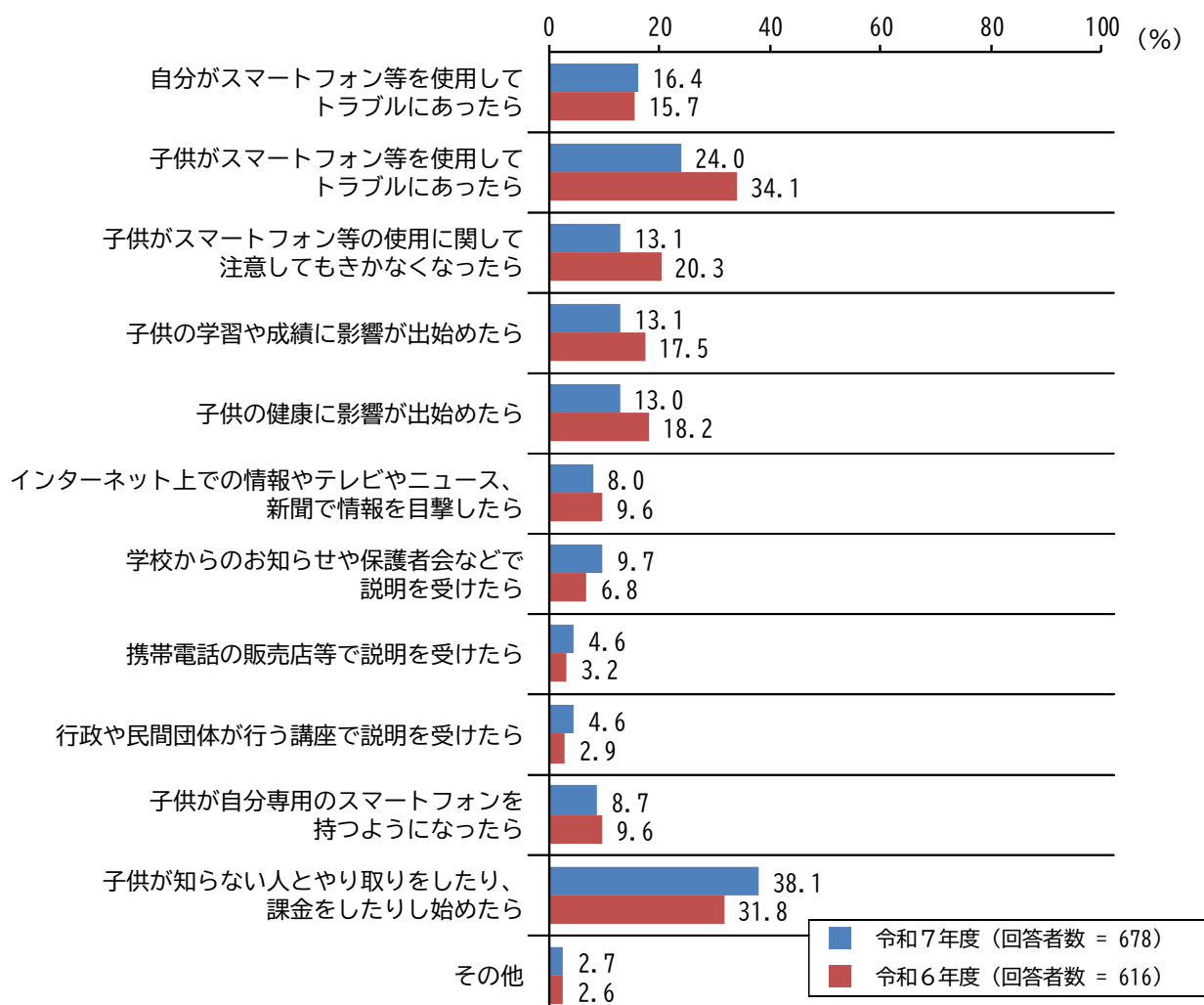
学年別にみると、「子供が知らない人とやり取りをしたり、課金をしたりし始めたら」「子供がスマートフォン等を使用してトラブルにあったら」は、いずれの学年においても高い割合を示しており、上位2項目に位置している。



その他（具体的な内容）	件数
・ サイトや他人に関わってほしくない	1件
・ 関心がない	1件
・ 報道などで紹介してたら	1件
・ わからない	5件
・ 特にない	10件
計	18件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「子供が知らない人とやり取りをしたり、課金をしたりし始めたら」が6.3ポイント増加している。一方で、「子供がスマートフォン等を使用してトラブルにあったら」が10.1ポイント、「子供がスマートフォン等の使用に関して注意してもきかなくなったら」が7.2ポイント、「子供の健康に影響が出始めたら」が5.2ポイント減少している。



※前回（令和6年度）の調査では、「学校からのお知らせや保護者会などで説明を受けたら」の選択肢は、「幼稚園・保育園・学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで説明を受けたら」として、「行政や民間団体が行う講座で説明を受けたら」の選択肢は「国や都・市区町村等や民間団体が行う講習に参加したら」として、それぞれ回答を聴取。

※本設問は前回（令和6年度）調査から設定。

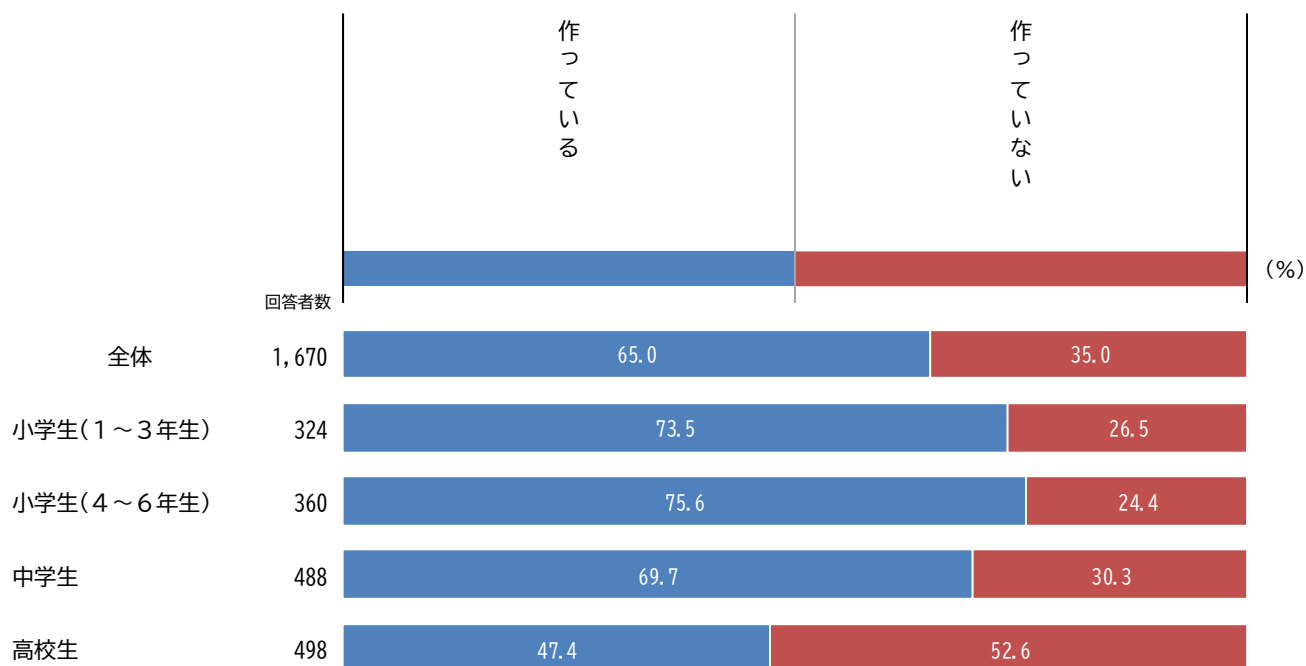
(4) 家庭内でのルールの有無

※Q1で【スマートフォン】と回答した方に伺います。

Q29. お子さんがスマートフォンを使うことについて、家庭内でルールを作っていますか。

全体では、「作っている」が65.0%、「作っていない」が35.0%となっている。

学年別にみると、小学生（1～3年生）・小学生（4～6年生）・中学生では「作っている」が約70～75%と高い割合を示している。一方で、高校生では「作っていない」が52.6%となっており、半数を上回っている。



【Q6 子供のスマートフォンの1日の使用時間とのクロス集計】

子供のスマートフォンの1日の使用時間でみると、〈30分未満から4時間以上5時間未満〉では、60%以上が「作っている」となっている。また、使用時間が長い層ほど「作っていない」の割合が高い傾向がみられる。〈わからない〉では「作っていない」が67.6%と他の層と比べて最も高い割合を示している。

		回答者数	作っている	作っていない
全体		1670	65.0	35.0
Q6	30分未満	173	68.8	31.2
	30分以上1時間未満	238	77.3	22.7
	1時間以上2時間未満	384	73.7	26.3
	2時間以上3時間未満	333	70.9	29.1
	3時間以上4時間未満	151	64.2	35.8
	4時間以上5時間未満	58	65.5	34.5
	5時間以上	108	51.9	48.1
	わからない	225	32.4	67.6

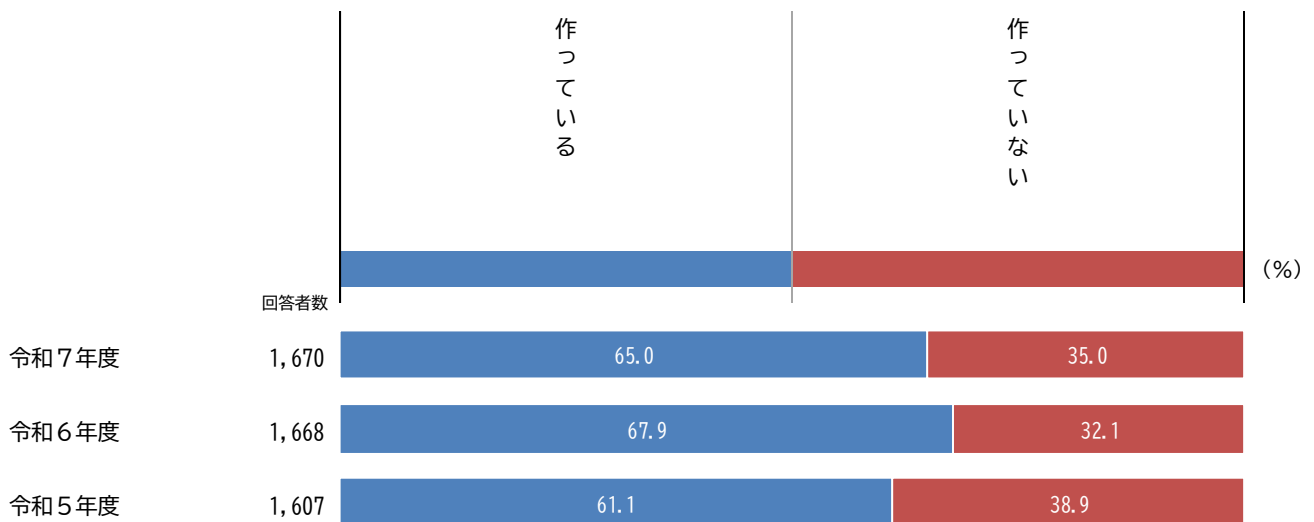
【Q17 スマートフォン利用によるトラブルの有無とのクロス集計】

スマートフォン利用によるトラブルの有無でみると、〈トラブルにあったことがある〉では「作っている」が89.8%と高い割合を示している。一方で、〈トラブルにあったかどうかわからない〉では「作っていない」が63.9%と高い割合を示している。

		回答者数	作っている	作っていない
全体		1670	65.0	35.0
Q17	トラブルにあったことがある	206	89.8	10.2
	トラブルにあったことはない	1212	66.8	33.2
	トラブルにあったかどうかわからない	252	36.1	63.9

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「家庭内でのルールの有無」の割合に大きな変化はみられない。



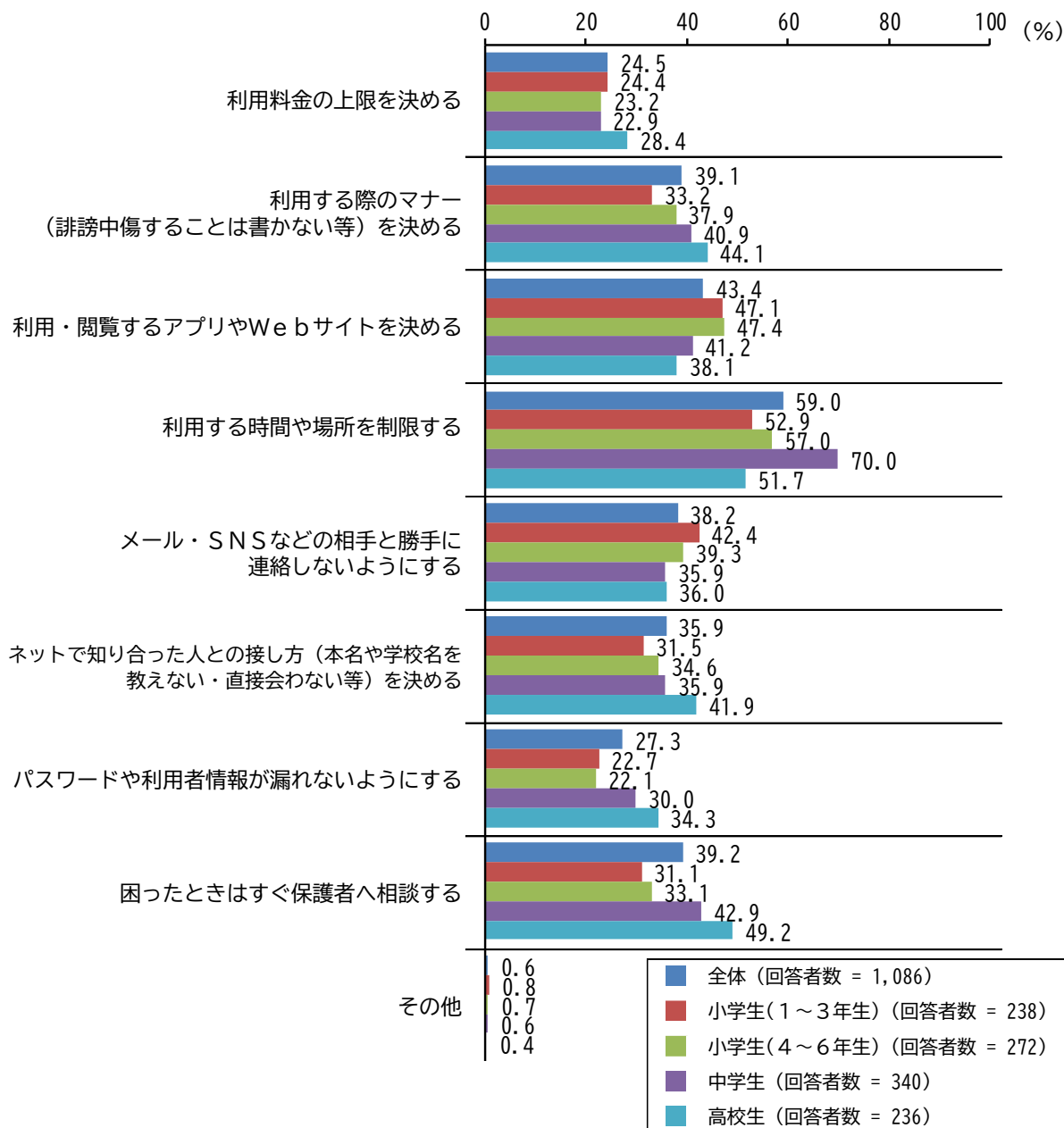
(5) 家庭内でのルールの内容

※Q29で【作っている】と回答した方に伺います。

Q30. お子さんがスマートフォンを使うことについて、家庭内でどのようなルールを作っていますか。(いくつでも)

全体では、「利用する時間や場所を制限する」が59.0%と最も高く、次いで「利用・閲覧するアプリやWebサイトを定める」の43.4%、「困ったときはすぐ保護者へ相談する」の39.2%となっている。

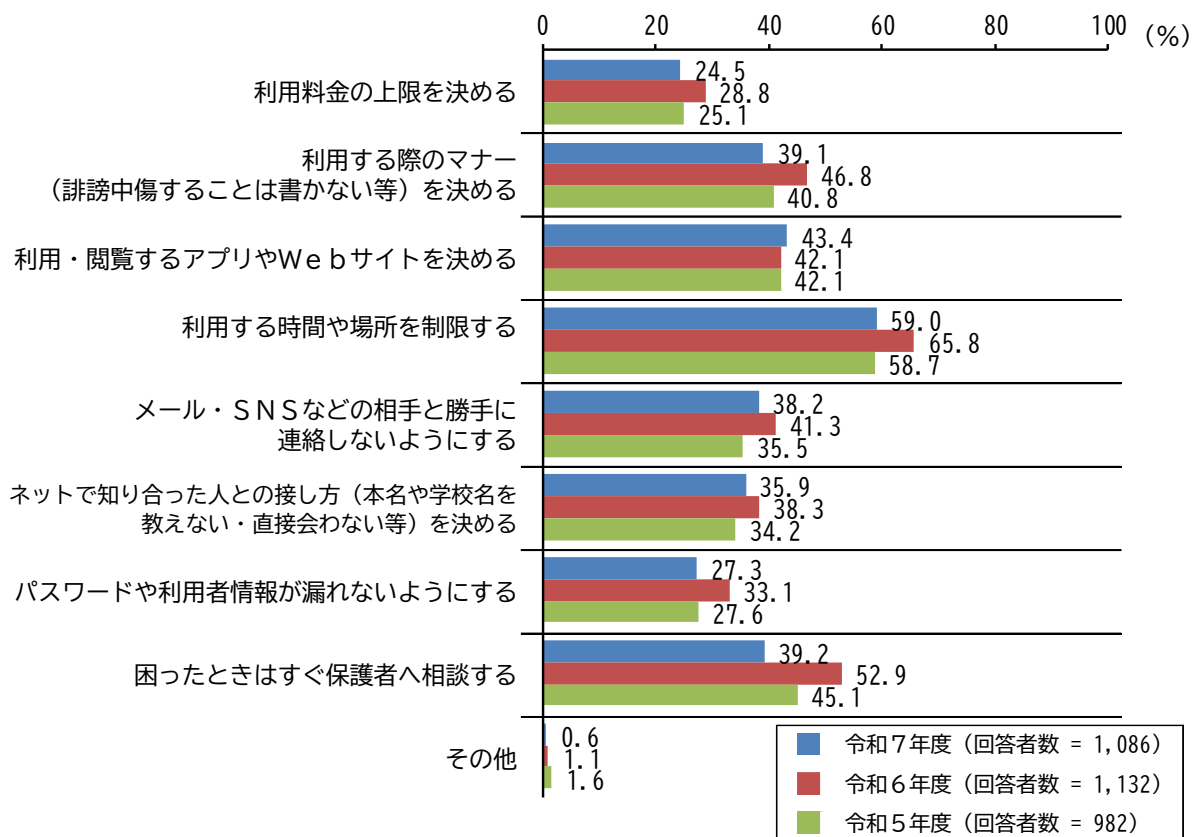
学年別にみると、「利用する時間や場所を制限する」はいずれの学年においても最も高い割合を示している。特に中学生では70.0%と他の学年と比べて高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・課金しない	1件
・勝手にアプリを入れない	1件
・友達以外は無視	1件
・SNSのやり取りを不定期で保護者がチェックする	1件
・料金は発生させない	1件
・スマホを他の人に操作させないこと	1件
・ご飯中に見ない	1件
計	7件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「困ったときはすぐ保護者へ相談する」は13.7ポイント、「利用する際のマナー（誹謗中傷することは書かない等）を決める」は7.7ポイント、「利用する時間や場所を制限する」は6.8ポイント、「パスワードや利用者情報が漏れないようにする」は5.8ポイント減少している。



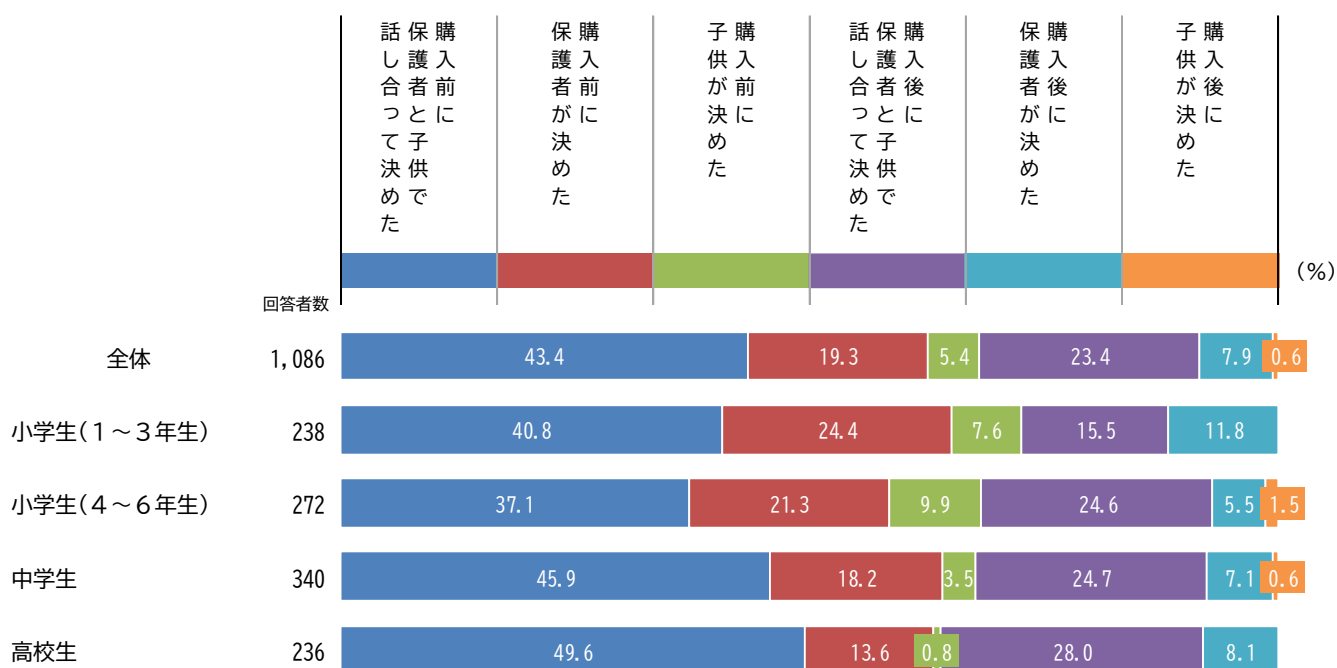
(6) 家庭内でのルール作りの時期と決め方

※Q29で【作っている】と回答した方に伺います。

Q31. ルールはいつ、どのように作りましたか。

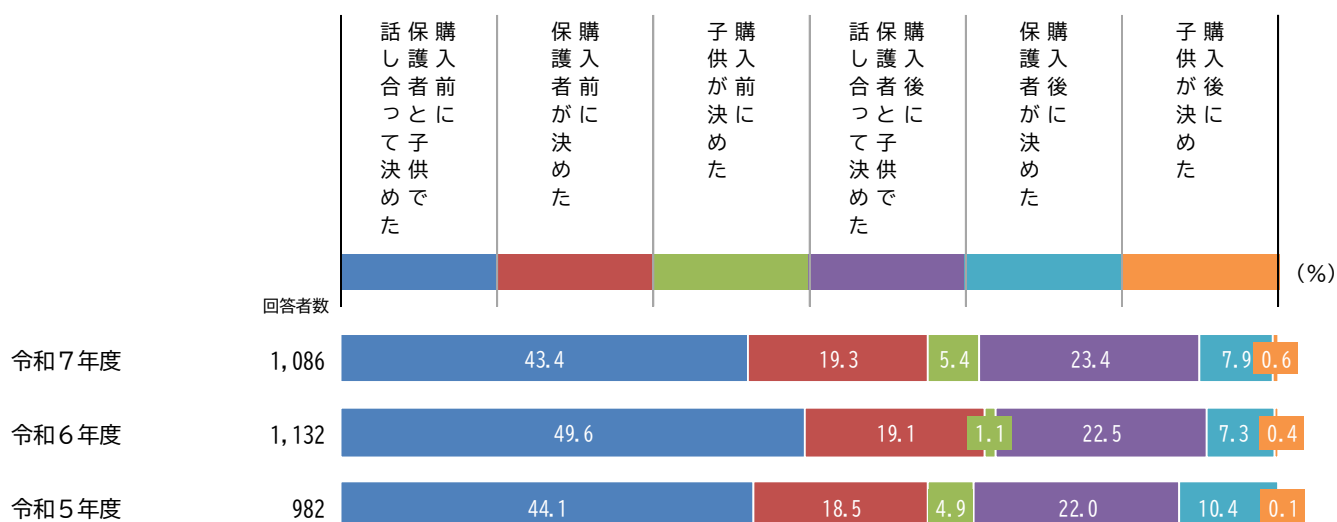
全体では、「購入前に保護者と子供で話し合っで決めた」が43.4%と最も高く、次いで「購入後に保護者と子供で話し合っで決めた」の23.4%、「購入前に保護者が決めた」の19.3%となっている。

学年別にみると、高校生では「購入前に保護者と子供で話し合っで決めた」が49.6%となり、他の学年と比べて高い割合を示している。



【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「購入前に保護者と子供で話し合っで決めた」が6.2ポイント減少している。



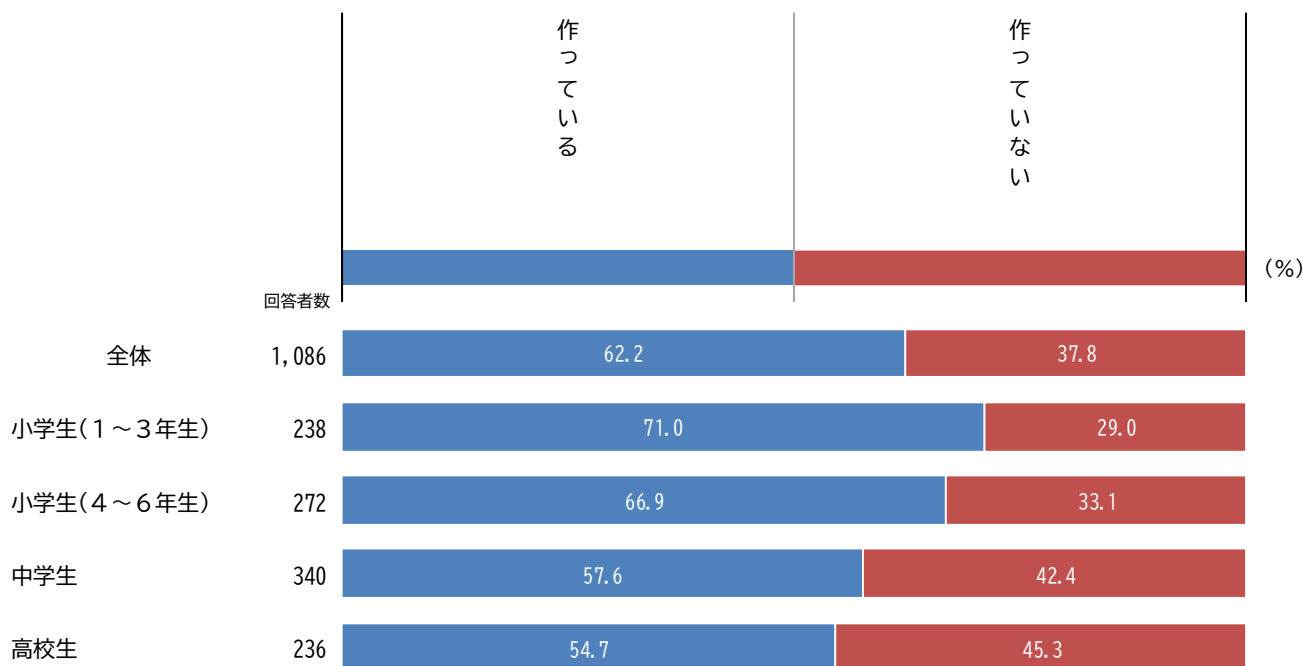
(7) ルールを守れなかった時のルールの有無

※Q29で【作っている】と回答した方に伺います。

Q32. お子さんが「ルールを守れなかった場合の”ルール”」を作っていますか。
 (例：守れなかったら、〇日間は使用時間を短くする。など)

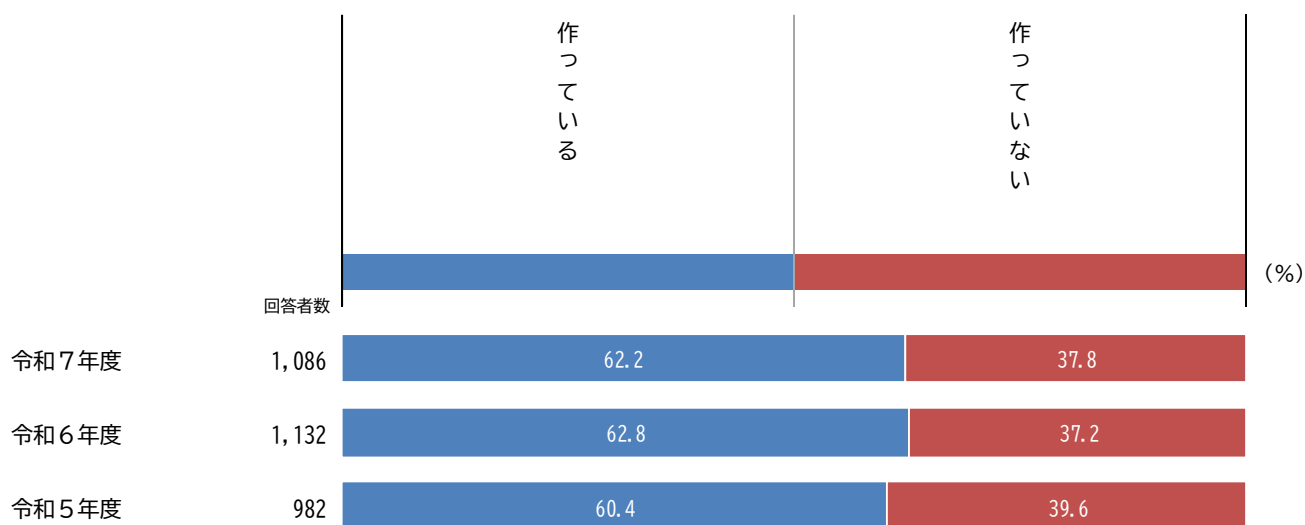
全体では、「作っている」が62.2%、「作っていない」が37.8%となっている。

学年別にみると、「作っている」は、小学生(1～3年生)では71.0%、小学生(4～6年生)では66.9%となっており、中学生や高校生と比べて高い割合を示している。



【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「ルールを守れなかった時のルールの有無」の割合に大きな変化はみられない。



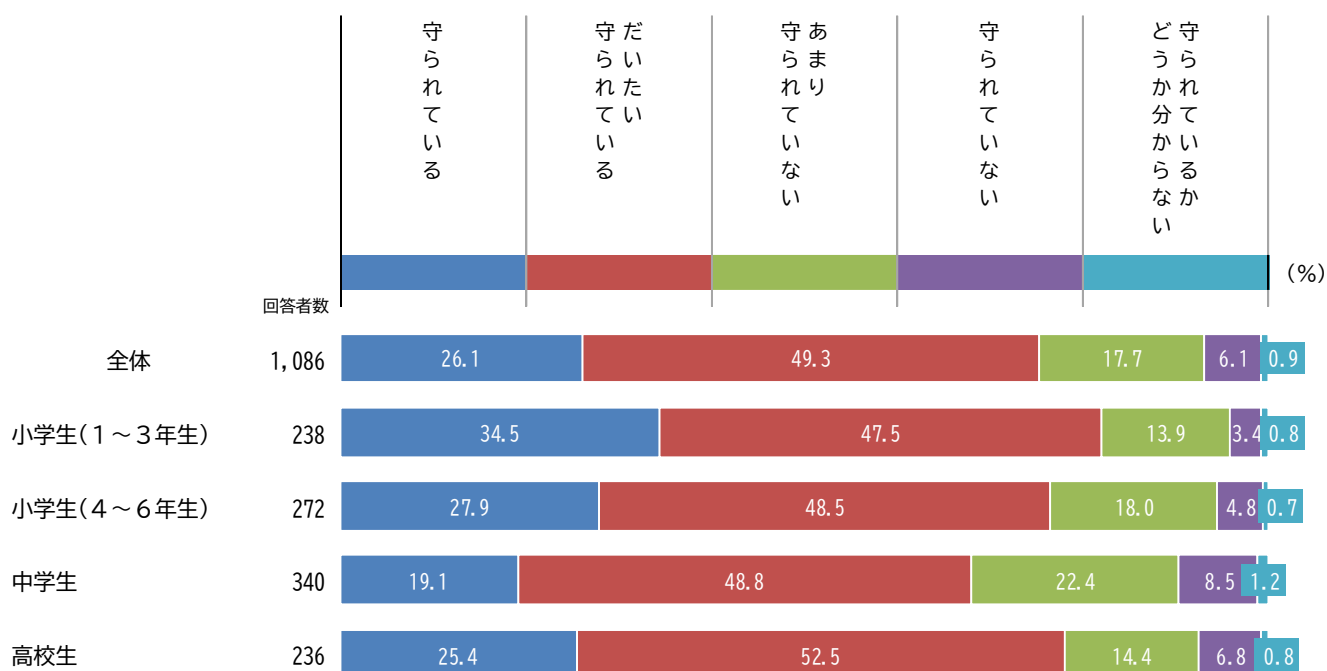
(8) ルールは守られているか

※Q29で【作っている】と回答した方に伺います。

Q33. 家庭内で作ったルールは守られていますか。

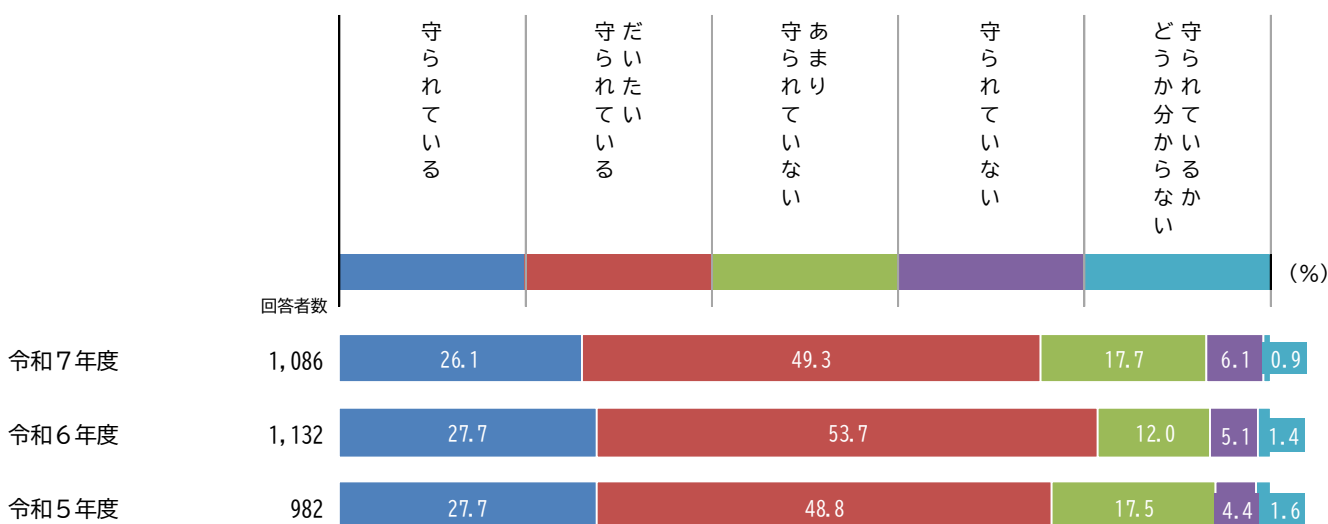
全体では、「だいたい守られている」が49.3%と最も高く、次いで「守られている」の26.1%、「あまり守られていない」の17.7%となっている。《守られている（「だいたい守られている」を含む）》は75.4%となっている。

学年別にみると、小学生(1～3年生)は、《守られている》が82.0%と高い割合を示している。



【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、《守られている》は6.0ポイント減少している。一方で、《守られていない（あまり守られていない）を含む》は6.7ポイント増加している。



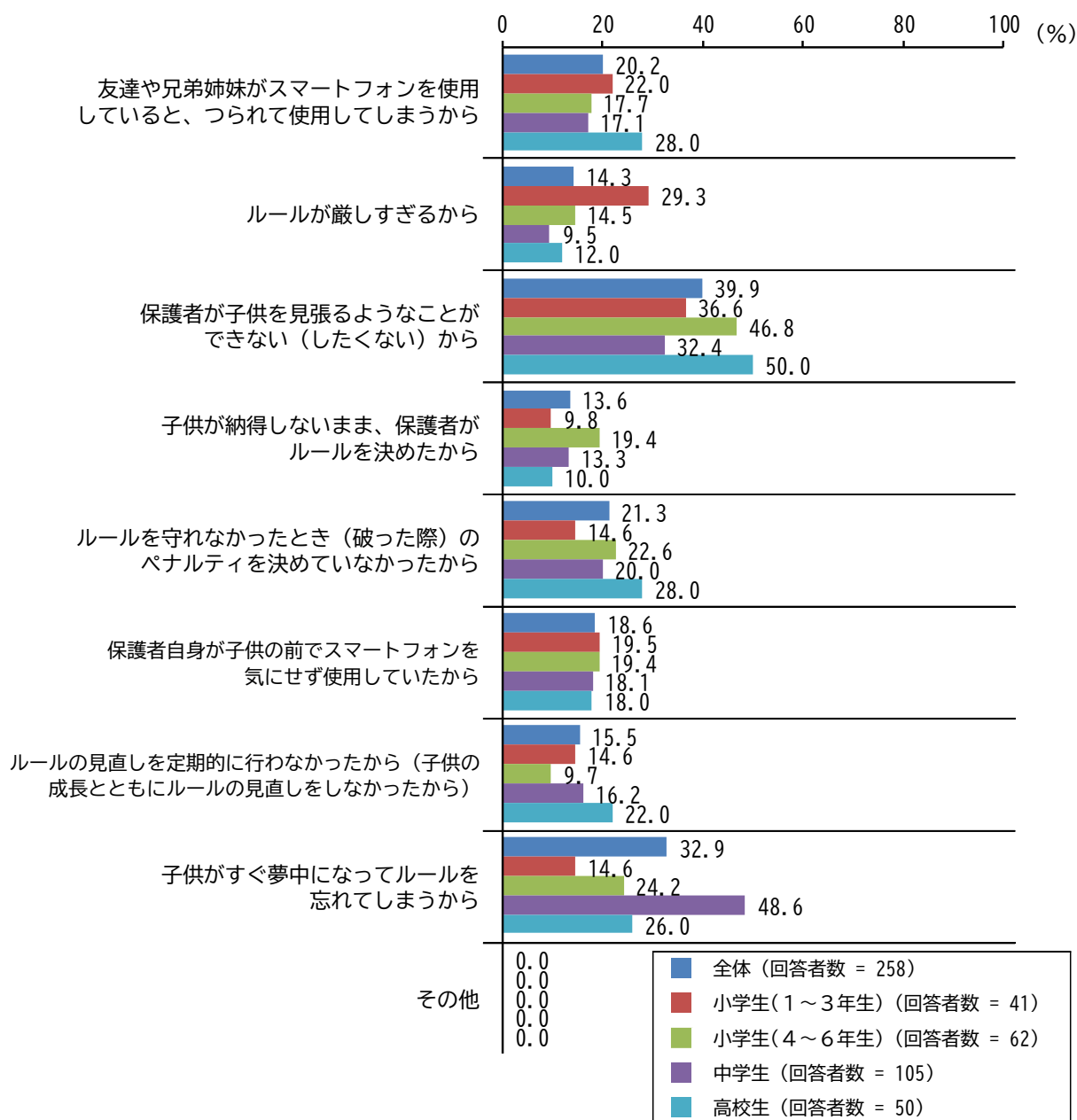
(9) ルールが守られていない理由

※Q33で【あまり守られていない】又は、【守られていない】と回答した方に伺います。

Q34. ルールがあまり守られていない・守られていない理由は何ですか（何だと思えますか）。
（いくつでも）

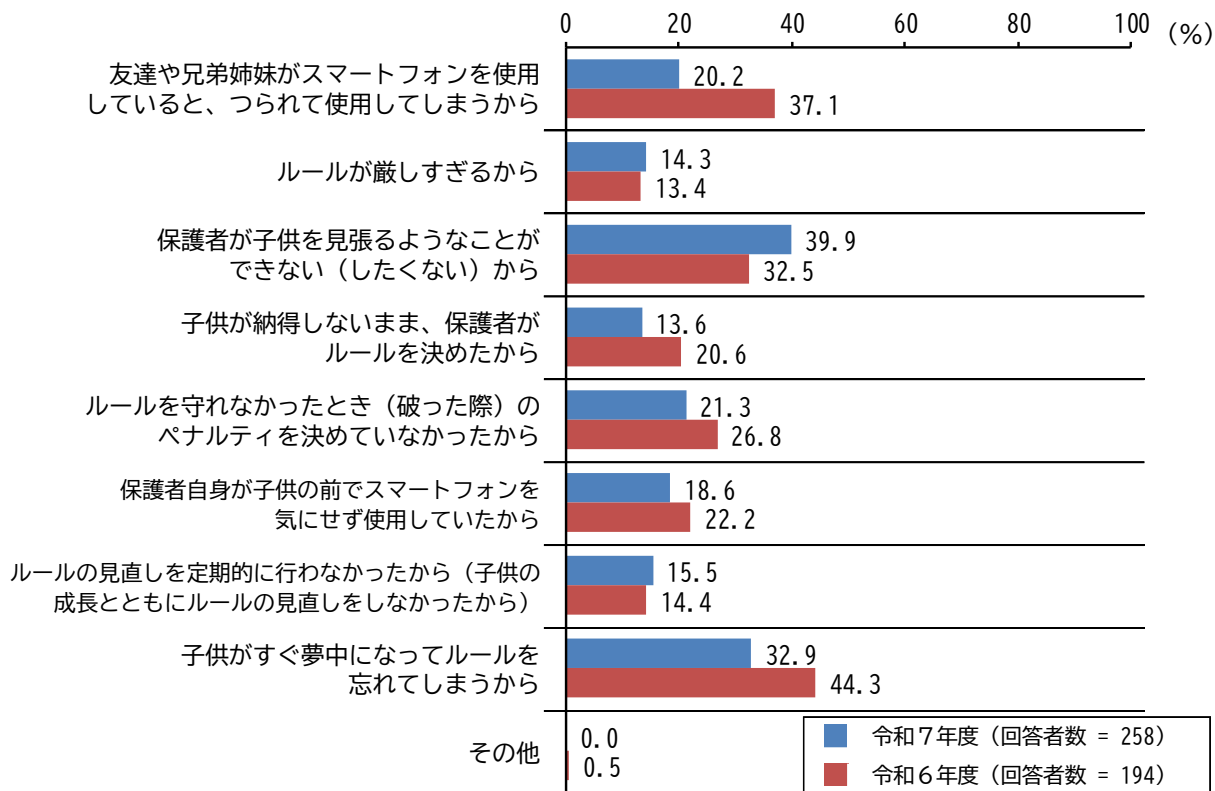
全体では、「保護者が子供を見張るようなことができない（したくない）から」が39.9%と最も高く、次いで「子供がすぐ夢中になってルールを忘れてしまうから」の32.9%、「ルールを守れなかったとき（破った際）のペナルティを決めていなかったから」の21.3%となっている。

学年別にみると、小学生（1～3年生）・小学生（4～6年生）・高校生では「保護者が子供を見張るようなことができない（したくない）から」が最も高い割合を示している。また、中学生では「子供がすぐ夢中になってルールを忘れてしまうから」が最も高い割合を示している。



【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「保護者が子供を見張るようなことができない（したくない）から」は7.4ポイント増加している。一方で、「友達や兄弟姉妹がスマートフォンを使用していると、つられて使用してしまうから」は16.9ポイント、「子供がすぐ夢中になってルールを忘れてしまうから」は11.4ポイント、「子供が納得しないまま、保護者がルールを決めたから」は7.0ポイント、「ルールを守れなかったとき（破った際）のペナルティを決めていなかったから」は5.5ポイント減少している。



※前回（令和6年度）の調査では、「友達や兄弟姉妹がスマートフォンを使用していると、つられて使用してしまうから」の選択肢は、「友達や家族の誰かが使用していると、つられて使用してしまうから」として聴取。
 ※本設問は前回（令和6年度）調査から設定。

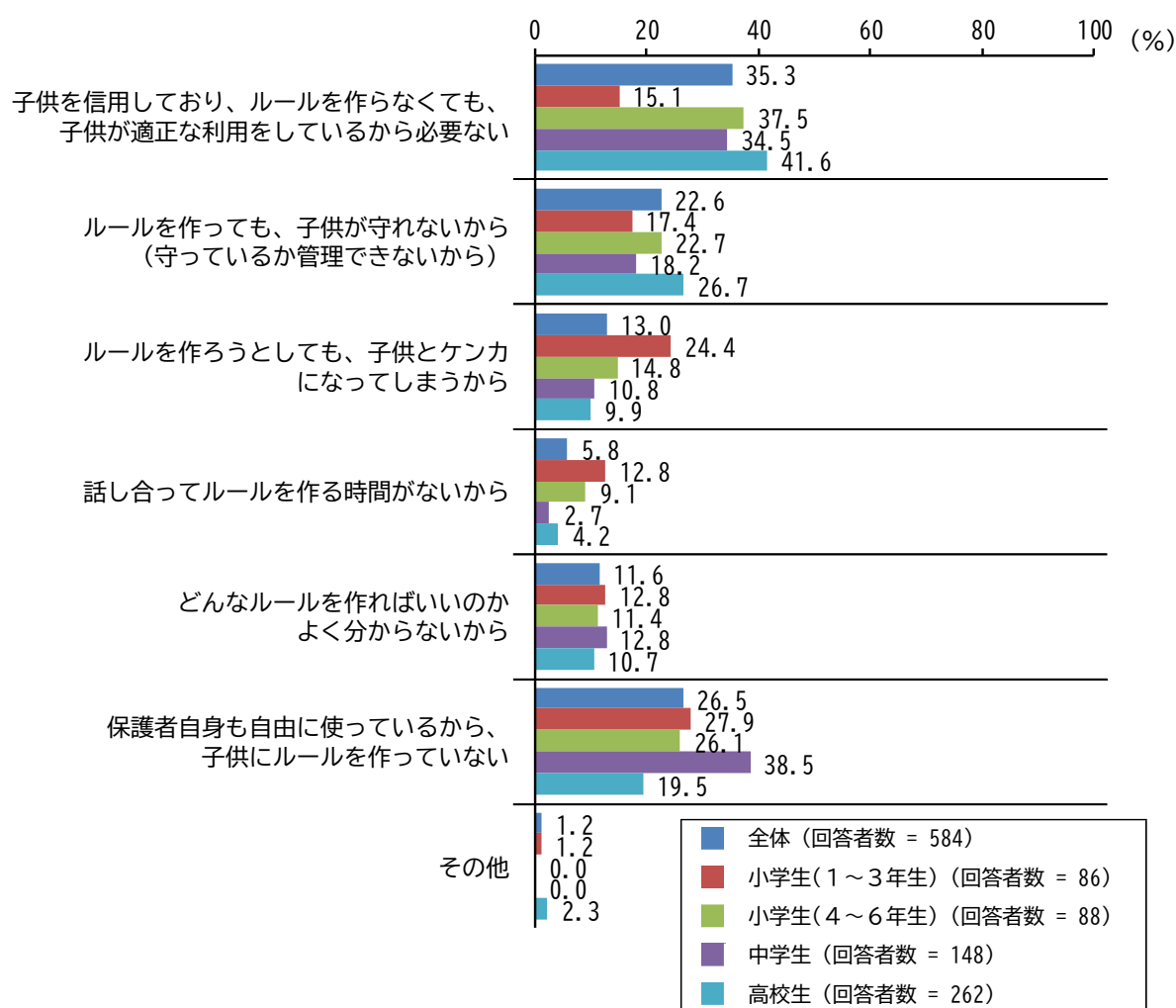
(10) ルールを作っていない理由

※Q29で【作っていない】と回答した方に伺います。

Q35. ルールを作っていない理由は何ですか。(いくつでも)

全体では、「子供を信用しており、ルールを作らなくても、子供が適正な利用をしているから必要ない」が35.3%と最も高く、次いで「保護者自身も自由に使っているから、子供にルールを作っていない」の26.5%、「ルールを作っても、子供が守れないから(守っているか管理できないから)」の22.6%となっている。

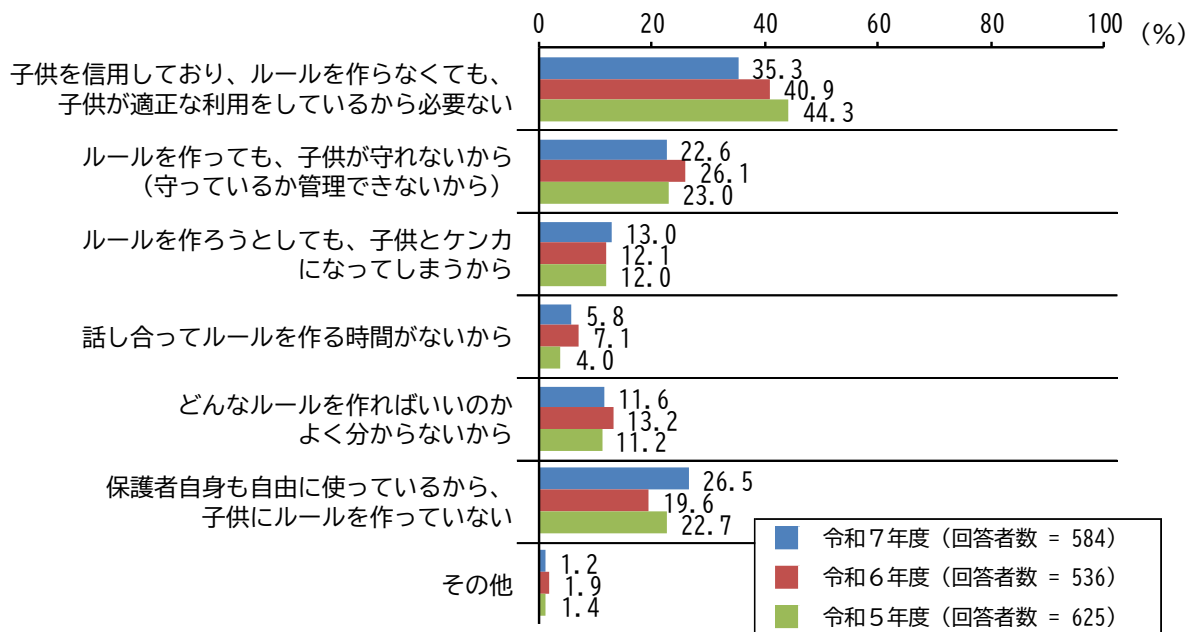
学年別にみると、小学生(1～3年生)・中学生では「保護者自身も自由に使っているから、子供にルールを作っていない」が最も高い割合を示している。また、小学生(4～6年生)・高校生では「子供を信用しており、ルールを作らなくても、子供が適正な利用をしているから必要ない」が最も高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・ある程度の常識を分かっているから	1件
・以前はあったが、年齢が上がり自分で判断できるようになったから	1件
・過去ルールを作って使用させていたが問題なさそうなのでルール解除した	1件
・使い方を規制しようという発想そのものがない	1件
・子どもがルール自体を理解できなさそうだから	1件
・寝る時だけリビングに置く	1件
・特になし	1件
計	7件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「保護者自身も自由に使っているから、子供にルールを作っていない」は6.9ポイント増加している。一方で、「子供を信用しており、ルールを作らなくても、子供が適正な利用をしているから必要ない」は5.6ポイント減少している。



5. フィルタリングサービスについて

(1) フィルタリングサービスの利用状況

※Q1で【スマートフォン】と回答した方に伺います。

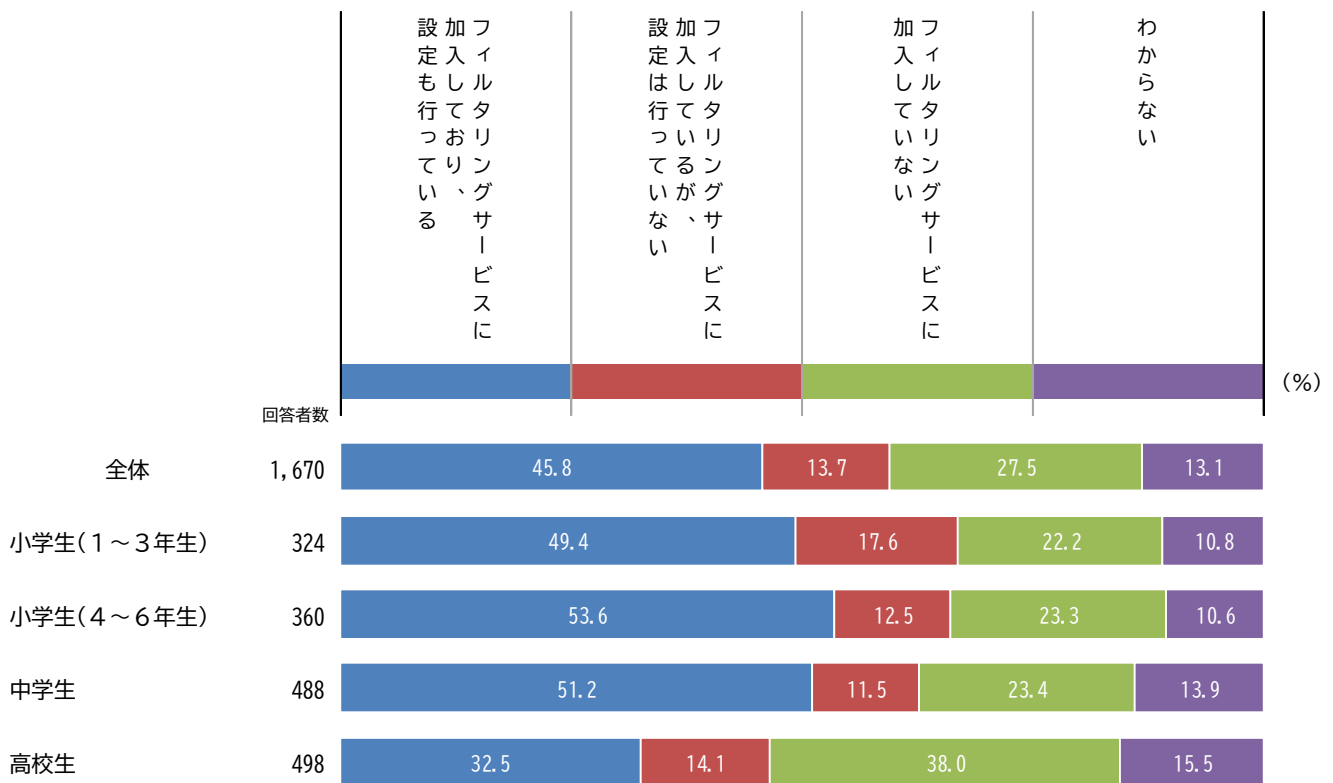
Q36. お子さんが利用しているスマートフォンについて、フィルタリングサービス（※）の利用状況をお答えください。

※フィルタリングサービスとは、お子さまが安全にインターネットを使い、保護者が安心して見守るための機能をいいます

(例：あんしんフィルター、スクリーンタイム (iPhone)、ファミリーリンク (Android))

全体では、「フィルタリングサービスに加入しており、設定も行っている」は 45.8%。「フィルタリングサービスに加入しているが、設定は行っていない」の 13.7%と合わせた「加入している」は 59.5%となっている。「フィルタリングサービスに加入していない」は 27.5%で、「フィルタリングサービスに加入しているが、フィルタリングの設定は行っていない」の 13.7%と合わせた「設定していない」は 41.2%となっている。

学年別にみると、小学生（1～3年生）・小学生（4～6年生）・中学生では「フィルタリングサービスに加入しており、設定も行っている」が約 50%となっている。一方で、高校生では「フィルタリングサービスに加入していない」が 38.0%と、他の学年と比べて高い割合を示している。



※加入とは、フィルタリングサービスを受けられるように購入店舗などで行う手続きのことをいいます。

※設定とは、フィルタリングサービスに加入した後に、項目を設定することをいいます。

【Q26 ペアレンタルコントロールについての認知、関心の有無とのクロス集計】

ペアレンタルコントロールについての認知、関心の有無でみると、〈ペアレンタルコントロールという言葉を知っていて、関心がある〉〈ペアレンタルコントロールという言葉は知らなかったが、関心はある〉では「フィルタリングサービスに加入しており、設定も行っている」が最も高い割合を示している。一方で、〈ペアレンタルコントロールという言葉は知っているが、関心はない〉〈ペアレンタルコントロールという言葉も知らないし、関心もない〉では、「フィルタリングサービスに加入していない」が最も高い割合を示している。

	回答者数	設定もしている	加入もしている	フィルタリングサービスに	設定は行っていない	加入はしていない	フィルタリングサービスに	わからない
全体	1670	45.8	13.7	27.5	13.1			
Q26	ペアレンタルコントロールという言葉を知っていて、関心がある	627	67.5	10.2	19.1	3.2		
	ペアレンタルコントロールという言葉は知らなかったが、関心はある	437	46.0	21.7	24.7	7.6		
	ペアレンタルコントロールという言葉は知っているが、関心はない	180	22.2	14.4	48.9	14.4		
	ペアレンタルコントロールという言葉も知らないし、関心もない	426	23.7	10.1	33.6	32.6		

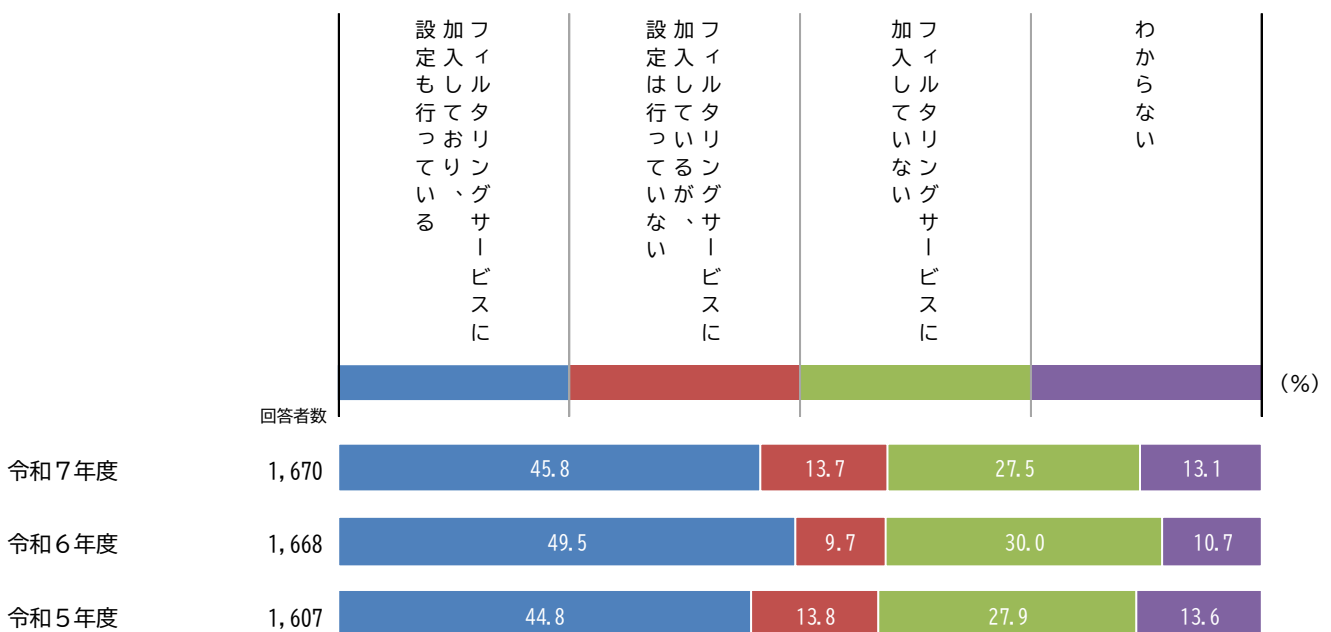
【Q29 家庭内でのルールの有無とのクロス集計】

家庭内でのルールの有無でみると、〈作っている〉では「フィルタリングサービスに加入しており、設定も行っている」が 60.0%と最も高い割合を示している。一方で、〈作っていない〉では、「フィルタリングサービスに加入していない」が 40.9%と最も高い割合を示している。

	回答者数	設定もしている、サービスに加入している	設定は行っていない、サービスに加入している	加入していない、サービスに加入している	わからない
全体	1670	45.8	13.7	27.5	13.1
Q29 作っている	1086	60.0	13.0	20.3	6.7
作っていない	584	19.3	14.9	40.9	24.8

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、《加入している》の割合に大きな変化はみられない。



※前回（令和6年度）、前々回（令和5年度）の調査では、「フィルタリングサービスに加入しており、設定も行っている」の選択肢は「フィルタリングサービスに加入しており、フィルタリングの設定も行っている」として、「フィルタリングサービスに加入しているが、設定は行っていない」の選択肢は「フィルタリングサービスに加入しているが、フィルタリングの設定は行っていない」として、それぞれ回答を聴取。

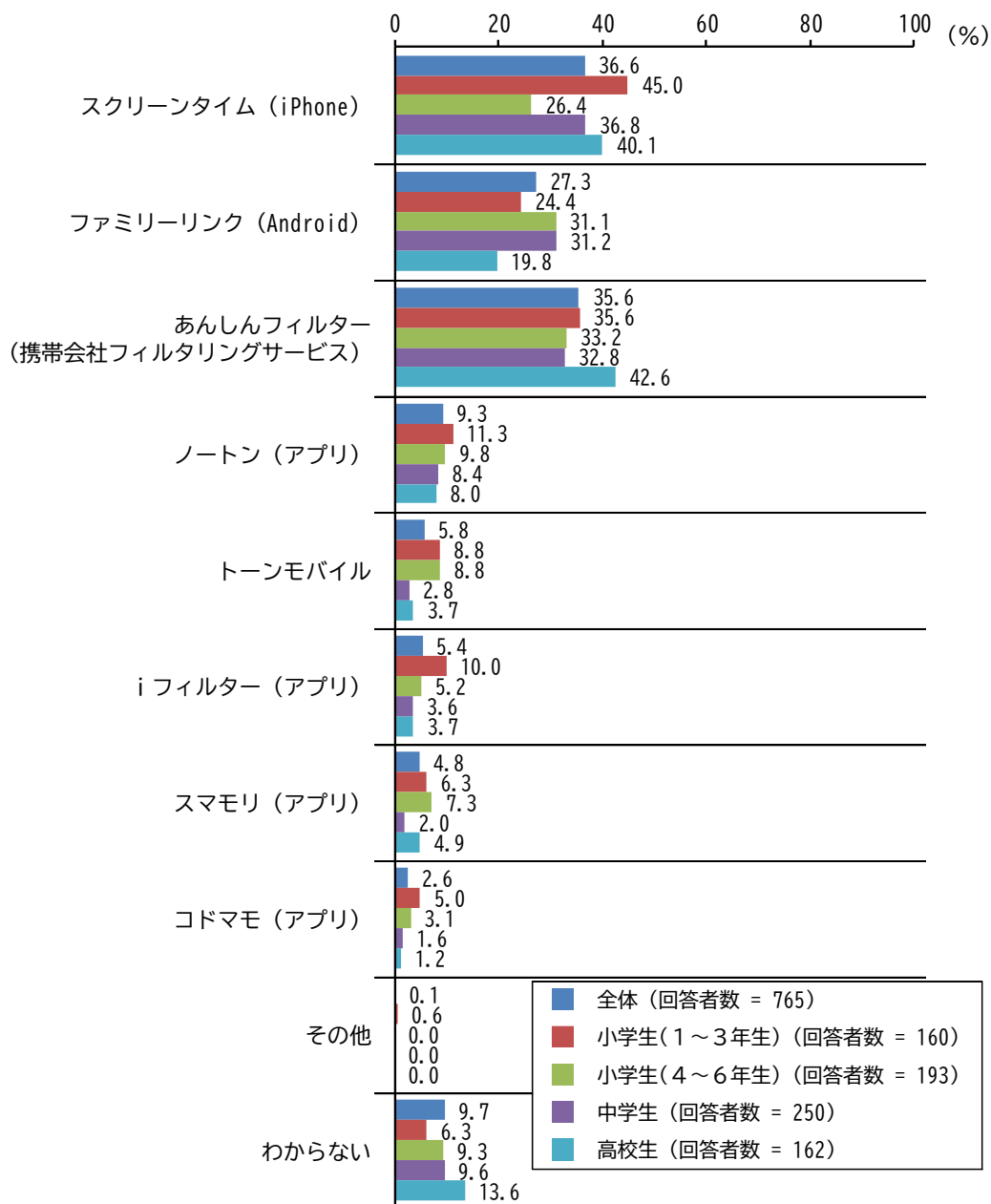
(2) 利用しているフィルタリングサービスの種類

※Q36で【フィルタリングサービスに加入しており、設定も行っている】と回答した方に伺います。

Q37. どのようなフィルタリングサービスを使用していますか。(いくつでも)

全体では、「スクリーンタイム (iPhone)」が 36.6%と最も高く、次いで「あんしんフィルター (携帯会社フィルタリングサービス)」の 35.6%、「ファミリーリンク (Android)」の 27.3%となっている。

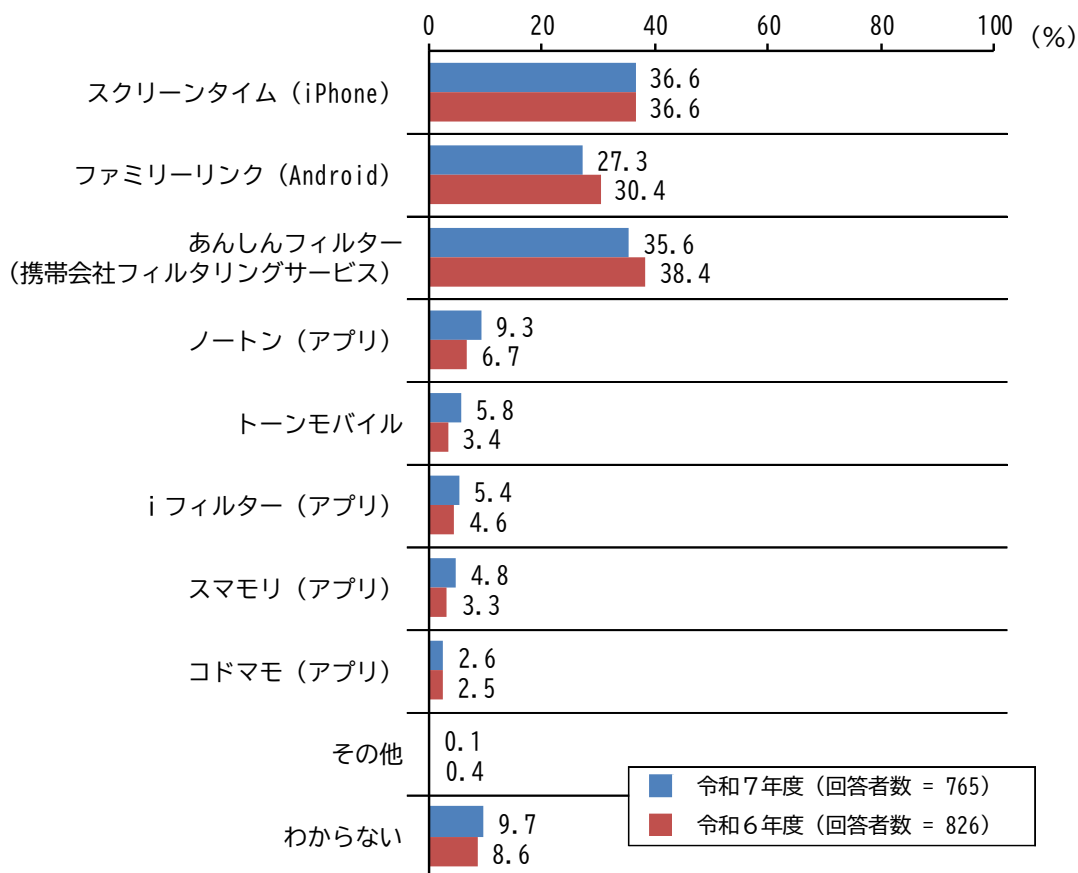
学年別にみると、小学生(1～3年生)・中学生では「スクリーンタイム (iPhone)」が最も高い割合を示している。また、小学生(4～6年生)・高校生では「あんしんフィルター (携帯会社フィルタリングサービス)」が最も高い割合を示している。



その他 (具体的な内容)	件数
・ユーチューブのフィルタリング	1件
計	1件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「利用しているフィルタリングサービスの種類」の割合に大きな変化はみられない。



※本設問は前回（令和6年度）調査から設定。

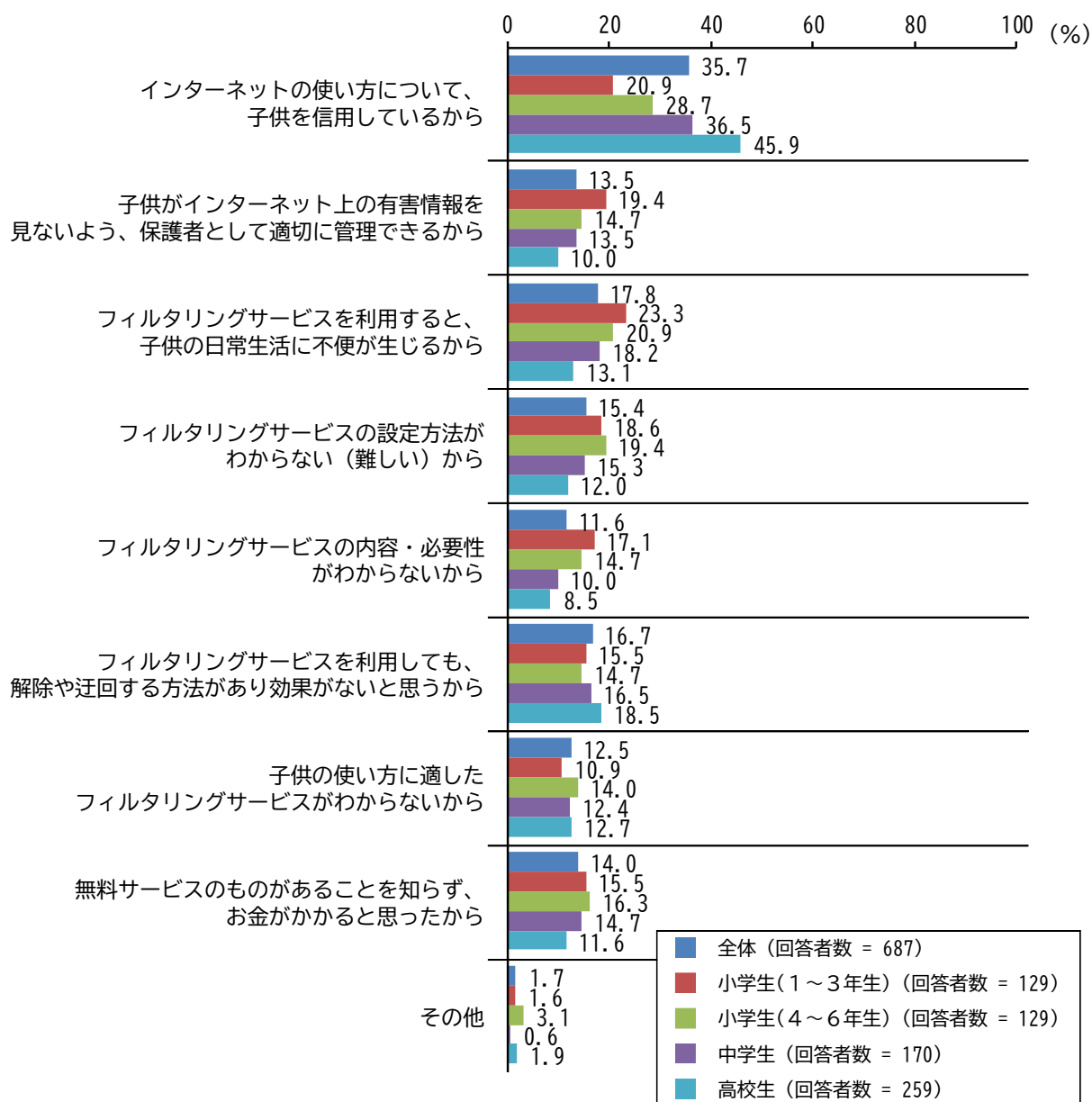
(3) フィルタリング設定を行っていない理由

※Q36で【フィルタリングサービスに加入しているが、設定は行っていない】又は、【フィルタリングサービスに加入していない】と回答した方に伺います。

Q38. フィルタリングサービスの設定を行っていない理由は何ですか。(いくつでも)

全体では、「インターネットの使い方について、子供を信用しているから」が35.7%と最も高く、次いで「フィルタリングサービスを利用すると、子供の日常生活に不便が生じるから」の17.8%、「フィルタリングサービスを利用しても、解除や迂回する方法があり効果がないと思うから」の16.7%となっている。

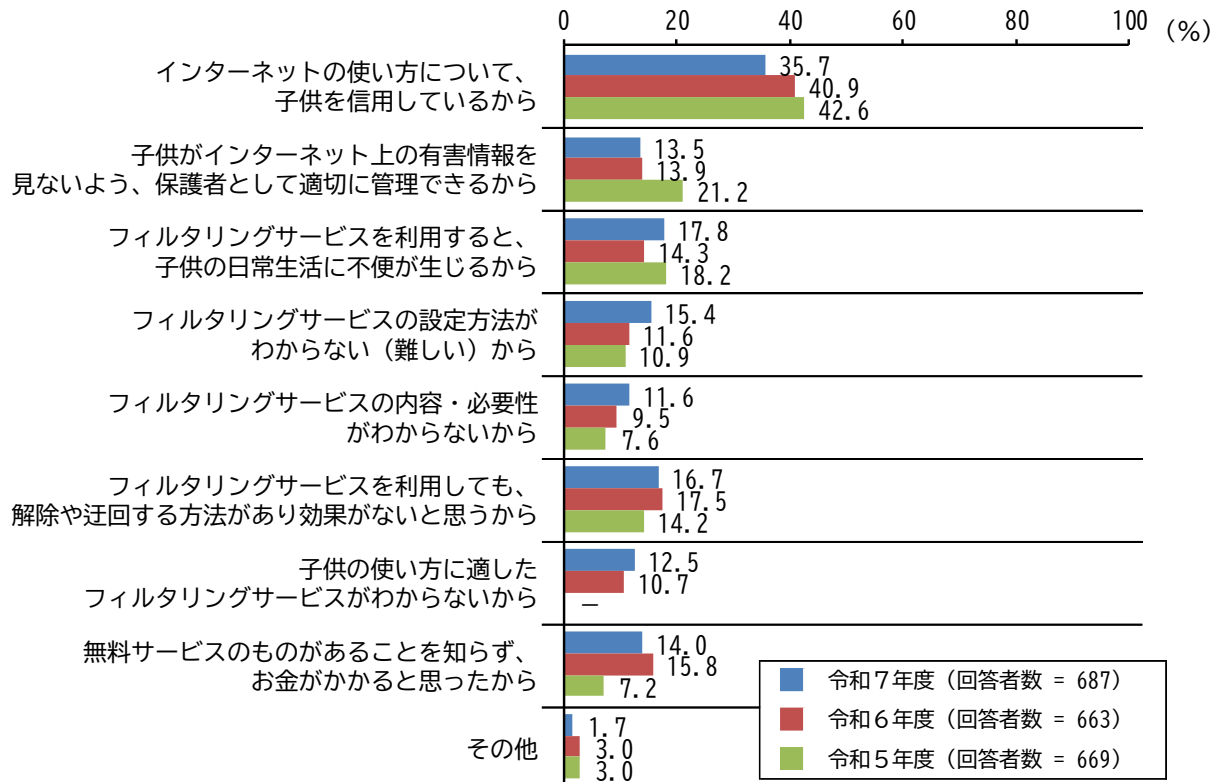
学年別にみると、学年が上がるにつれて「インターネットの使い方について、子供を信用しているから」の割合が増加しており、高校生では45.9%と高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・スマホ内で設定している	1件
・ポップアップが出てきたら必ず親に聞くように指示している	1件
・まだウェブを見る段階ではないので	1件
・以前は利用していたが、子供が大きくなると LINE の一部機能が使用できないなどの不都合が生じることがあった	1件
・元々備わっているサービスを使用しています	1件
・使うアプリやサイトを制限している	1件
・必要がないから	1件
・不要	1件
・面倒で設定を先延ばしにしているから	1件
・友人との LINE 以外、本人が興味ない	1件
・利用後に成長したので解約した	1件
・特にない	1件
計	12件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「インターネットの使い方について、子供を信用しているから」は5.2ポイント減少している。



※前回(令和6年度)、前々回(令和5年度)の調査では、「フィルタリングサービスを利用すると、子供の日常生活に不便が生じるから」の選択肢は「フィルタリングを利用すると、子供の日常生活に不便が生じるから」として、「フィルタリングサービスの設定方法がわからない(難しい)から」の選択肢は「フィルタリングの設定方法がわからない(難しい)から」として、「フィルタリングサービスの内容・必要性がわからないから」の選択肢は「フィルタリングの内容・必要性がわからないから」として、「フィルタリングサービスを利用しても、解除や迂回する方法があり効果がないと思うから」の選択肢は「フィルタリングを利用しても、解除や迂回する方法があり効果がないと思うから」として、それぞれ回答を聴取。

※前々回(令和5年度)の調査では、「子供の使い方に適したフィルタリングサービスがわからないから」の選択肢は設定していないため、比較値はなし。

(4) 業者からのフィルタリングサービスの説明及び説明書の交付の受理

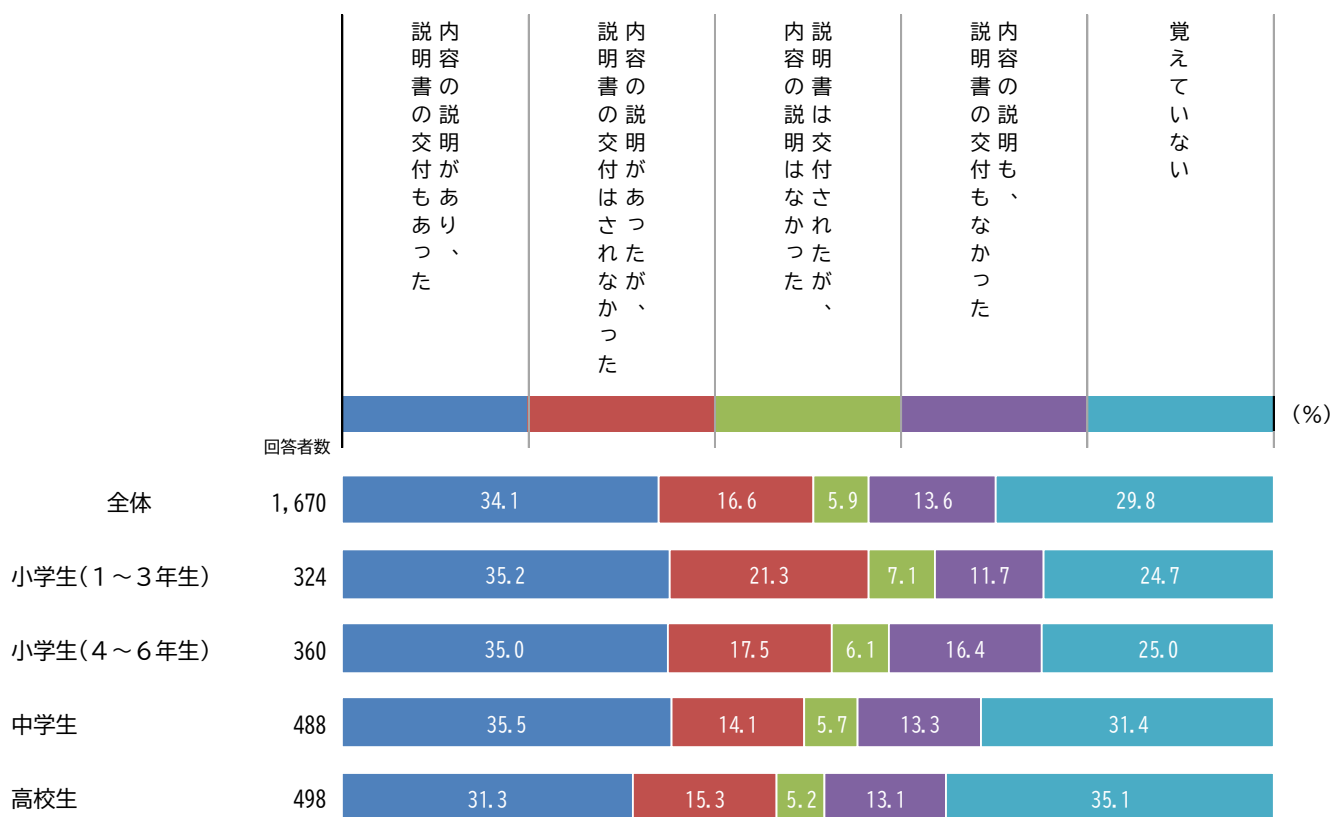
※Q1で【スマートフォン】と回答した方に伺います。

Q39. お子さんが利用しているスマートフォンの契約・購入の際、販売店からフィルタリングサービス等に関する説明及び説明書※の交付を受けましたか。

※都の条例により交付が義務付けられているもの

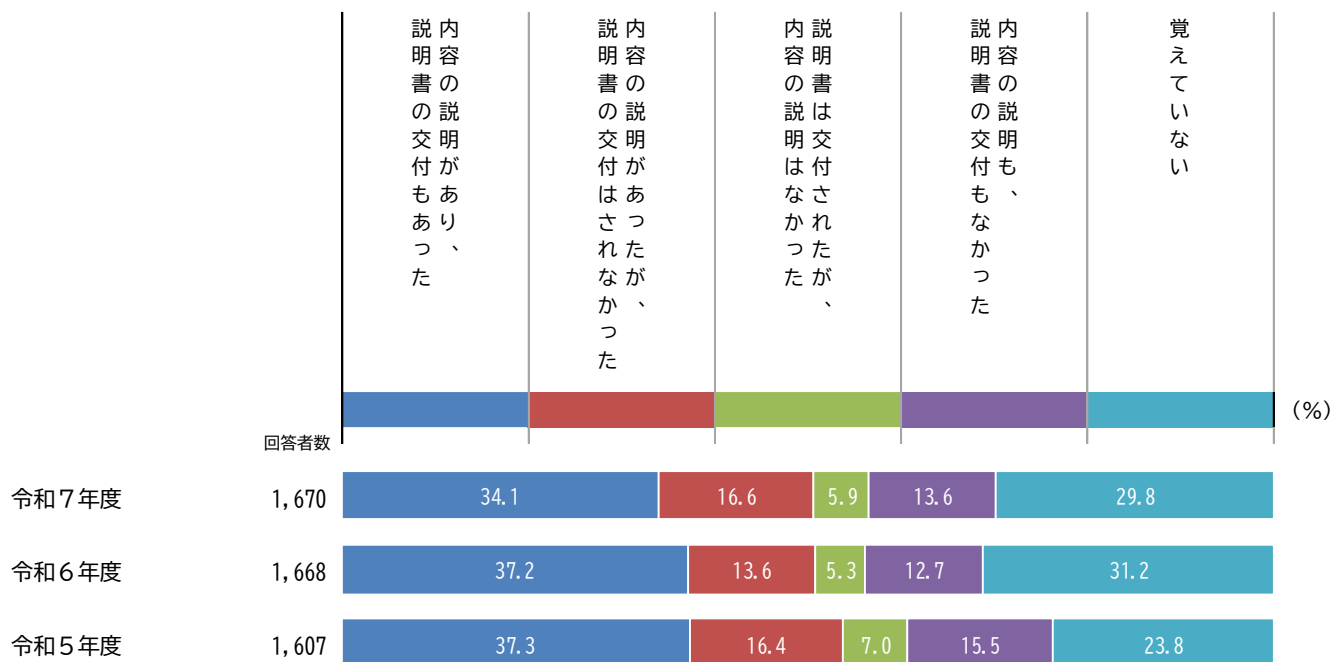
全体では、「内容の説明があり、説明書の交付もあった」は 34.1%。「内容の説明があつたが、説明書の交付はされなかった」の 16.6%と合わせた「内容の説明があつた」は 50.7%となっている。また、「説明書は交付されたが、内容の説明はなかった」の 5.9%と合わせた「説明書の交付があつた」は 40.0%となっている。

学年別にみると、いずれの学年においても「内容の説明があつた」の割合が 40%を超え、小学生（1～3年生）・小学生（4～6年生）では半数を上回っている。



【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「業者からのフィルタリングサービスの説明及び説明書の交付の受理」の割合に大きな変化はみられない。



※前々回（令和5年度）の調査では、「覚えていない」の選択肢は「わからない」として聴取。

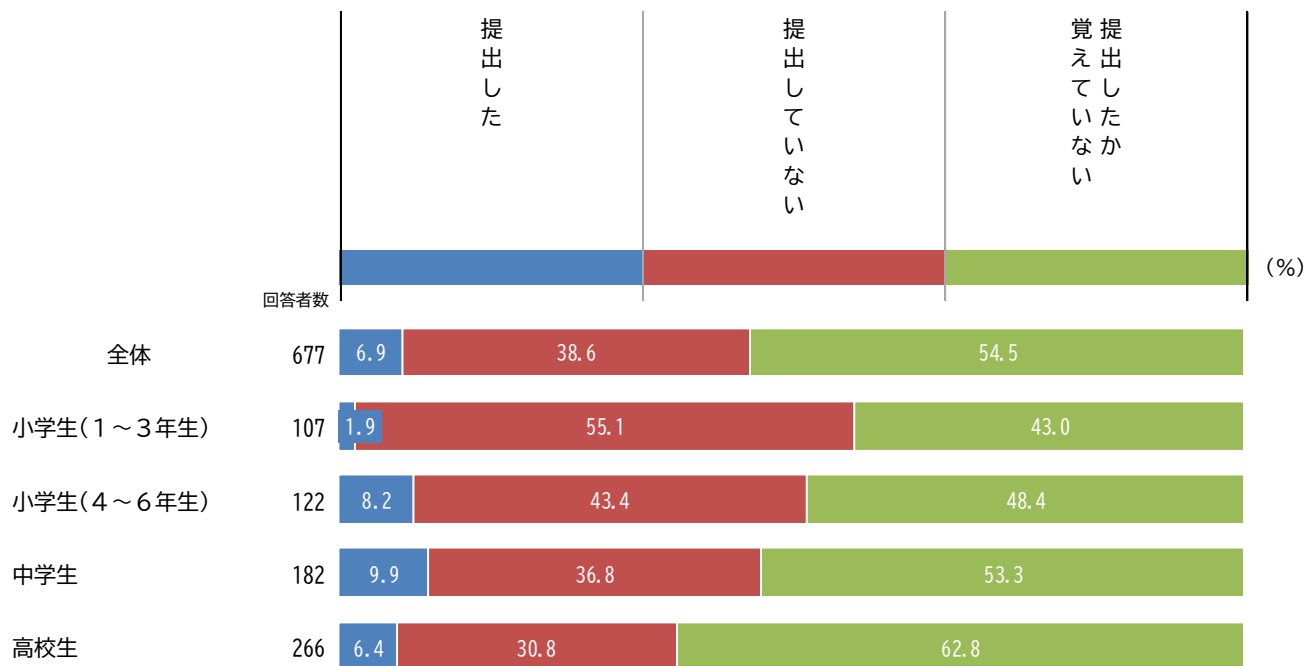
(5) フィルタリングサービス未加入の理由書の提出

※Q36で【フィルタリングサービスに加入していない】又は、【わからない】と回答した方に伺います。

Q40. 契約時、販売業者に対しフィルタリングサービスに加入しない旨の理由書※を提出しましたか。※都の条例により提出が義務付けられているもの

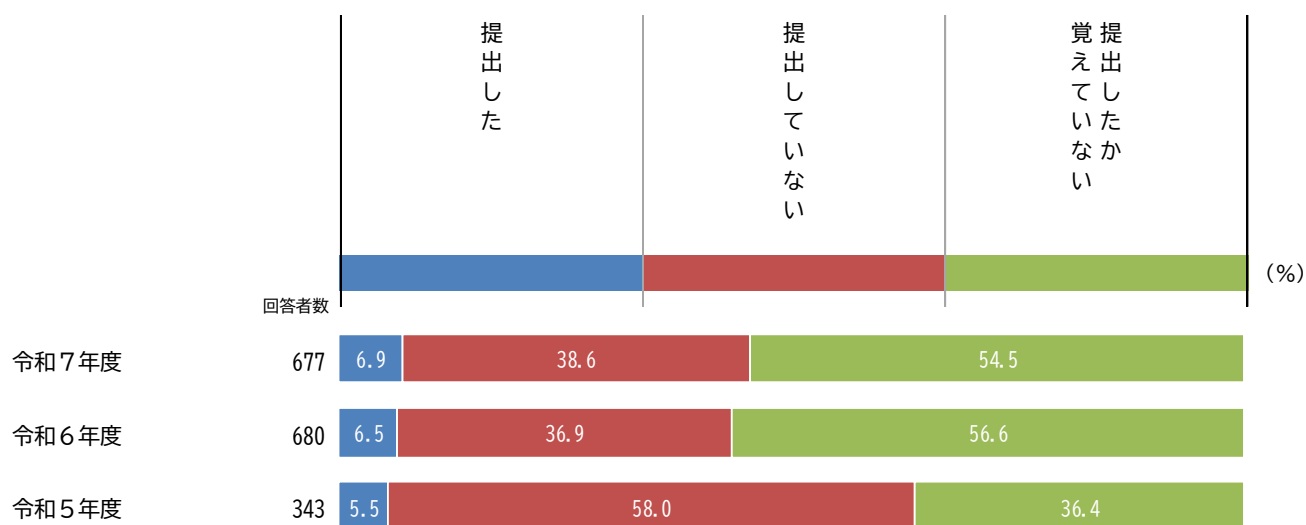
全体では、「提出したか覚えていない」が54.5%と最も高く、次いで「提出していない」の38.6%、「提出した」の6.9%となっている。

学年別にみると、学年が上がるにつれて「提出したか覚えていない」の割合が増加しており、中学生・高校生では半数を上回っている。



【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「フィルタリングサービス未加入の理由書の提出」の割合に大きな変化はみられない。



※前々回（令和5年度）の調査では、「提出したか覚えていない」の選択肢は「わからない」として聴取。

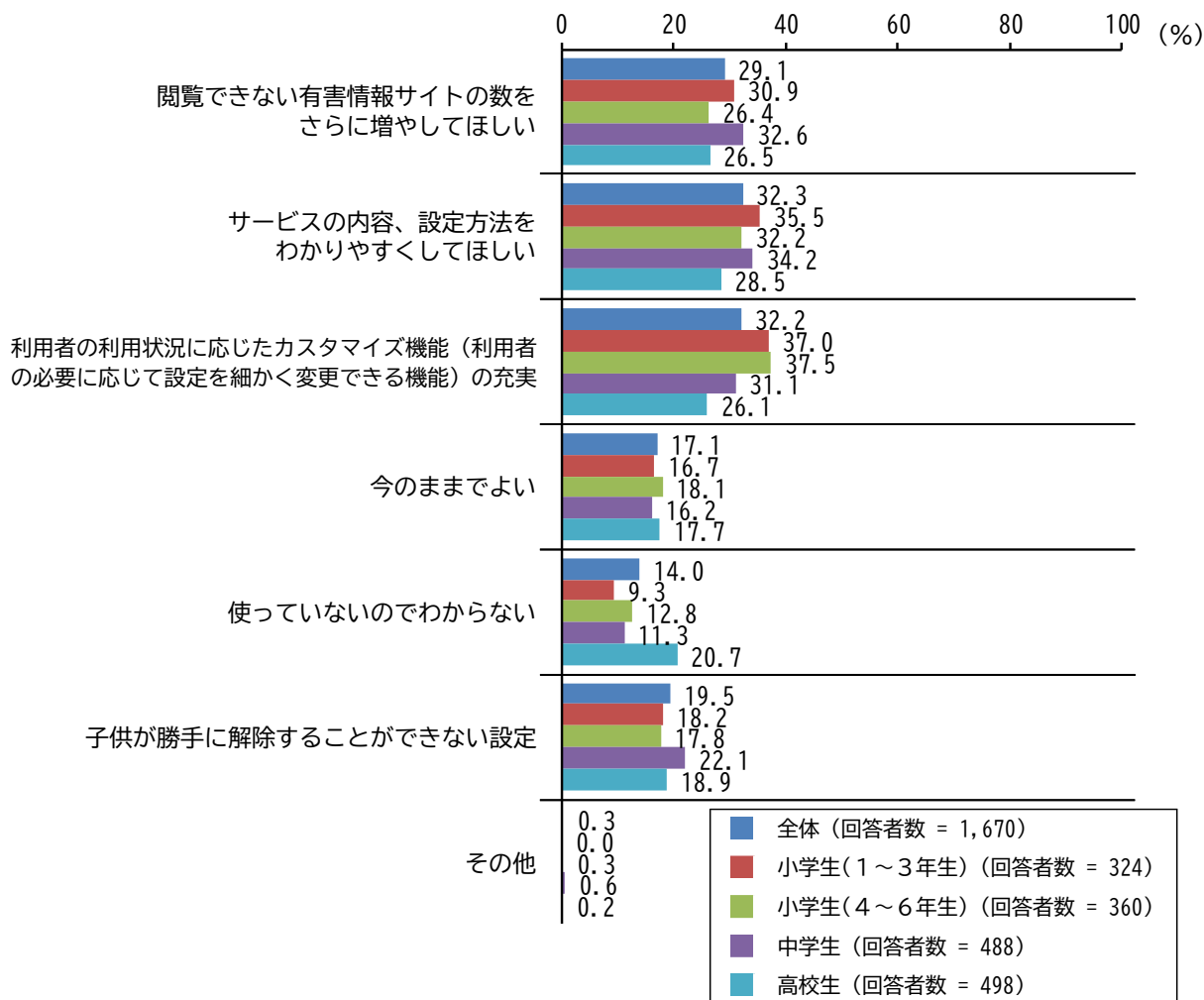
(6) 向上して欲しいフィルタリングサービス機能

※Q1で【スマートフォン】と回答した方に伺います。

Q41. フィルタリングサービスについて、どのような機能が向上すると良いと思いますか。
(いくつでも)

全体では、「サービスの内容、設定方法をわかりやすくしてほしい」が32.3%と最も高く、次いで「利用者の利用状況に応じたカスタマイズ機能（利用者の必要に応じて設定を細かく変更できる機能）の充実」の32.2%、「閲覧できない有害情報サイトの数をさらに増やしてほしい」の29.1%となっている。

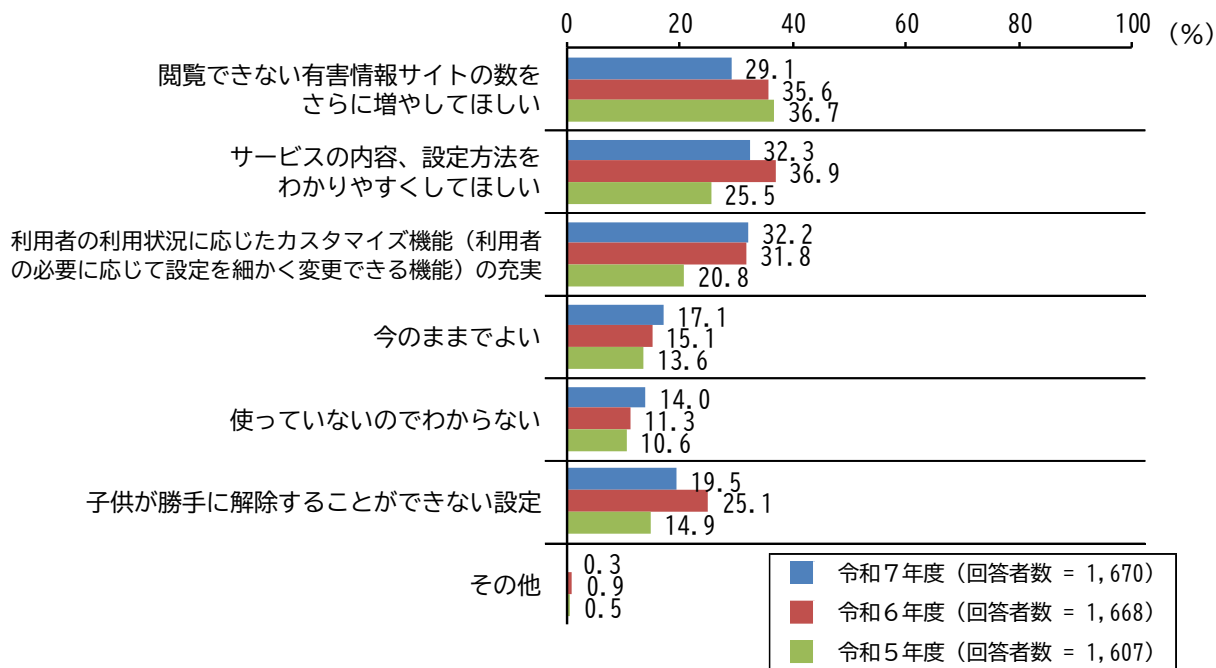
学年別にみると、小学生(1～3年生)・小学生(4～6年生)では「利用者の利用状況に応じたカスタマイズ機能（利用者の必要に応じて設定を細かく変更できる機能）の充実」が最も高い割合を示している。また、中学生・高校生では「サービスの内容、設定方法をわかりやすくしてほしい」が最も高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・ 広告のブロックが十分でない	1 件
・ 特になし	4 件
計	5 件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「閲覧できない有害情報サイトの数をさらに増やしてほしい」が 6.5 ポイント、「子供が勝手に解除することができない設定」が 5.6 ポイント減少している。



※前々回（令和5年度）調査では、「閲覧できない有害情報サイトの数をさらに増やしてほしい」の選択肢は、「有害情報サイトを除去する機能を更に強化してほしい」として聴取。

6. 幼児期におけるスマートフォン等の利用について

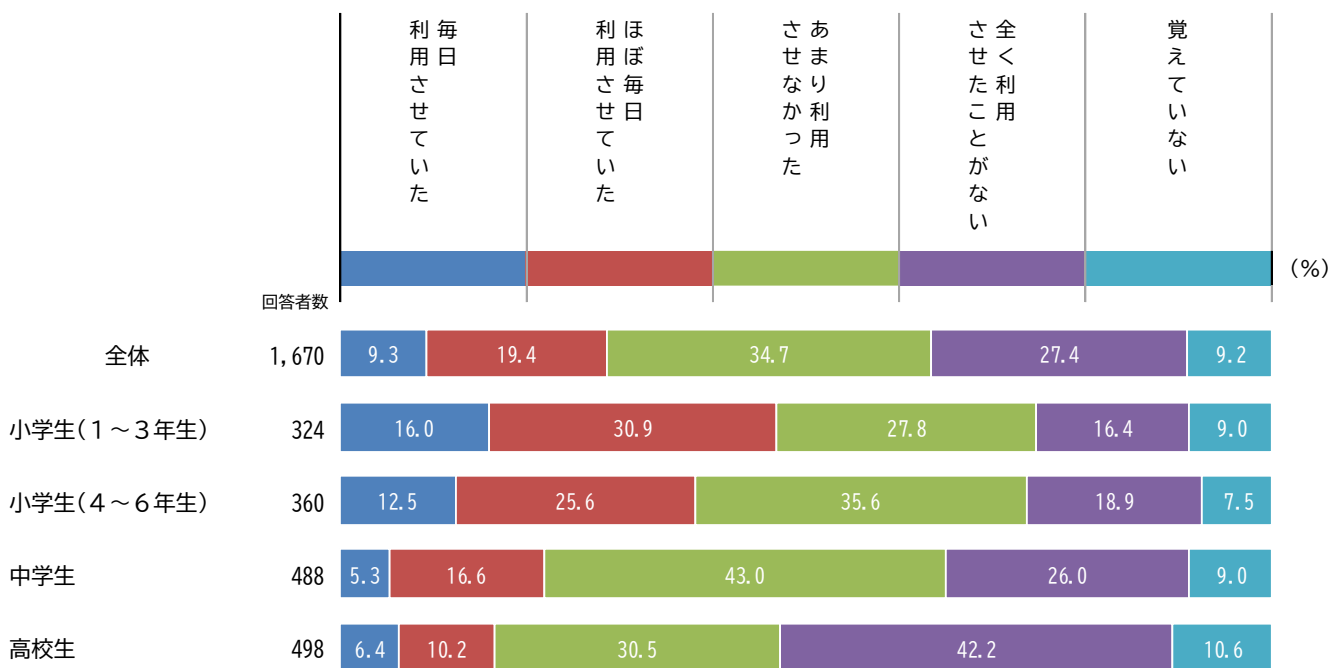
(1) 幼児期における保護者所有のスマートフォン等の利用の有無

※Q1で【スマートフォン】と回答した方に伺います。

Q42. お子さんが幼児期（小学校入学前）のときに保護者が所有するスマートフォン等を利用させたことがありますか。

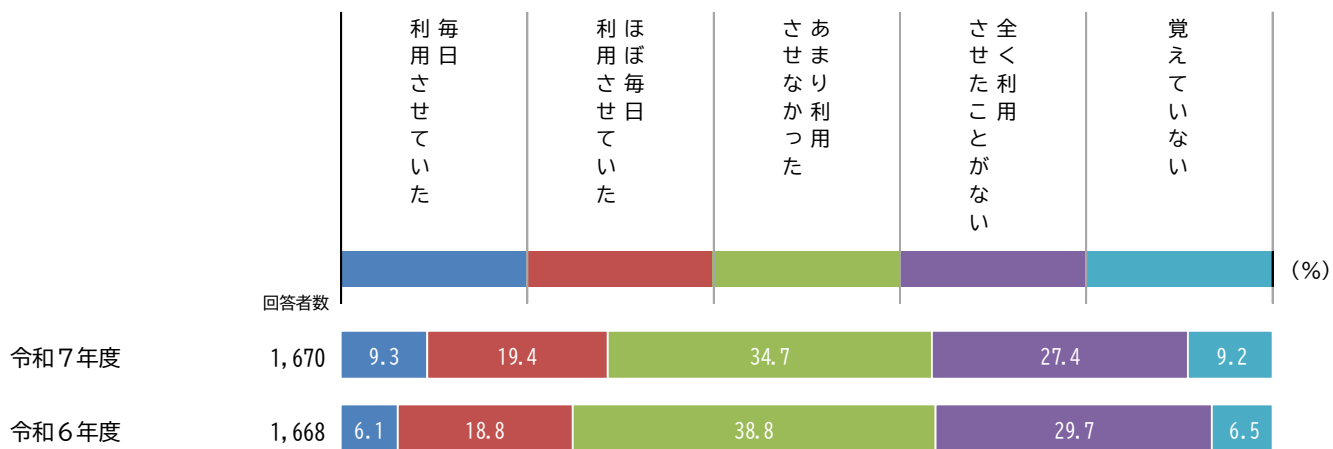
全体では、「毎日利用させていた」は9.3%。「ほぼ毎日利用させていた」の19.4%を合わせた「利用させていた」は28.7%となっている。「あまり利用させなかった」は34.7%、「全く利用させることがない」は27.4%となっている。

学年別にみると、学年が下がるにつれて「利用させていた」の割合は増加しており、小学生（1～3年生）では46.9%と高い割合を示している。



【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「幼児期における保護者所有のスマートフォン等の利用の有無」の割合に大きな変化はみられないが、「毎日利用させていた」は増加傾向がみられる。



※本設問は前回（令和6年度）調査から設定。

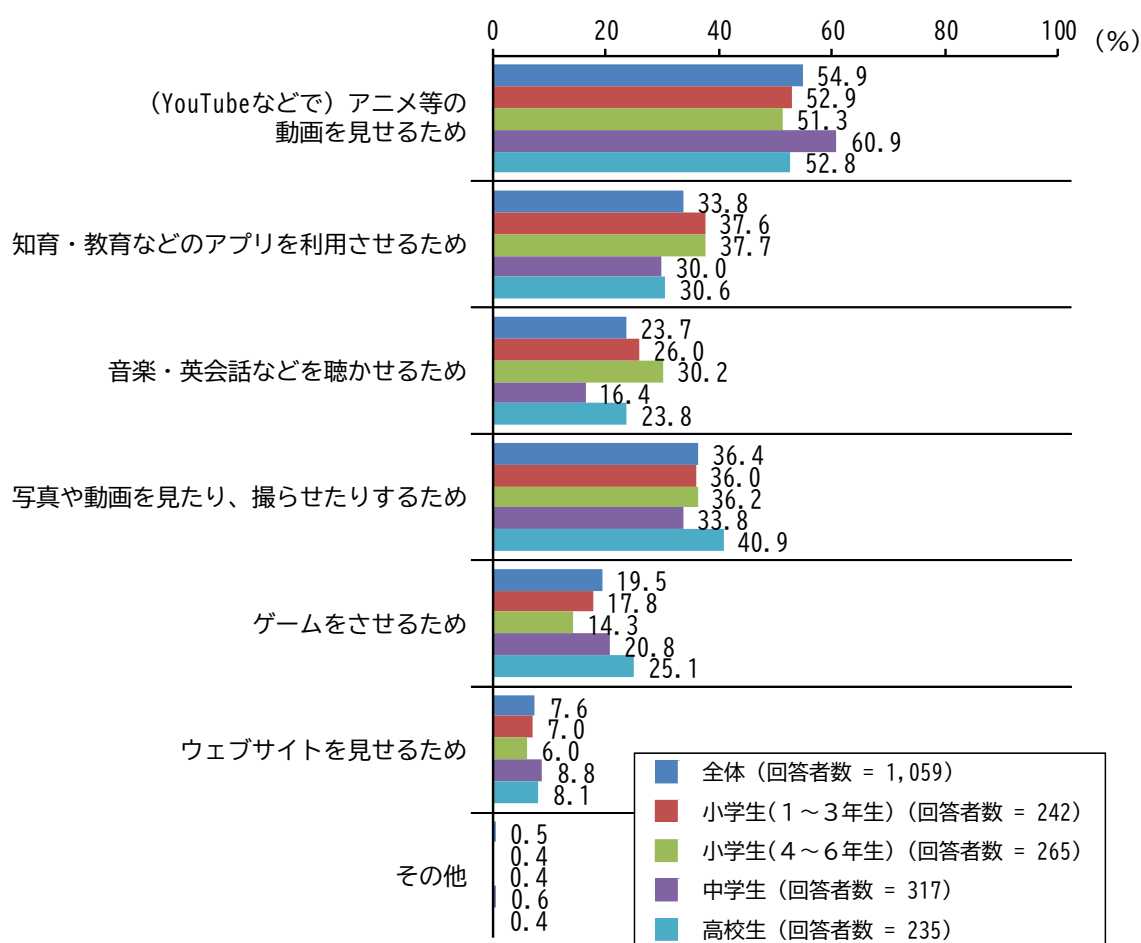
(2) 幼児期のスマートフォン利用の用途

※Q42 で【毎日利用させていた】【ほぼ毎日利用させていた】【あまり利用させなかった】と回答した方に伺います。

Q43. お子さんが幼児期（小学校入学前）のときには、保護者が所有するスマートフォン等をどのような用途で利用させていましたか。（いくつでも）

全体では、「(YouTubeなどで) アニメ等の動画を見せるため」が 54.9%と最も高く、次いで「写真や動画を見たり、撮らせたりするため」の 36.4%、「知育・教育などのアプリを利用させるため」の 33.8%となっている。

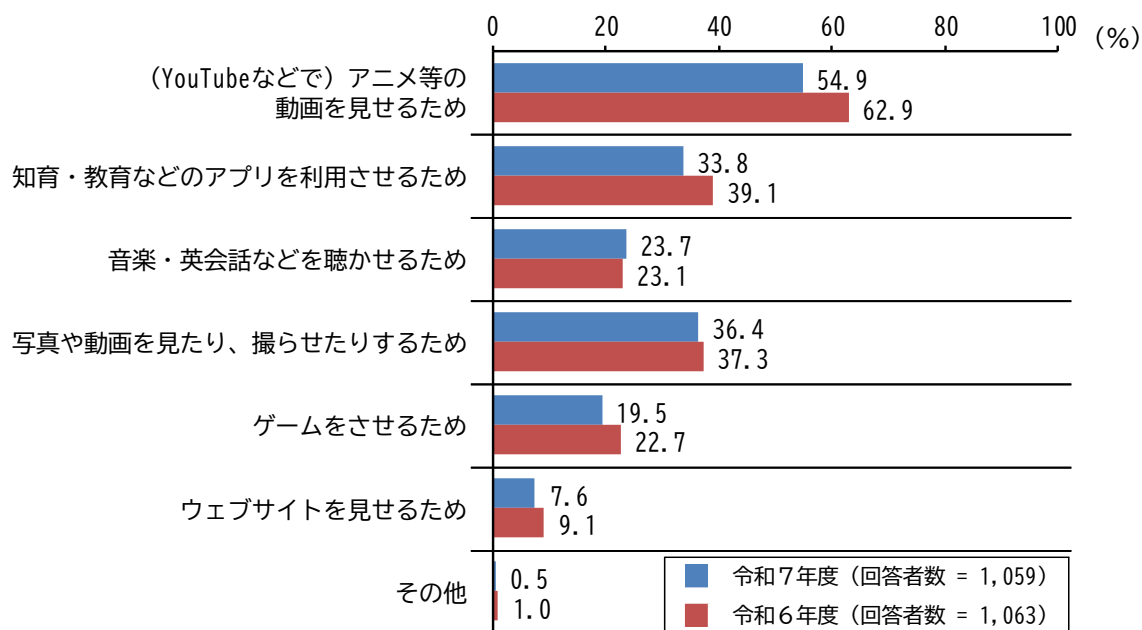
学年別にみると、「(YouTubeなどで) アニメ等の動画を見せるため」は、いずれの学年においても最も高い割合を示しており、中学生では 60.9%と高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・時間潰し	1件
・習い事の宿題が専用アプリを取らないといけないため	1件
・親が同行しないお出かけ時の連絡用	1件
・本人が好きに使っていた	1件
・友達との連絡	1件
計	5件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「(YouTubeなどで) アニメ等の動画を見せるため」は8.0ポイント、「知育・教育などのアプリを利用させるため」は5.3ポイント減少している。



※本設問は前回（令和6年度）調査から設定。

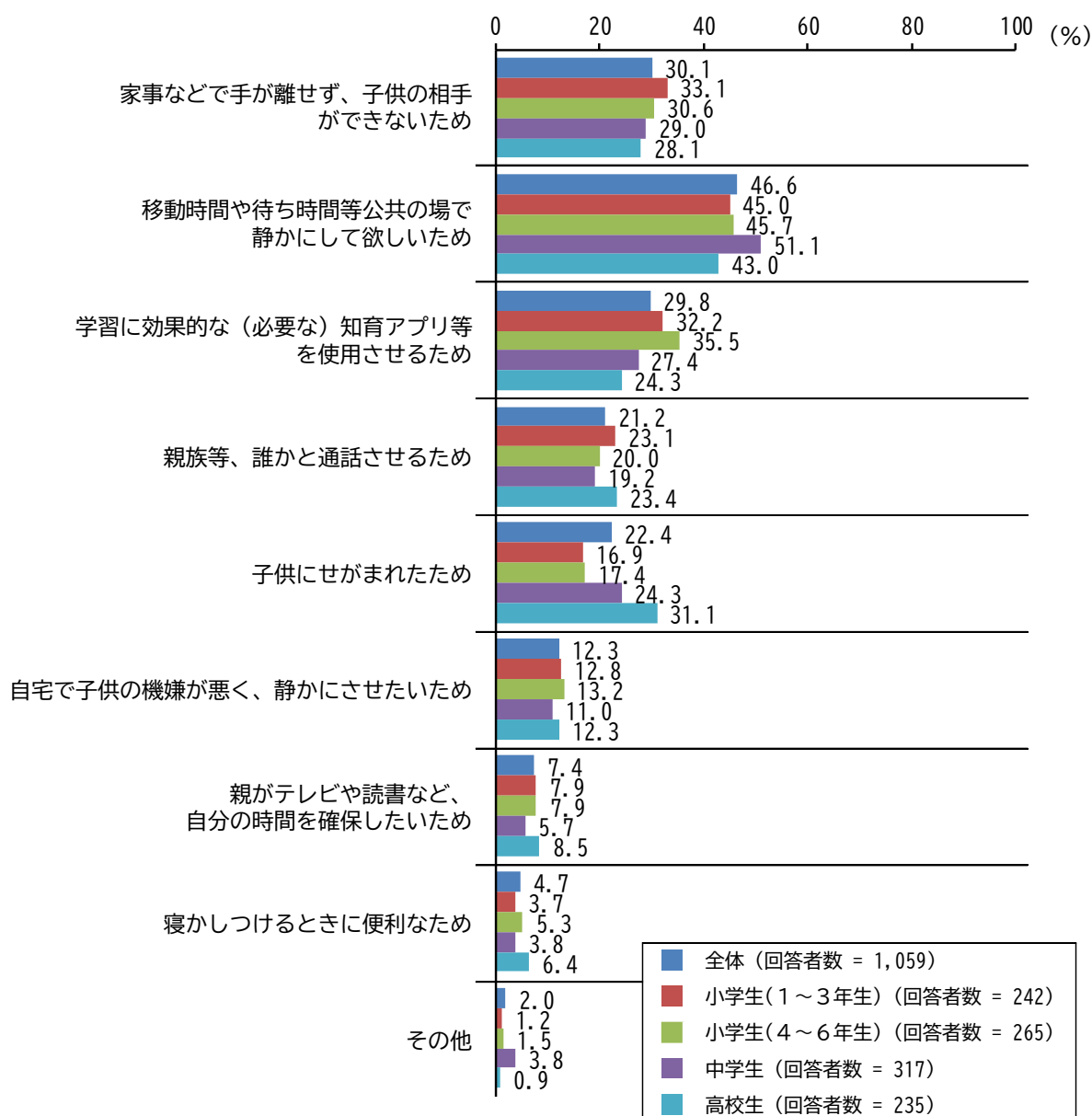
(3) 幼児期にスマートフォンを利用させていた理由

※Q42 で【毎日利用させていた】【ほぼ毎日利用させていた】【あまり利用させなかった】と回答した方に伺います。

Q44. お子さんが幼児期（小学校入学前）のときに、保護者が所有するスマートフォン等を利用させていた理由は何ですか。（いくつでも）

全体では、「移動時間や待ち時間等公共の場で静かにして欲しいため」が46.6%と最も高く、次いで「家事などで手が離せず、子供の相手ができないため」の30.1%、「学習に効果的な（必要な）知育アプリ等を使用させるため」の29.8%となっている。

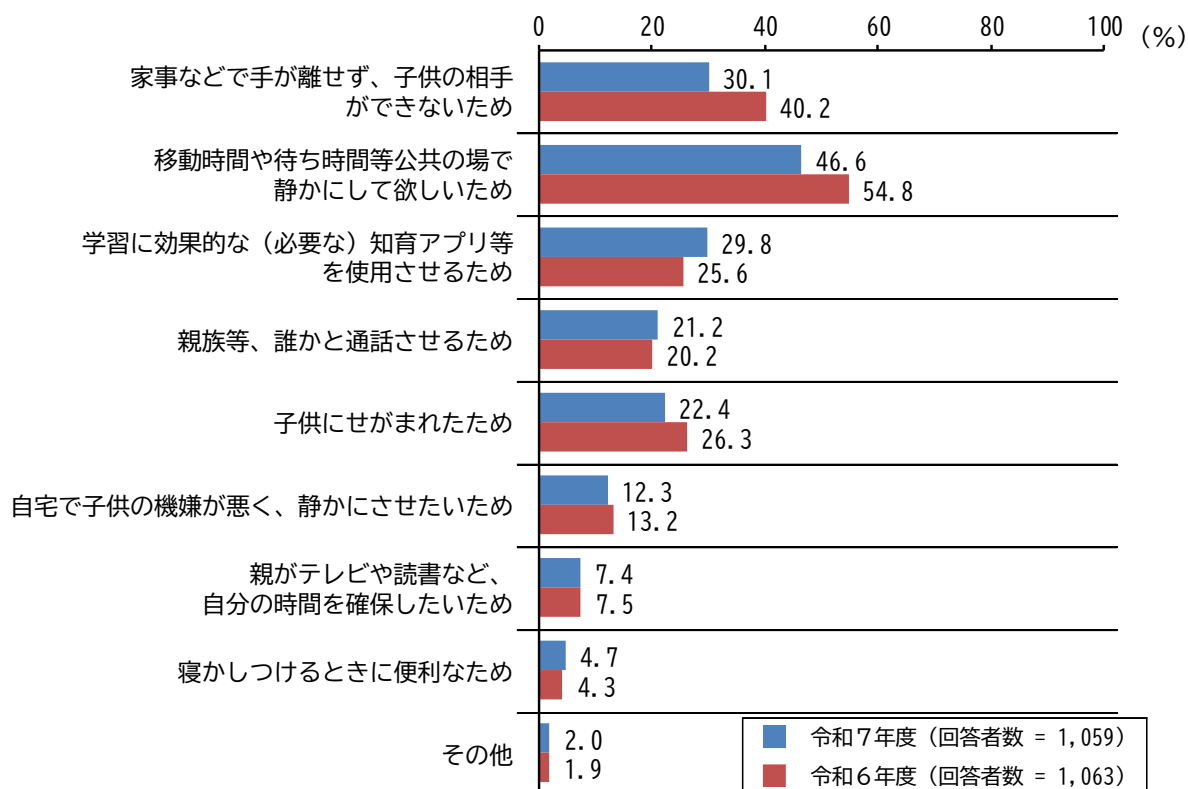
学年別にみると、「移動時間や待ち時間等公共の場で静かにして欲しいため」は、いずれの学年においても最も高い割合を示しており、中学生では51.1%と高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・ある程度使えたほうが良かったから	1件
・一緒に音楽を聴くため	1件
・過去の思い出を共有するため	1件
・外出時の楽しみ	1件
・楽しい	1件
・居場所の確認のため	1件
・携帯の操作になれさせるため	1件
・見る必要があったため	1件
・子供とのコミュニケーション	1件
・写真を撮りたがったから	1件
・習い事に通わせてるから	1件
・習い事の宿題で専用アプリを使うため	1件
・出かける時のみ	1件
・赤ちゃんの頃ギャン泣きした時	1件
・他の家族が利用させていた	1件
・調べ物	1件
・特にない	5件
計	21件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「家事などで手が離せず、子供の相手ができないため」は10.1ポイント、「移動時間や待ち時間等公共の場で静かにして欲しいため」は8.2ポイント減少している。



※本設問は前回（令和6年度）調査から設定。

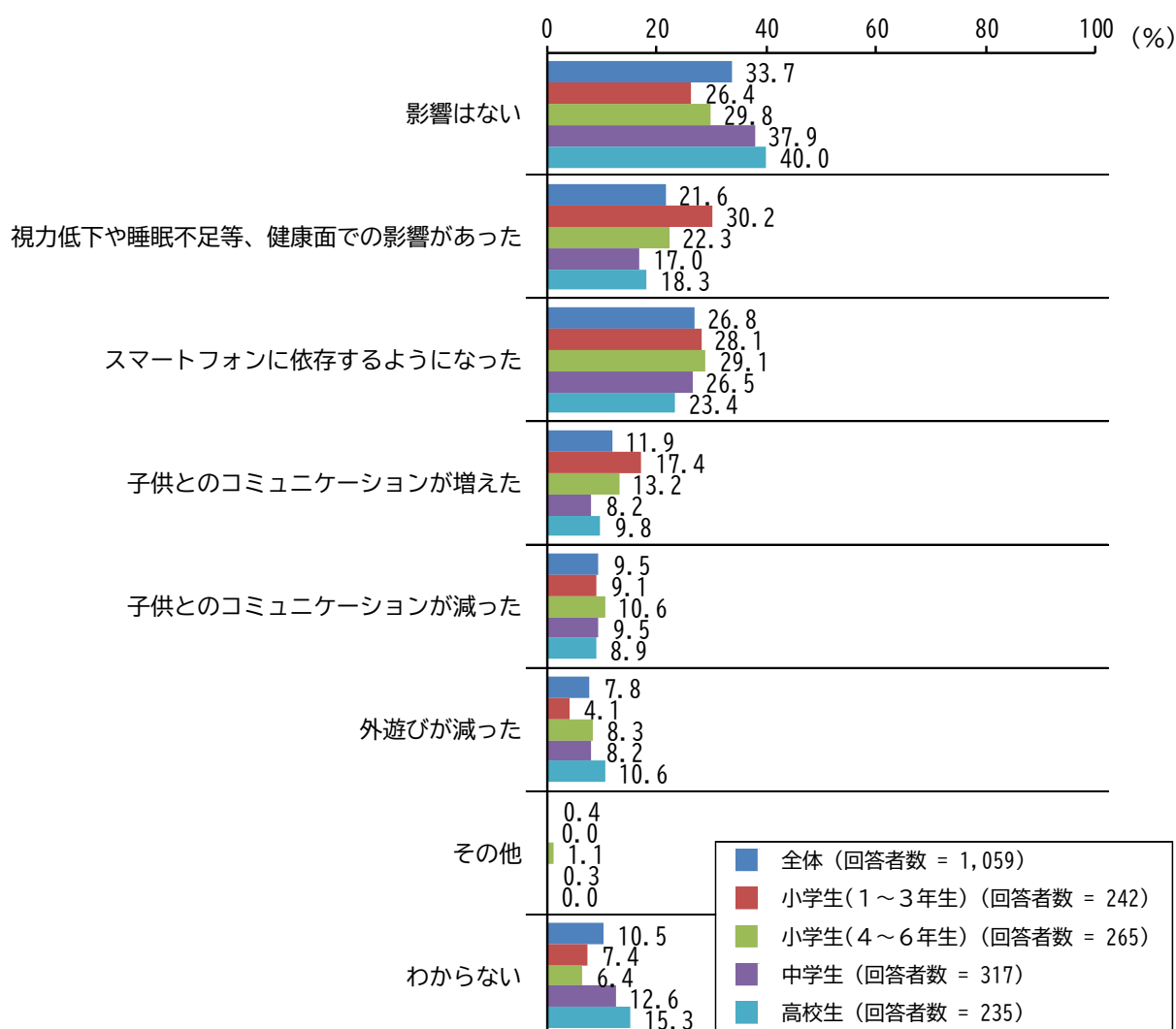
(4) 幼児期のスマートフォン利用による影響

※Q42 で【毎日利用させていた】【ほぼ毎日利用させていた】【あまり利用させなかった】と回答した方に伺います。

Q45. お子さんが幼児期（小学校入学前）のときに保護者が所有するスマートフォン等を利用させたことで、今現在に何か影響があったと思いますか。（いくつでも）

全体では、「影響はない」が 33.7%と最も高く、次いで「スマートフォンに依存するようになった」の 26.8%、「視力低下や睡眠不足等、健康面での影響があった」の 21.6%となっている。

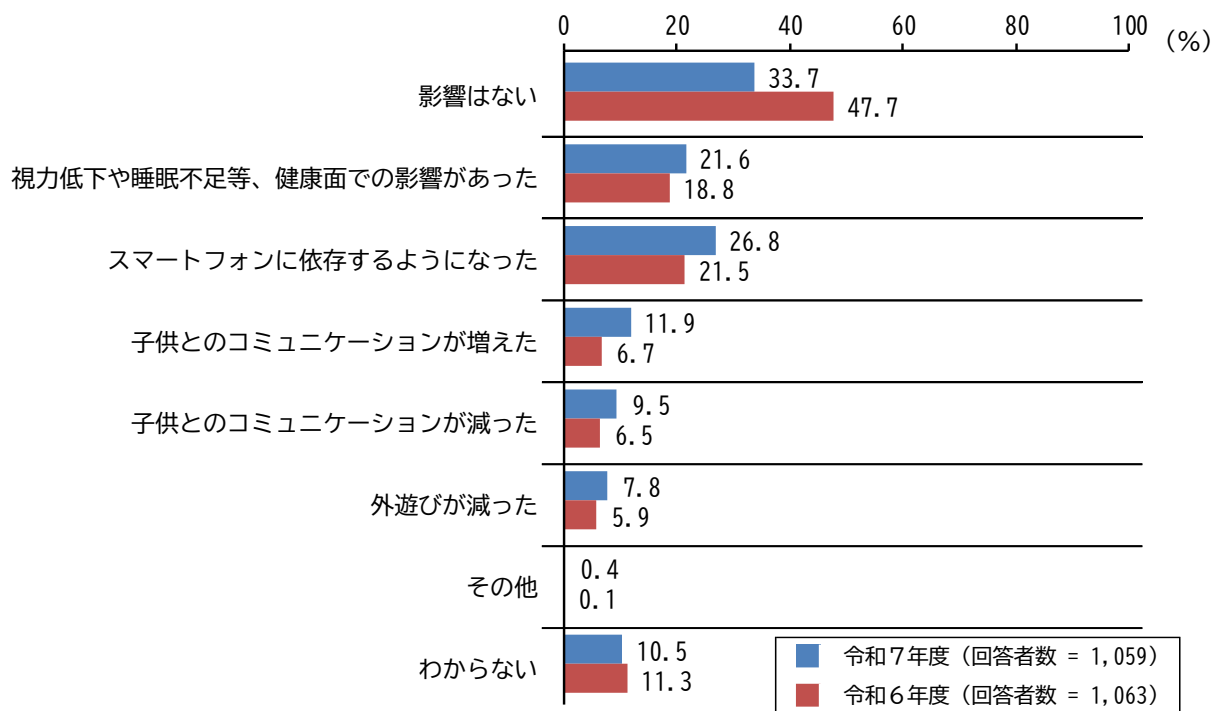
学年別にみると、学年が上がるにつれて「影響はない」の割合が増加しており、中学生・高校生では約 40%となっている。一方で、小学生(1～3年生)・小学生(4～6年生)では「スマートフォンに依存するようになった」「視力低下や睡眠不足等、健康面での影響があった」が中学生・高校生と比べて高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・YouTube を見て TV をみなくなった	1 件
・デジタルネイティブになった	1 件
・デジタル操作が上手になった	1 件
・携帯を与えた際、比較的すぐに使えるようになった	1 件
計	4 件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「スマートフォンに依存するようになった」は5.3ポイント、「子供とのコミュニケーションが増えた」は5.2ポイント増加している。一方で、「影響はない」が14.0ポイント減少している。



※本設問は前回（令和6年度）調査から設定。

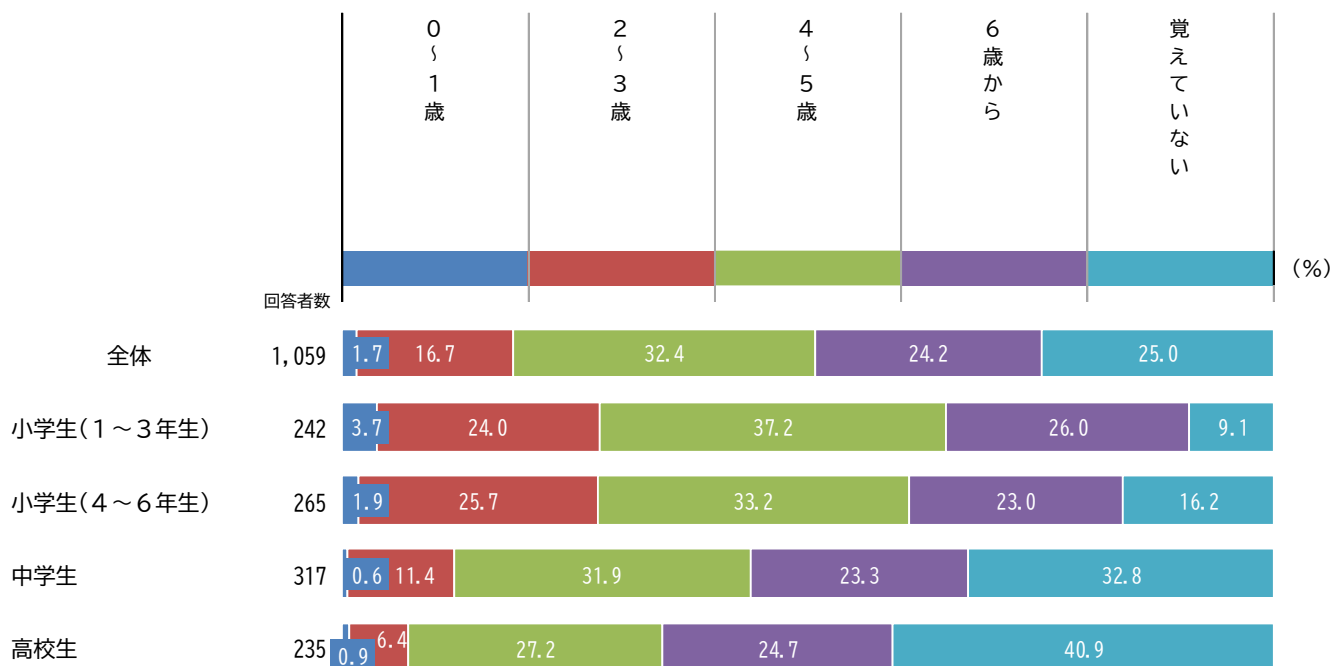
(5) 保護者のスマートフォンを利用させ始めた時期

※Q42 で【毎日利用させていた】【ほぼ毎日利用させていた】【あまり利用させなかった】と回答した方に伺います。

Q46. お子さんが幼児期（小学校入学前）のときに保護者が所有するスマートフォン等を利用させ始めたのはいつですか。

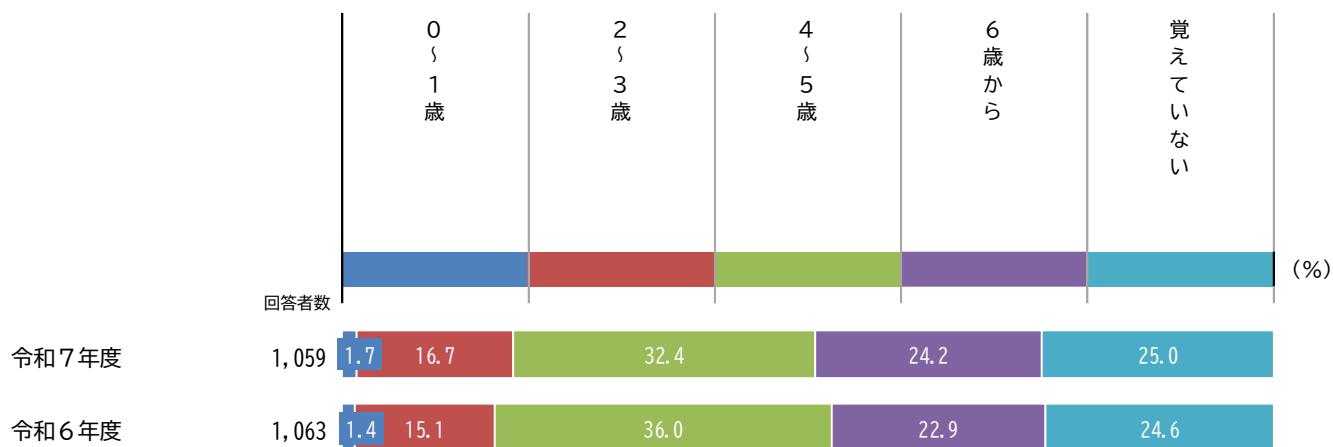
全体では、「4～5歳」が32.4%と最も高く、次いで「覚えていない」の25.0%、「6歳から」の24.2%となっている。

学年別にみると、「4～5歳」は、いずれの学年においても最も高い割合を示しており、小学生（1～3年生）では約40%と高い割合を示している。また、小学生（1～3年生）・小学生（4～6年生）では「2～3歳」が中学生・高校生と比べて高い割合を示している。



【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「保護者のスマートフォンを利用させ始めた時期」の割合に大きな変化はみられない。



※本設問は前回（令和6年度）調査から設定。

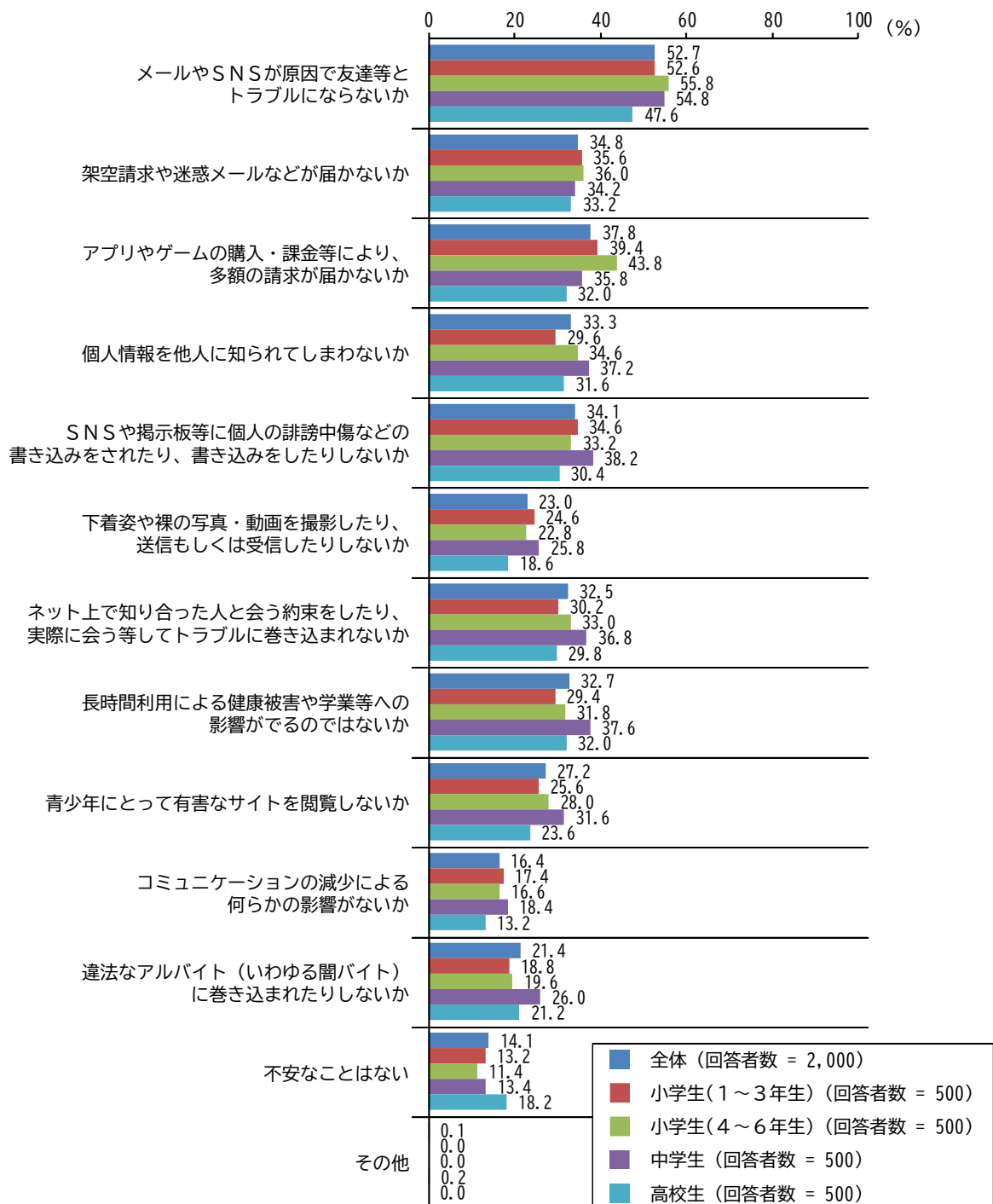
7. 保護者のスマートフォン等に関する意識について

(1) スマートフォンを所有させることへの不安の種類

Q47. お子さんにスマートフォンを所有させるにあたりどのような不安がありますか。
(いくつでも)

全体では、「メールやSNSが原因で友達等とトラブルにならないか」が52.7%と最も高く、次いで「アプリやゲームの購入・課金等により、多額の請求が届かないか」の37.8%、「架空請求や迷惑メールなどが届かないか」の34.8%となっている。一方で、「不安なことはない」は14.1%となっている。

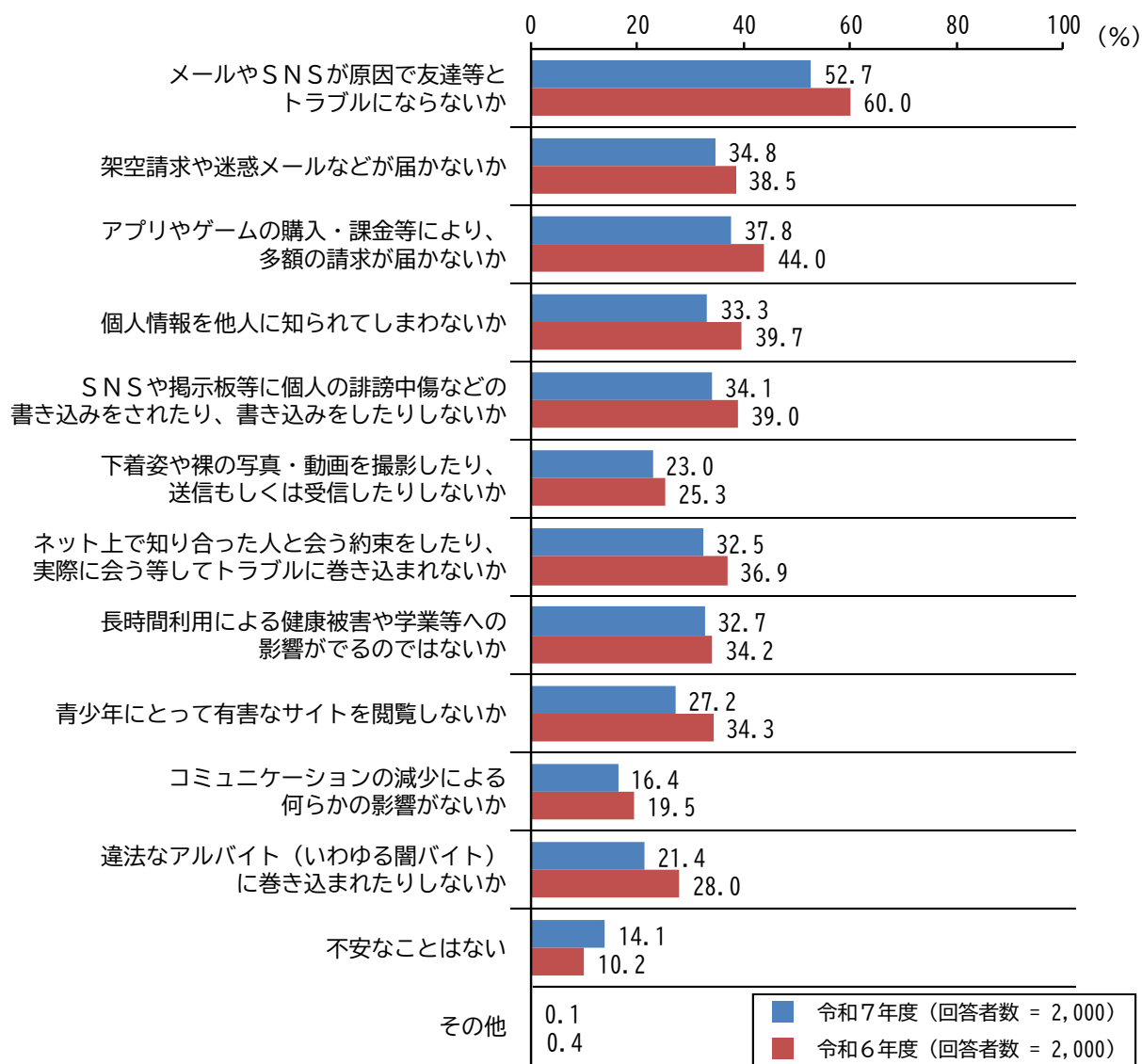
学年別にみると、「メールやSNSが原因で友達等とトラブルにならないか」は、いずれの学年においても最も高い割合を示しており、高校生以外では半数を上回っている。



その他（具体的な内容）	件数
・ニュースなどの嘘の情報	1件
計	1件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「メールやSNSが原因で友達等とトラブルにならないか」は7.3ポイント、「青少年にとって有害なサイトを閲覧しないか」は7.1ポイント、「違法なアルバイト（いわゆる闇バイト）に巻き込まれたりしないか」は6.6ポイント、「個人情報を他人に知られてしまわないか」は6.4ポイント、「アプリやゲームの購入・課金等により、多額の請求が届かないか」は6.2ポイント減少している。



※前回（令和6年度）の調査では、「下着姿や裸の写真・動画を撮影したり、送信もしくは受信したりしないか」の選択肢は「下着姿や裸の写真・動画を撮ったり送ったりしないか」として、「ネット上で知り合った人と会う約束をしたり、実際に会う等してトラブルに巻き込まれないか」の選択肢は「ネット上で知り合った人と会う約束をしたり、実際に会う等しないか」として、「長時間利用による健康被害や学業等への影響がでるのではないか」の選択肢は「長時間利用による健康被害が出るのではないか」として、「違法なアルバイト（いわゆる闇バイト）に巻き込まれたりしないか」の選択肢は「闇バイトが流行っているのに巻き込まれたりしないか」として、それぞれ回答を聴取。

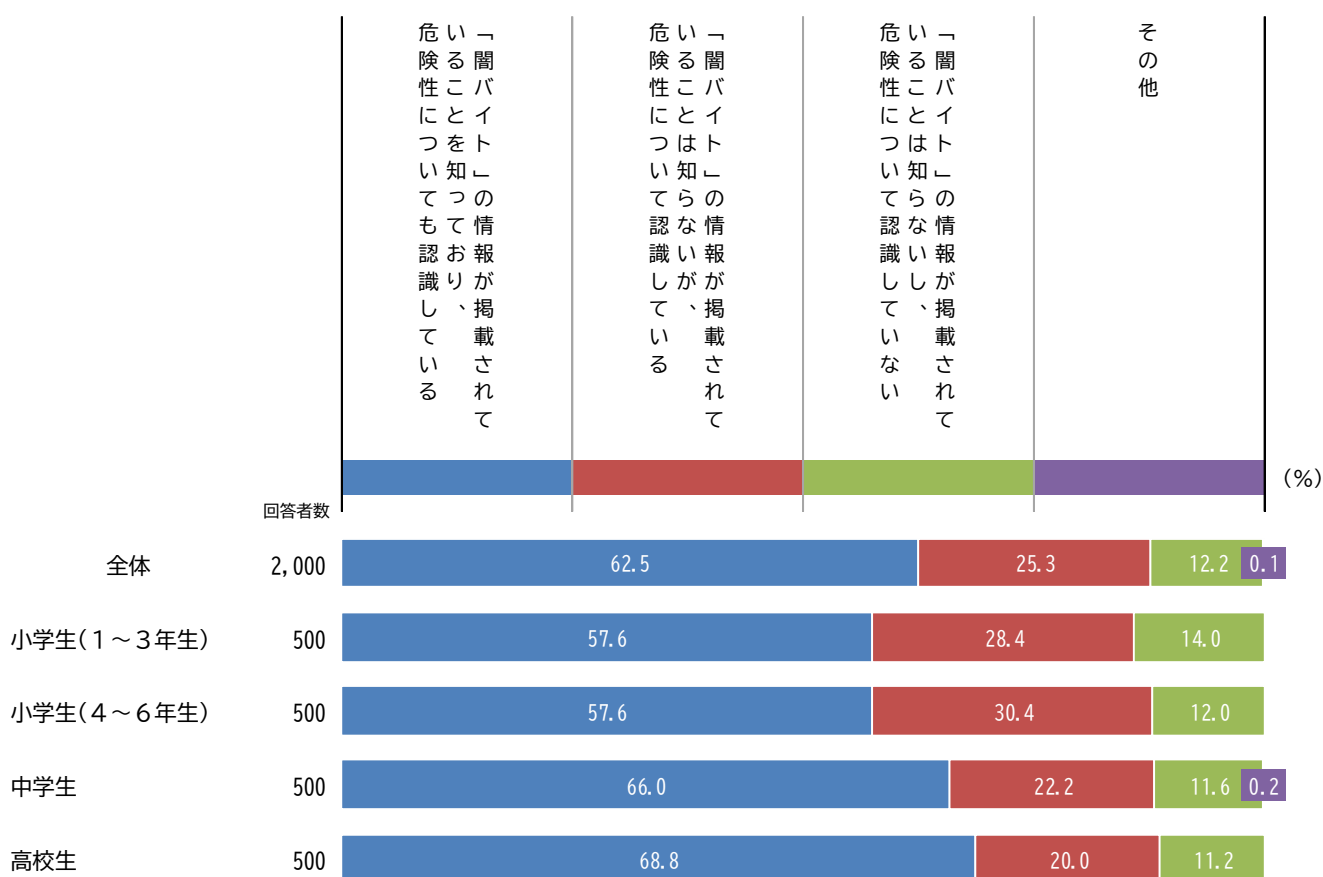
※本設問は前回（令和6年度）調査から設定。

(2) 「闇バイト」による求人の認知

Q48. SNSやインターネット掲示板等には、違法なアルバイト（いわゆる「闇バイト」）に関する情報が掲載されていることを知っていますか。またその危険性について認識していますか。

全体では、「闇バイト」の情報が掲載されていることを知っており、危険性についても認識している」が62.5%と最も高く、次いで「闇バイト」の情報が掲載されていることは知らないが、危険性について認識している」の25.3%、「闇バイト」の情報が掲載されていることは知らないし、危険性について認識していない」の12.2%となっている。

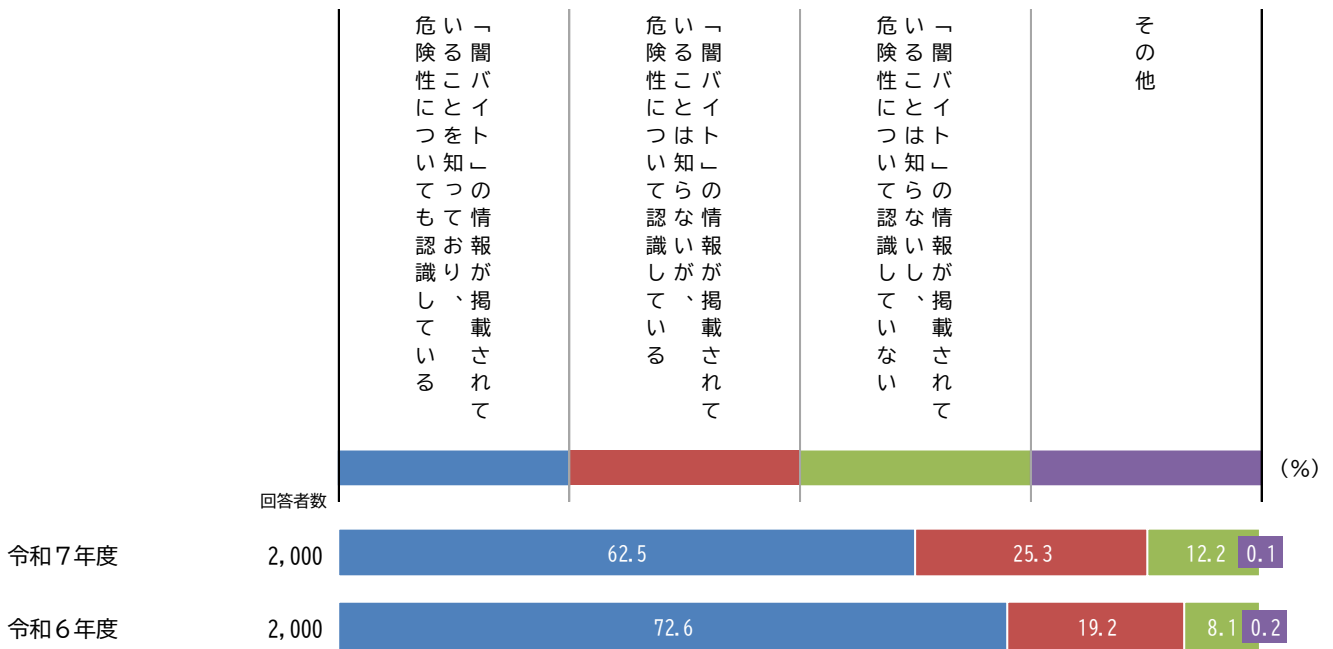
学年別にみると、学年が上がるにつれて「闇バイト」の情報が掲載されていることを知っており、危険性についても認識している」の割合が増加しており、高校生では約70%と高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・わからない	1件
計	1件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「闇バイト」の情報が掲載されていることは知らないが、危険性について認識している」が6.1ポイント増加している。一方で、「闇バイト」の情報が掲載されていることを知っており、危険性についても認識している」が10.1ポイント減少している。



※本設問は前回（令和6年度）調査から設定

※前回(令和6年度)の調査では、以下の設問文で聴取。

<前回(令和6年度)調査 設問文>

SNSやインターネット掲示板等には、いわゆる「闇バイト」に関する情報が掲載されていることを知っていますか。またその危険性について認識していますか。

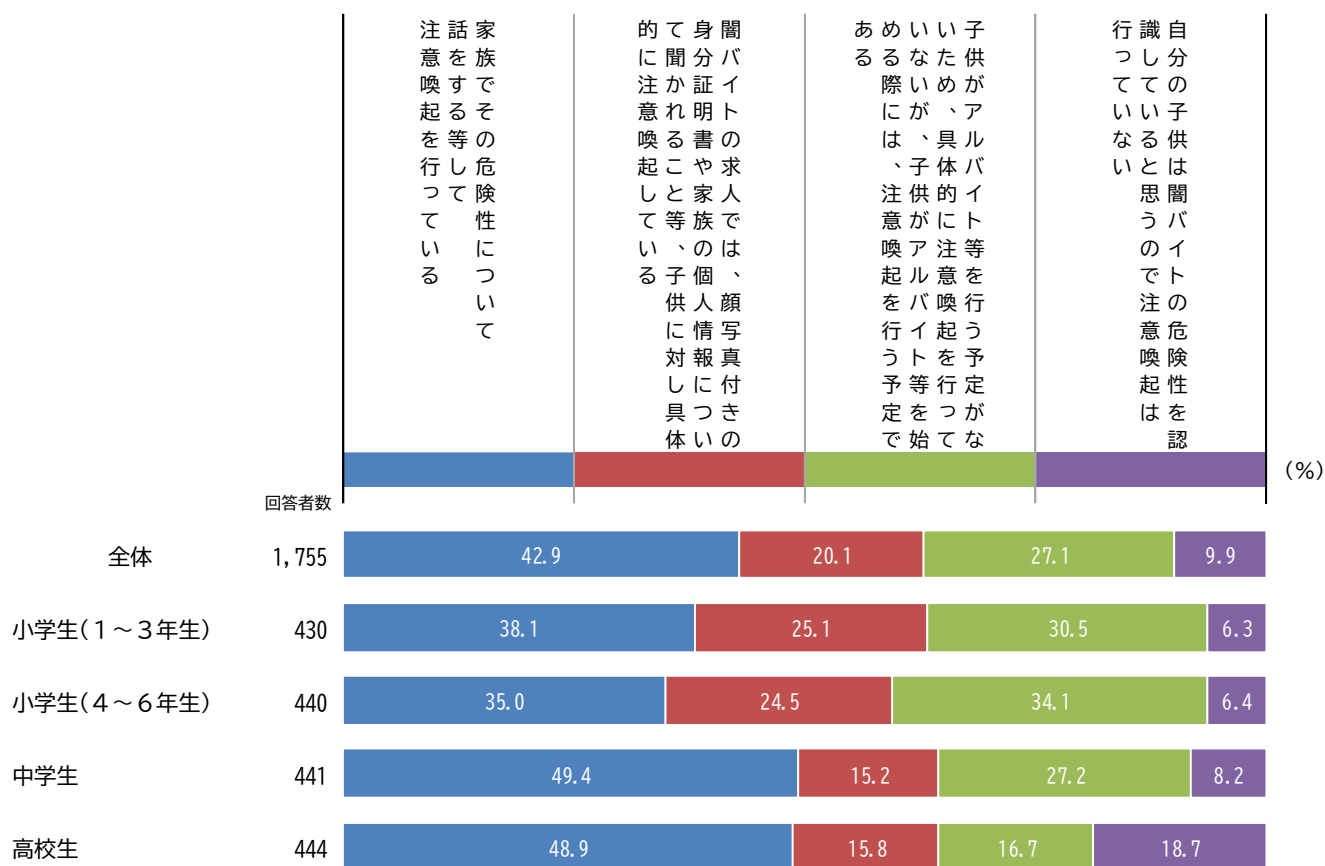
(3) 「闇バイト」についての子供への注意喚起

※Q48 で【「闇バイト」の情報が掲載されていることを知っており、危険性についても認識している】
又は、【「闇バイト」の情報が掲載されていることは知らないが、危険性について認識している】と回答した方に伺います。

Q49. SNSやインターネット掲示板等において、違法なアルバイト（いわゆる「闇バイト」）に関わり得る求人等があることを子供に対して注意喚起をしていますか。

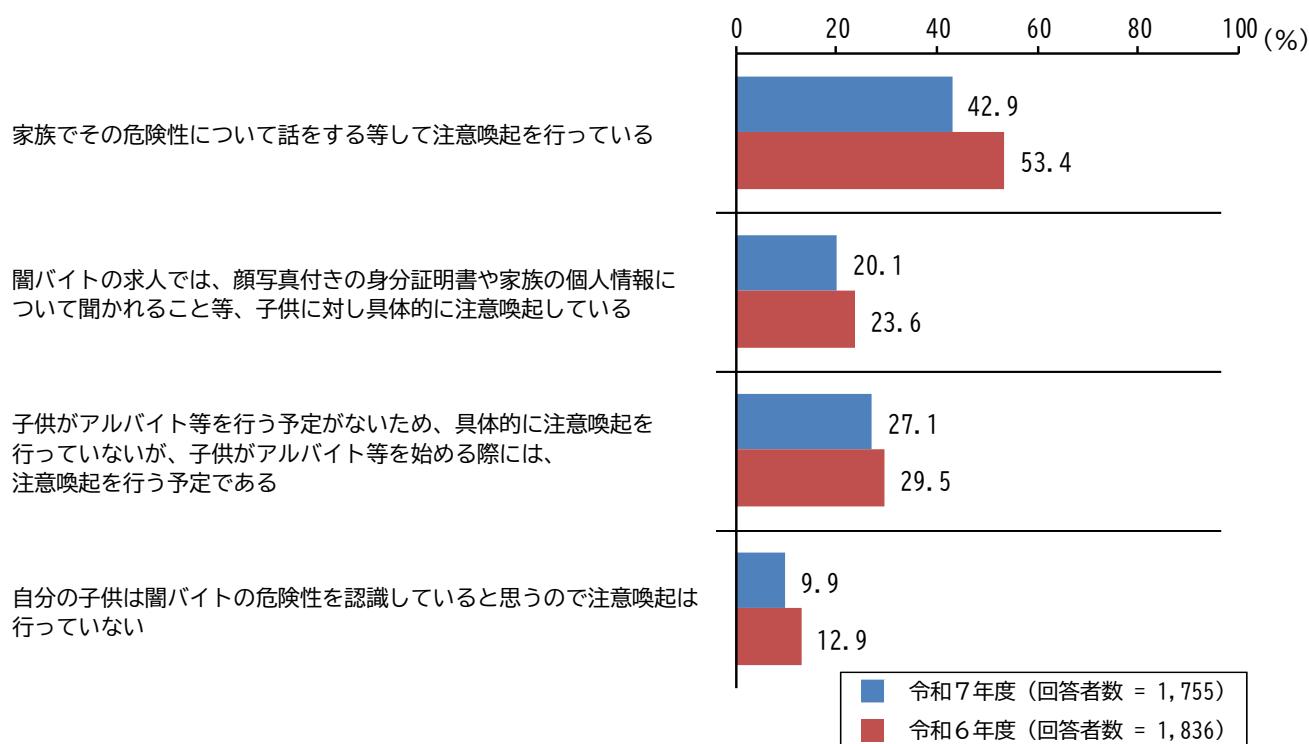
全体では、「家族でその危険性について話をする等して注意喚起を行っている」が42.9%と最も高く、次いで「子供がアルバイト等を行う予定がないため、具体的に注意喚起を行っていないが、子供がアルバイト等を始める際には、注意喚起を行う予定である」の27.1%、「闇バイトの求人では、顔写真付きの身分証明書や家族の個人情報について聞かれること等、子供に対し具体的に注意喚起している」の20.1%となっている。

学年別にみると、「家族でその危険性について話をする等して注意喚起を行っている」は、いずれの学年においても最も高い割合を示している。一方で、高校生では「自分の子供は闇バイトの危険性を認識していると思うので注意喚起は行っていない」が約20%となり、他の学年と比べて高い割合を示している。



【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「家族でその危険性について話をする等して注意喚起を行っている」が10.5ポイント減少している。



※前回（令和6年度）の調査では、複数回答として聴取しているため、比較には留意が必要。

(4) 偽・誤情報を子供に教えることは重要か

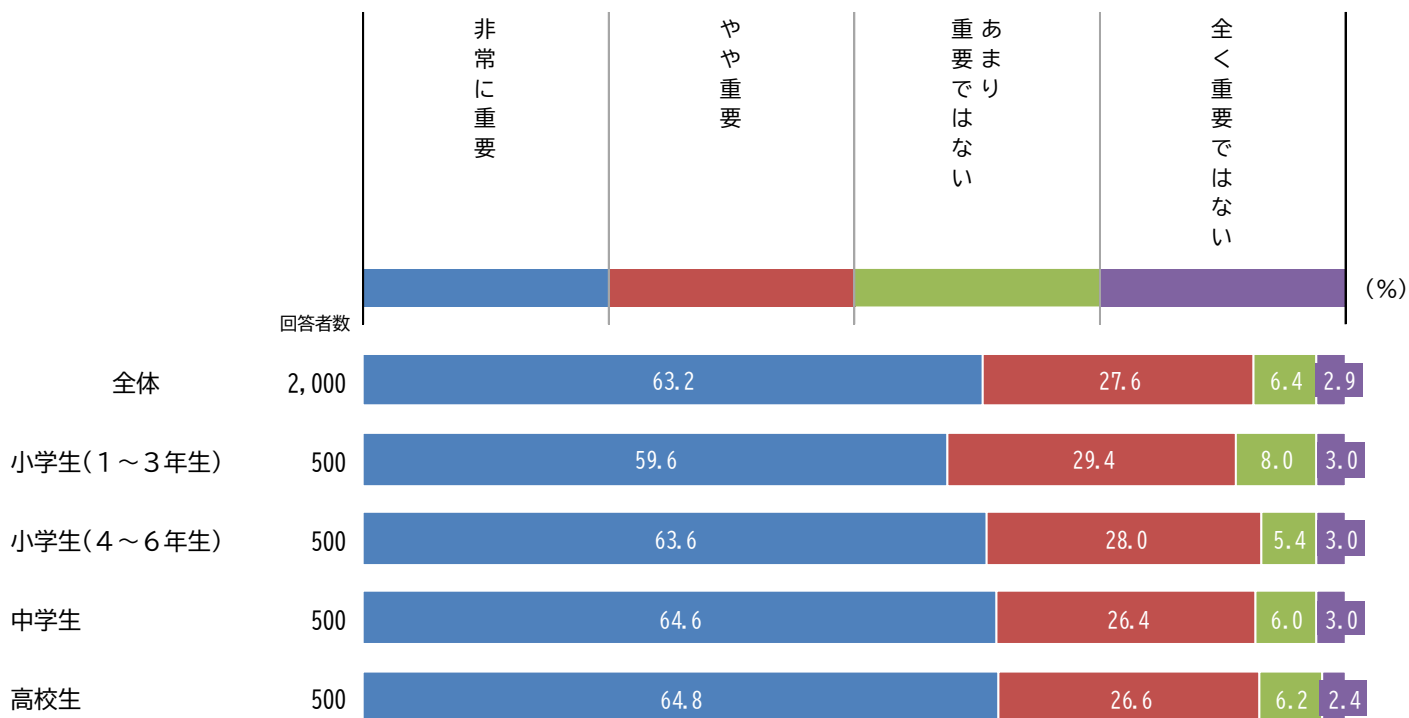
Q50. 学校や家庭で、偽・誤情報について子供に教えることは重要だと思いますか。

※偽情報とは、個人、社会集団、組織または国に危害を与えるため、意図的/意識的に作られたウソ（虚偽）の情報

※誤情報とは、危害を引き起こす意図で作成されたものではなく、勘違い/誤解により拡散した間違い情報

全体では、「非常に重要」は63.2%。「やや重要」の27.6%を合わせた「重要」とするは90.8%となっている。

学年別にみると、いずれの学年においても「重要」とする割合が約90%となっている。



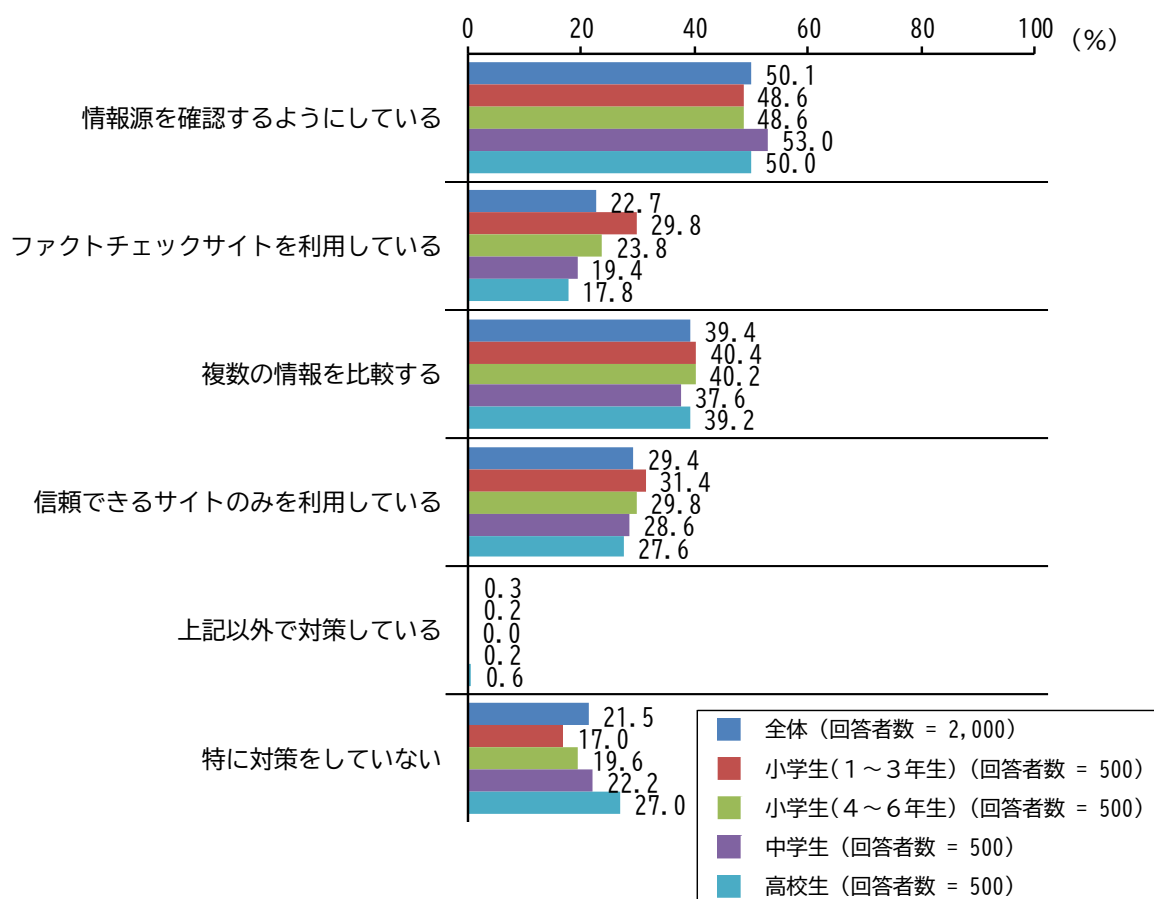
※本設問は今回（令和7年度）調査より設定。

(5) 偽・誤情報対策にどのようなことをしているか

Q51. あなたは、偽・誤情報を見分けるためにどのような対策をしていますか。(いくつでも)

全体では、「情報源を確認するようにしている」が50.1%と最も高く、次いで「複数の情報を比較する」の39.4%、「信頼できるサイトのみを利用している」の29.4%となっている。

学年別にみると、「情報源を確認するようにしている」は、いずれの学年においても約50%となっている。一方で、「特に対策はしていない」は学年が上がるにつれて増加しており、高校生では27.0%と最も高い割合を示している。



上記以外で対策している (具体的な内容)	件数
・ SNS の情報は基本的に信用しない	1 件
・ 家族で話す	1 件
・ 考える	1 件
・ 不安なことは全て親に報告させる	1 件
・ 本元からの情報以外は信じない、自分が見た事以外信じない	1 件
計	5 件

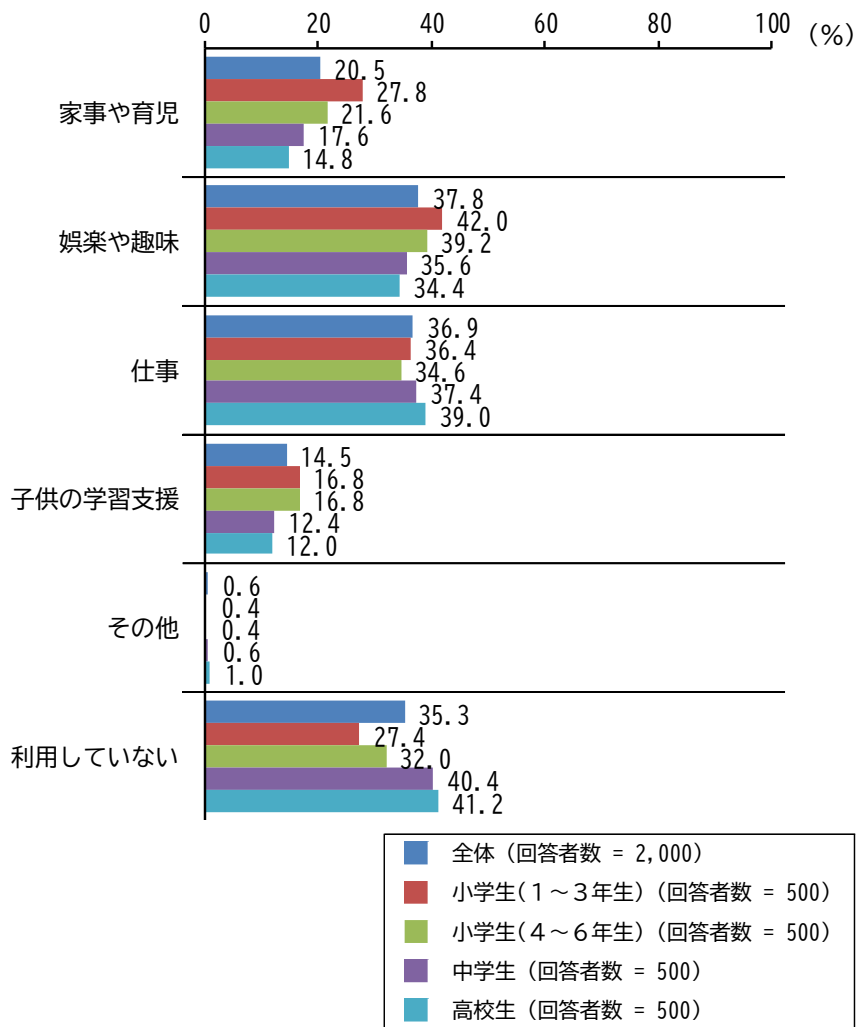
※本設問は今回（令和7年度）調査より設定。

(6) 保護者は生成 AI を利用しているか

Q52. あなたは日常生活で生成 AI (ChatGPT (OpenAI)、Google Gemini、Microsoft Copilot、Perplexity AI 等) をどのような用途に利用していますか。(いくつでも)

全体では、「趣味や娯楽」が 37.8%と最も高く、次いで「仕事」の 36.9%、「家事や育児」の 20.5% となっている。

学年別にみると、小学生(1～3年生)・小学生(4～6年生)では「家事や育児」「子供の学習支援」が中学生・高校生と比べて高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・ たまに料理レシピや経済のことを聞く程度	1 件
・ レシピ	1 件
・ わからない事を聞く	1 件
・ 学習	1 件
・ 株価の予想	1 件
・ 参考のための相談	1 件
・ 自分の勉強	1 件
・ 寂しいとき	1 件
・ 常に利用している	1 件
・ 日常の調べ物	1 件
・ 日常的に使用	1 件
・ 問題解決	1 件
計	12 件

※本設問は今回（令和7年度）調査より設定。

【Q50 偽・誤情報を子供に教えることは重要かとのクロス集計】

偽・誤情報を子供に教えることは重要かで見ると、〈非常に重要〉〈やや重要〉では「趣味や娯楽」「仕事」がそれぞれ高い割合を示している。一方で、〈あまり重要ではない〉〈全く重要でない〉では「利用していない」が最も高い割合を示している。

	回答者数	家事や育児	趣味や娯楽	仕事	子供の学習支援	その他	利用していない
全体	2000	20.5	37.8	36.9	14.5	0.6	35.3
Q50 非常に重要	1263	24.5	42.2	41.3	15.4	0.8	31.4
やや重要	552	16.5	36.8	33.0	12.5	0.4	34.6
あまり重要ではない	128	5.5	13.3	23.4	18.0	0.0	54.7
全く重要ではない	57	1.8	5.3	5.3	5.3	0.0	82.5

【Q51 偽・誤情報対策にどのようなことをしているかとのクロス集計】

偽・誤情報対策にどのようなことをしているかで見ると、〈情報源を確認するようにしている〉〈信頼できるサイトのみを利用している〉では「仕事」が最も高い割合を示している。〈ファクトチェックサイトを利用している〉〈複数の情報を比較する〉では「趣味や娯楽」が最も高い割合を示している。

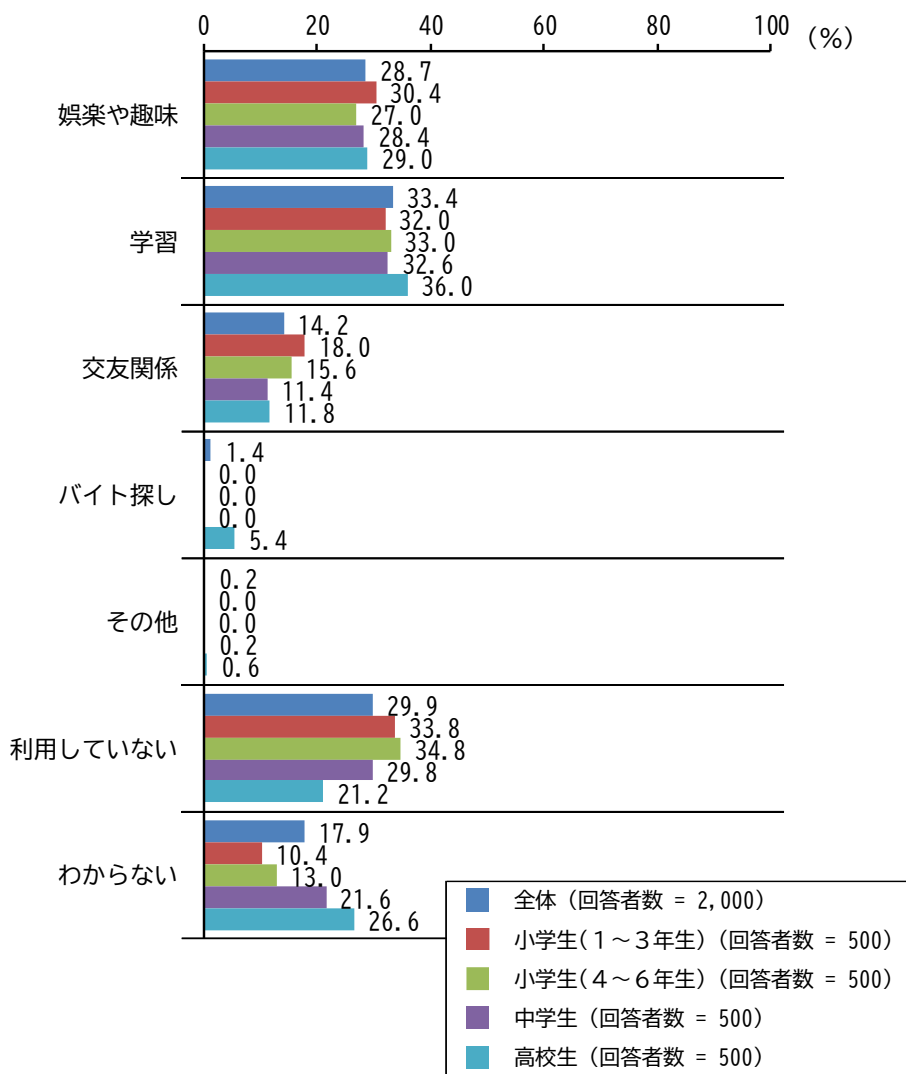
	回答者数	家事や育児	趣味や娯楽	仕事	子供の学習支援	その他	利用していない
全体	2000	20.5	37.8	36.9	14.5	0.6	35.3
Q51 情報源を確認するようにしている	1001	30.2	46.8	47.3	17.4	1.0	26.7
ファクトチェックサイトを利用している	454	39.9	67.0	50.2	27.5	0.9	11.9
複数の情報を比較する	787	21.9	49.8	49.3	19.6	0.9	24.5
信頼できるサイトのみを利用している	587	21.1	43.1	45.1	23.5	1.2	27.6
上記以外で対策している	5	0.0	20.0	60.0	20.0	20.0	40.0
特に対策をしていない	429	6.3	13.5	14.9	4.4	0.2	75.1

(7) 子供は生成 AI を利用しているか

Q53. お子さんは日常生活で生成 AI (ChatGPT (OpenAI)、Google Gemini、Microsoft Copilot、Perplexity AI 等) をどのような用途に利用していますか。(いくつでも)

全体では、「学習」が 33.4%と最も高く、次いで「趣味や娯楽」の 28.7%、「交友関係」の 14.2%となっている。

学年別にみると、小学生(1～3年生)・小学生(4～6年生)では「交友関係」が中学生・高校生と比べて高い割合を示している。



その他 (具体的な内容)	件数
・ AI そのものの学習	1 件
・ 飲食店探し	1 件
・ 問題解決	1 件
・ 話し相手	1 件
計	4 件

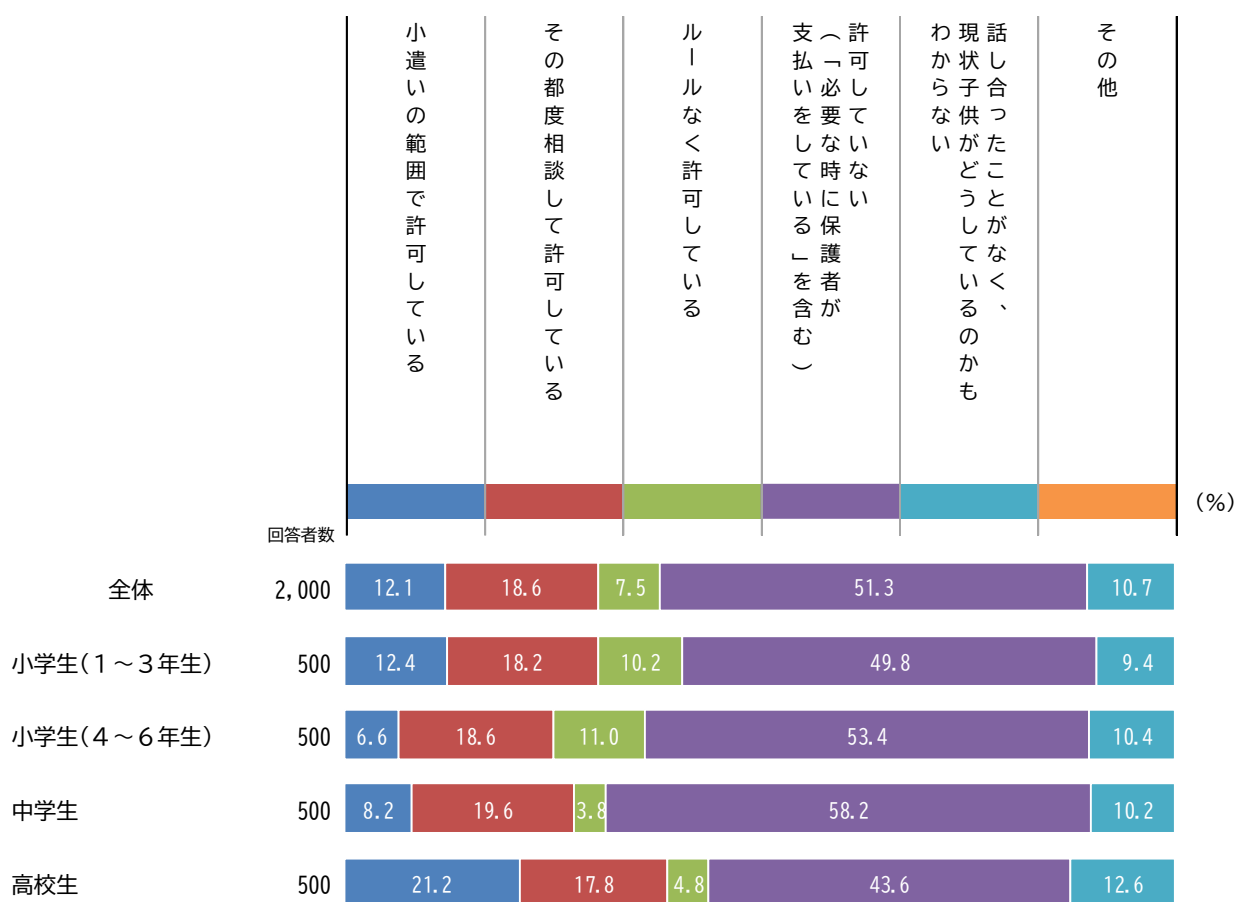
※本設問は今回 (令和 7 年度) 調査より設定。

(8) 子供にオンラインでの金銭のやり取りをどのように許可しているか

Q54. お子さんにオンラインでの金銭のやり取りをどのように許可していますか。

全体では、「許可していない（「必要な時に保護者が支払いをしている」を含む）」が51.3%と最も高く、次いで「その都度相談して許可している」の18.6%、「小遣いの範囲で許可している」の12.1%となっている。《許可している（小遣いの範囲で許可している／その都度相談して許可している／ルールなく許可しているの合算）》は38.2%となっている。

学年別にみると、「許可していない（「必要な時に保護者が支払いをしている」を含む）」は、いずれの学年においても約40～60%となっている。一方で、《許可している》は、高校生が43.8%と最も高い割合を示している。



※本設問は今回（令和7年度）調査より設定。

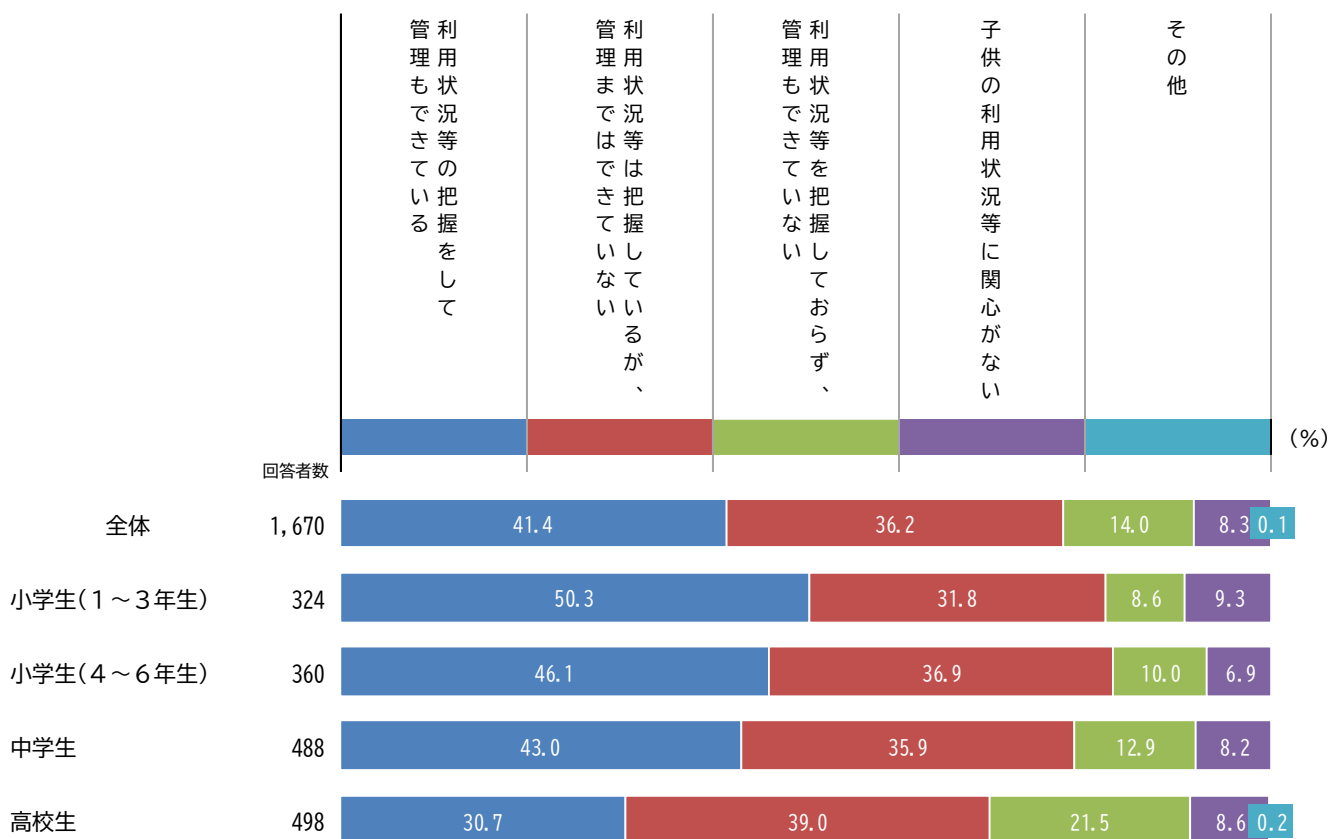
(9) スマートフォンの利用状況等を把握・管理ができているか

※Q1で「スマートフォン」と回答した方に伺います。

Q55. 保護者として、お子さんのスマートフォン等の利用状況等（利用時間、利用金額、利用サイト等）を把握し、お子さんの利用について管理できていますか。

全体では、「利用状況等の把握をして管理もできている」は41.4%。「利用状況等は把握しているが、管理まではできていない」の36.2%を合わせた「利用状況を把握している」とするは77.6%となっている。「利用状況を把握していない（「子供の利用状況等に関心がない」を含む）」は22.3%となっている。

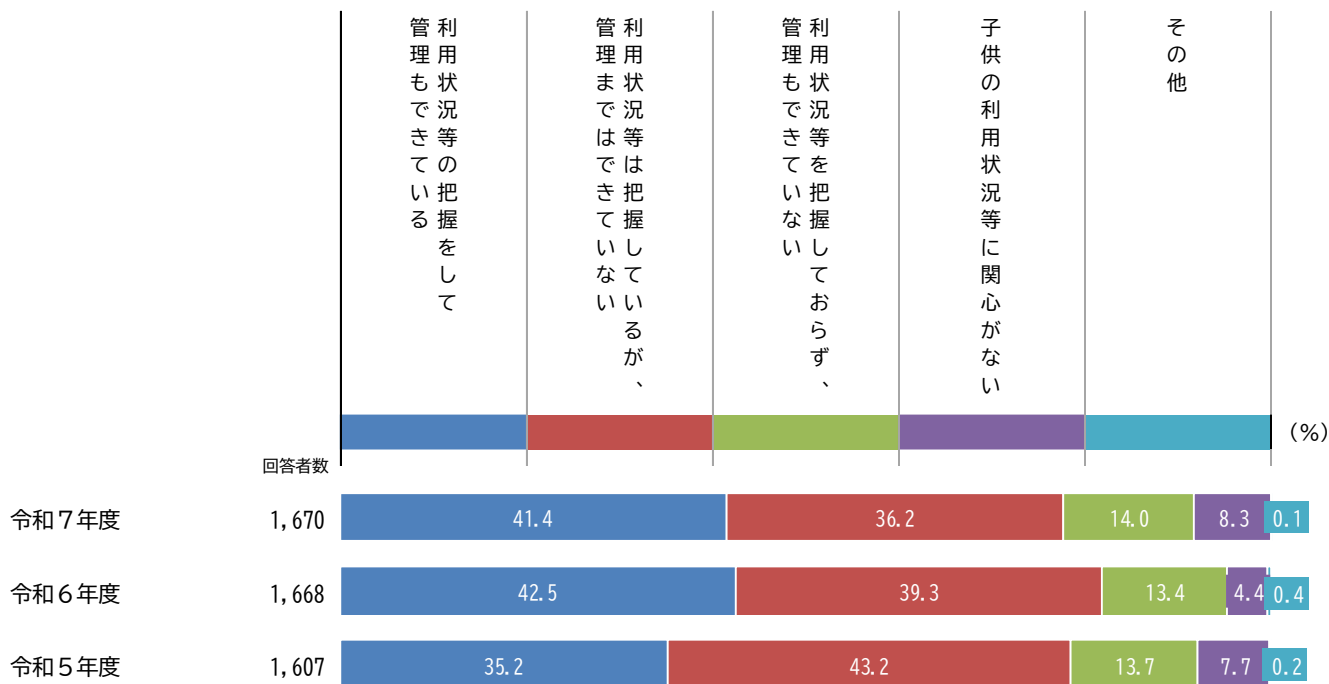
学年別にみると、高校生では「利用状況を把握している」が他の学年と比べて低い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・子供を信じる	1件
計	1件

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「スマートフォンの利用状況等を把握・管理ができているか」の割合に大きな変化はみられない。

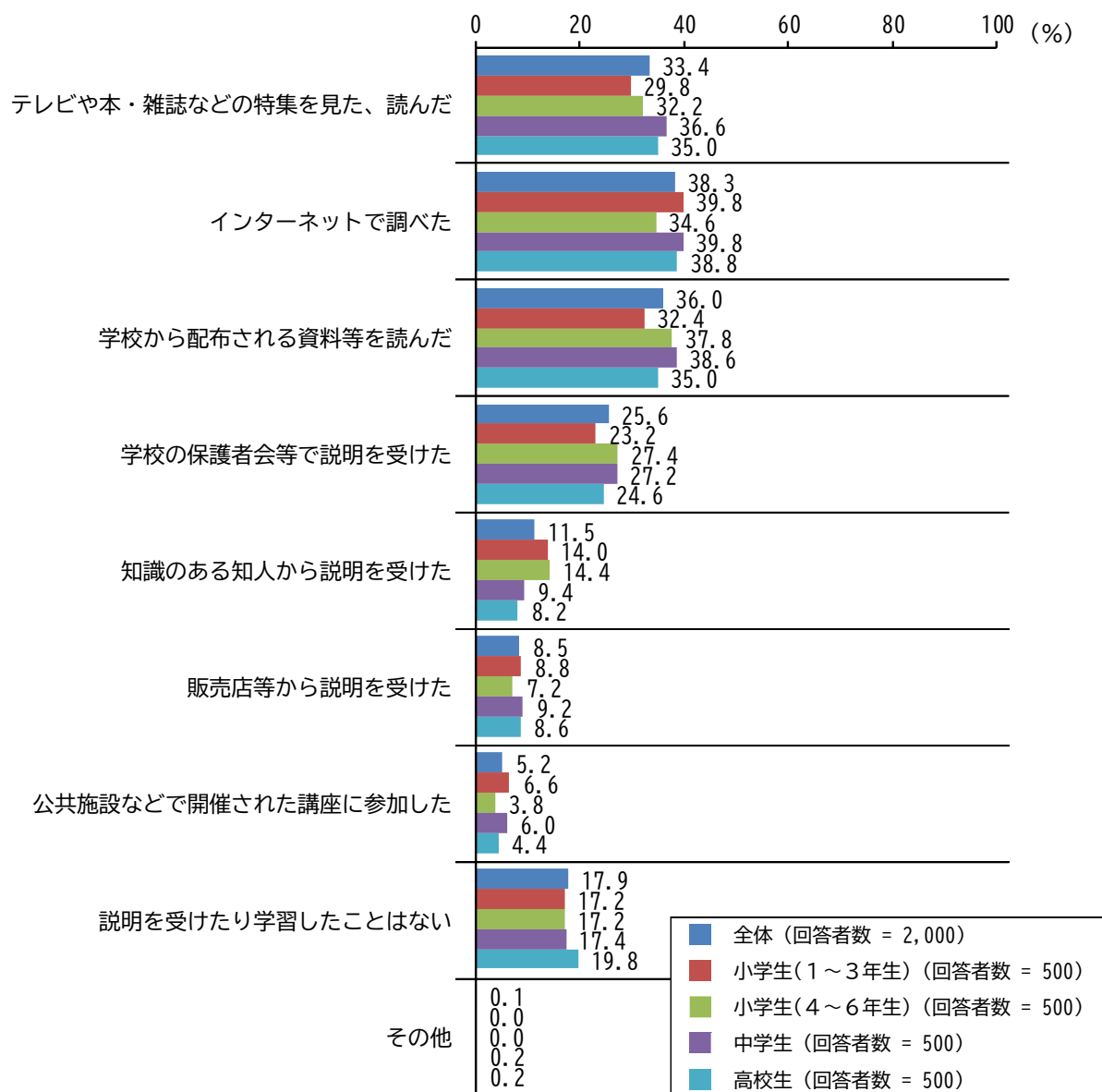


(10) ネットの危険性についての講義・学習の受理経験の有無

Q56. インターネットの危険性（有害サイトやネットいじめ問題など）について、これまでに説明を受けたり学んだりしたことがありますか。（いくつでも）

全体では、「インターネットで調べた」が38.3%と最も高く、次いで「学校から配布される資料等を読んだ」の36.0%、「テレビや本・雑誌などの特集を見た、読んだ」の33.4%となっている。

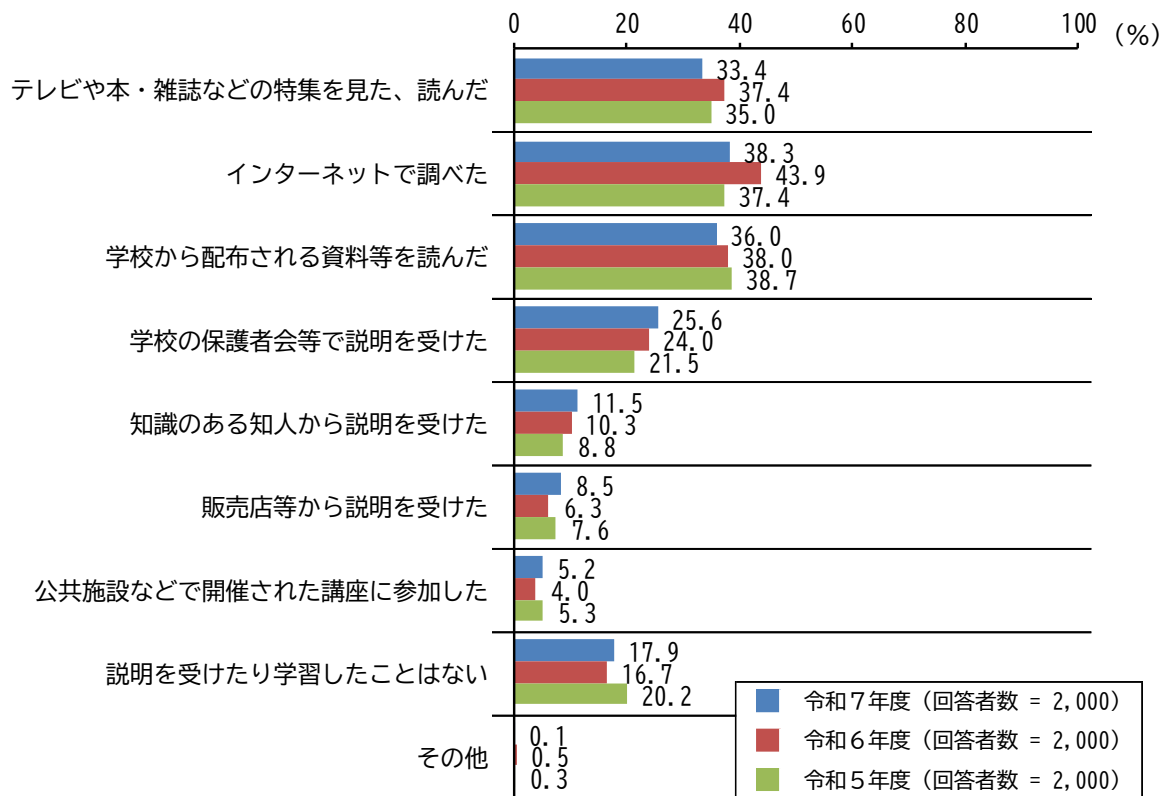
学年別にみると、小学生（1～3年生）・中学生・高校生では「インターネットで調べた」が最も高い割合を示している。また、小学生（4～6年生）では「学校から配布される資料等を読んだ」が最も高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・ 経験者	1件
・ 身をもって知っているのので、それを子供に話す	1件
計	2件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「インターネットで調べた」が5.6ポイント減少している。



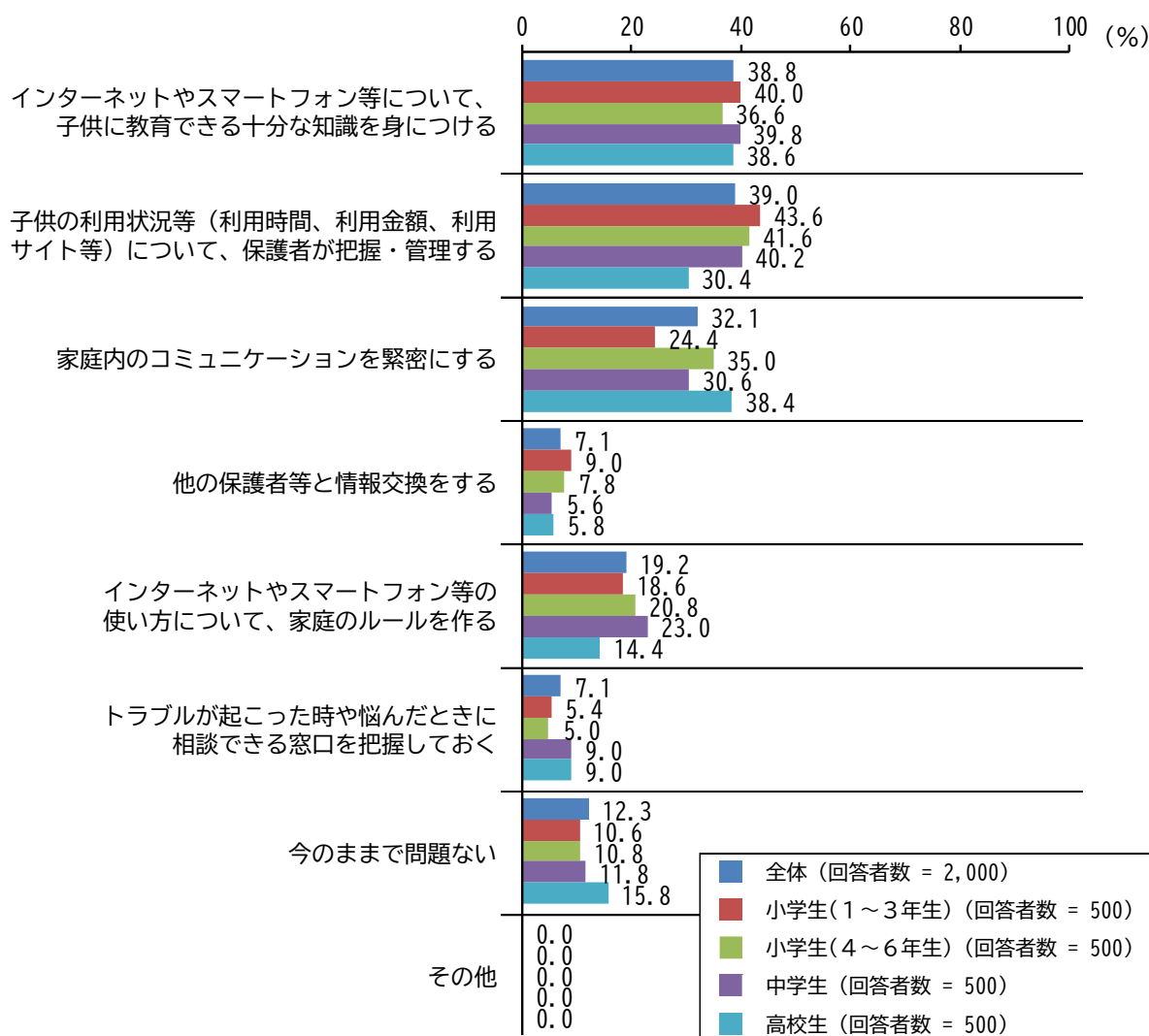
※前回（令和6年度）、前々回（令和5年度）の調査では、「学校の保護者会等で説明を受けた」の選択肢は「学校の保護者会等で行われた講演会で説明を受けた」として、「販売店等から説明を受けた」の選択肢は「販売店等から詳しく説明を受けた」として、それぞれ回答を聴取。

(11) 保護者として必要なこと

Q57. インターネットやスマートフォン等を、お子さんが正しく使用するために、保護者として必要なことは何だと思えますか。(あてはまるものを2つまで)

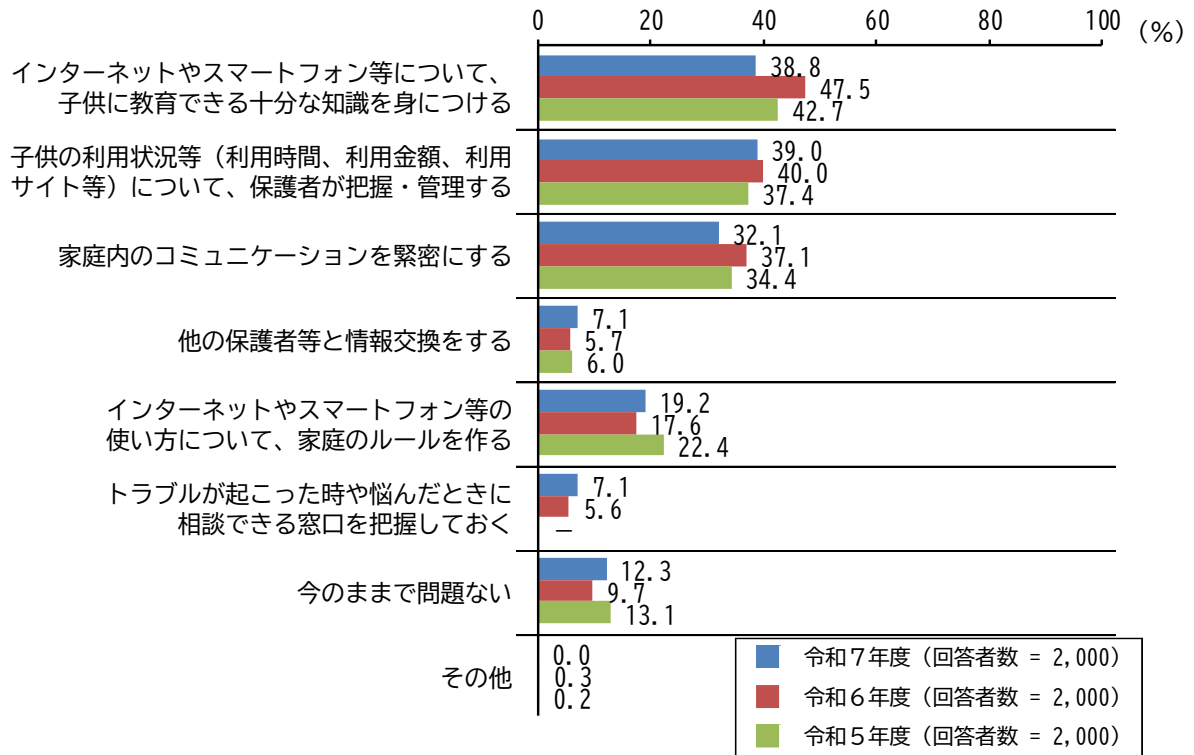
全体では、「子供の利用状況等（利用時間、利用金額、利用サイト等）について、保護者が把握・管理する」が39.0%と最も高く、次いで「インターネットやスマートフォン等について、子供に教育できる十分な知識を身につける」の38.8%、「家庭内のコミュニケーションを緊密にする」の32.1%となっている。一方で、「今のままで問題ない」は12.3%となっている。

学年別にみると、小学生（1～3年生）・小学生（4～6年生）・中学生では「子供の利用状況等（利用時間、利用金額、利用サイト等）について、保護者が把握・管理する」が最も高い割合を示している。また、高校生では「インターネットやスマートフォン等について、子供に教育できる十分な知識を身につける」が最も高い割合を示している。



【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「インターネットやスマートフォン等について、子供に教育できる十分な知識を身につける」が8.7ポイント、「家庭内のコミュニケーションを緊密にする」が5.0ポイント減少している



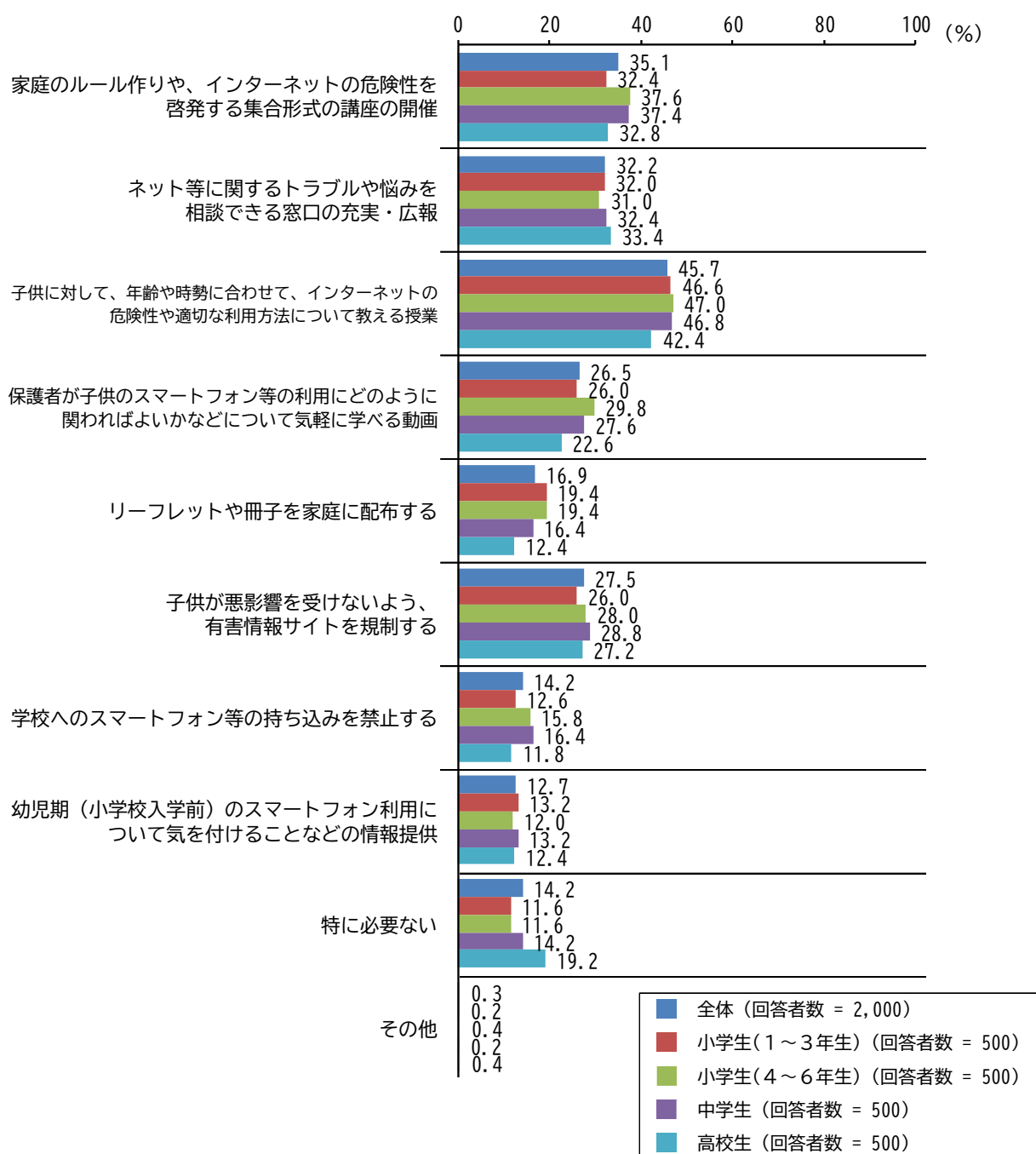
※前々回（令和5年度）の調査では、「トラブルが起こった時や悩んだときに相談できる窓口を把握しておく」の選択肢は設定していないため、比較値はなし。

(12) 東京都や学校で必要な対策

Q58. インターネットやスマートフォン等をお子さんが正しく使用するために、東京都や学校で必要な対策は何だと思いますか。(いくつでも)

全体では、「子供に対して、年齢や時勢に合わせて、インターネットの危険性や適切な利用方法について教える授業」が 45.7%と最も高く、次いで「家庭のルール作りや、インターネットの危険性を啓発する集合形式の講座の開催」の 35.1%、「ネット等に関するトラブルや悩みを相談できる窓口の充実・広報」の 32.2%となっている。一方で、「特に必要ない」は 14.2%となっている。

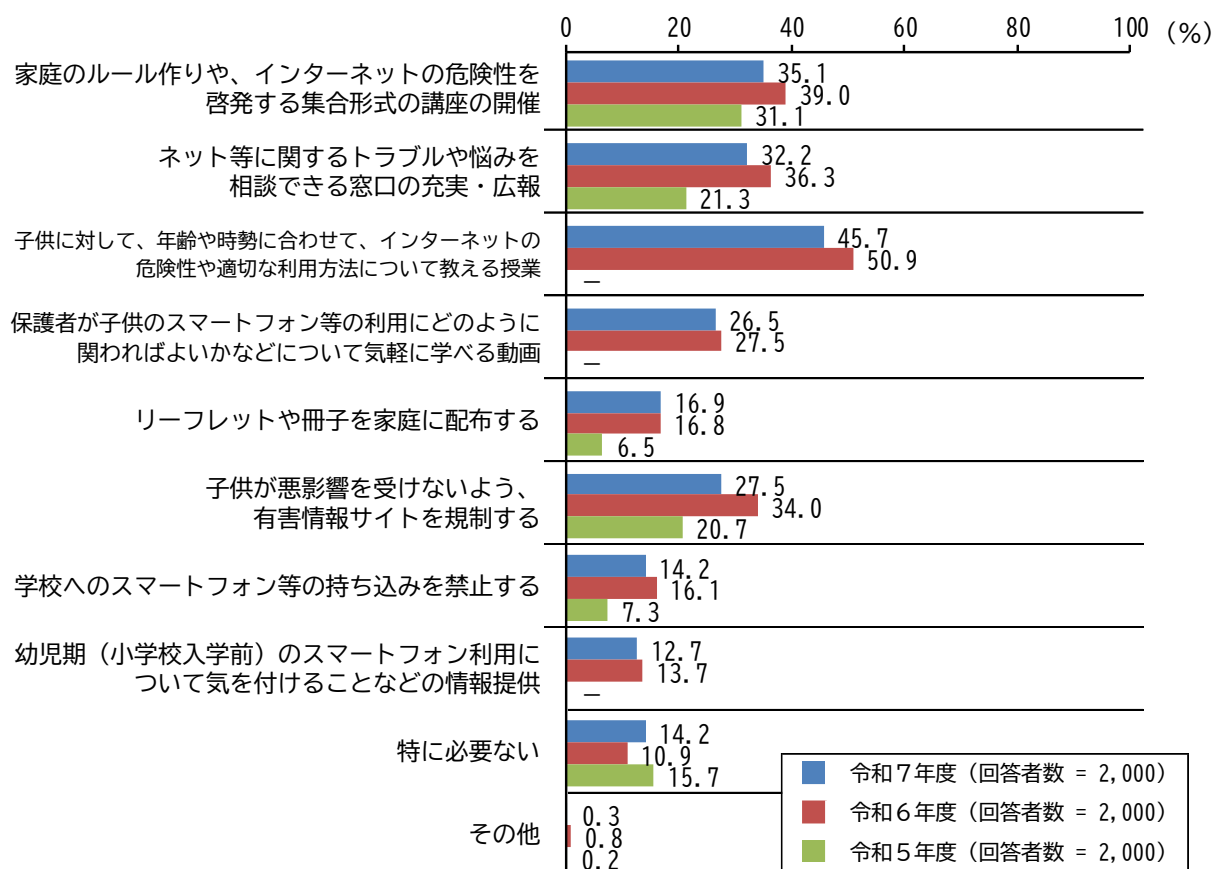
学年別にみると、「子供に対して、年齢や時勢に合わせて、インターネットの危険性や適切な利用方法について教える授業」は、いずれの学年においても最も高い割合を示している。一方で、「特に必要ない」は学年が上がるにつれて増加しており、高校生では 19.2%と最も高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・ IT リテラシーの授業・入試科目導入	1件
・ SNS の利用に年齢制限をかける	1件
・ 具体的事例対応	1件
・ 結局は親子のコミュニケーションだと思う	1件
・ 常識を教える	1件
・ 東京都や学校が有害な情報を実際に（ダミーで）流し、その影響を把握する	1件
計	6件

【過年度調査との比較】

令和6年度調査と比較すると、「子供が悪影響を受けないよう、有害情報サイトを規制する」が 6.5 ポイント、「子供に対して、年齢や時勢に合わせて、インターネットの危険性や適切な利用方法について教える授業」が 5.2 ポイント減少している



※前回（令和6年度）の調査では、「保護者が子供のスマートフォン等の利用にどのように関わればよいかなどについて気軽に学べる動画」の選択肢は、「子供のスマートフォン等の利用にどのように関わればよいかなどについて気軽に学べる動画」として聴取。

※前々回（令和5年度）の調査では、「ネット等に関するトラブルや悩みを相談できる窓口の充実・広報」の選択肢は、「ネットトラブル相談の充実」として聴取。

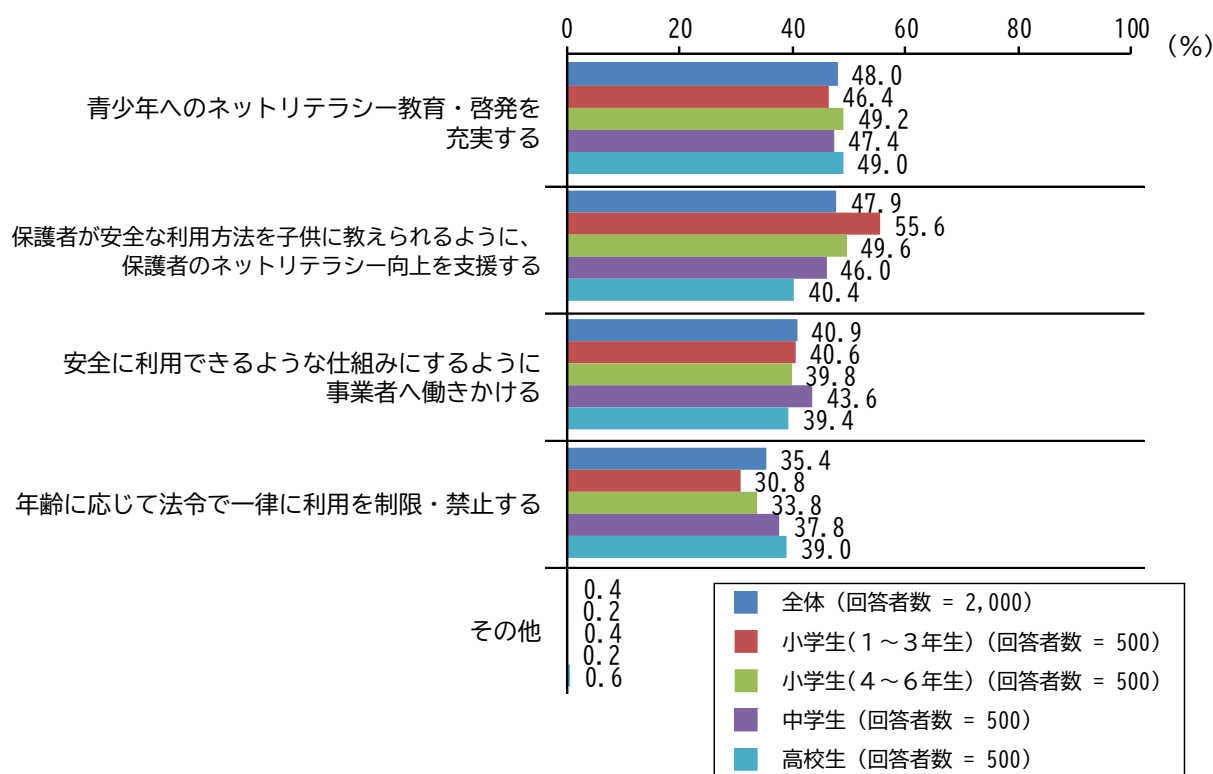
※前々回（令和5年度）の調査では、「子供に対して、年齢や時勢に合わせて、インターネットの危険性や適切な利用方法について教える授業」「保護者が子供のスマートフォン等の利用にどのように関わればよいかなどについて気軽に学べる動画」「幼児期（小学校入学前）のスマートフォン利用について気を付けることなどの情報提供」の選択肢は設定していないため、比較値はなし。

(13) 青少年のSNS利用はどのようにしたらいいか

Q59. 青少年が安全にSNSを利用するためにはどのようにしたらよいと思いますか。
(いくつでも)

全体では、「青少年へのネットリテラシー教育・啓発を充実する」が48.0%と最も高く、次いで「保護者が安全な利用方法を子供に教えられるように、保護者のネットリテラシー向上を支援する」の47.9%、「安全に利用できるような仕組みにするように事業者へ働きかける」の40.9%となっている。

学年別にみると、小学生（1～3年生）・小学生（4～6年生）では「保護者が安全な利用方法を子供に教えられるように、保護者のネットリテラシー向上を支援する」が最も高い割合を示している。また、中学生・高校生では「青少年へのネットリテラシー教育・啓発を充実する」が最も高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・悪用する大人に対する厳罰	1件
・違法な情報は警察で取り締まる	1件
・危険な目に遭った後の手当や検証を充実させる	1件
・具体的事例対応	1件
・常識を教える、親が常日頃示す	1件
・多少のトラブルにあい学び、成長すべき	1件
・わからない	1件
計	7件

※本設問は今回（令和7年度）調査より設定。

【Q29 家庭内でのルールの有無とのクロス集計】

家庭内でのルールの有無でみると、〈作っている〉では「青少年へのネットリテラシー教育・啓発を充実する」「保護者が安全な利用方法を子供に教えられるように、保護者のネットリテラシー向上を支援する」がそれぞれ半数を上回っている。一方で、〈作っていない〉では、「年齢に応じて法令で一律に利用を制限・禁止する」が44.3%と最も高い割合を示している。

	回答者数	青少年へのネットリテラシー教育・啓発を充実する	保護者が安全な利用方法を子供に教えられるように、保護者のネットリテラシー向上を支援する	安全に利用できるような仕組みにするよう働きかける	年齢に応じて法令で一律に利用を制限・禁止する	その他
全体	2000	48.0	47.9	40.9	35.4	0.4
Q29 作っている	1086	54.3	55.2	42.2	30.0	0.3
作っていない	584	31.3	28.4	34.1	44.3	0.5

【Q50 偽・誤情報を子供に教えることは重要かとのクロス集計】

偽・誤情報を子供に教えることは重要かで見ると、〈非常に重要〉では「青少年へのネットリテラシー教育・啓発を充実する」が61.2%と最も高い割合を示している。また、〈やや重要〉では「保護者が安全な利用方法を子供に教えられるように、保護者のネットリテラシー向上を支援する」が43.8%と最も高い割合を示している。一方で、〈あまり重要ではない〉〈全く重要でない〉では「年齢に応じて法令で一律に利用を制限・禁止する」が最も高い割合となっている。

	回答者数	青少年へのネットリテラシー教育・啓発を充実する	保護者が安全な利用方法を子供に教えられるように、保護者のネットリテラシー向上を支援する	安全に利用できるような仕組みに働きかける	年齢に応じて法令で一律に利用を制限・禁止する	その他
全体	2000	48.0	47.9	40.9	35.4	0.4
Q50	非常に重要	61.2	54.7	46.5	34.4	0.2
	やや重要	31.0	43.8	32.8	28.1	0.4
	あまり重要ではない	10.9	15.6	33.6	57.8	0.8
	全く重要ではない	3.5	8.8	10.5	75.4	1.8

【Q55 スマートフォンの利用状況等を把握・管理ができているかとのクロス集計】

スマートフォンの利用状況等を把握・管理ができているかで見ると、〈利用状況等の把握をして管理もできている〉では「青少年へのネットリテラシー教育・啓発を充実する」が64.2%、〈利用状況等は把握しているが、管理まではできていない〉では「保護者が安全な利用方法を子供に教えられるように、保護者のネットリテラシー向上を支援する」が53.6%とそれぞれ最も高い割合を示している。〈利用状況等を把握しておらず、管理もできていない〉〈子供の利用状況等に関心がない〉では「年齢に応じて法令で一律に利用を制限・禁止する」が最も高い割合を示している。

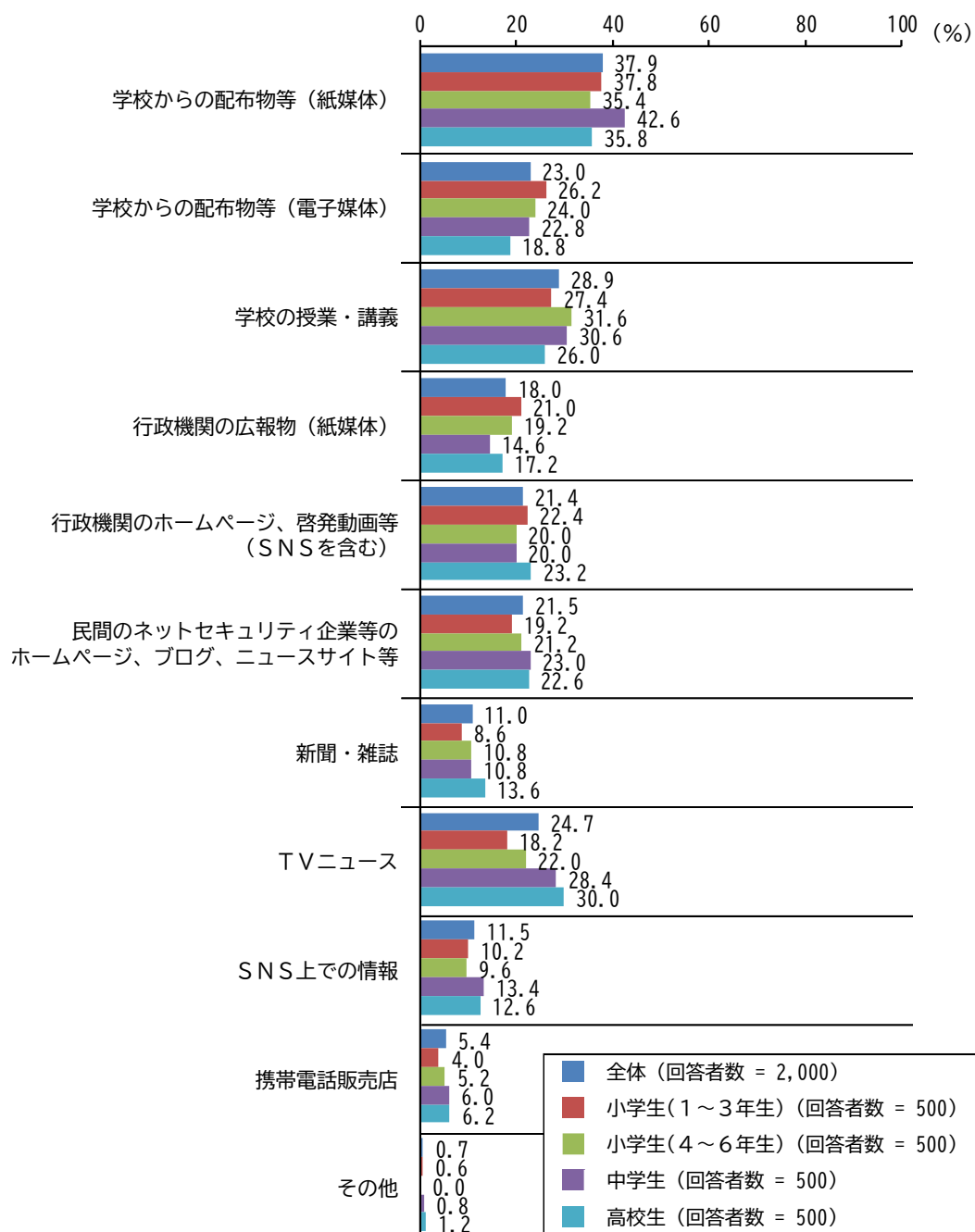
	回答者数	青少年へのネットリテラシー教育・啓発を充実する	保護者が安全な利用方法を子供に教えられるように、保護者のネットリテラシー向上を支援する	安全に利用できるような仕組みにするよう働きかける	年齢に応じて法令で一律に利用を制限・禁止する	その他
全体	2000	48.0	47.9	40.9	35.4	0.4
Q55						
利用状況等の把握をして管理もできている	692	64.2	49.9	39.0	32.5	0.0
利用状況等は把握しているが、管理まではできていない	605	40.2	53.6	45.5	26.6	0.5
利用状況等を把握しておらず、管理もできていない	234	31.2	35.0	41.0	42.3	0.0
子供の利用状況等に関心がない	138	9.4	10.9	11.6	72.5	1.4
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(14) どこで得た情報を参考にするか

Q60. あなたはインターネットの適切な利用やインターネットでトラブルにあわないようにするために、どこで得た情報を特に参考にしますか。(あてはまるものを3つまで)

全体では、「学校からの配布物等（紙媒体）」が 37.9%と最も高く、次いで「学校の授業・講義」の 28.9%、「TVニュース」の 24.7%となっている。

学年別にみると、「学校からの配布物等（紙媒体）」は、いずれの学年でも最も高い割合を示している。



その他（具体的な内容）	件数
・ ママ友から	1件
・ 家族、友人	1件
・ 街の掲示板	1件
・ 経験	1件
・ 自身によるセキュリティ資格を取得	1件
・ 自分がどう思うか	1件
・ 自分の経験	1件
・ 自分の経験と疑似体験から示す	1件
・ 普段から自らの気構え	1件
・ 特にない	4件
計	13件

※本設問は今回（令和7年度）調査より設定。

第4章 調査票

【調査票】

【調査①：スマートフォン等の所有状況調査】

アンケートへのご協力をお願い

このアンケートは、皆さんの家庭におけるスマートフォン等の利用について調査をするためのものです。回答を確かめたり、改めて調査したりすることはありませんので、ありのままを回答してください。

【はじめに】

SC1 あなたのお住まいの地域を教えてください。【SA】

- 1 東京都内（23区） 2 東京都内（23区外） 3 東京都外

SC2 小学生から高校生までのお子さんはいらっしゃいますか。【SA】

- 1 いる 2 いない

SC3 お子さんのお住まいの地域を教えてください。小学生から高校生までのお子さんが複数いる場合、1番上のお子さんについて回答してください。【SA】

- 1 東京都内（23区） 2 東京都内（23区外） 3 東京都外

F1 あなた（保護者）の年齢を教えてください。【SA】

- 1 19歳以下 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代 6 60歳以上

F2 お子さんの学年を教えてください。以後の質問も含めて、小学生から高校生までのお子さんが複数いる場合、1番上のお子さんについて回答してください。【SA】

- 1 小学校1年生 2 小学校2年生 3 小学校3年生 4 小学校4年生
5 小学校5年生 6 小学校6年生 7 中学校1年生 8 中学校2年生
9 中学校3年生 10 高校1年生 11 高校2年生 12 高校3年生

【スマートフォン等の所有について】

Q1 あなたのお子さんに、現在所有（お子さん専用のもので購入・譲渡したもの）させている機器を選んでください。【MA】

- 1 スマートフォン 2 スマートフォン以外の携帯電話 3 キッズ携帯
4 携帯ゲーム機 5 タブレット型携帯端末 6 携帯音楽プレーヤー
7 上記のいずれも所有していない

【調査②：フィルタリングサービス加入等実態調査】

【スマートフォン等の所有について】

Q1 あなたのお子さんに、現在所有（お子さん専用のもので購入・譲渡したもの）させている機器を選んでください。【MA】

- 1 スマートフォン 2 スマートフォン以外の携帯電話 3 キッズ携帯
4 携帯ゲーム機 5 タブレット型携帯端末 6 携帯音楽プレーヤー

Q2 （Q1で1を選んだ方）お子さんに、初めてスマートフォンを所有（お子さん専用のもので）させた時期はいつですか。【SA】

- 1 小学校入学前 2 小学校1年生 3 小学校2年生 4 小学校3年生
5 小学校4年生 6 小学校5年生 7 小学校6年生 8 中学校1年生
9 中学校2年生 10 中学校3年生 11 高校1年生 12 高校2年生
13 高校3年生

Q3 （Q1で3を選んだ方）お子さんに、初めてキッズ携帯を所有（お子さん専用のもので）させた時期はいつですか。【SA】

- 1 小学校入学前 2 小学校1年生 3 小学校2年生 4 小学校3年生
5 小学校4年生 6 小学校5年生 7 小学校6年生 8 中学校1年生
9 中学校2年生 10 中学校3年生 11 高校1年生 12 高校2年生
13 高校3年生

Q4 （Q1で1を選んだ方）お子さんにスマートフォンを所有させた理由（きっかけ）は何ですか。【MA】

- 1 子供と連絡が取れるようにするため
2 子供の所在地がわかるようにするため
3 子供にせがまれたため
4 メディアリテラシーや情報処理能力がつくと思ったため
5 子供の要望ではないが、友達が持っており、仲間はずれにされないか心配なため
6 パソコン・ゲーム機の代わりに使わせるため
7 携帯電話にはない便利なアプリ等を使用するため
8 学校や習い事などの学習等の授業、宿題等で必要なため
9 その他（_____）

Q5 (Q1で1を選んだ方) お子さんが所有しているスマートフォンは、どこで購入等されましたか。【SA】

※インターネットで購入した方は、その店舗のカテゴリーで回答してください。

- 1 各携帯電話会社の販売店 (docomo、au、SoftBank、楽天モバイル等のショップ)
- 2 携帯電話販売代理店 (光通信、ティーガイア、コネクシオ等)
- 3 家電量販店 (ヤマダ電機、ヨドバシカメラ、ビックカメラ等。Amazon、楽天市場等を含む。)
- 4 中古販売店 (ハピネスネット、イオシス、ソフマップ等)
- 5 メーカー直販 (Apple Store、ソニーストア、Google ストア等)
- 6 親族等が使っていたものを使用させている
- 7 その他 (_____)
- 8 わからない

【スマートフォン等の利用状況について】

Q6 (Q1で1を選んだ方) お子さんは、スマートフォンを1日にどれくらい使用していますか。【SA】

※ ただし、オンライン学習に使用した時間は含まない。

- 1 30分未満
- 2 30分以上1時間未満
- 3 1時間以上2時間未満
- 4 2時間以上3時間未満
- 5 3時間以上4時間未満
- 6 4時間以上5時間未満
- 7 5時間以上
- 8 わからない

Q7 (Q1で1を選んだ方) お子さんは、スマートフォンで主に何をしていますか。【MA】

- 1 電話
- 2 メール
- 3 SNS (LINE[LINE通話を含む], X[旧Twitter], Facebook, Instagram, TikTok等)
- 4 動画視聴
- 5 カメラ撮影
- 6 ゲーム
- 7 音楽鑑賞
- 8 学習・調べもの
- 9 写真・動画の投稿・配信
- 10 その他 (_____)
- 11 わからない

Q8 お子さんが利用しているSNSは次のうちどれですか。【MA】

- 1 LINE
- 2 X (旧Twitter)
- 3 Facebook
- 4 Instagram
- 5 TikTok
- 6 YouTube
- 7 Discord (ディスコード)
- 8 位置情報アプリ (whoo、「探す」アプリ等)
- 9 Signal (シグナル)
- 10 Telegram (テレグラム)
- 11 BeReal (ビーリアル)
- 12 その他 (_____)
- 13 利用していない
- 14 わからない

Q9 一部のSNSに、利用規約上、年齢制限等があることを知っていますか。【SA】

※ X (旧Twitter), Facebook, Instagram, TikTok, YouTube, Discordは13歳以上

※ LINEの利用推奨年齢は12歳以上

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

Q10 お子さんが、SNS やインターネットを通じて知らない人とやり取りをしたことがありますか。【SA】

※「いいね」等のボタンをクリックするだけのものは除きます

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

Q11 (Q10で1を選んだ方) 知らない人とどのようなやり取りをしていましたか。【MA】

- 1 SNSのダイレクトメッセージやメール、LINE 等でメッセージの送受信をした
- 2 音声通話、ビデオ通話をした
- 3 顔や身体の写真・動画の送受信をした
- 4 直接会った
- 5 ゲーム内でチャット等をした
- 6 感想・コメントを書き込んだことがある
- 7 違法なアルバイト（いわゆる闇バイト）かもしれない内容についてやりとりしていた
- 8 その他（_____）

Q12 (Q10で1を選んだ方) やり取りのきっかけは、どのような話題でしたか。【MA】

- 1 芸能人やYouTuber等の話
- 2 ファッションやブランドの話
- 3 アニメや漫画の話
- 4 受験や試験等の勉強の話
- 5 ゲームの話
- 6 友達等募集の話
- 7 違法なアルバイト（いわゆる闇バイト）かもしれない話
- 8 その他（_____）

Q13 お子さんが SNS やインターネットを通じてやり取りしている相手について、どの程度把握していますか。【SA】

- 1 全て把握している
- 2 ある程度把握している
- 3 ほとんど把握していない
- 4 全く把握していない

Q18 (Q17で1を選んだ方) お子さんがスマートフォンを利用する中で、どのようなトラブルにありましたか。【MA】

- 1 メールやSNSが原因で友達等とトラブルになった
- 2 架空請求や迷惑メールなどが届いた
- 3 親の許可なくアプリやゲームの購入・課金をした
- 4 個人情報や他人に知られた
- 5 SNSや掲示板等に誹謗中傷などの書き込みをされた、または書き込みをした
- 6 下着姿や裸の写真・動画を撮影したり、送信もしくは受信していた
- 7 ネット上で知り合った人と会う約束をしたり、実際に会う等してトラブルになった
- 8 注意しても、長時間使用するようになった(注意して、家族間でケンカに発展した)
- 9 青少年にとって有害なサイトを閲覧していた
- 10 違法なアルバイト(いわゆる闇バイト)についてやり取りがあった
- 11 その他(_____)

Q19 (Q17で1を選んだ方) トラブルをどのように発見しましたか。【MA】

- 1 子供から相談があった
- 2 子供の様子がおかしいため質問した等、コミュニケーションをとる上で発見した
- 3 子供のスマートフォン等を見た
- 4 請求書が届いたこと等により発見した
- 5 学校や子供の友人等、第三者から連絡や相談があった
- 6 その他(_____)

Q20 (Q17で1を選んだ方) トラブルに対してどのように対処しましたか。【MA】

- 1 相談機関(公的・民間含む)に相談した
- 2 学校に相談した
- 3 警察に相談した
- 4 インターネットで解決方法を検索した(質問サイトへの相談を含む)
- 5 知り合いに相談した
- 6 保護者・子供のみで解決した
- 7 その他(_____)
- 8 何もしていない

Q21 (Q1で1を選んだ方) お子さんが、これまで、スマートフォンのゲームを利用する中で、お金を払ってゲーム内のアイテムや、有料のガチャを購入したこと(その他のゲームの課金等も含む)がありますか。【SA】

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

Q22 (Q21で1を選んだ方) ゲーム内の有料アイテムや、有料ガチャの購入(その他のゲームの課金等も含む)についてどのように知りましたか。【SA】

- 1 子供から購入する前に相談があったので知っていた
- 2 子供から購入した後に相談があったので知った
- 3 クレジットカードの支払いの状況(クレジットカード会社から連絡が来た場合を含む)から知った
- 4 キャリア決済(商品を携帯電話料金と合計して支払う仕組み)の支払いの状況(携帯電話会社から連絡が来た場合を含む)から知った
- 5 子供のスマートフォン等の購入の履歴等(使用するゲームの購入の履歴等も含む)を見て知った
- 6 その他(_____)

Q23 (Q21で1を選んだ方) お子さんは、令和7年4月くらいから今までの間で、スマートフォンのゲームで、ゲーム内のアイテムや、有料のガチャ(その他のゲームの課金等も含む)にいくら払っていますか。【SA】

- 1 999円以下
- 2 1,000円~2,999円
- 3 3,000円~4,999円
- 4 5,000円~9,999円
- 5 10,000円~49,999円
- 6 50,000円~99,999円
- 7 10万円以上
- 8 わからない

Q24 東京都が運営する、インターネットやスマートフォンに係わるトラブルの相談窓口である「ネット・スマホのなやみを解決『こたエール』(<https://www.tokyohelpdesk.metro.tokyo.lg.jp/>)」を知っていますか。【SA】

- 1 知っている
- 2 知らない

Q25 (Q24で1を選んだ方)「こたエール」をどこで知りましたか。【MA】

- 1 Yahoo 広告
- 2 Google 広告
- 3 LINE 広告
- 4 X(旧 Twitter) 広告
- 5 フィルタリングカード(携帯電話契約時)
- 6 学校(授業)
- 7 学校(リーフレット)
- 8 インターネット検索
- 9 他相談窓口からの紹介
- 10 警察署、児童相談所等
- 11 その他(_____)

【ペアレンタルコントロールについて】

Q26 「ペアレンタルコントロール※」についてお伺いします。【SA】

※ 保護者が子供のライフサイクルを考慮して、その発達段階に応じてインターネット利用を適切に管理すること。

フィルタリングサービス等によって有害情報サイトの閲覧を防止したり、アプリの利用時間を設定することや、家庭内で利用方法についてルールを設けたりすることを意味する。

- 1 ペアレンタルコントロールという言葉を知っていて、関心がある
- 2 ペアレンタルコントロールという言葉は知らなかったが、関心はある
- 3 ペアレンタルコントロールという言葉は知っているが、関心はない
- 4 ペアレンタルコントロールという言葉も知らないし、関心もない

Q27 (Q26で1又は2を選んだ方) 関心がある理由は何ですか。【MA】

- 1 自分がスマートフォン等を使用していてトラブルにあったから
- 2 子供がスマートフォン等を使用していてトラブルにあったから
- 3 学校からのお知らせや保護者会などで説明を受けたから
- 4 子供にスマートフォン等の使用を注意してもやめないことがあるから
- 5 子供の健康や成績などに影響が出始めたから
- 6 インターネットやテレビ、新聞、広告等で見たことがあり、やらなければならないことだと思ったから
- 7 行政・民間団体等が行う講座等で聞いたことがあるから
- 8 友人や保護者同士の会話の中で聞いたことがあるから
- 9 その他(_____)

Q28 (Q26で3又は4を選んだ方) 何があればペアレンタルコントロールに関心を持ちますか。【MA】

- 1 自分がスマートフォン等を使用してトラブルにあったら
- 2 子供がスマートフォン等を使用してトラブルにあったら
- 3 子供がスマートフォン等の使用に関して注意してもきかなくなったら
- 4 子供の学習や成績に影響が出始めたら
- 5 子供の健康に影響が出始めたら
- 6 インターネット上での情報やテレビやニュース、新聞で情報を目撃したら
- 7 学校からのお知らせや保護者会などで説明を受けたら
- 8 携帯電話の販売店等で説明を受けたら
- 9 行政や民間団体が行う講座で説明を受けたら
- 10 子供が自分専用のスマートフォンを持つようになったら
- 11 子供が知らない人とやり取りをしたり、課金をしたりし始めたら
- 12 その他(_____)

【家庭におけるルール作りについて】

Q29 (Q1で1を選んだ方) お子さんがスマートフォンを使うことについて、家庭内でルールを作っていますか。【SA】

- 1 作っている 2 作っていない

Q30 (Q29で1を選んだ方) お子さんがスマートフォンを使うことについて、家庭内でどのようなルールを作っていますか。【MA】

- 1 利用料金の上限を決める
2 利用する際のマナー（誹謗中傷することは書かない等）を決める
3 利用・閲覧するアプリや Web サイトを決める
4 利用する時間や場所を制限する
5 メール・SNSなどの相手と勝手に連絡しないようにする
6 ネットで知り合った人との接し方（本名や学校名を教えない・直接会わない等）を決める
7 パスワードや利用者情報が漏れないようにする
8 困ったときはすぐ保護者へ相談する
9 その他（_____）

Q31 (Q29で1を選んだ方) ルールはいつ、どのように作りましたか。【SA】

- 1 購入前に保護者と子供で話し合って決めた
2 購入前に保護者が決めた
3 購入前に子供が決めた
4 購入後に保護者と子供で話し合って決めた
5 購入後に保護者が決めた
6 購入後に子供が決めた

Q32 (Q29で1を選んだ方) お子さんが「ルールを守れなかった場合の“ルール”」を作っていますか。
（例：守れなかったら、〇日間は使用時間を短くする。など）【SA】

- 1 作っている 2 作っていない

Q33 (Q29で1を選んだ方) 家庭内で作ったルールは守られていますか。【SA】

- 1 守られている 2 だいたい守られている 3 あまり守られていない
4 守られていない 5 守られているかどうか分からない

Q34 (Q33で3、4を選んだ方) ルールがあまり守られていない・守られていない理由は何ですか
(何だと思えますか)。【MA】

- 1 友達や兄弟姉妹がスマートフォンを使用していると、つられて使用してしまうから
- 2 ルールが厳しすぎるから
- 3 保護者が子供を見張るようなことができない(したくない)から
- 4 子供が納得しないまま、保護者がルールを決めたから
- 5 ルールを守れなかったとき(破った際)のペナルティを決めていなかったから
- 6 保護者自身が子供の前でスマートフォンを気にせず使用していたから
- 7 ルールの見直しを定期的に行わなかったから(子供の成長とともにルールの見直しをしなかったから)
- 8 子供がすぐ夢中になってルールを忘れてしまうから
- 9 その他(_____)

Q35 (Q29で2を選んだ方) ルールを作っていない理由は何ですか。【MA】

- 1 子供を信用しており、ルールを作らなくても、子供が適正な利用をしているから必要ない
- 2 ルールを作っても、子供が守れないから(守っているか管理できないから)
- 3 ルールを作ろうとしても、子供とケンカになってしまうから
- 4 話し合ってルールを作る時間がないから
- 5 どんなルールを作ればいいのかよく分からないから
- 6 保護者自身も自由に使っているから、子供にルールを作っていない
- 7 その他(_____)

【フィルタリングサービスについて】

Q36 (Q1で1を選んだ方) お子さんが利用しているスマートフォンについて、フィルタリングサービス(※)の利用状況をお答えください。【SA】

※フィルタリングサービスとは、お子さまが安全にインターネットを使い、保護者が安心して見守るための機能をいいます。

(例：あんしんフィルター、スクリーンタイム (iPhone)、ファミリーリンク (Android))

- 1 フィルタリングサービスに加入しており、設定も行っている
- 2 フィルタリングサービスに加入しているが、設定は行っていない
- 3 フィルタリングサービスに加入していない
- 4 わからない

※ 加入とは、フィルタリングサービスを受けられるように購入店舗などで行う手続きのことをいいます。

※ 設定とは、フィルタリングサービスに加入した後に、項目を設定することをいいます。

Q37 (Q36で1を選んだ方) どのようなフィルタリングサービスを使用していますか。【MA】

- 1 スクリーンタイム (iPhone)
- 2 ファミリーリンク (Android)
- 3 あんしんフィルター (携帯会社フィルタリングサービス)
- 4 ノートン (アプリ)
- 5 トーンモバイル
- 6 iフィルター (アプリ)
- 7 スマモリ (アプリ)
- 8 コドマモ (アプリ)
- 9 その他 (_____)
- 10 わからない

Q38 (Q36で2又は3を選んだ方) フィルタリングサービスの設定を行っていない理由は何ですか。【MA】

- 1 インターネットの使い方について、子供を信用しているから
- 2 子供がインターネット上の有害情報を見ないよう、保護者として適切に管理できるから
- 3 フィルタリングサービスを利用すると、子供の日常生活に不便が生じるから
- 4 フィルタリングサービスの設定方法がわからない (難しい) から
- 5 フィルタリングサービスの内容・必要性がわからないから
- 6 フィルタリングサービスを利用しても、解除や迂回する方法があり効果がないと思うから
- 7 子供の使い方に適したフィルタリングサービスがわからないから
- 8 無料サービスのものがあることを知らず、お金がかかると思ったから
- 9 その他 (_____)

Q39 (Q1で1を選んだ方) お子さんが利用しているスマートフォンの契約・購入の際、販売店からフィルタリングサービス等に関する説明及び説明書※の交付を受けましたか。【SA】

※ 都の条例により交付が義務付けられているもの

- 1 内容の説明があり、説明書の交付もあった
- 2 内容の説明があったが、説明書の交付はされなかった
- 3 説明書は交付されたが、内容の説明はなかった
- 4 内容の説明も、説明書の交付もなかった
- 5 覚えていない

Q40 (Q36で3、4を選んだ方) 契約時、販売業者に対しフィルタリングサービスに加入しない旨の理由書※を提出しましたか。【SA】

※都の条例により提出が義務付けられているもの

- 1 提出した
- 2 提出していない
- 3 提出したか覚えていない

Q41 (Q1で1を選んだ方) フィルタリングサービスについて、どのような機能が向上すると良いと思いますか。【MA】

- 1 閲覧できない有害情報サイトの数をさらに増やしてほしい
- 2 サービスの内容、設定方法をわかりやすくしてほしい
- 3 利用者の利用状況に応じたカスタマイズ機能 (利用者の必要に応じて設定を細かく変更できる機能)の充実
- 4 今のままでよい
- 5 使っていないのでわからない
- 6 子供が勝手に解除することができない設定
- 7 その他(_____)

【幼児期におけるスマートフォン等の利用について】

Q42 (Q1で1を選んだ方) お子さんが幼児期 (小学校入学前) のときに保護者が所有するスマートフォン等を利用させたことがありますか。【SA】

- 1 毎日利用させていた
- 2 ほぼ毎日利用させていた
- 3 あまり利用させなかった
- 4 全く利用させたことがない
- 5 覚えていない

Q43 (Q42で1、2、3を選んだ方) お子さんが幼児期 (小学校入学前) のときには、保護者が所有するスマートフォン等をどのような用途で利用させていましたか。【MA】

- 1 (You Tubeなどで) アニメ等の動画を見せるため
- 2 知育・教育などのアプリを利用させるため
- 3 音楽・英会話などを聴かせるため
- 4 写真や動画を見たり、撮らせたりするため
- 5 ゲームをさせるため
- 6 ウェブサイトを見せるため
- 7 その他(_____)

Q44 (Q42で1、2、3を選んだ方) お子さんが幼児期(小学校入学前)のときに、保護者が所有するスマートフォン等を利用させていた理由は何ですか。【MA】

- 1 家事などで手が離せず、子供の相手ができないため
- 2 移動時間や待ち時間等公共の場で静かにして欲しいため
- 3 学習に効果的な(必要な)知育アプリ等を使用させるため
- 4 親族等、誰かと通話させるため
- 5 子供にせがまれたため
- 6 自宅で子供の機嫌が悪く、静かにさせたいため
- 7 親がテレビや読書など、自分の時間を確保したいため
- 8 寝かしつけるときに便利のため
- 9 その他(_____)

Q45 (Q42で1、2、3を選んだ方) お子さんが幼児期(小学校入学前)のときに保護者が所有するスマートフォン等を利用させたことで、今現在に何か影響があったと思いますか。【MA】

- 1 影響はない
- 2 視力低下や睡眠不足等、健康面での影響があった
- 3 スマートフォンに依存するようになった
- 4 子供とのコミュニケーションが増えた
- 5 子供とのコミュニケーションが減った
- 6 外遊びが減った
- 7 その他(_____)
- 8 わからない

Q46 (Q42で1、2、3を選んだ方) お子さんが幼児期(小学校入学前)のときに保護者が所有するスマートフォン等を利用させ始めたのはいつですか。【SA】

- 1 0~1歳
- 2 2~3歳
- 3 4~5歳
- 4 6歳から
- 5 覚えていない

【保護者のスマートフォン等に関する意識について】

Q47 お子さんにスマートフォンを所有させるにあたりどのような不安がありますか。【MA】

- 1 メールやSNSが原因で友達等とトラブルにならないか
- 2 架空請求や迷惑メールなどが届かないか
- 3 アプリやゲームの購入・課金等により、多額の請求が届かないか
- 4 個人情報や他人に知られてしまわないか
- 5 SNSや掲示板等に個人の誹謗中傷などの書き込みをされたり、書き込みをしたりしないか
- 6 下着姿や裸の写真・動画を撮影したり、送信もしくは受信したりしないか
- 7 ネット上で知り合った人と会う約束をしたり、実際に会う等してトラブルに巻き込まれないか
- 8 長時間利用による健康被害や学業等への影響が出るのではないか
- 9 青少年にとって有害なサイトを閲覧しないか
- 10 コミュニケーションの減少による何らかの影響がないか
- 11 違法なアルバイト（いわゆる闇バイト）に巻き込まれたりしないか
- 12 不安なことはない
- 13 その他（ _____ ）

Q48 SNS やインターネット掲示板等には、違法なアルバイト（いわゆる「闇バイト」）に関する情報が掲載されていることを知っていますか。またその危険性について認識していますか？【SA】

- 1 「闇バイト」の情報が掲載されていることを知っており、危険性についても認識している
- 2 「闇バイト」の情報が掲載されていることを知らないが、危険性について認識している
- 3 「闇バイト」の情報が掲載されていることは知らないし、危険性についても認識していない
- 4 その他（ _____ ）

Q49（Q48で1、2を選んだ方）SNS やインターネット掲示板等において、違法なアルバイト（いわゆる「闇バイト」）に関わり得る求人等があることを子供に対して注意喚起をしていますか？【SA】

- 1 家族でその危険性について話をする等して注意喚起を行っている
- 2 闇バイトの求人では、顔写真付きの身分証明書や家族の個人情報について聞かれること等、子供に対し具体的に注意喚起している
- 3 子供がアルバイト等を行う予定がないため、具体的に注意喚起を行っていないが、子供がアルバイト等を始める際には、注意喚起を行う予定である
- 4 自分の子供は闇バイトの危険性を認識していると思うので注意喚起は行っていない

Q50 学校や家庭で、偽・誤情報について子供に教えることは重要だと思いますか。【SA】

※偽情報とは、個人、社会集団、組織または国に危害を与えるため、意図的 / 意識的に作られたウソ(虚偽)の情報

※誤情報とは、危害を引き起こす意図で作成されたものではなく、勘違い / 誤解により拡散した間違い情報

- | | |
|-------------|------------|
| 1 非常に重要 | 2 やや重要 |
| 3 あまり重要ではない | 4 全く重要ではない |

- Q5 1 あなたは、偽・誤情報を見分けるためにどのような対策をしていますか。【MA】
- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 情報源を確認するようにしている | 2 ファクトチェックサイトを利用している |
| 3 複数の情報を比較する | 4 信頼できるサイトのみを利用している |
| 5 上記以外で対策している（内容：_____） | |
| 6 特に対策をしていない | |
- Q5 2 あなたは日常生活で生成 AI (ChatGPT (OpenAI)、Google Gemini、Microsoft Copilot Perplexity AI 等) をどのような用途に利用していますか。【MA】
- | | |
|--------------|-----------|
| 1 家事や育児 | 2 趣味や娯楽 |
| 3 仕事 | 4 子供の学習支援 |
| 5 その他（_____） | 6 利用していない |
- Q5 3 お子さんは日常生活で生成 AI (ChatGPT (OpenAI)、Google Gemini、Microsoft Copilot、Perplexity AI 等) をどのような用途に利用していますか。【MA】
- | | |
|--------------|-----------|
| 1 趣味や娯楽 | 2 学習 |
| 3 交友関係 | 4 バイト探し |
| 5 その他（_____） | 6 利用していない |
| 7 わからない | |
- Q5 4 お子さんにオンラインでの金銭のやり取りをどのように許可していますか【SA】
- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1 小遣いの範囲で許可している | 2 その都度相談して許可している |
| 3 ルールなく許可している | |
| 4 許可していない（「必要な時に保護者が支払いをしている」を含む） | |
| 5 話し合ったことがなく、現状子供がどうしているのかもわからない | |
| 6 その他（_____） | |
- Q5 5 (Q1で1を選んだ方) 保護者として、お子さんのスマートフォン等の利用状況等（利用時間、利用金額、利用サイト等）を把握し、お子さんの利用について管理できていますか。【SA】
- | |
|-----------------------------|
| 1 利用状況等の把握をして管理もできている |
| 2 利用状況等は把握しているが、管理まではできていない |
| 3 利用状況等を把握しておらず、管理もできていない |
| 4 子供の利用状況等に関心がない |
| 5 その他（_____） |

- Q56 インターネットの危険性（有害サイトやネットいじめ問題など）について、これまでに説明を受けたり学んだりしたことがありますか。【MA】
- 1 テレビや本・雑誌などの特集を見た、読んだ
 - 2 インターネットで調べた
 - 3 学校から配布される資料等を読んだ
 - 4 学校の保護者会等で説明を受けた
 - 5 知識のある知人から説明を受けた
 - 6 販売店等から説明を受けた
 - 7 公共施設などで開催された講座に参加した
 - 8 説明を受けたり学習したことはない
 - 9 その他（_____）

- Q57 インターネットやスマートフォン等を、お子さんが正しく使用するために、保護者として必要なことは何だと思えますか。【MA 上限2】
- 1 インターネットやスマートフォン等について、子供に教育できる十分な知識を身につける
 - 2 子供の利用状況等（利用時間、利用金額、利用サイト等）について、保護者が把握・管理する
 - 3 家庭内のコミュニケーションを緊密にする
 - 4 他の保護者等と情報交換をする
 - 5 インターネットやスマートフォン等の使い方について、家庭のルールを作る
 - 6 トラブルが起こった時や悩んだときに相談できる窓口を把握しておく
 - 7 今のままで問題ない
 - 8 その他（_____）

- Q58 インターネットやスマートフォン等をお子さんが正しく使用するために、東京都や学校で必要な対策は何だと思えますか。【MA】
- 1 家庭のルール作りや、インターネットの危険性を啓発する集合形式の講座の開催
 - 2 ネット等に関するトラブルや悩みを相談できる窓口の充実・広報
 - 3 子供に対して、年齢や時勢に合わせて、インターネットの危険性や適切な利用方法について教える授業
 - 4 保護者が子供のスマートフォン等の利用にどのように関わればよいかなどについて気軽に学べる動画
 - 5 リーフレットや冊子を家庭に配布する
 - 6 子供が悪影響を受けないよう、有害情報サイトを規制する
 - 7 学校へのスマートフォン等の持ち込みを禁止する
 - 8 幼児期（小学校入学前）のスマートフォン利用について気を付けることなどの情報提供
 - 9 特に必要ない
 - 10 その他（_____）

Q59 青少年が安全に SNS を利用するためにはどのようにしたらよいと思いますか。【MA】

- 1 青少年へのネットリテラシー教育・啓発を充実する
- 2 保護者が安全な利用方法を子供に教えられるように、保護者のネットリテラシー向上を支援する
- 3 安全に利用できるような仕組みにするように事業者へ働きかける
- 4 年齢に応じて法令で一律に利用を制限・禁止する
- 5 その他(_____)

Q60 あなたはインターネットの適切な利用やインターネットでトラブルにあわないようにするために、どこで得た情報を特に参考にしますか。【3つまで】

- 1 学校からの配布物等（紙媒体）
- 2 学校からの配布物等（電子媒体）
- 3 学校の授業・講義
- 4 行政機関の広報物（紙媒体）
- 5 行政機関のホームページ、啓発動画等（SNS を含む）
- 6 民間のネットセキュリティ企業等のホームページ、ブログ、ニュースサイト等
- 7 新聞・雑誌
- 8 TV ニュース
- 9 SNS 上での情報
- 10 携帯電話販売店
- 11 その他(_____)

